

# 第8回ぐんま青少年基本調査報告書

令和6年6月

群馬県生活子ども部



## 目次

第1章 調査実施の概要.....	- 1 -
1 調査の目的.....	- 1 -
2 調査の方法と実施状況.....	- 1 -
3 調査の内容.....	- 2 -
第2章 調査対象の属性.....	- 3 -
第3章 調査項目別集計.....	- 11 -
1 学校生活.....	- 11 -
(1) クラスや学校の様子.....	- 11 -
(2) 友達や同級生への対応.....	- 15 -
(3) 勉強をする理由.....	- 17 -
(4) 部活動への参加（中学生、高校生）.....	- 21 -
(5) 友人関係.....	- 23 -
(6) 相談できる先生の有無（青年）.....	- 32 -
(7) 強い影響を受けた人（青年）.....	- 32 -
(8) 学校生活の意義（青年）.....	- 33 -
(9) 教育方針（保護者）.....	- 34 -
(10) 新型コロナの影響.....	- 35 -
(11) 学校運営への自身の意見の反映（高校生）.....	- 36 -
2 家庭生活・家庭教育.....	- 37 -
(1) しつけについて.....	- 37 -
(2) 父親・母親との関係.....	- 41 -
(3) 家族のあなたへの思い（小学生、中学生、高校生）.....	- 47 -
(4) 家の手伝い（中学生、高校生）.....	- 48 -
(5) 子どもの将来像（保護者）.....	- 50 -
(6) 子どものことでの悩みや不安（保護者）.....	- 51 -
(7) 子育てや子どもの教育の相談相手（保護者）.....	- 52 -
(8) 利用している塾やクラブや習い事（保護者）.....	- 53 -
(9) 家庭で身につけるべき重要なこと（保護者）.....	- 54 -
(10) 教育事情に関する諸課題（保護者）.....	- 56 -
(11) 子ども（達）だけでの食事のしたく（保護者）.....	- 57 -
(12) 子どもとの会話時間（保護者）.....	- 57 -
(13) 生きていく上で最も大切に考えていること（保護者）.....	- 58 -
(14) 子どもの頃どのように育てられたか（保護者）.....	- 59 -
(15) 子どもの食事や生活の習慣（保護者）.....	- 60 -

	(16) 経済的に困ったことや悩んだこと (保護者) .....	- 61 -
	(17) 新型コロナの影響による家族や親戚との関係の変化 (小学生、中学生、高校生) .....	- 62 -
3	地域社会.....	- 63 -
	(1) 居住意向 (中学生、高校生、青年) .....	- 63 -
	(2) 居住環境 (小学生) .....	- 64 -
	(3) 地域活動.....	- 65 -
	(4) 地域づくり等への参加意向 (青年) .....	- 71 -
	(5) 今までに体験したこと (小学生、中学生、高校生、青年、保護者) .....	- 72 -
	(6) 近所の人にあったときのあいさつ (小学生、中学生、高校生) .....	- 75 -
	(7) 身体の不自由な人が困っているのを見かけた時 (小学生、中学生、高校生) .....	- 76 -
	(8) ボランティアへの参加意思 (中学生、高校生、青年) .....	- 77 -
	(9) 社会貢献活動 (中学生、高校生、青年) .....	- 78 -
	(10) 子育ての観点からの居住地への満足度 (保護者) .....	- 80 -
	(11) 小さな子ども (乳幼児) とふれあう機会 (中学生、高校生) .....	- 81 -
	(12) 高校卒業後の進路.....	- 82 -
	(13) 群馬県への居住意向 .....	- 85 -
4	生活全般.....	- 88 -
	(1) 現在の生活の満足度 (小学生、中学生、高校生、青年) .....	- 88 -
	(2) 悩みや心配ごと .....	- 89 -
	(3) 得意・自信のあるもの (小学生、中学生、高校生) .....	- 94 -
	(4) 規範意識.....	- 95 -
	(5) いじめについて .....	- 101 -
	(6) 不登校気分とその理由 .....	- 107 -
	(7) 男女が家庭や社会で果たす役割についての考え (中学生、高校生、青年) .....	- 110 -
	(8) 休日の過ごし方 .....	- 111 -
	(9) 希望する暮らし方 (青年) .....	- 112 -
	(10) 考え方や生き方 (青年) .....	- 113 -
	(11) 日本の社会の問題点 (青年) .....	- 114 -
	(12) 出生率低下の要因 (青年) .....	- 115 -
	(13) 新型コロナの影響による将来の夢や目標の変化 (小学生、中学生、高校生) .....	- 116 -
	(14) 将来への不安 (高校生) .....	- 117 -
	(15) 結婚について .....	- 118 -
	(16) 子どもについて.....	- 124 -
	(17) 妊娠と年齢の関係 .....	- 126 -
	(18) 「ぐんま女性の健康・ぐんま妊娠SOS」について .....	- 127 -
	(19) 家庭内での家事、育児、看護・介護の分担 (高校生) .....	- 128 -
	(20) 家庭生活と職業生活を円滑に送るために必要なこと (高校生) .....	- 129 -
	(21) 行政に対する自身の意見の反映 (高校生、青年) .....	- 130 -
5	就労意識.....	- 131 -
	(1) 中学生、高校生の就労意識.....	- 131 -

(2) 青年の就労意識.....	- 137 -
(3) 子どもの就労に対する考え方（保護者）.....	- 144 -
6 インターネット.....	- 145 -
(1) スマートフォン等の所持状況（小学生、保護者）.....	- 145 -
(2) インターネットを使う頻度（中学生、高校生、青年、保護者）.....	- 146 -
(3) スマートフォンの利用時間（小学生、中学生、高校生）.....	- 147 -
(4) インターネットを使用しないことによる不安（小学生、中学生、高校生）.....	- 149 -
(5) フィルタリング利用に対するイメージ（中学生、高校生、保護者）.....	- 150 -
(6) フィルタリングの設定状況.....	- 151 -
(7) インターネットについて家族と話をする（小学生、中学生、高校生、保護者）.....	- 153 -
(8) メールをしたり会ったりする（小学生、中学生、高校生、青年、保護者）.....	- 154 -
(9) ブログや SNS 等で自分に関する情報を発信する（中学生、高校生、青年、保護者）.....	- 156 -
(10) ネットリテラシーやペアレンタルコントロールの状況（保護者）.....	- 157 -
(11) 「おぜのかみさま」の認知度（中学生、高校生）.....	- 158 -
7 若者の自立支援.....	- 159 -
(1) 普段の過ごし方（相談機関等利用者）.....	- 159 -
(2) ひきこもり.....	- 160 -
(3) 家族との関係（相談機関等利用者）.....	- 163 -
(4) 今やりたいこと、将来必要なこと（相談機関等利用者）.....	- 164 -
(5) 現在の就学・就労状況（相談機関等利用者）.....	- 165 -
(6) 家庭の経済状況（相談機関等利用者）.....	- 165 -
(7) 相談機関.....	- 166 -
8 自立について（中学生、高校生、青年、相談機関等利用者、保護者）.....	- 174 -
9 行政が取り組むべき課題（保護者）.....	- 175 -
10 教員からみた児童生徒の状況（教員）.....	- 176 -
(1) 児童生徒の持つ特徴（教員）.....	- 176 -
(2) 児童生徒の経済状況（教員）.....	- 180 -
(3) 児童生徒の持つ自己肯定感（教員）.....	- 182 -
(4) インターネット.....	- 184 -
11 新型コロナに関する質問との関係.....	- 186 -
(1) 登校意向への影響.....	- 186 -
(2) 生活の満足度への影響.....	- 188 -
(3) 将来の夢や目標への影響.....	- 189 -
資料.....	- 191 -
1 調査票.....	- 191 -
2 集計表.....	- 228 -

## 第1章 調査実施の概要

### 1 調査の目的

近年、少子高齢化、インターネット・スマートフォン等の普及による情報化の急速な進展、コロナ禍等に伴い、青少年を取り巻く環境が著しく複雑化してきました。青少年及びその保護者の意識、生活、行動も大きく変化してきているなかで、児童虐待、いじめ、重大事件、貧困、ニート、ひきこもり、不登校など青少年の抱える問題も深刻化しており、より幅広い観点からの青少年育成推進への取組が求められています。

今回の調査は、家庭・学校・地域社会の各生活場面における青少年等の意識と行動を明らかにし、今後の青少年に対する施策のあり方について検討を行うための資料を得るとともに、「こども基本法第10条に規定する群馬県におけるこども施策についての計画」策定の基礎資料として活用するために実施するものです。

### 2 調査の方法と実施状況

#### (1) 調査地域

：群馬県全域

#### (2) 調査対象者（標本抽出数）

	配布数	回答数	回答率
ア 小学校5年生	725人	634人	87.4%
イ 中学校2年生	720人	595人	82.6%
ウ 高等学校2年生	437人	421人	96.3%
エ 小学校5年生及び 中学校2年生の教員	47人	45人	95.7%
オ 小学校5年生及び 中学校2年生の保護者	1,445人	647人	44.8%
カ 青年（18～29歳の 勤労青年・学生）	1,000人	617人	61.7%
キ 相談機関等利用者	150人	33人	22.0%

#### (3) 標本抽出方法

##### ア 小学生・中学生

県内の小学校・中学校から地域バランス等を考慮して対象校を決定し、各学校において、対象学年の中から対象学級を任意に抽出します。

##### イ 高校生

県内の高校から地域バランス、男女比等を考慮して対象校を決定し、各学校において、第2学年の中から対象学級を任意に抽出します。

##### ウ 小学校5年生及び中学校2年生の教員

アにおいて調査対象となった児童・生徒の担任教員等とします。

## エ 小学5年生及び中学校2年生の保護者

アにおいて調査対象となった児童・生徒の保護者とします。

## オ 青年（18～29歳の勤労青年・学生）

企業等に勤務する勤労青年については、地域・職種等を考慮し県内の事業所を決定し、各事業所において対象者を任意に抽出します。

学生においては、地域、課程等を考慮し、県内の専門学校・大学を決定し、各学校において対象者を任意に抽出します。

## カ 相談機関等利用者

県内の相談機関等において自立に不安を感じている若者を任意に抽出します。

## (4) 調査の方法

ア 小学生・中学生・高校生	対象学級において教員の指導のもとに入力
イ 小学生・中学生の保護者	調査対象となった児童・生徒を経由して配布・入力
ウ 教員	対象学級の教員に配布・入力
エ 青年（勤労青年・学生）	事業所、学校において調査票を配布・入力
オ 青年（相談機関等利用者）	相談機関等において調査票を配布・入力

## (5) 調査実施期間

令和5年11月20日～令和5年12月22日

※なお、この報告書では、前回、前々回のぐんま青少年基本調査結果を比較のため掲載していますが、その状況は次のとおりです。

第6回ぐんま青少年基本調査・・・平成24年2月調査

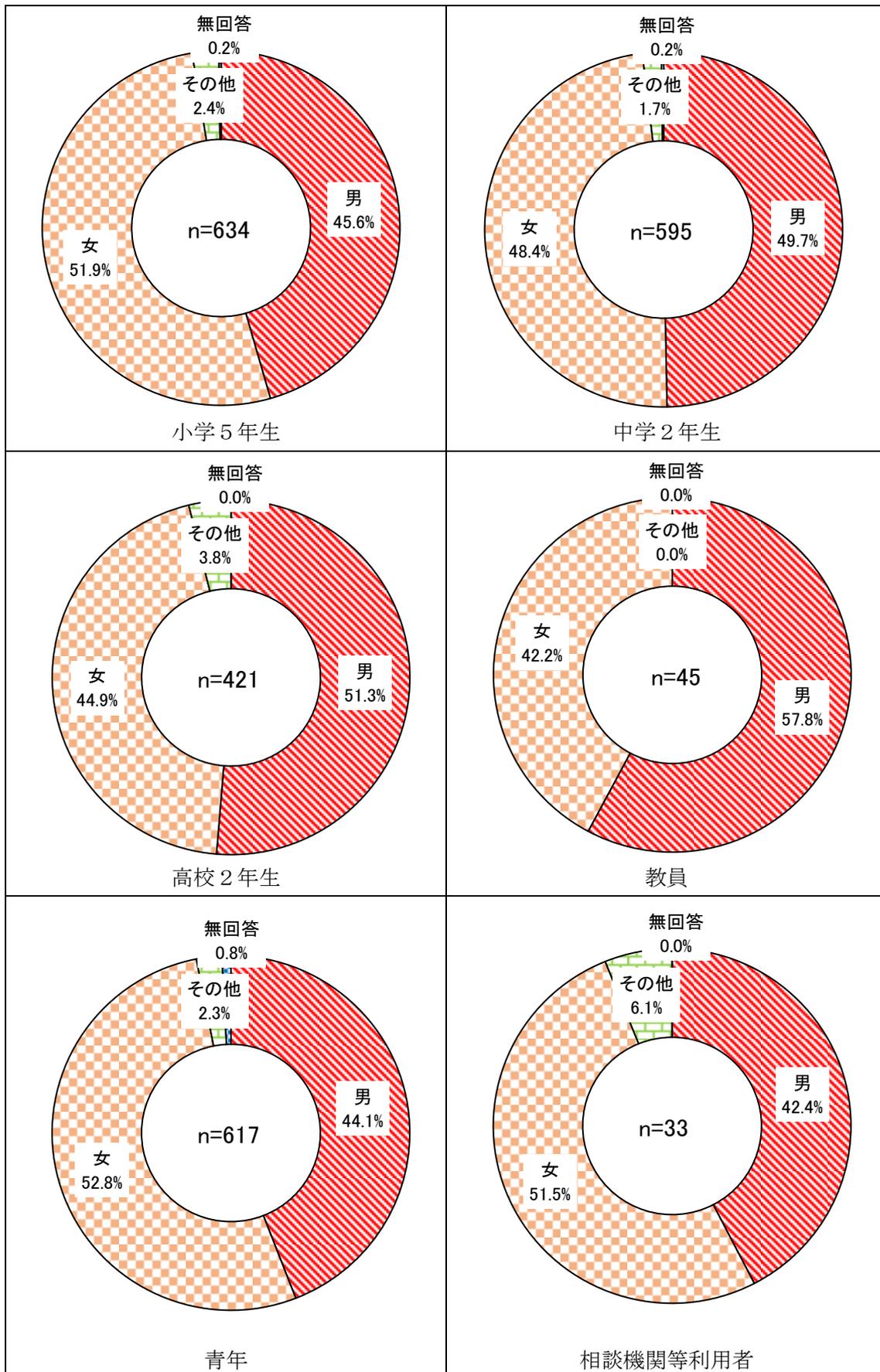
第7回ぐんま青少年基本調査・・・平成28年11月～平成29年1月調査

## 3 調査の内容

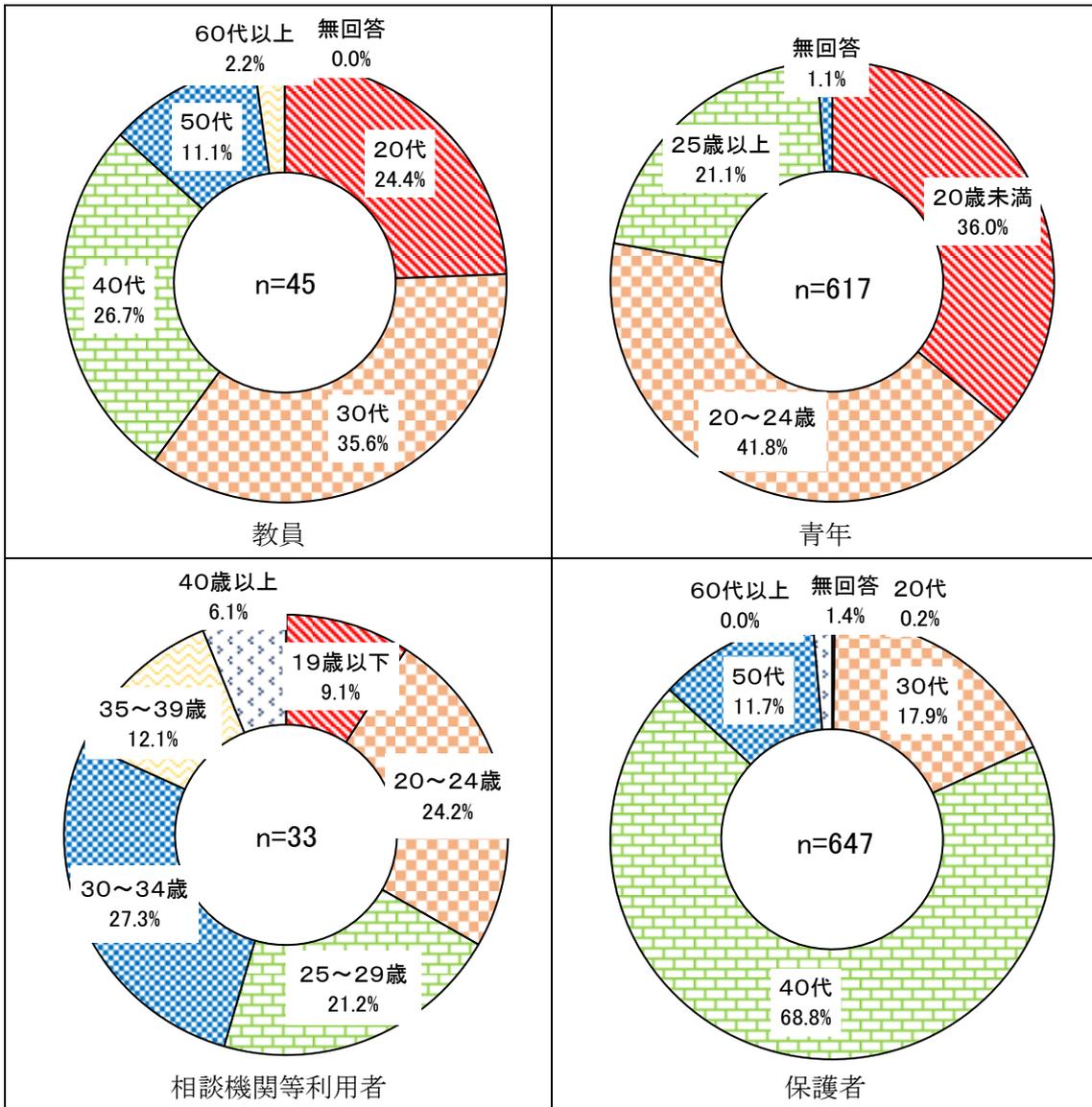
児童生徒	: 学校生活、家庭生活、地域社会、生活全般、インターネット
保護者	: 家庭教育、地域社会、人生観、生活意識、インターネット、施策について
教員	: 児童生徒の特徴、児童生徒の経済状況、児童生徒の自己肯定感、インターネット
青年	: 学校生活、生活全般、職場生活、人生観、生活意識、インターネット
相談機関等利用者	: 生活状況、職業・就職、相談機関の利用状況

## 第2章 調査対象の属性

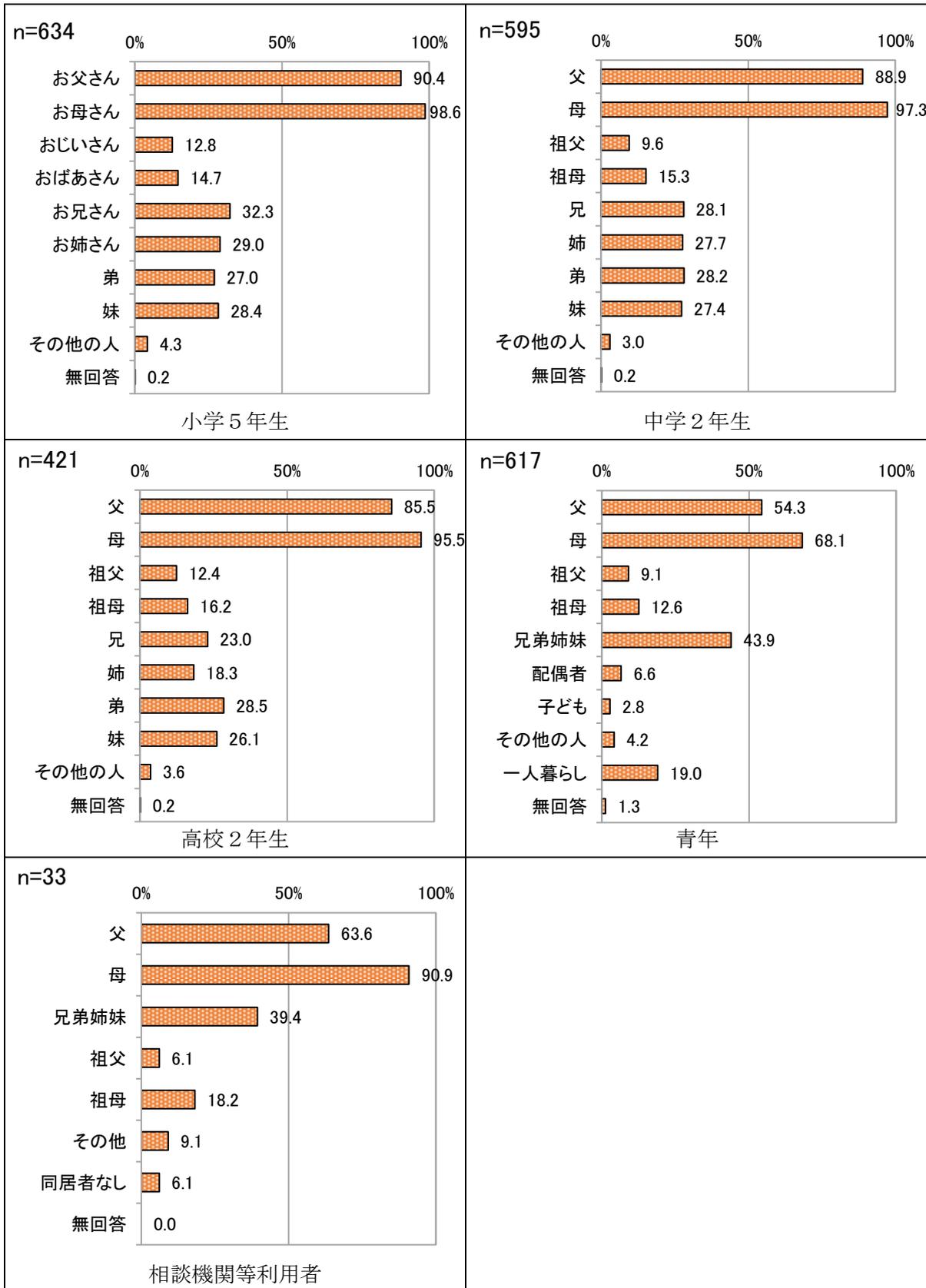
### 1 性別



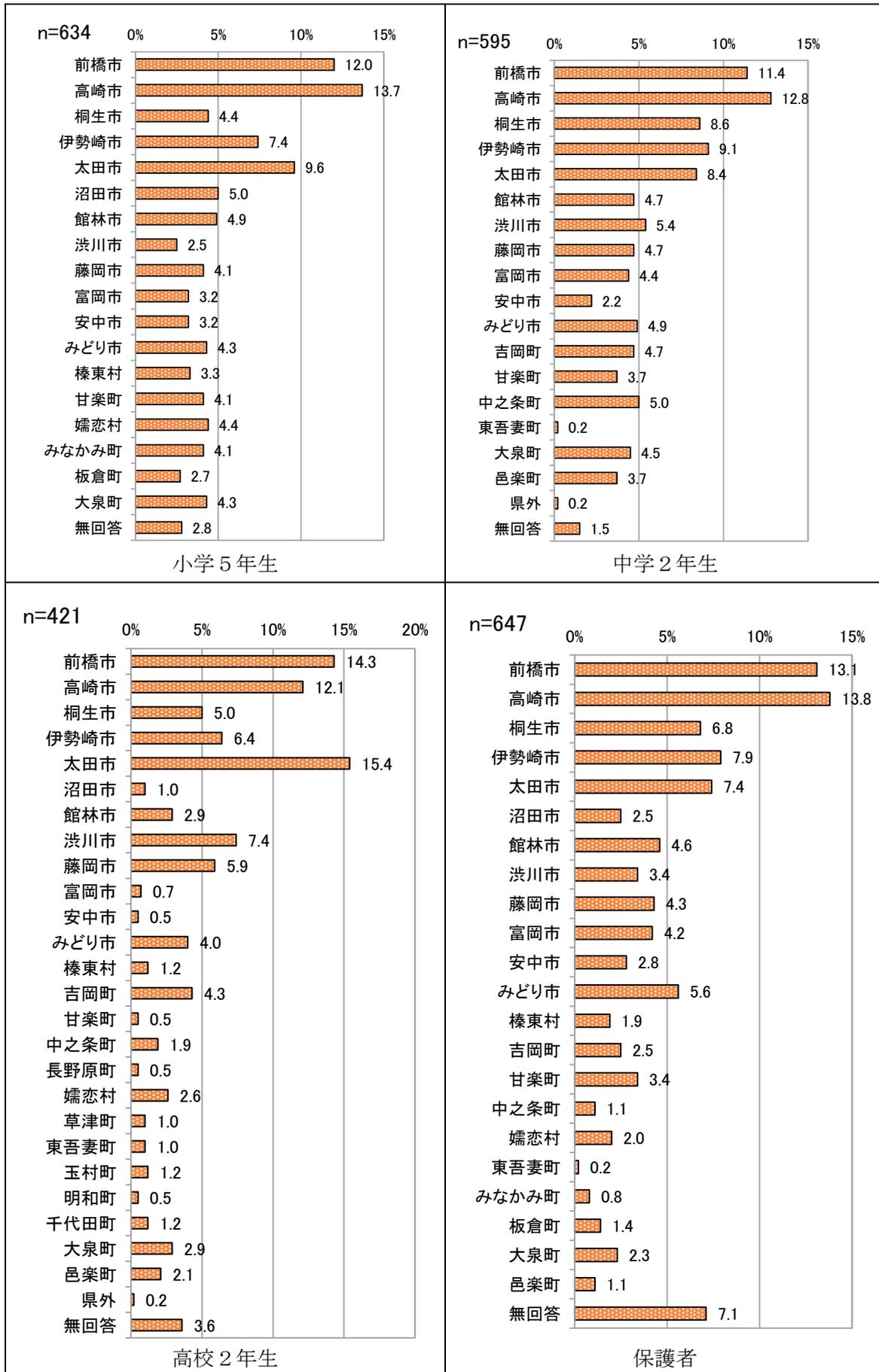
2 年齢



3 同居家族

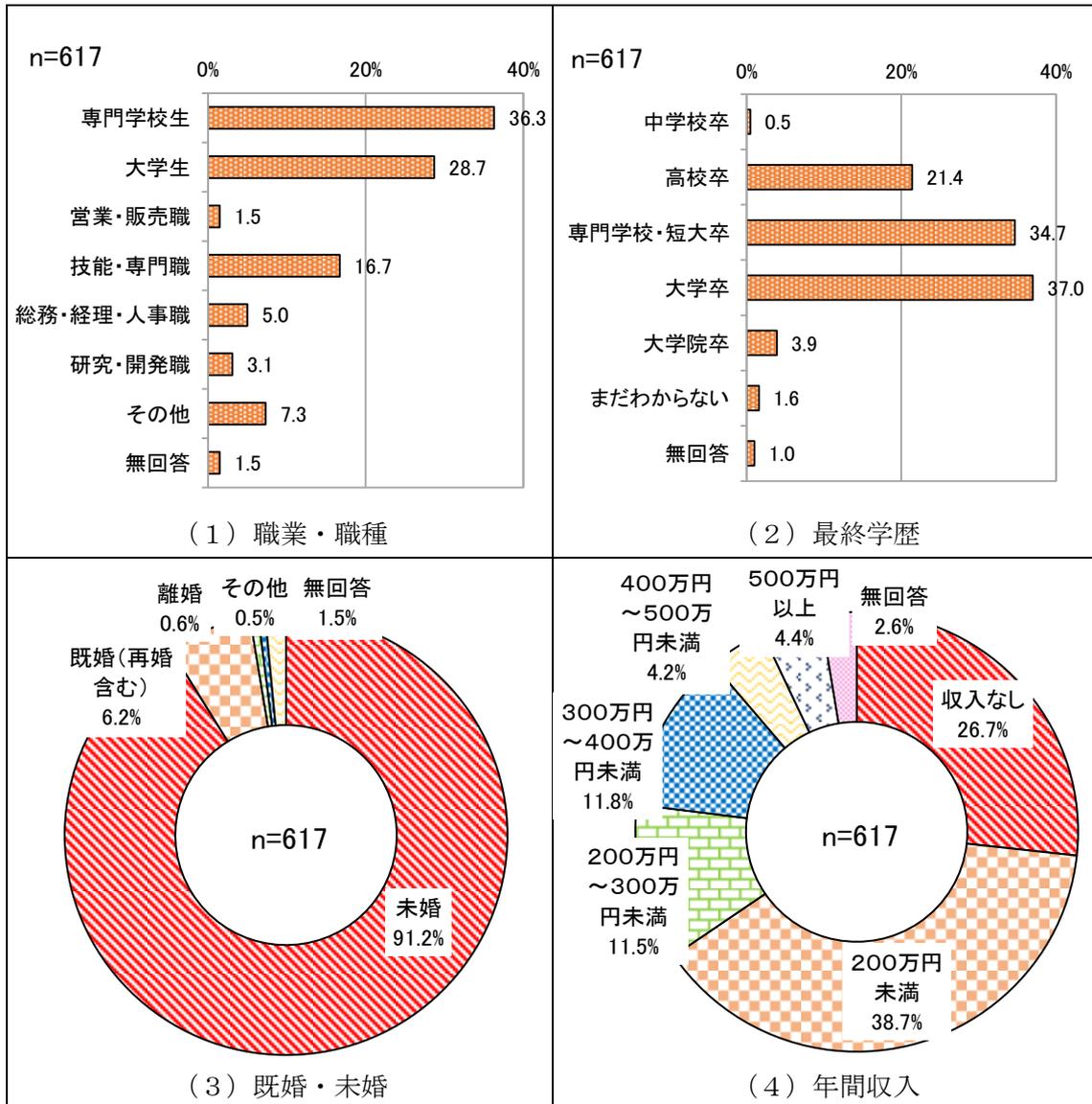


4 居住地

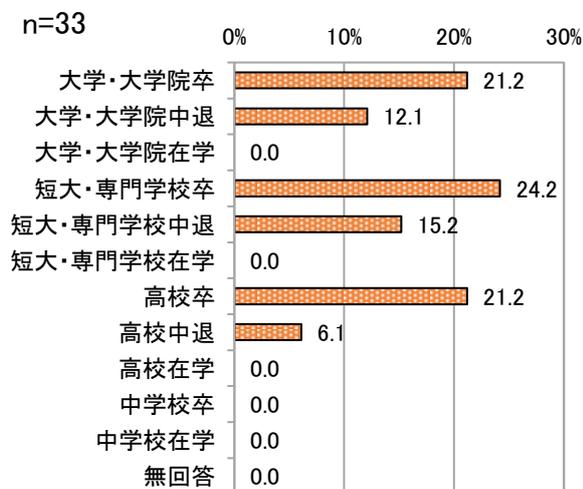




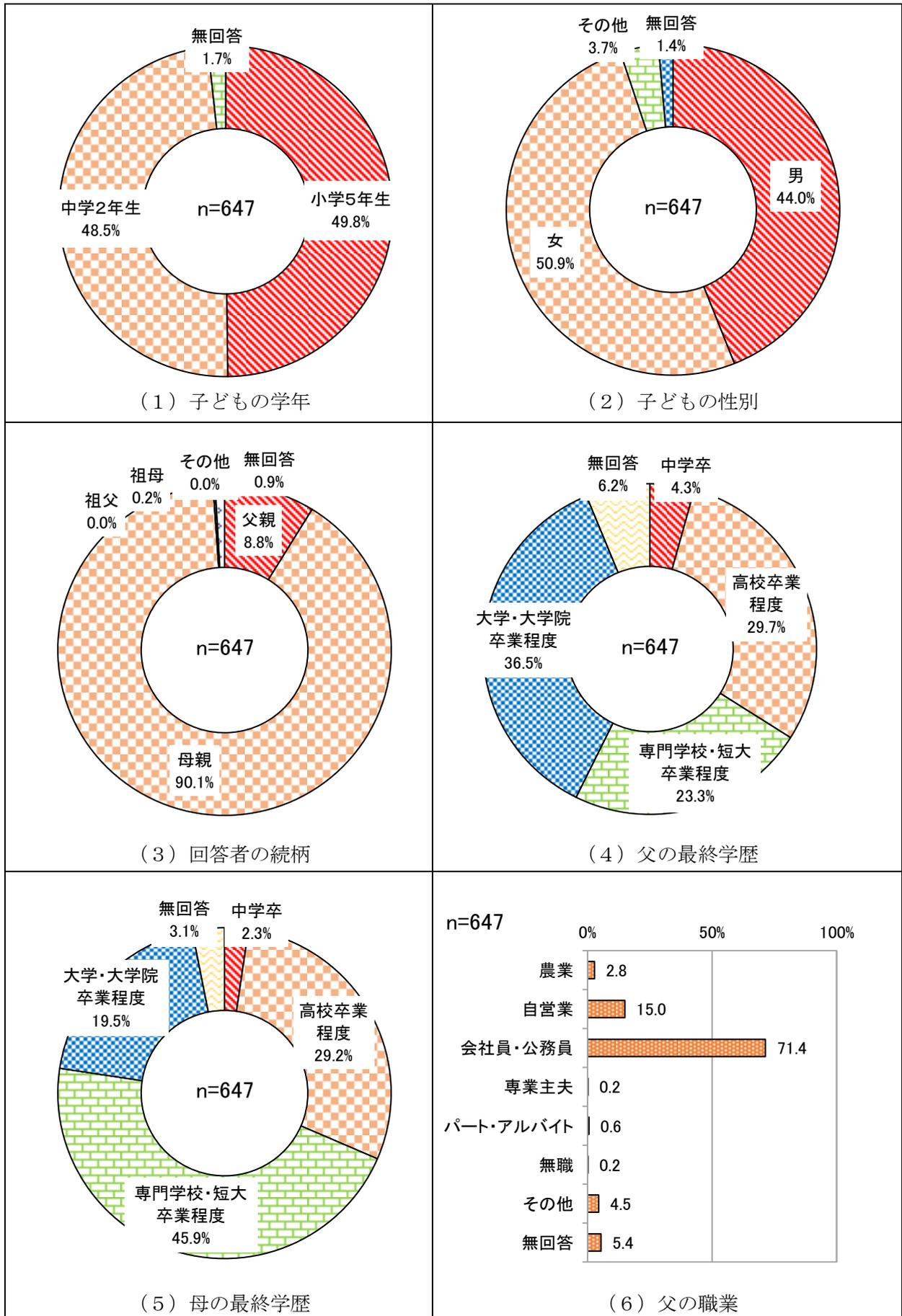
5 青年の属性

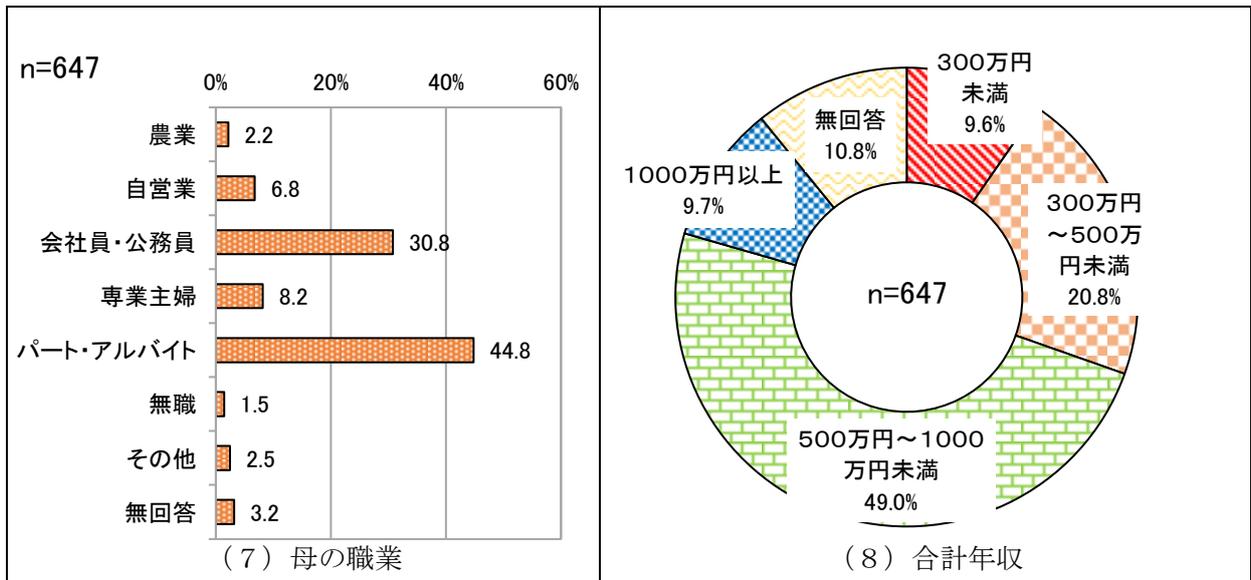


6 相談機関等利用者の最終学歴

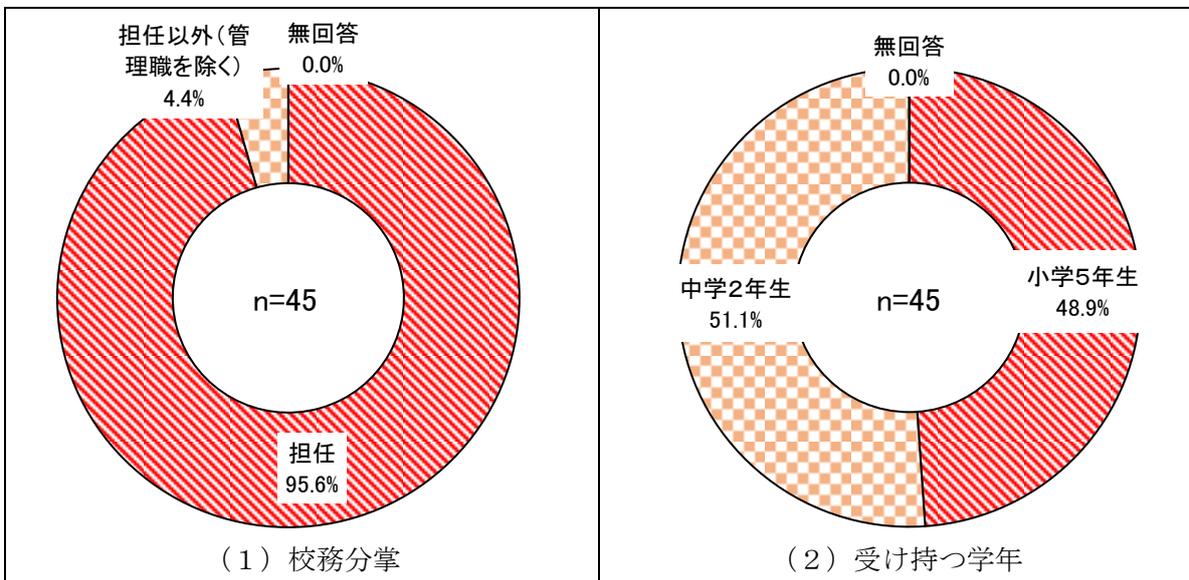


7 保護者の属性





8 教員の属性



### 第3章 調査項目別集計

#### 1 学校生活

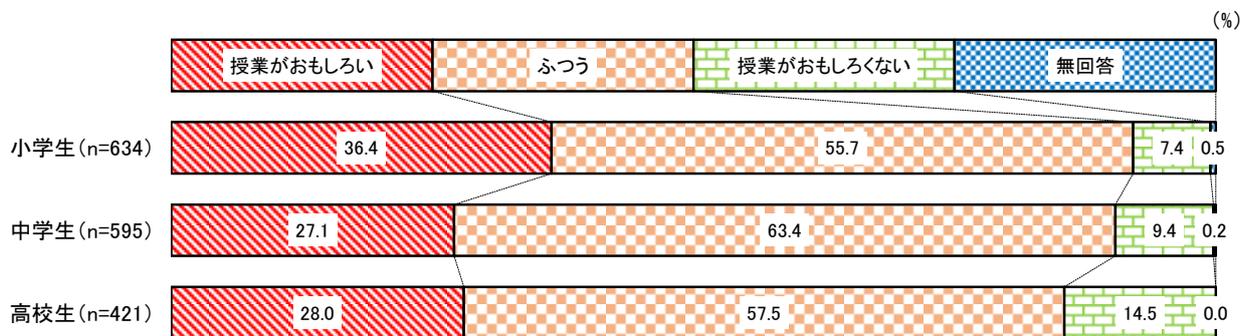
##### (1) クラスや学校の様子

##### ア. 授業のおもしろさ (小学生、中学生、高校生)

次のア～エについて、あなたのクラスや学校はAとBのどちらにあてはまりますか。1～3の中から、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○をつけてください。

	A	Aに近い	ふつう	Bに近い	B
ア	授業がおもしろい	1	2	3	授業がおもしろくない
イ	クラブや部活が楽しい	1	2	3	クラブや部活が楽しくない
ウ	楽しい学校行事が多い	1	2	3	楽しくない学校行事が多い
エ	いい友達や先輩にめぐまれている	1	2	3	いい友達や先輩がいない

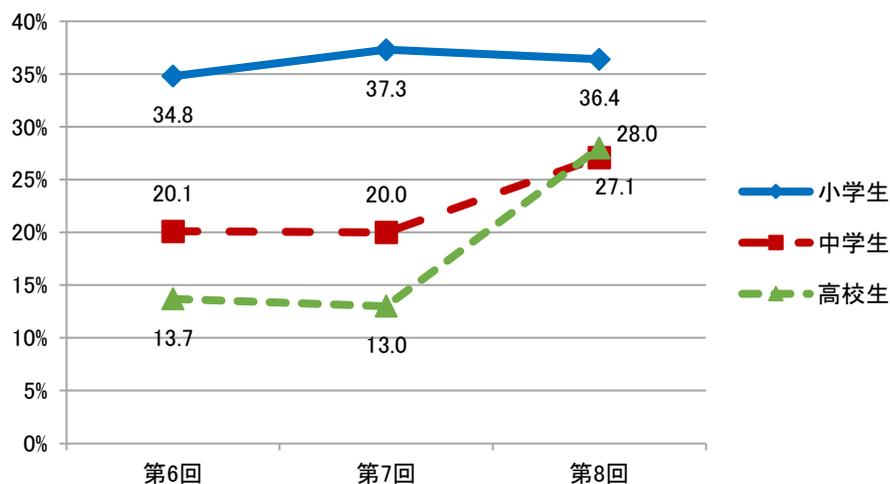
図 3. 1. 1



小学生、中学生、高校生に授業のおもしろさについて聞いたところ、どの学年も「ふつう」が最も多い結果となっています。また、中学生、高校生では「授業がおもしろい」の割合が減り、学年が上がるにつれて「授業がおもしろくない」の割合が増えています。

#### 過年度調査との比較

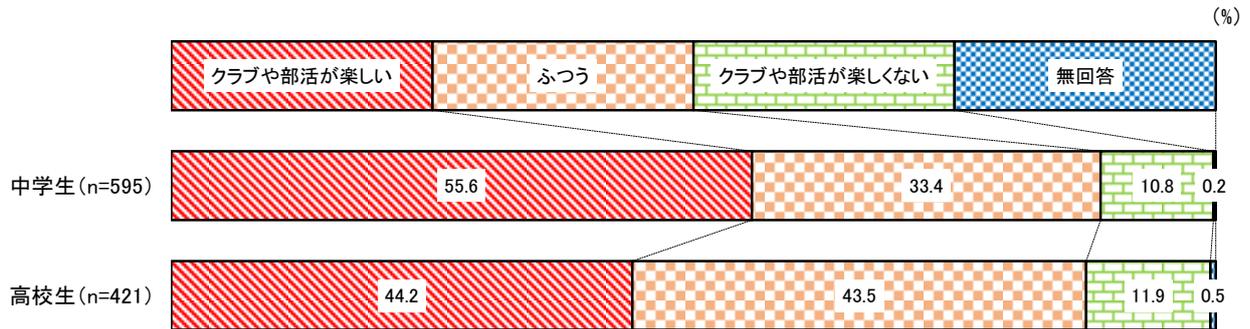
図 3. 1. 2 「授業がおもしろい」



第6回、第7回調査結果と「授業がおもしろい」の割合を比較してみると、小学生はほぼ同率である一方で、中学生、高校生は増加していることがわかりました。

イ. クラブや部活の楽しさ (中学生、高校生)

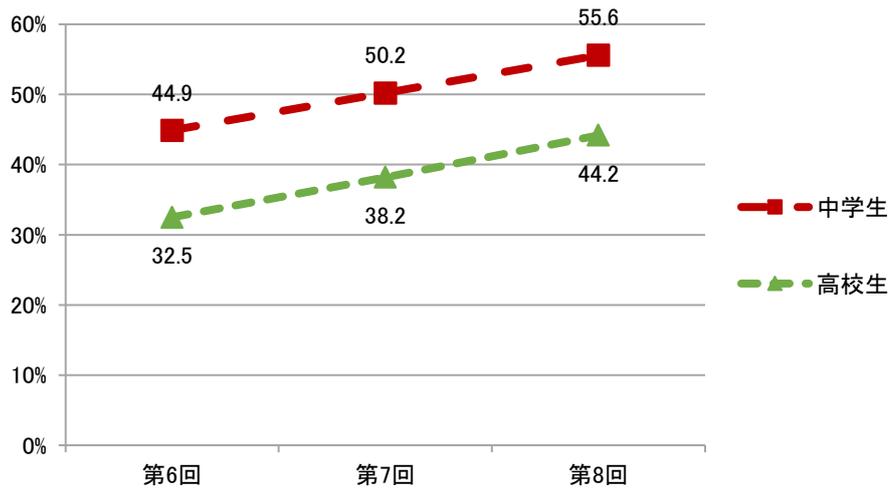
図 3. 1. 3



中学生、高校生にクラブ活動や部活動の楽しさについて聞いたところ、中学生では55.6%、高校生では44.2%が「クラブや部活が楽しい」と回答しています。中学生に比べると、高校生では「ふつう」「クラブや部活が楽しくない」の割合が高くなっています。

過年度調査との比較

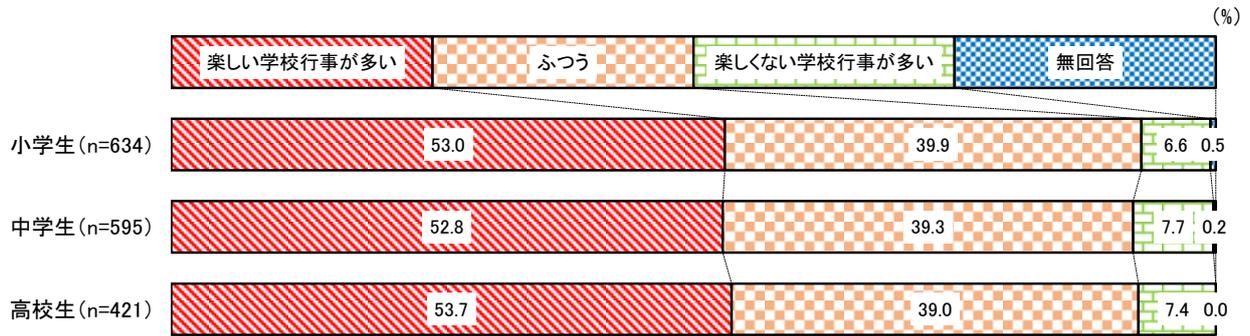
図 3. 1. 4 「クラブや部活が楽しい」



第6回、第7回調査と比較すると、「クラブや部活が楽しい」と回答した割合は、増加傾向にあります。

ウ. 学校行事の楽しさ (小学生、中学生、高校生)

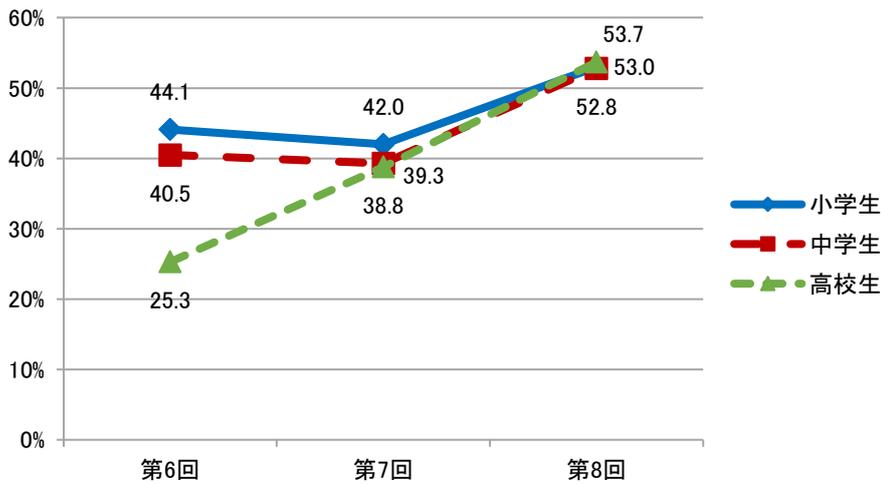
図 3. 1. 5



小学生、中学生、高校生に学校行事の楽しさについて聞いたところ、「楽しい学校行事が多い」と回答した人の割合は、小学生で 53.0%、中学生で 52.8%、高校生で 53.7%と、各年代ともに半分程度が回答しています。「ふつう」と回答した人の割合も各年代で同程度であり、4 割程度が回答しています。

過年度調査との比較

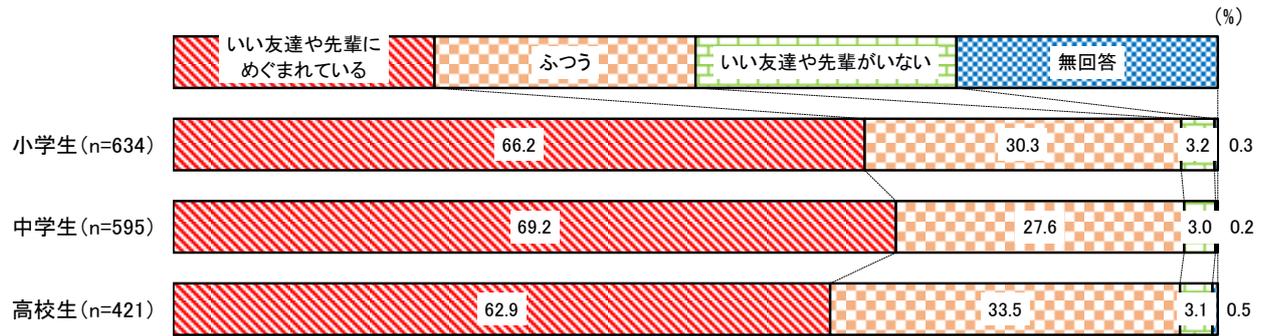
図 3. 1. 6 「楽しい学校行事が多い」



第6回、第7回調査と比較してみると、「楽しい学校行事が多い」と回答した割合は、増加しています。

エ. 友達や先輩（小学生、中学生、高校生）

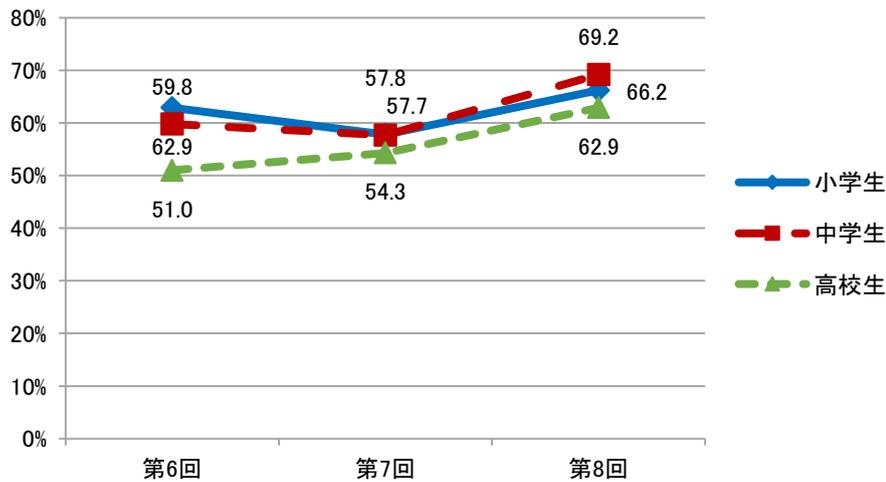
図 3. 1. 7



小学生、中学生、高校生に、「いい友達や先輩にめぐまれているか」を聞いたところ、小学生では66.2%、中学生では69.2%、高校生では62.9%と、各年代とも6割以上の方が「いい友達や先輩にめぐまれている」と回答しています。「ふつう」と回答した人の割合は、各年代で3割前後の人が回答しています。

過年度調査との比較

図 3. 1. 8 「いい友達や先輩にめぐまれている」



第6回、第7回調査と比較してみると、「いい友達や先輩にめぐまれている」と回答した人の割合は、増加しています。

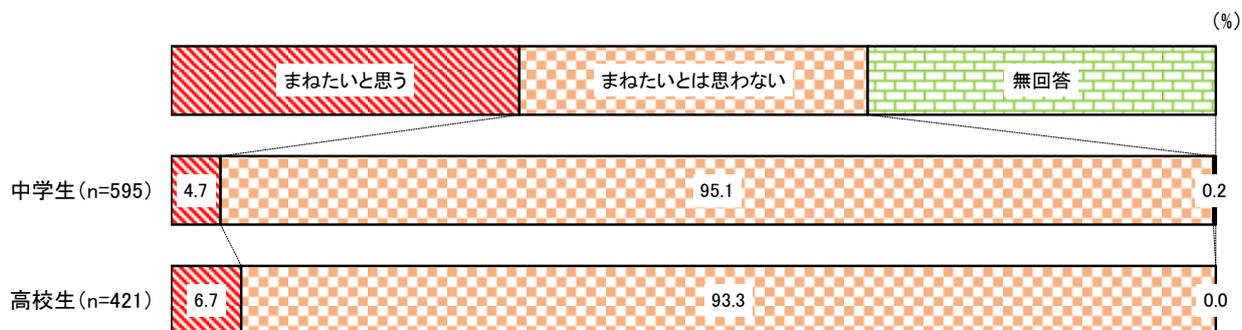
## (2) 友達や同級生への対応

## ア. 規則違反の服装で友達が登校した時（中学生、高校生）

学校の規則に違反する服装で友達が登校しました。その時、あなたならどうしますか。次の中からどちらか1つを選んでください。

1 まねたいと思う                                  2 まねたいとは思わない

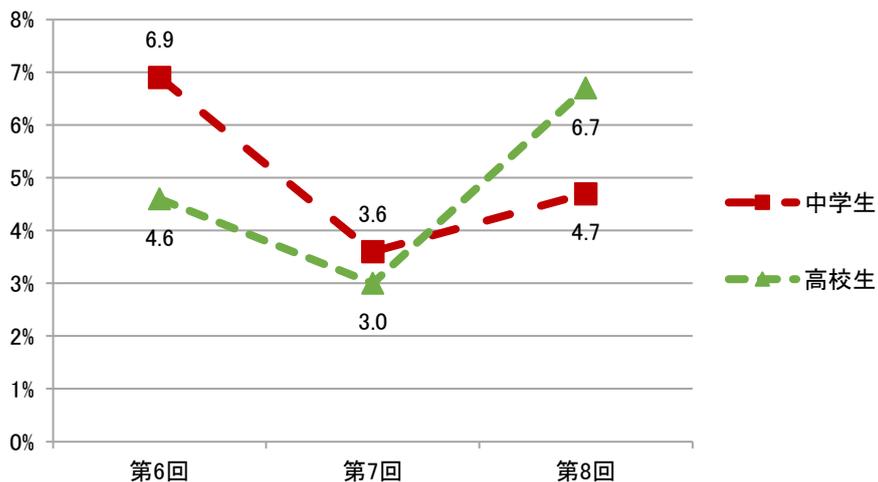
図 3. 1. 9



中学生、高校生に、学校の規則に違反する服装で友達が登校した場合について聞いたところ、「まねたいとは思わない」がそれぞれ 95.1%、93.3%と大半を占め、「まねたいと思う」はそれぞれ 4.7%、6.7%と1割未満になっています。

## 過年度調査との比較

図 3. 1. 10 「まねたいと思う」



第6回、第7回調査と比較すると、「まねたいと思う」と回答した人の割合は、第7回調査で減少していますが、第8回調査で増加しています。

イ. 気の合わない人の隣になった時（中学生、高校生）

学級の座席が気の合わない人のとなりになりました。その時、あなたならどうしますか。次の中からどちらか1つを選んでください。

- 1 何とか仲よくやっ払いこうとする      2 仲よくしていこうとは思わない

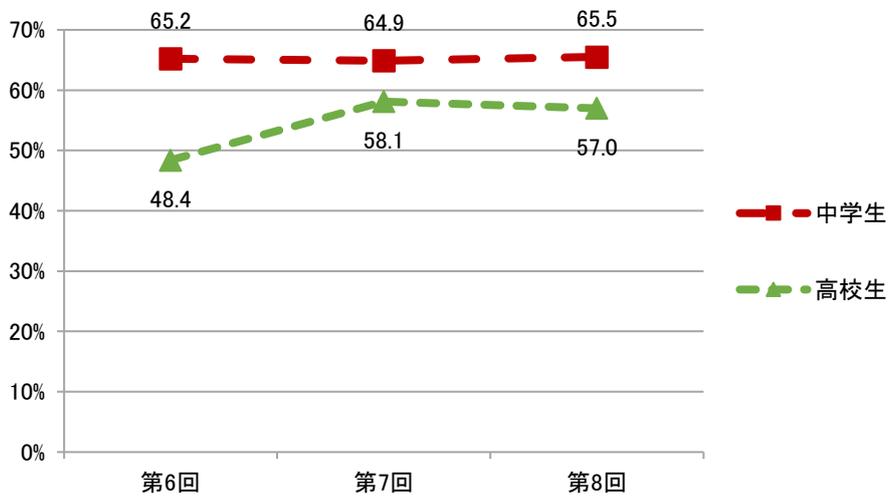
図 3. 1. 11



中学生、高校生に、学級の座席が気の合わない人の隣になった場合のことを聞いたところ、中学生では65.5%、高校生では57.0%と、それぞれ半分以上が「何とか仲よくやっ払いこうとする」と回答しており、「仲よくしようとは思わない」を上回っています。

過年度調査との比較

図 3. 1. 12 「何とか仲よくやっ払いこうとする」



第6回、第7回調査と比較してみると、「何とか仲よくやっ払いこうとする」と回答した人の割合は、第7回調査からほぼ横ばいとなっています。

(3) 勉強をする理由

ア. 勉強をする理由 (小学生)

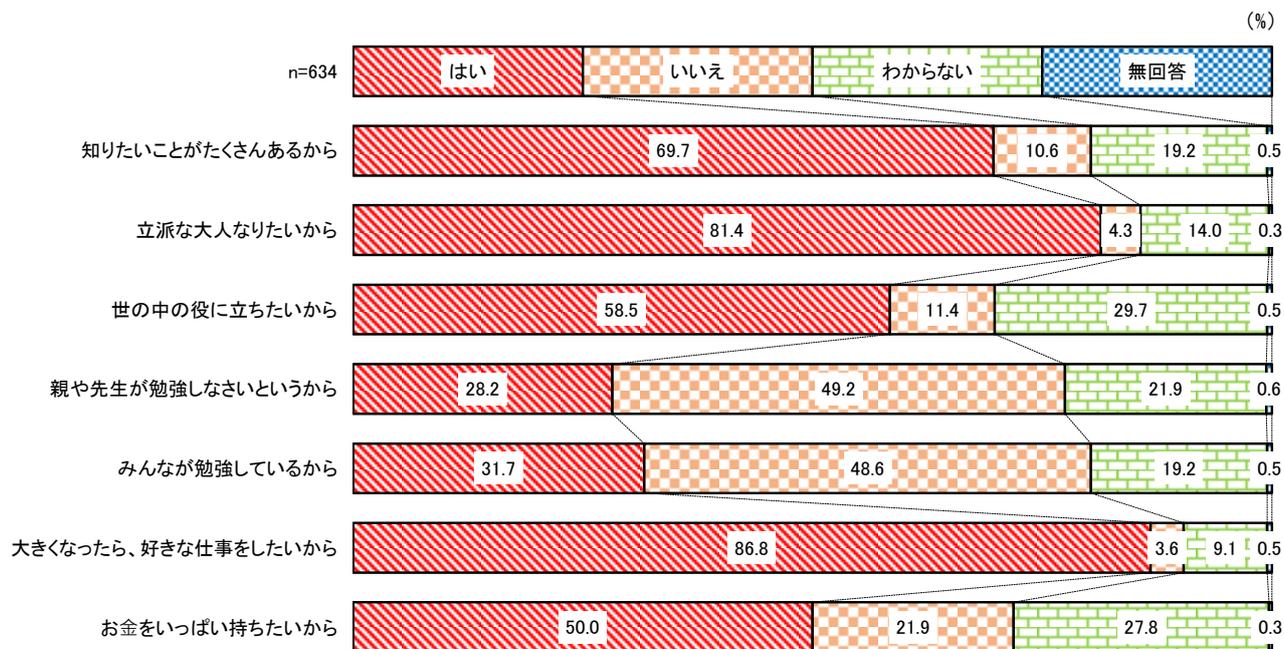
あなたは、どうしていろいろなことを学校で勉強するのでしょうか。あなたの考えにあてはまる場合は「はい」、あてはまらない場合は「いいえ」、どちらともいえない場合は「わからない」を選んで番号に○をつけてください。

ア 知りたいことがたくさんあるから  
 イ 立派な大人になりたいから  
 ウ 世の中の役に立ちたいから  
 エ 親や先生が勉強しなさいというから  
 オ みんな勉強しているから  
 カ 大きくなったら、好きな仕事をしたいから  
 キ お金をいっぱい持ちたいから

<ア~キそれぞれの選択肢>

1 はい                                      2 いいえ                                      3 わからない

図 3. 1. 13

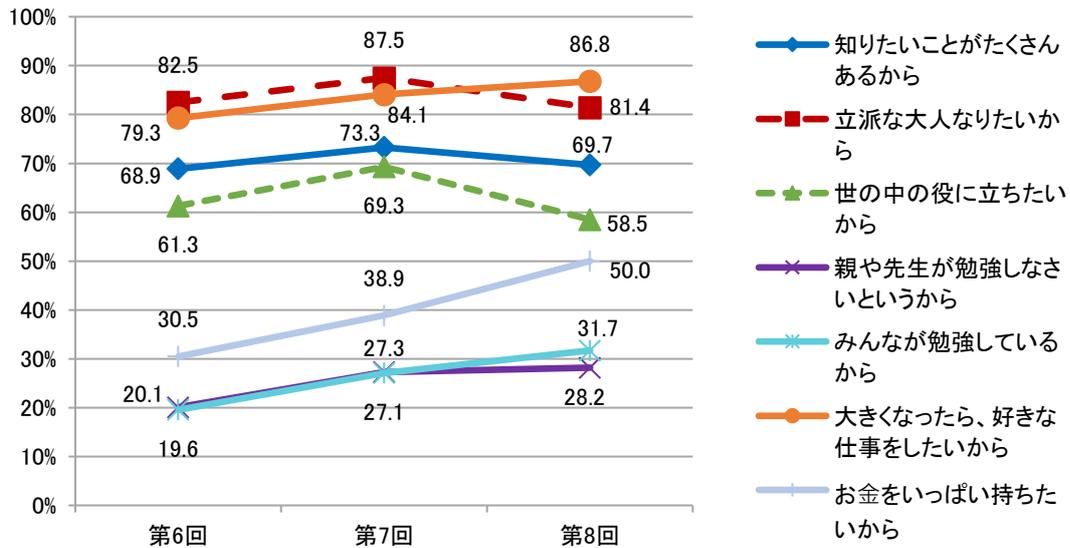


小学生に勉強をする理由を聞いたところ、「はい」の割合が最も高いのは、「大きくなったら、好きな仕事をしたいから」の86.8%で、次いで「立派な大人になりたいから」が81.4%、「知りたいことがたくさんあるから」が69.7%、「世の中の役に立ちたいから」が58.5%と続いています。

「いいえ」の割合が最も高いのは、「親や先生が勉強しなさいというから」の49.2%で、次いで「みんなが勉強しているから」が48.6%と続いています。

過年度調査との比較

図 3. 1. 14



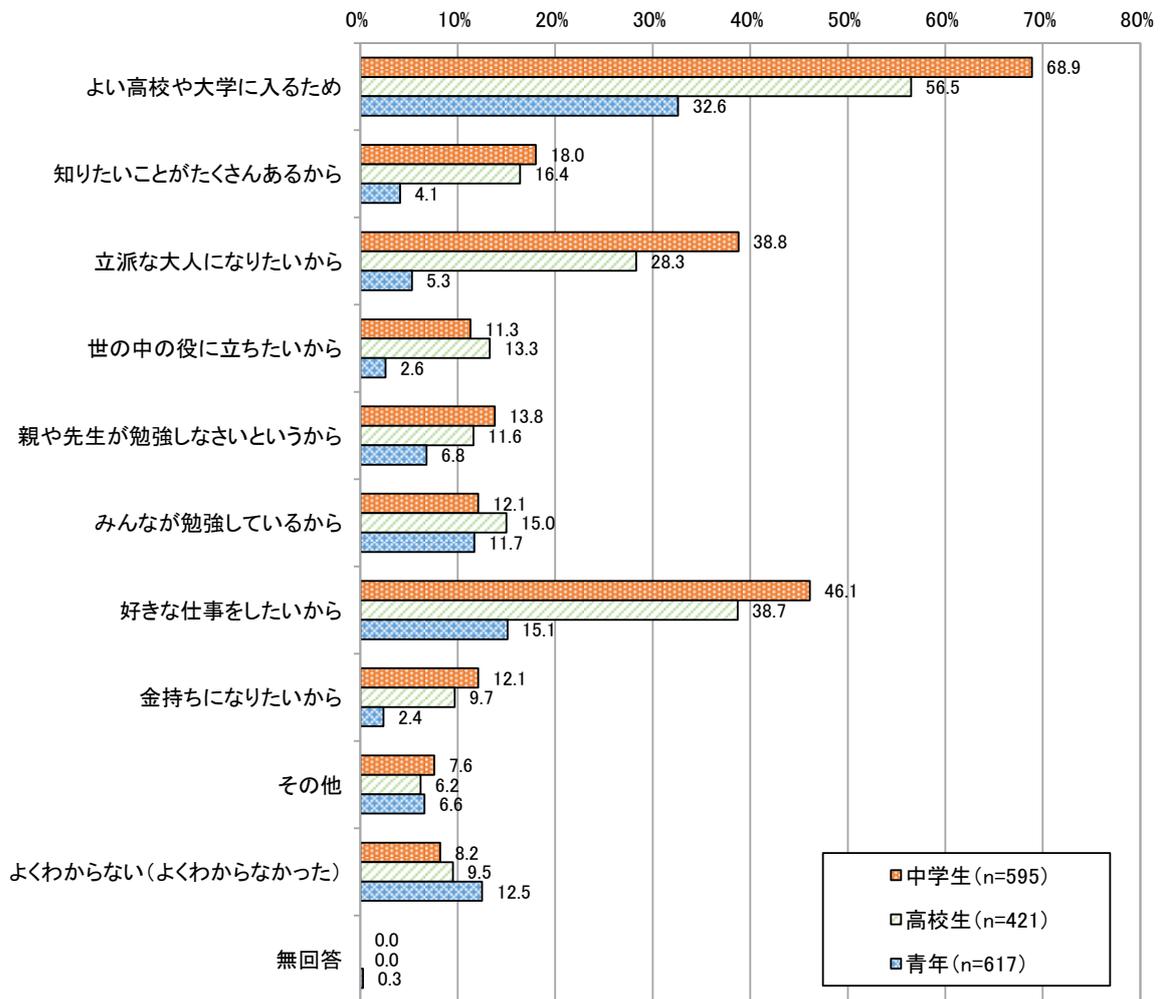
第6回、第7回調査との比較では、「知りたいことがたくさんあるから」、「立派な大人になりたいから」、「世の中の役に立ちたいから」の割合が減少している一方で、「お金をいっぱい持ちたいから」は、第6回調査の30.5%、第7回調査の38.9%から、今回調査の50.0%へと大きく増加しています。

イ. 勉強をする理由（中学生、高校生、青年）

あなたは、何のために学校にきて勉強しているのだと思いますか。次の中から3つ以内で番号に○をつけてください。（青年：中学生や高校生の時、何のために勉強していましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。）

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 1 よい高校や大学に入るため           | 2 知りたいことがたくさんあるから |
| 3 立派な大人になりたいから           | 4 世の中の役に立ちたいから    |
| 5 親や先生が勉強しなさいというから       | 6 みんなが勉強しているから    |
| 7 好きな仕事をしたいから            | 8 金持ちになりたいから      |
| 9 その他（                   | ）                 |
| 10 よくわからない（青年：よくわからなかった） |                   |

図 3. 1. 15



中学生、高校生に、学校で勉強をする理由について聞いたところ、中学生、高校生ともに「よい高校や大学に入るため」が68.9%、56.5%で最も多く、次いで「好きな仕事をしたいから」が46.1%、38.7%、「立派な大人になりたいから」が38.8%、28.3%と続いています。

青年に、中学生や高校生の時に勉強をした理由を聞いたところ、「よい高校や大学に入るため」が32.6%で最も多く、次いで「好きな仕事をしたいから」(15.1%)、「よくわからなかった」(12.5%)、「みんなが勉強しているから」(11.7%)と続いています。

過年度調査との比較

図 3. 1. 16 「よい高校や大学に入るため」

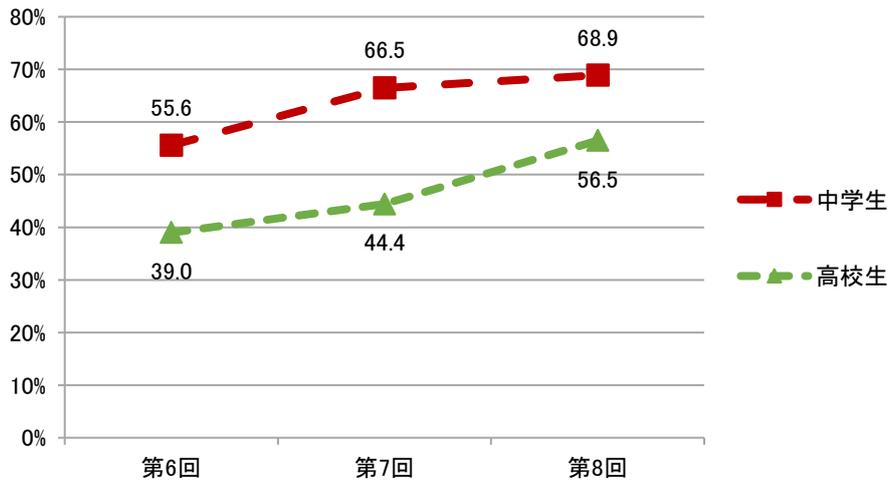


図 3. 1. 17 「立派な大人になりたいから」

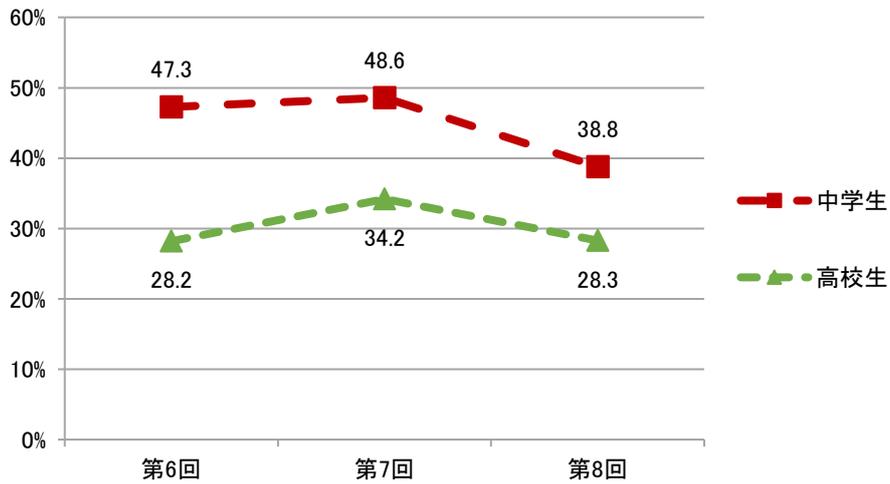
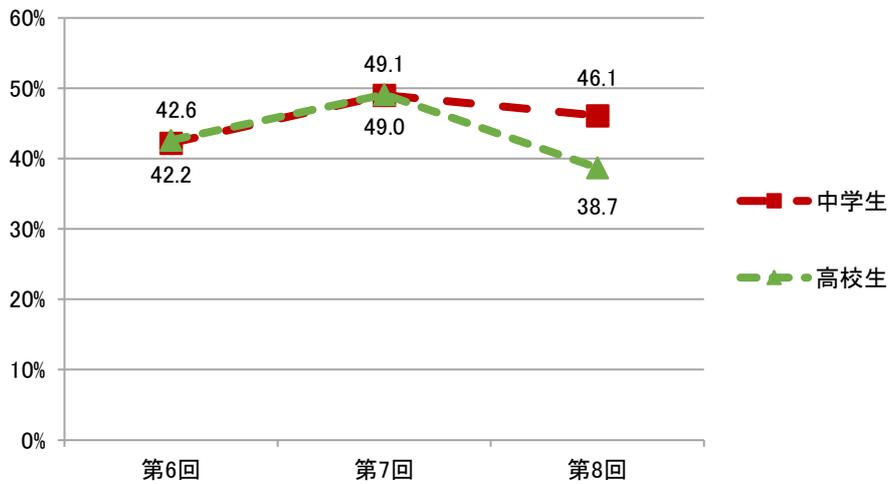


図 3. 1. 18 「好きな仕事をしたいから」



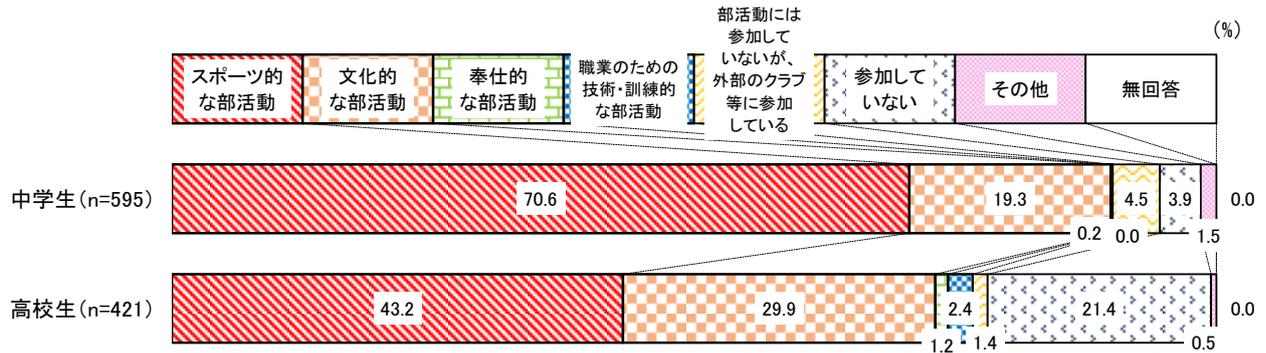
第6回、第7回調査と比較すると、上位3項目では「よい高校や大学に入るため」が中学生、高校生の両方で増加しており、特に高校生では、第7回調査の44.4%から56.5%と約12ポイント増加しています。一方、「立派な大人になりたいから」、「好きな仕事をしたいから」は減少しています。

(4) 部活動への参加 (中学生、高校生)

あなたは現在、学校でどんな部活動、または学校外のクラブ等に参加していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 スポーツ的な部活動                      2 文化的な部活動  
 3 奉仕的な部活動                      4 職業のための技術・訓練的な部活動  
 5 部活動には参加していないが、外部のクラブ等に参加している  
 6 参加していない  
 7 その他 ( )

図 3. 1. 19



中学生、高校生に、学校での部活動や学校外のクラブ活動への参加状況について聞いたところ、「スポーツ的な部活動」が中学生では70.6%、高校生では43.2%でいずれも最多となっています。「文化的な部活動」は中学生で19.3%、高校生で29.9%となっています。

中学生と高校生では、「参加していない」の割合が大きく異なり、中学生では3.9%と、ほぼ全員が何らかの部活動やクラブ活動に参加している状況ですが、高校生で21.4%となっています。また、「部活動には参加していないが、外部のクラブ等に参加している」は、中学生の4.5%が回答しています。

過年度調査との比較

図 3. 1. 20 「スポーツ的な部活動」

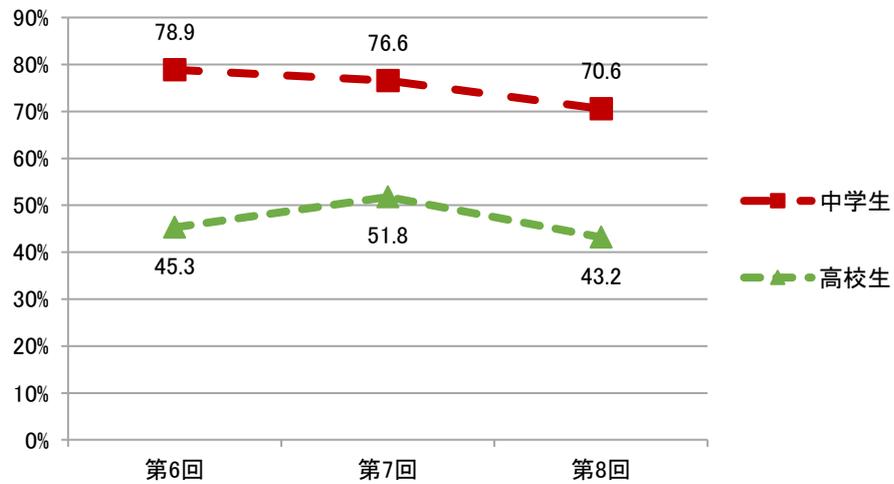
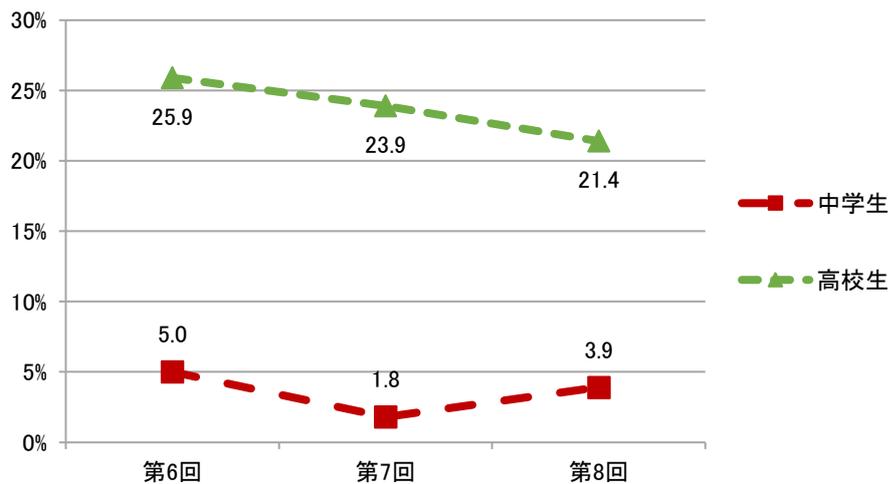


図 3. 1. 21 「参加していない」



第6回、第7回調査と比較すると、「スポーツ的な部活動」が中学生では減少傾向にあります。高校生でも第8回調査では減少し、第6回を下回っています。

ただし、高校生では「スポーツ的な部活動」は減少していますが、「参加していない」の回答割合は減少傾向にあることを考慮すると、他の「文化的な部活動」等への参加が増加し、部活動に取り組む生徒自体の割合は、大きく減少していないと考えられます。

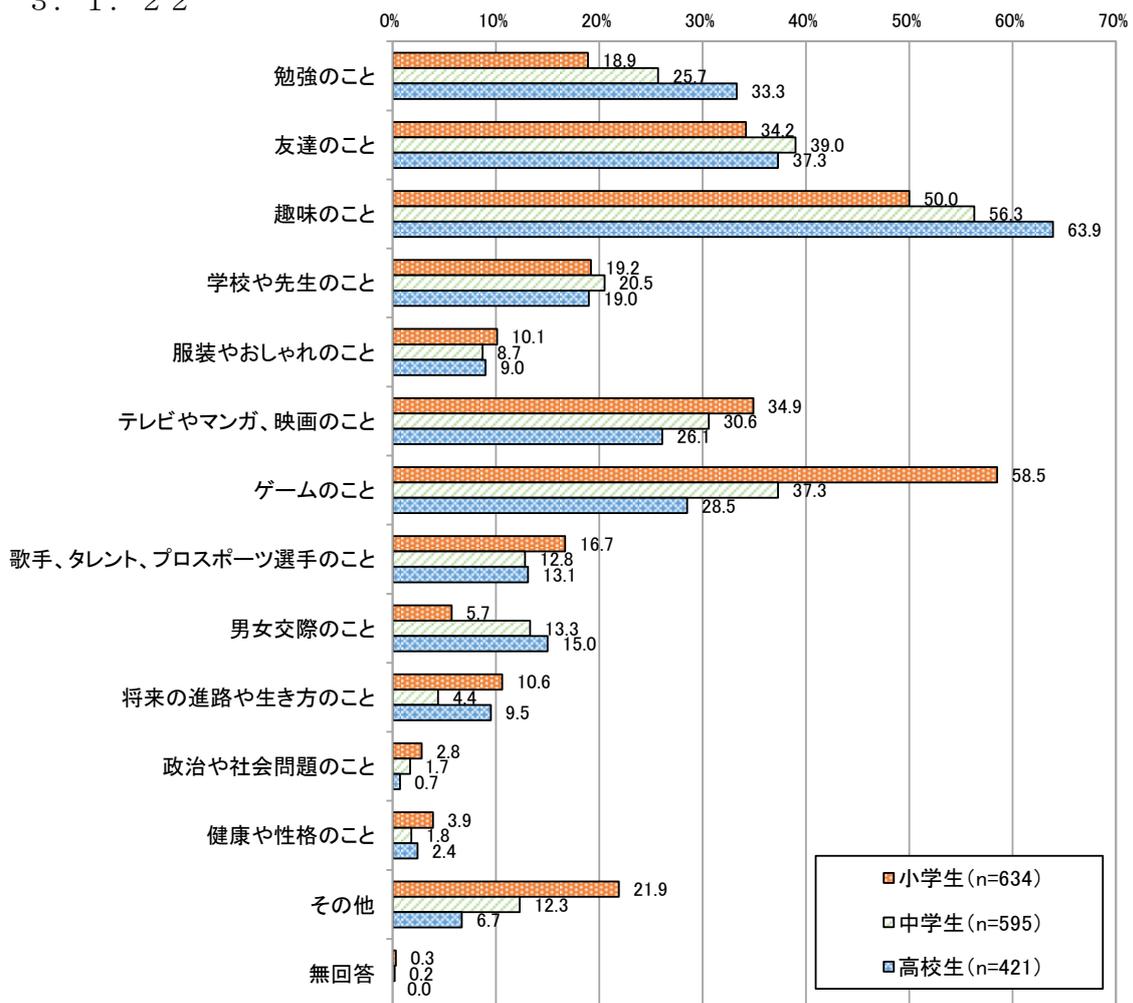
(5) 友人関係

ア. 友達との会話の内容 (小学生、中学生、高校生)

あなたは、友達と、いつもどんなことを話していますか。次の中から3つ以内で番号に○をつけてください。

1 勉強のこと	2 友達のこと	3 趣味のこと
4 学校や先生のこと	5 服装やおしゃれのこと	6 テレビやマンガ、映画のこと
7 ゲームのこと	8 歌手、タレント、プロスポーツ選手のこと	
9 男女交際のこと	10 将来の進路や生き方のこと	11 政治や社会問題のこと
12 健康や性格のこと	13 その他	

図 3. 1. 2 2



小学生、中学生、高校生に、友達との会話の内容について聞いたところ、小学生では「ゲームこと」が 58.5%と最も多く、次いで「趣味のこと」(50.0%)、「テレビやマンガ、映画のこと」(34.9%)と続いています。

中学生、高校生では、「趣味のこと」が 56.3%、63.9%で最も多く、次いで「友達のこと」(39.0%、37.3%)、中学生では「ゲームのこと」(37.3%)、高校生では「勉強のこと」(33.3%)と続いています。

過年度調査との比較

図 3. 1. 23 「勉強のこと」

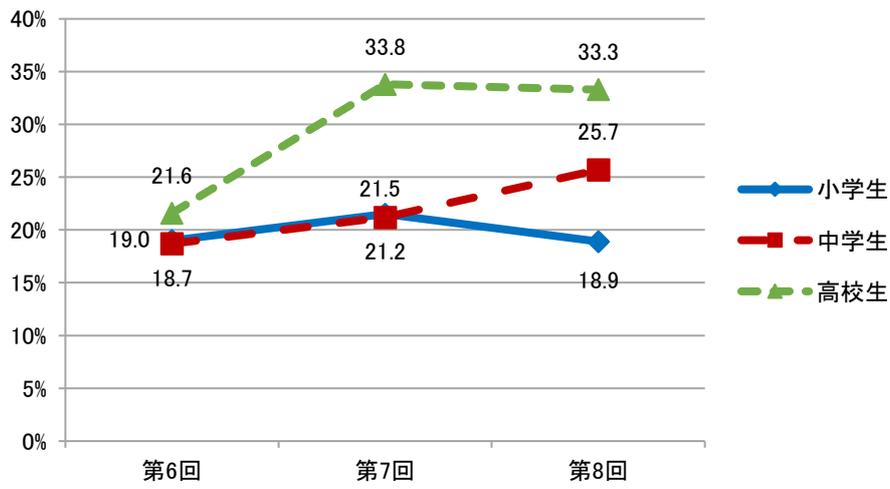


図 3. 1. 24 「テレビやマンガ、映画のこと」

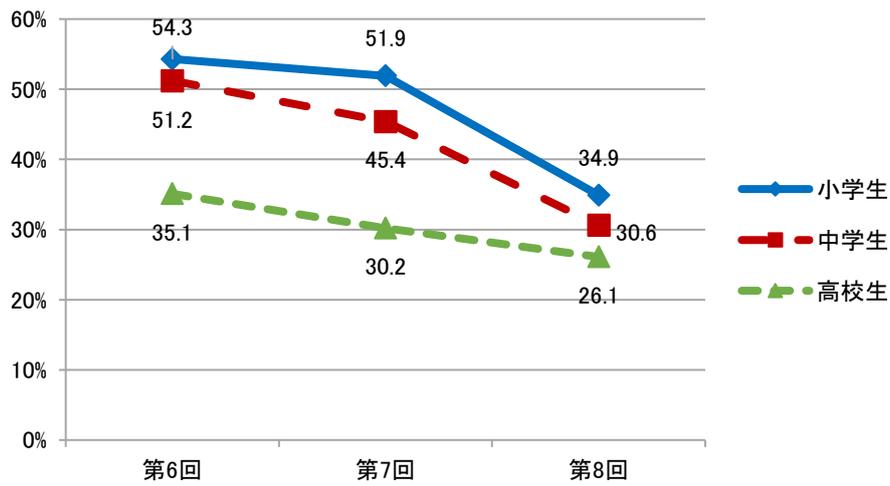


図 3. 1. 25 「ゲームのこと」

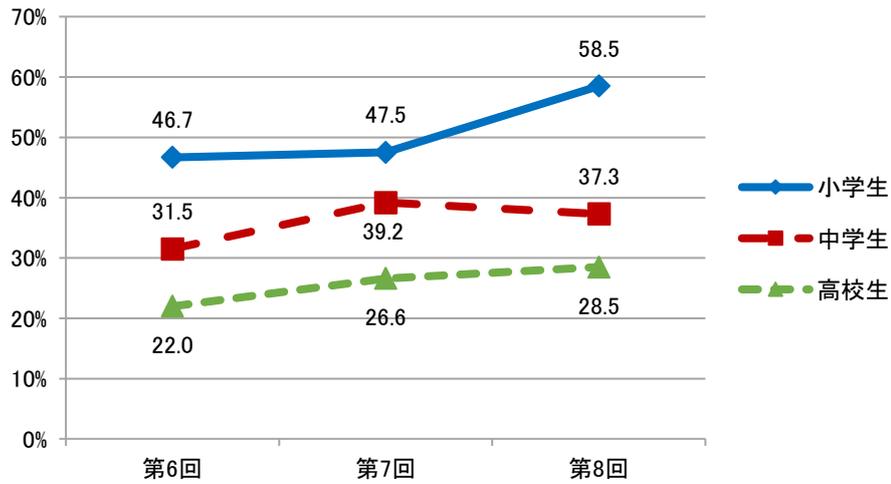
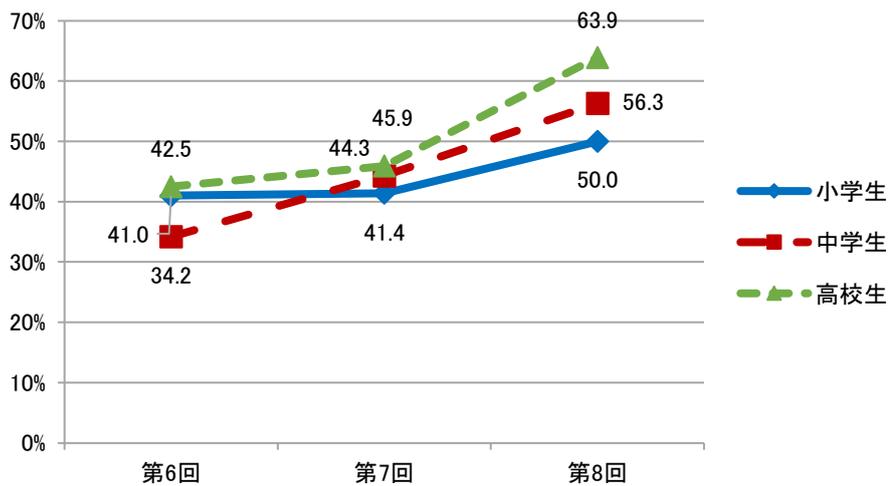


図 3. 1. 26 「趣味のこと」



第6回、第7回調査と比較してみると、「テレビやマンガ、映画のこと」は一貫して、各年代で減少傾向にありますが、「趣味のこと」が今回調査では各年代で大きく増加しています。

また、各年代で増加が目立つ項目として、小学生の「ゲームのこと」、中学生の「勉強のこと」が挙げられます。

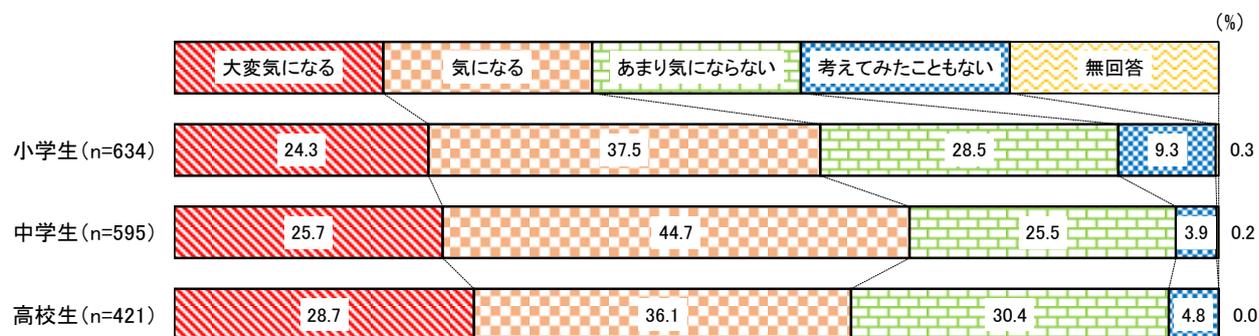


## ウ. 友達や周囲の人にどう思われているか気になるか（小学生、中学生、高校生）

あなたは、自分が友達や周囲の人にどう思われているか気になりますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 大変気になる    | 2 気になる       |
| 3 あまり気にならない | 4 考えてみたこともない |

図 3. 1. 29



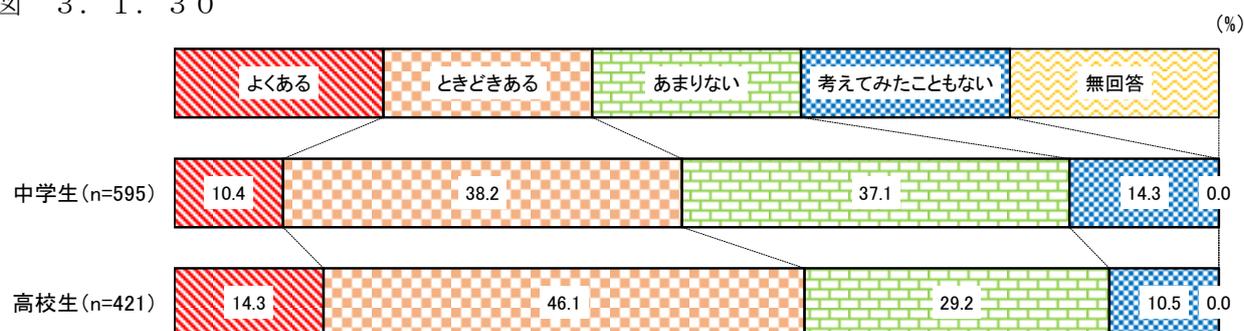
小学生、中学生、高校生に、友達や周囲の人にどう思われているか気になるかを聞いたところ、「大変気になる」と「気になる」を合わせた割合は、小学生で 61.8%、中学生で 70.4%、高校生で 64.8%と、各年代ともに6割以上となっています。

## エ. 友達や他の人と一緒にいる時に無理をしているか（中学生、高校生）

あなたは、友達や他の人と一緒にいる時に自分が無理をしていると感じることがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |         |              |
|---------|--------------|
| 1 よくある  | 2 ときどきある     |
| 3 あまりない | 4 考えてみたこともない |

図 3. 1. 30



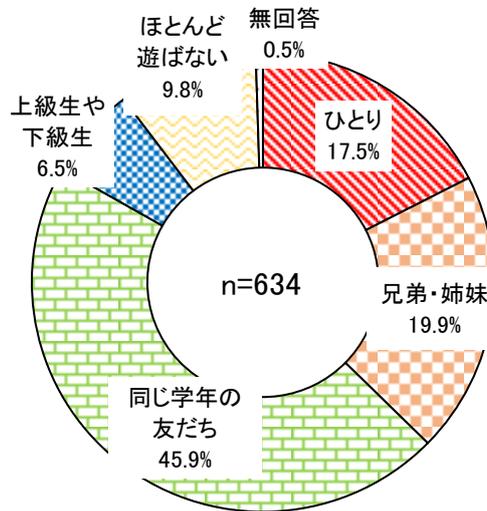
中学生、高校生に、友達や他の人と一緒にいる時に無理をしているかを聞いたところ、「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合では、中学生で 48.6%、高校生で 60.4%と、両年代ともに半分近くが、無理をしていると感じることがあると回答しています。

オ. 放課後一番よく遊ぶ人（小学生）

あなたは放課後、だれと一番よく遊んでいますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 ひとり	2 兄弟・姉妹	3 同じ学年の友だち
4 上級生や下級生	5 ほとんど遊ばない	

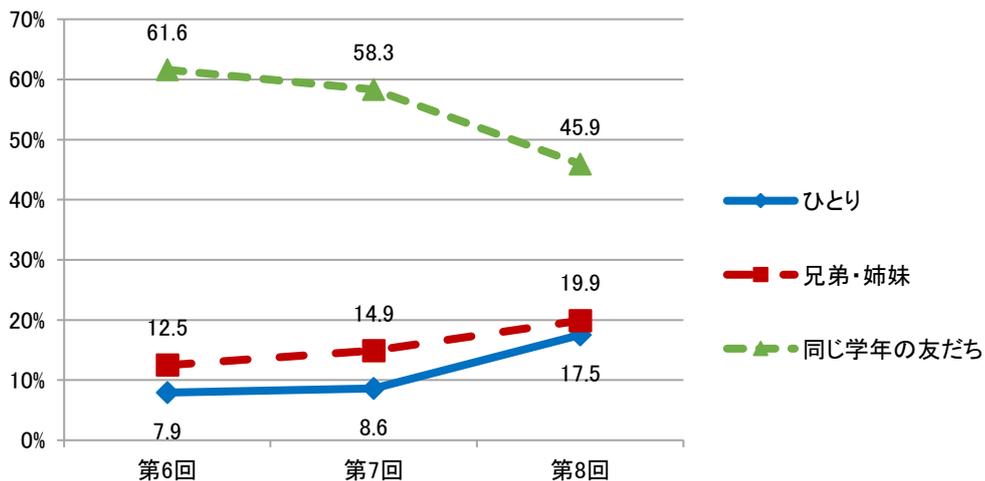
図 3. 1. 3 1



小学生に、放課後に一番よく遊ぶ人を聞いたところ、「同じ学年の友だち」が 45.9%で最も多く、次いで「兄弟・姉妹」(19.9%)、「ひとり」(17.5%)と続いています。

過年度調査との比較

図 3. 1. 3 2



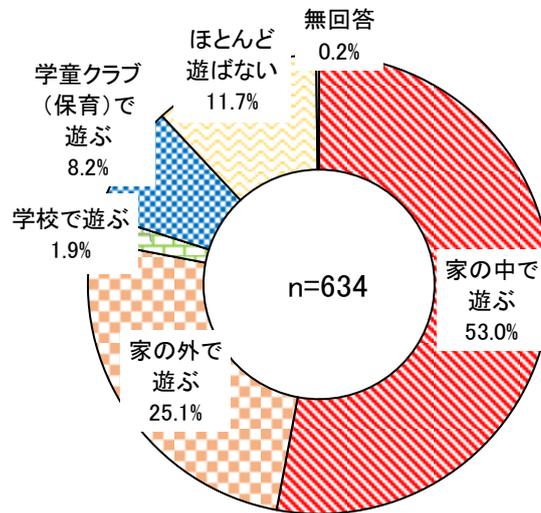
第6回、第7回調査と比較してみると、「同じ学年の友だち」の回答割合は減少傾向にありますが、「兄弟・姉妹」、「ひとり」の回答割合は増加傾向にあります。

カ. 放課後遊ぶ場所（小学生）

あなたは、放課後、どこで遊ぶことが多いですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                |            |         |
|----------------|------------|---------|
| 1 家の中で遊ぶ       | 2 家の外で遊ぶ   | 3 学校で遊ぶ |
| 4 学童クラブ（保育）で遊ぶ | 5 ほとんど遊ばない |         |

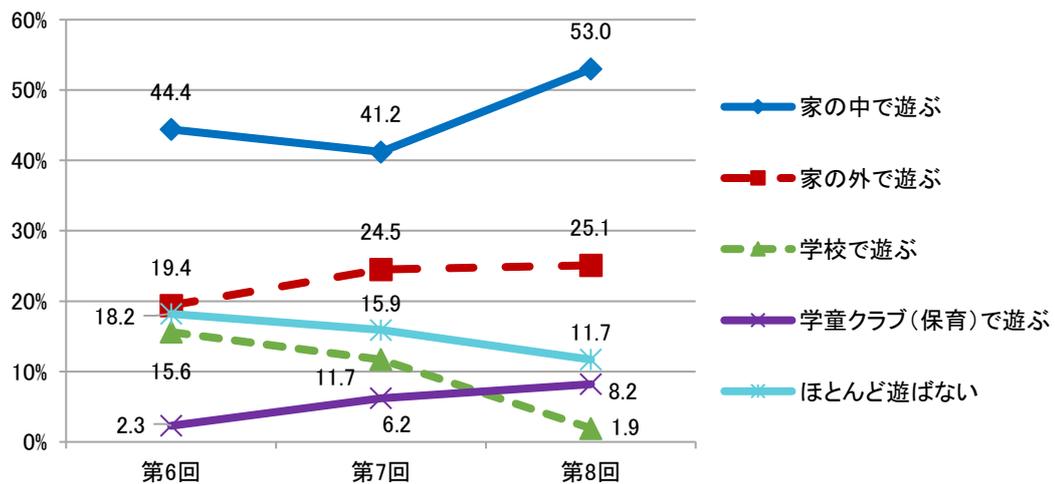
図 3. 1. 3 3



小学生に、放課後遊ぶことが多い場所を聞いたところ、「家の中で遊ぶ」が 53.0%で最も多く、次いで「家の外で遊ぶ」が 25.1%、「ほとんど遊ばない」が 11.7%と続いています。

過年度調査との比較

図 3. 1. 3 4



第6回、第7回調査と比較してみると、「家の中で遊ぶ」は第7回調査の 41.2%から 10 ポイント以上増加しています。一方で、「学校で遊ぶ」は減少傾向にあります。

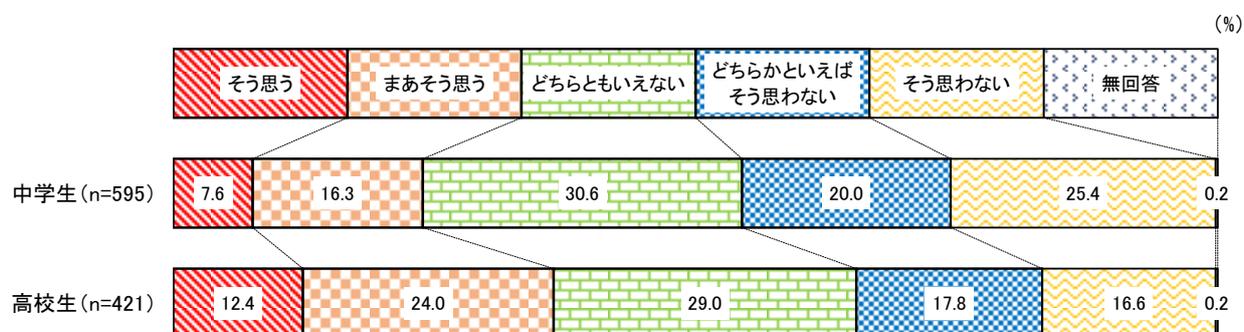


ク. 人間関係を深めていくこと（中学生、高校生）

あなたは、他人との人間関係を深めていくことについて面倒だとおもいますか。次の中から1つを選んでください。

1 そう思う                      2 まあそう思う                      3 どちらともいえない  
 4 どちらかといえばそう思わない                      5 そう思わない

図 3. 1. 3 6



中学生、高校生に、他人との人間関係を深めていくことについて面倒だと思うか聞いたところ、「そう思う」、「まあそう思う」と回答した割合は、中学生が23.9%、高校生が36.4%となっています。高校生では、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した割合（34.4%）を上回っています。

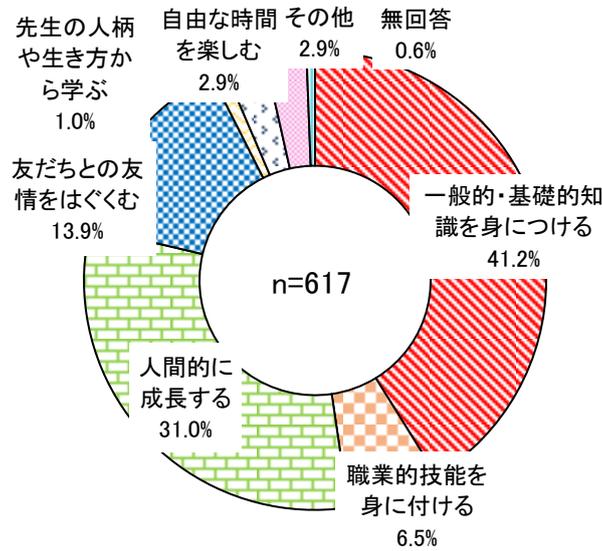


(8) 学校生活の意義 (青年)

学校生活の意義について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 一般的・基礎的知識を身につける	2 職業的スキルを身につける
3 人間的に成長する	4 友達との友情をはぐくむ
5 先生の人柄や生き方から学ぶ	6 自由な時間を楽しむ
7 その他 (	)

図 3. 1. 3 9



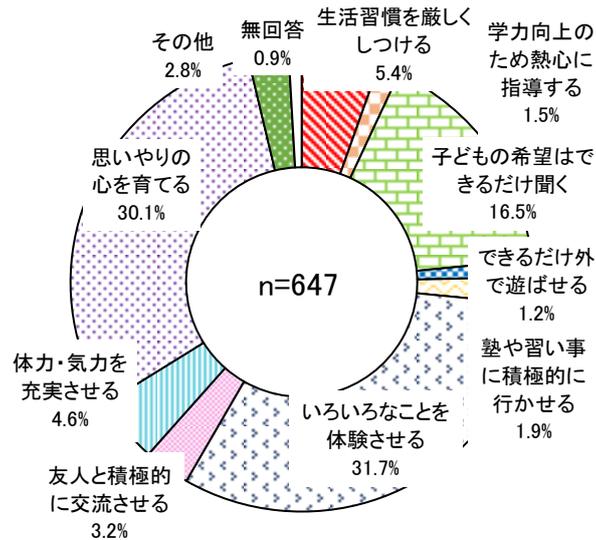
青年に、学校生活の意義について聞いたところ、「一般的・基礎的知識を身につける」が 41.2%と最も多く、次いで「人間的に成長する」が 31.0%、「友達との友情をはぐくむ」が 13.9%、「職業的スキルを身につける」が 6.5%と続いています。

(9) 教育方針（保護者）

次の中からあなたの教育方針を1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1 生活習慣を厳しくしつける   | 2 学力向上のため熱心に指導する |
| 3 子どもの希望はできるだけ聞く | 4 できるだけ外で遊ばせる    |
| 5 塾や習い事に積極的に行かせる | 6 いろいろなことを体験させる  |
| 7 友人と積極的に交流させる   | 8 体力・気力を充実させる    |
| 9 思いやりの心を育てる     |                  |
| 10 その他 ( )       |                  |

図 3. 1. 4 0



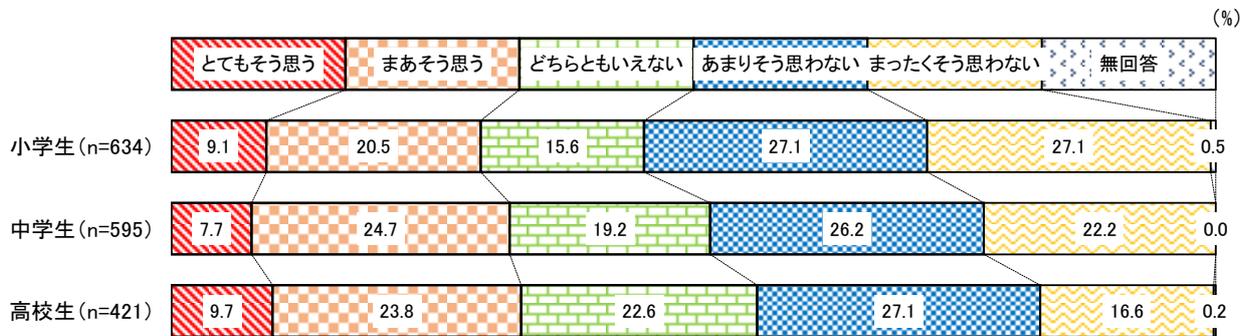
保護者に、教育方針について聞いたところ、「いろいろなことを体験させる」が 31.7%、「思いやりの心を育てる」が 30.1%と多く、この2つで約6割を占めています。次いで多いのは、「子どもの希望はできるだけ聞く」(16.5%)、「生活習慣を厳しくしつける」(5.4%)、「体力・気力を充実させる」(4.6%)、「友人と積極的に交流させる」(3.2%) となっています。

(10) 新型コロナの影響

ア. 学校や友達との関係の変化 (小学生、中学生、高校生)

新型コロナの影響で、学校や友達との関係に変化がありましたか。次の中から1つを選んでください。  
 1 とてもそう思う                      2 まあそう思う                      3 どちらともいえない  
 4 あまりそう思わない                      5 まったくそう思わない

図 3. 1. 4 1

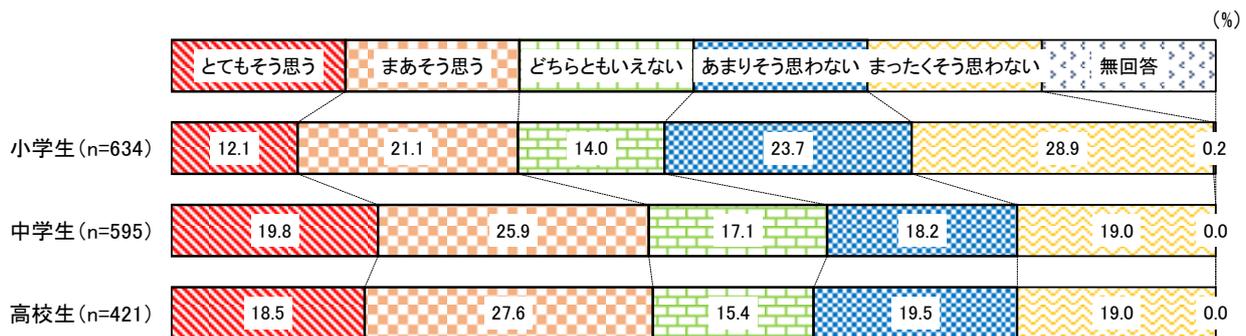


小学生、中学生、高校生に、新型コロナの影響で学校や友達との関係に変化があるか聞いたところ、「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した割合は、小学生が 29.6%、中学生が 32.4%、高校生が 33.5%となっています。学年が上がるほど影響度は高くなっています。

イ. 趣味や遊びの変化 (小学生、中学生、高校生)

新型コロナの影響で、趣味や遊びに変化がありましたか。次の中から1つを選んでください。  
 1 とてもそう思う                      2 まあそう思う                      3 どちらともいえない  
 4 あまりそう思わない                      5 まったくそう思わない

図 3. 1. 4 2



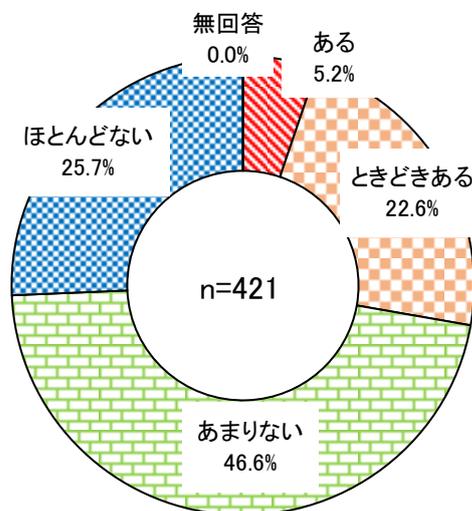
中学生、高校生に、新型コロナの影響で趣味や遊びに変化があるかを聞いたところ、「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した割合は、小学生が 33.2%、中学生が 45.7%、高校生が 46.1%となっています。学年が上がるほど影響度は高くなっています。

## (11) 学校運営への自身の意見の反映（高校生）

あなたは、学校運営に対して、自身の意見が反映されている実感がありますか。次の中から1つを選んでください。

- 1 ある            2 ときどきある            3 あまりない            4 ほとんどない

図 3. 1. 4 3



高校生に、学校運営に対して、自身の意見が反映されている実感があるか聞いたところ、「ある」、「ときどきある」と回答した割合は27.8%と、「あまりない」、「ほとんどない」と回答した割合（72.3%）を下回っています。

## 2 家庭生活・家庭教育

### (1) しつけについて

#### ア. あいさつや言葉づかいなど (小学生、中学生、高校生)

あなたは、家の人から次のことについて言われることがありますか。それぞれ1～3の中から1つを選んで番号に○をつけてください。

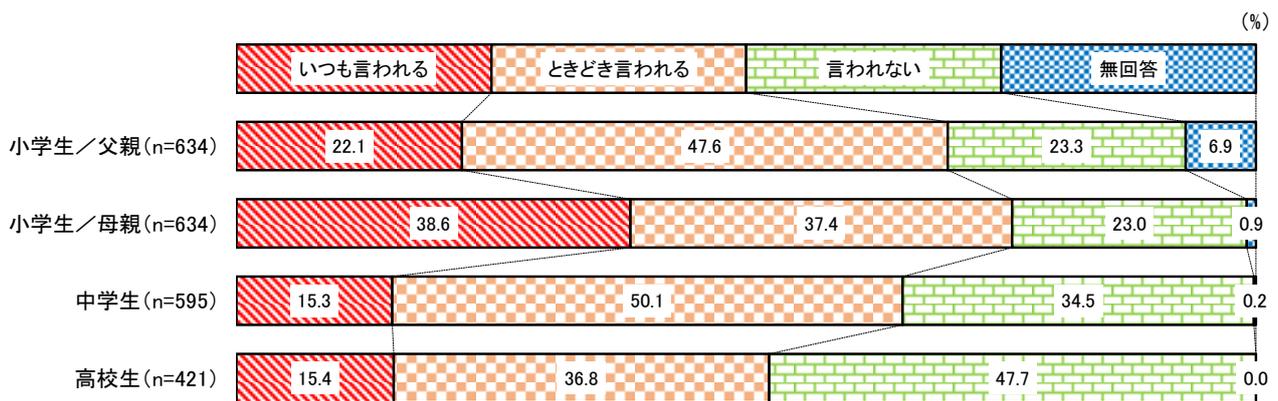
#### あいさつや言葉づかいなど

1 いつも言われる                      2 ときどき言われる                      3 言われない

※「小学生」には、父親と母親を分けて聴取

「小学生」の選択肢は、「1 はい」「2 いいえ」「3 どちらともいえない」

図 3. 2. 1

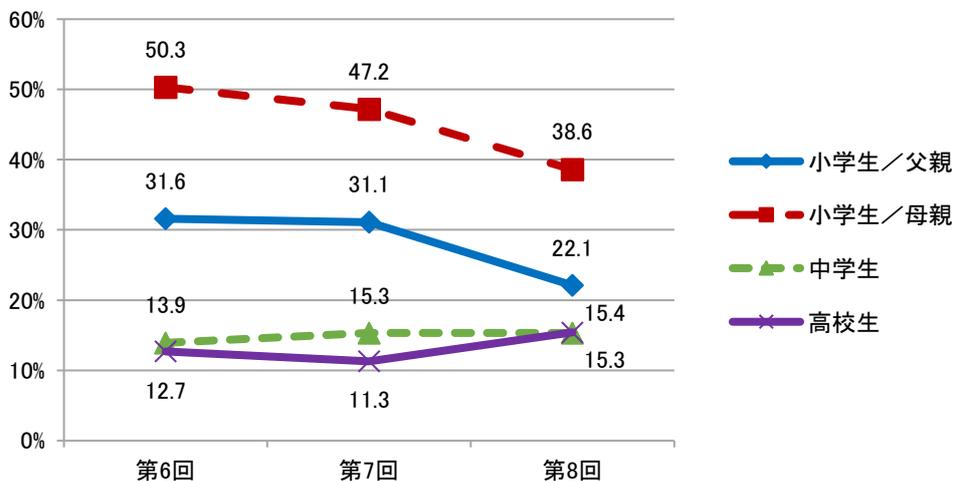


小学生、中学生、高校生に、あいさつや言葉づかいに関するしつけについて家の人からうるさく言われるかを聞いたところ、小学生の22.1%が父親から、38.6%が母親から「いつも言われる」と回答しています。中学生では15.3%、高校生では15.4%が「いつも言われる」と回答しており、小学生より中高生で割合が低くなっています。

「いつも言われる」「ときどき言われる」と回答した人の割合は、小学生の父親からでは計69.7%、小学生の母親からでは計76.0%、中学生では計65.4%、高校生では計52.2%となっています。

#### 過年度調査との比較

図 3. 2. 2 「いつも言われる」

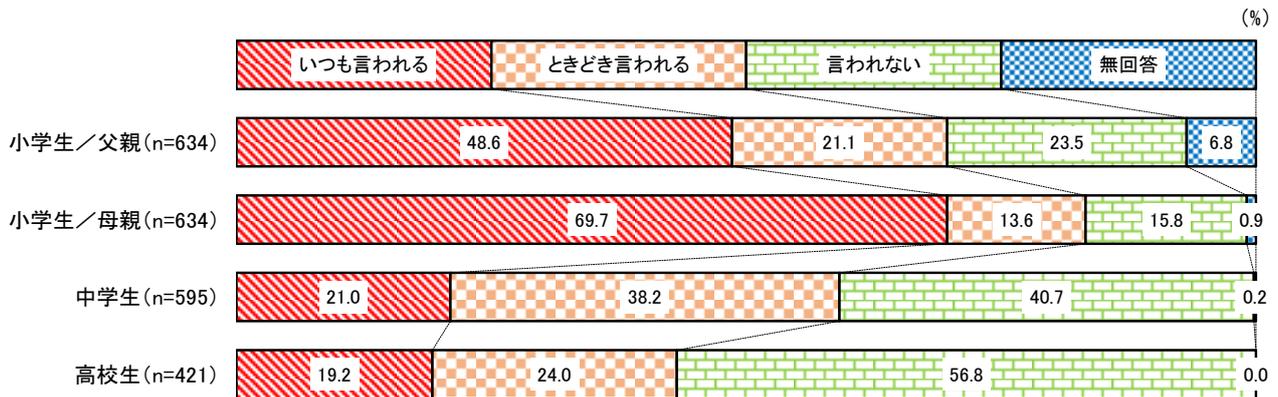


第6回、第7回調査と比較すると、「いつも言われる」の割合は小学生で減少しています。

イ. 人の集まる場所で迷惑をかけないようにする（小学生、中学生、高校生）

あなたは、家の人から次のことについて言われることがありますか。それぞれ1～3の中から1つを選んで番号に○をつけてください。  
電車や図書館など人の集まる場所で、人に迷惑をかけないようにすること  
 1 いつも言われる                      2 ときどき言われる                      3 言われない  
 ※「小学生」には、父親と母親を分けて聴取  
 「小学生」の選択肢は、「1 はい」「2 いいえ」「3 どちらともいえない」

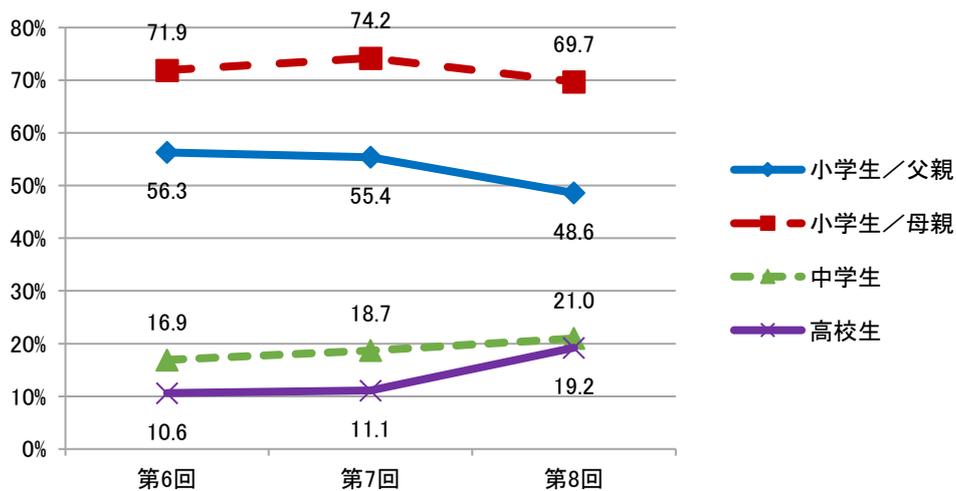
図 3. 2. 3



小学生、中学生、高校生に、人の集まる場所で迷惑をかけないように言われるかを聞いたところ、小学生では父親から48.6%、母親から69.7%が「いつも言われる」と回答しています。「いつも言われる」と回答した割合は学年が上がるにつれ低下し、中学生では21.0%、高校生では19.2%にとどまっています。

過年度調査との比較

図 3. 2. 4 「いつも言われる」



第6回、第7回調査と比較すると、「いつも言われる」の割合は、小学生では減少し、中学生、高校生では増加しています。

ウ. 老人や身体の不自由な人をいたわる (小学生、中学生、高校生)

あなたは、家の人から次のことについて言われることがありますか。それぞれ1～3の中から1つを選んで番号に○をつけてください。

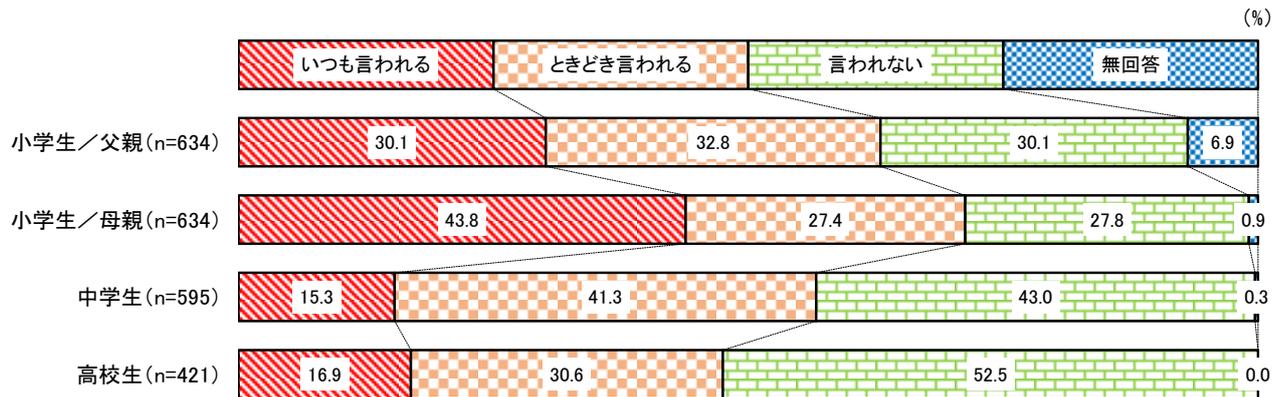
老人や身体の不自由な人をいたわること

- 1 いつも言われる                      2 ときどき言われる                      3 言われない

※「小学生」には、父親と母親を分けて聴取

「小学生」の選択肢は、「1 はい」「2 いいえ」「3 どちらともいえない」

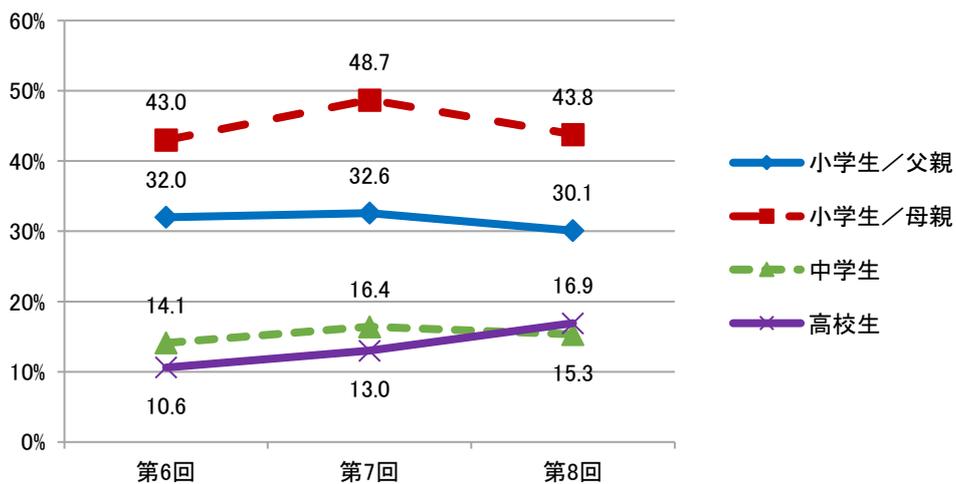
図 3. 2. 5



小学生、中学生、高校生に、老人や身体の不自由な人をいたわることについて言われることがあるか聞いたところ、小学生では、父親からの30.1%、母親からの43.8%、中学生では15.3%、高校生では16.9%が「いつも言われる」と回答しています。

過年度調査との比較

図 3. 2. 6 「いつも言われる」



第6回、第7回調査と比較すると、小学生、中学生では「いつも言われる」の割合が減少していますが、高校生では増加傾向にあります。

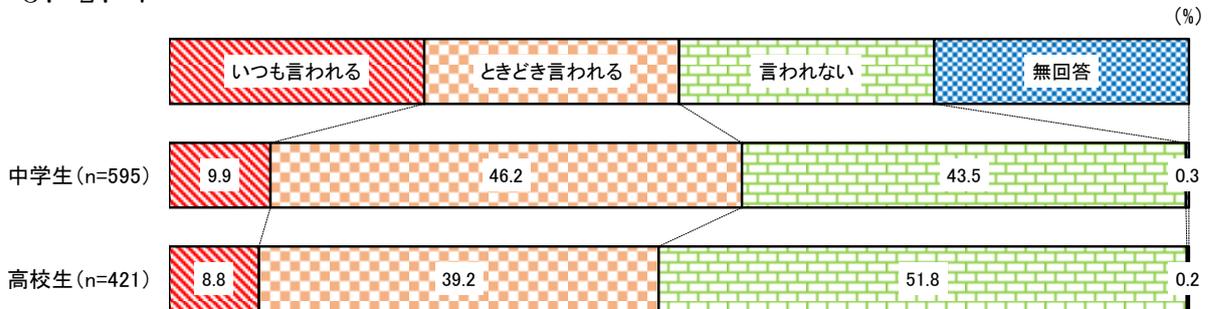
エ. 服装や頭髪など（中学生、高校生）

あなたは、家の人から次のことについて言われることがありますか。それぞれ1～3の中から1つを選んで番号に○をつけてください。

服装や頭髪など

- 1 いつも言われる                      2 ときどき言われる                      3 言われない

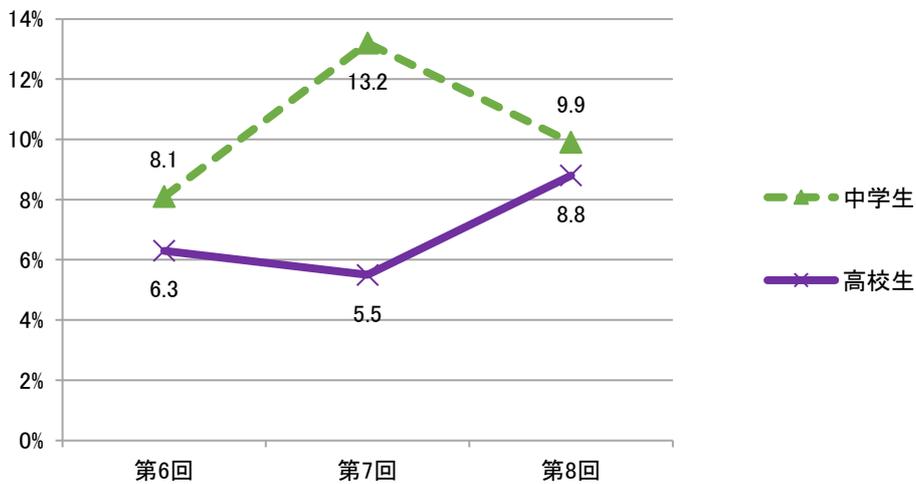
図 3. 2. 7



中学生、高校生に、服装や頭髪について言われるか聞いたところ、中学生の9.9%、高校生の8.8%が「いつも言われる」と回答しています。「いつも言われる」「ときどき言われる」を合計した割合では、中学生が56.1%、高校生が48.0%となっています。

過年度調査との比較

図 3. 2. 8 「いつも言われる」



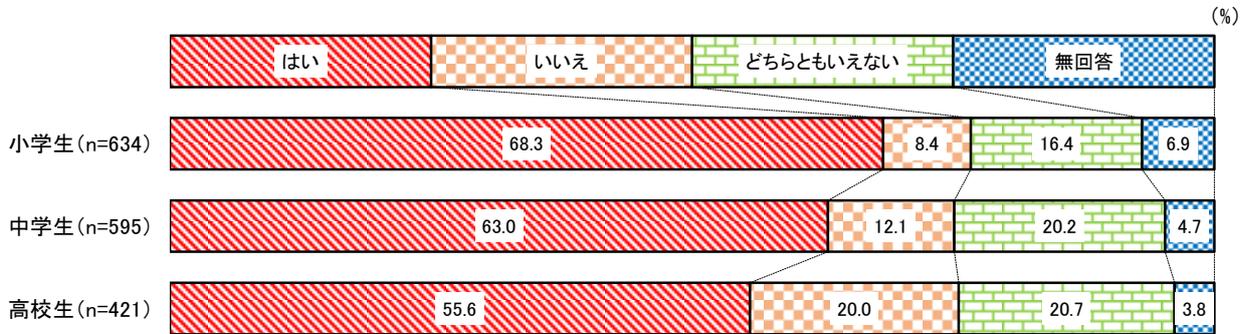
第6回、第7回調査と比較すると、「いつも言われる」と回答した人の割合は、中学生では第7回調査から減少していますが、高校生では増加しています。

(2) 父親・母親との関係

ア. 父親との会話 (小学生、中学生、高校生)

あなたは、お父さんとよく話をしますか。  
 1 はい                      2 いいえ                      3 どちらともいえない

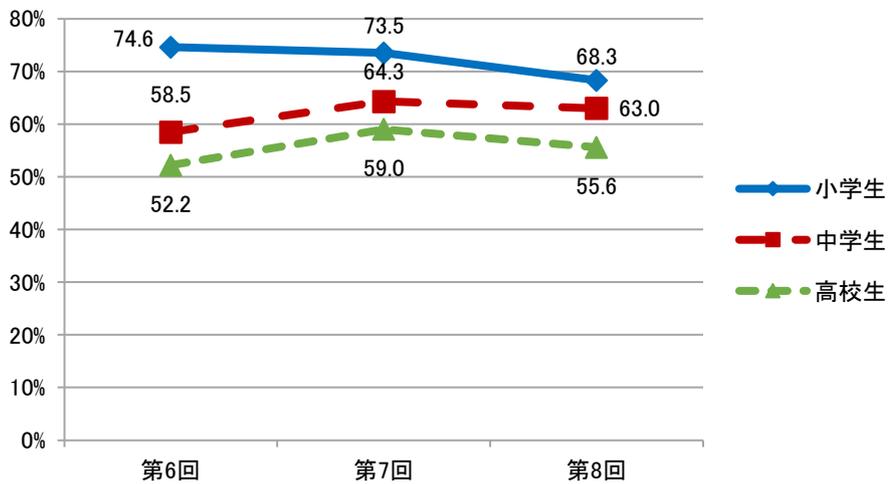
図 3. 2. 9



小学生、中学生、高校生に、父親とよく話をするかについて聞いたところ、「はい」の割合は、小学生で 68.3%、中学生で 63.0%、高校生で 55.6%となっており、学年が上がるにつれて「はい」の割合が減少し、「いいえ」「どちらともいえない」が増加しています。

過年度調査との比較

図 3. 2. 10 「はい」

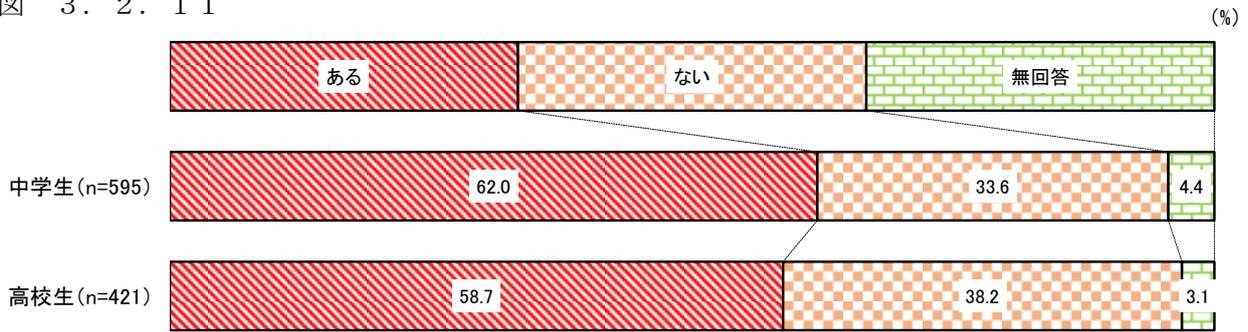


第6回、第7回調査と比較してみると、小学生と高校生で第7回調査から減少しています。中学生では第7回調査からほぼ横ばいとなっています。

イ. 父親との共通の話題や趣味（中学生、高校生）

あなたは、お父さんとの間に共通の話題や趣味がありますか。  
 1 ある                      2 ない

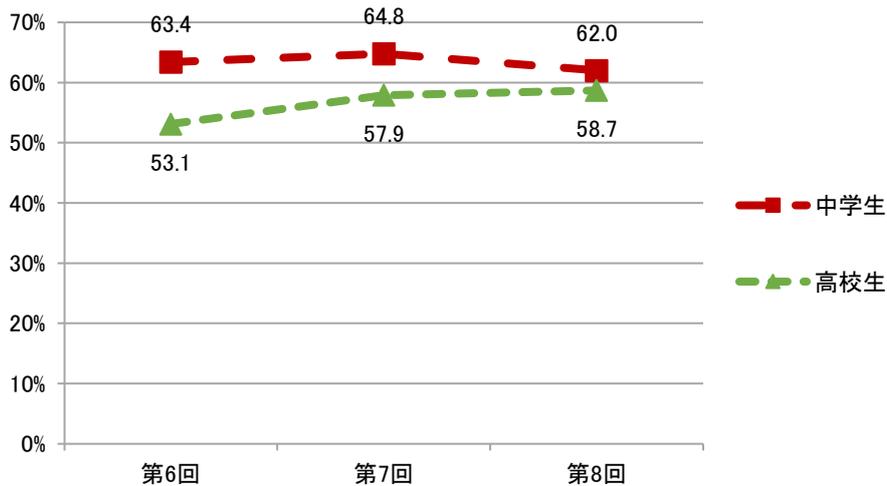
図 3. 2. 1 1



中学生、高校生に、父親と共通の話題や趣味があるかを聞いたところ、中学生の 62.0%、高校生の 58.7%が「ある」と回答しています。

過年度調査との比較

図 3. 2. 1 2 「ある」

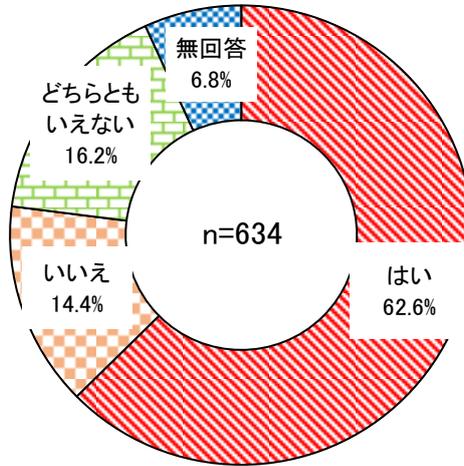


第6回、第7回調査と比較してみると、「ある」と回答した割合は、中学生、高校生ともにおおむね同水準で推移しています。

ウ. 父親について/おこるとこわい (小学生)

おこるとこわい。		
1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない

☒ 3. 2. 1 3

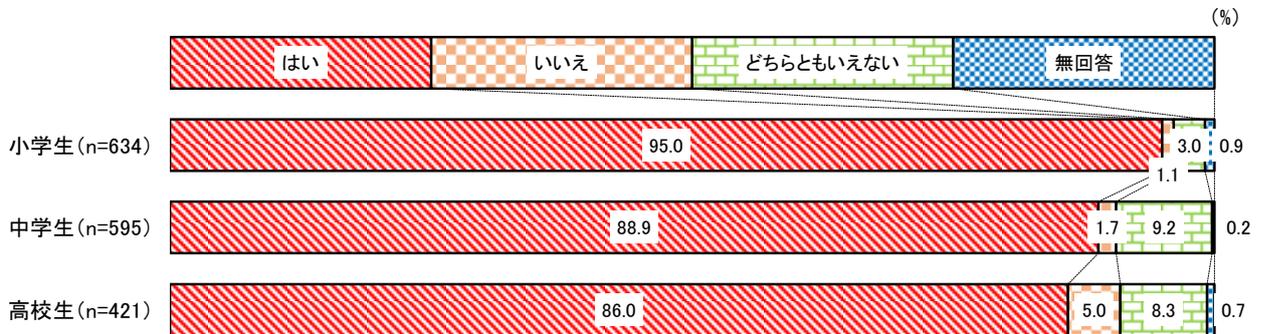


小学生に、父親についておこるとこわいか聞いたところ、「はい」が62.6%と、「いいえ」の14.4%、「どちらともいえない」の16.2%を大きく上回っています。

エ. 母親との会話（小学生、中学生、高校生）

あなたは、お母さんとよく話をしますか。  
 1 はい                      2 いいえ                      3 どちらともいえない

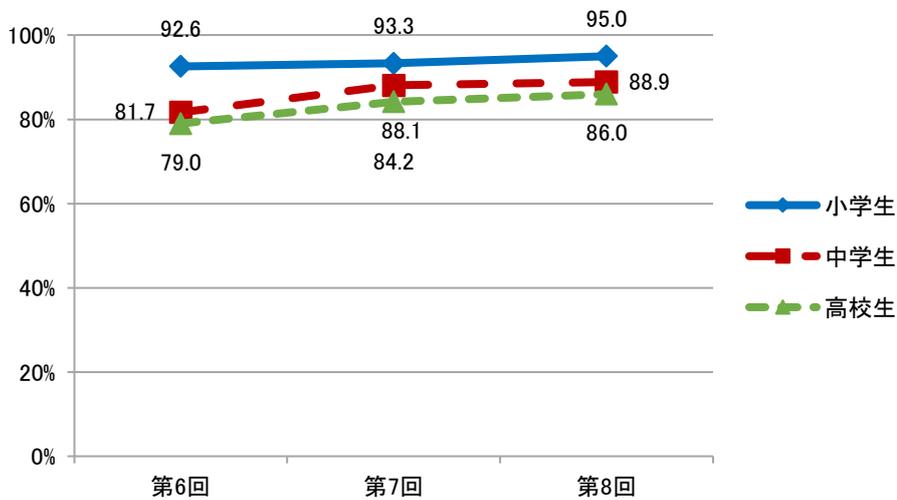
図 3. 2. 1 4



小学生、中学生、高校生に、母親とよく話をするかについて聞いたところ、小学生の95.0%、中学生の88.9%、高校生の86.0%が「はい」と回答しており、各年代とも「いいえ」「どちらともいえない」を大きく上回っています。

過年度調査との比較

図 3. 2. 1 5 「はい」

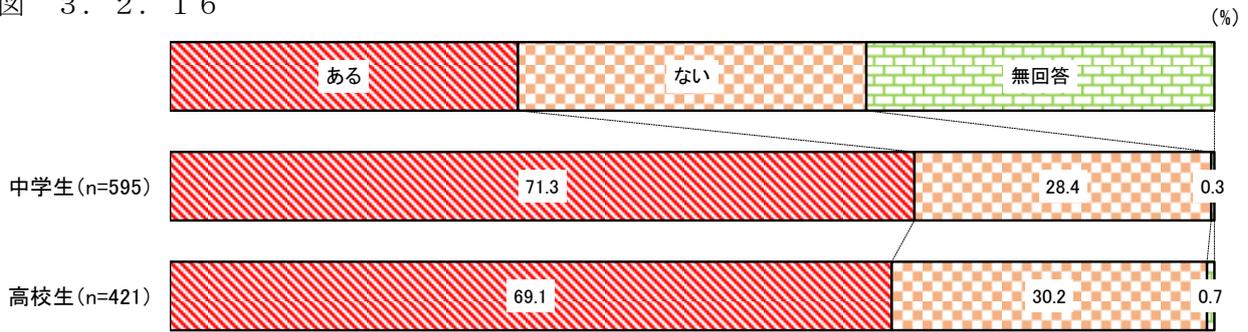


第6回、第7回調査と比較してみると、「はい」の回答割合は、小学生では各回の調査でも90%台で推移しており、高水準が保たれています。中学生、高校生でも増加傾向がみられ、第8回調査では80%台後半となっています。

オ. 母親との共通の話題や趣味（中学生、高校生）

あなたは、お母さんとの間に共通の話題や趣味がありますか。  
 1 ある                      2 ない

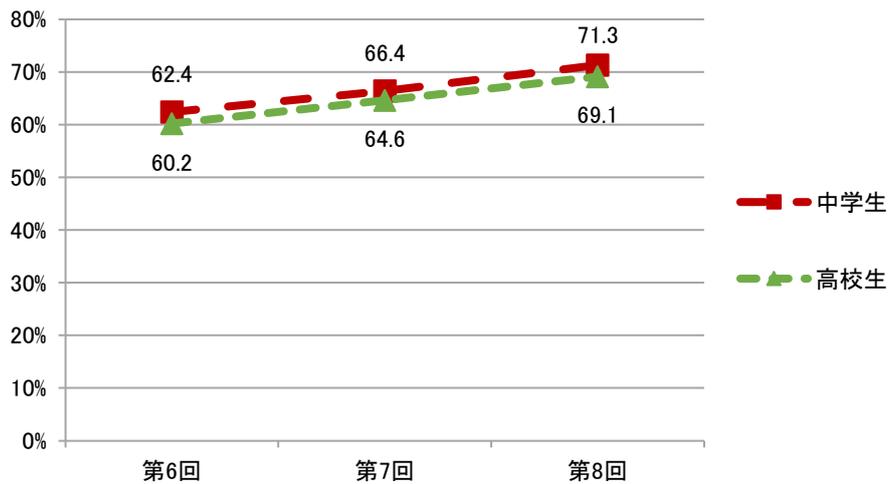
図 3. 2. 16



中学生、高校生に、母親との共通の話題や趣味があるかを聞いたところ、中学生の71.3%、高校生の69.1%が「ある」と回答しています。

過年度調査との比較

図 3. 2. 17 「ある」

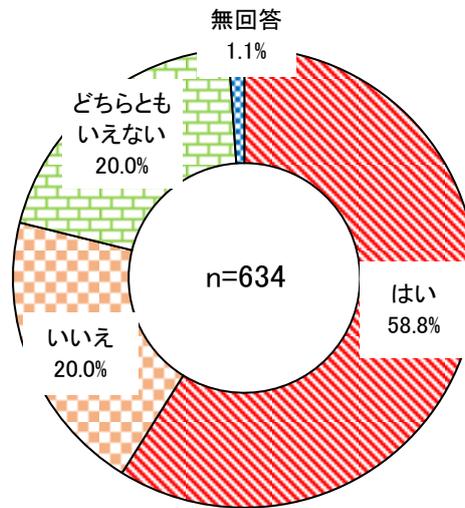


第6回、第7回調査と比較してみると、「ある」の回答割合は中学生、高校生ともに増加傾向がみられます。

カ. 母親について／おこるとこわい（小学生）

おこるとこわい。		
1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない

図 3. 2. 18

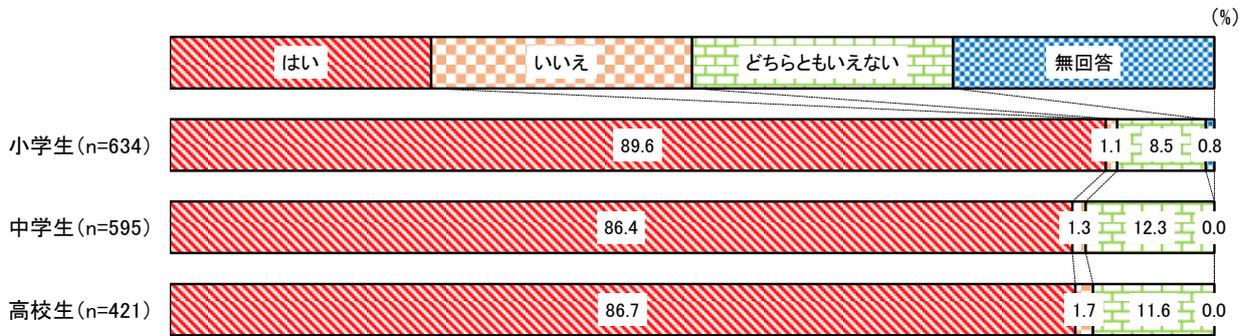


小学生に、母親について、おこるとこわいかを聞いたところ、「はい」が 58.8%と、「いいえ」の 20.0%、「どちらともいえない」の 20.0%を大きく上回っています。

(3) 家族のあなたへの思い (小学生、中学生、高校生)

家族と一緒に住んでいる人はあなたのことを大切に思っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 はい                      2 いいえ                      3 どちらともいえない

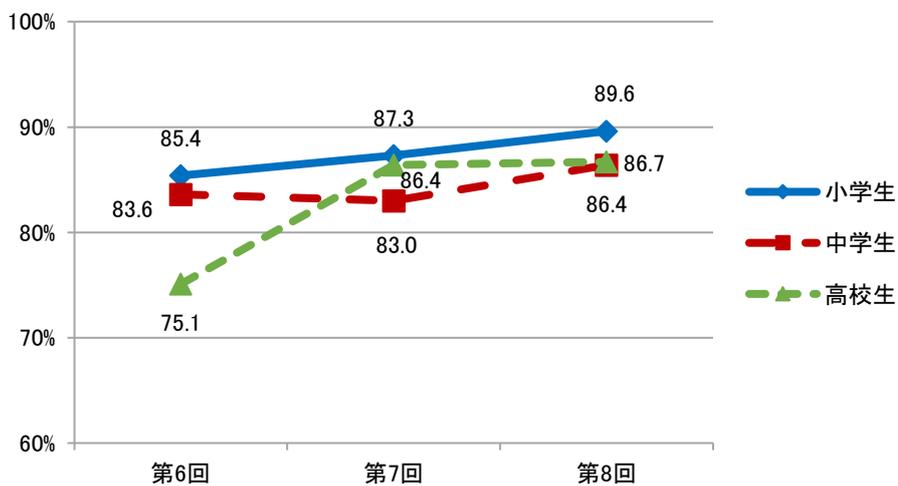
図 3. 2. 19



小学生、中学生、高校生に、家族と一緒に住んでいる人に大切に思われているかを聞いたところ、小学生の89.6%、中学生の86.4%、高校生の86.7%が「はい」と回答しており、「いいえ」「どちらともいえない」を大きく上回っています。

過年度調査との比較

図 3. 2. 20 「はい」



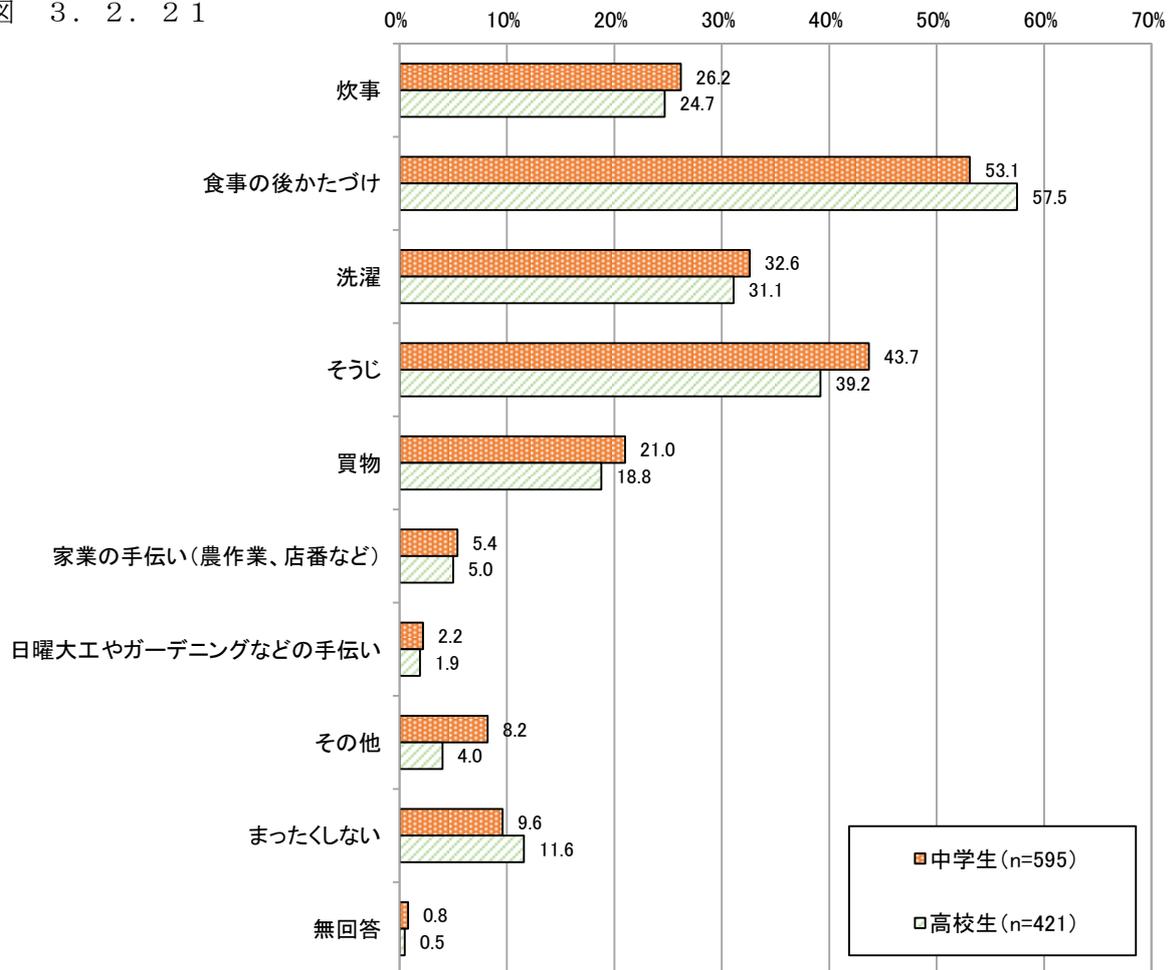
第6回、第7回調査と比較してみると、「はい」の割合は、小学生、中学生、高校生ともに微増しています。

(4) 家の手伝い(中学生、高校生)

あなたがしている手伝いの主なものを、次の中から3つ以内で選んでください。

- |                     |            |                    |
|---------------------|------------|--------------------|
| 1 炊事                | 2 食事の後かたづけ | 3 洗濯               |
| 4 そうじ               | 5 買物       | 6 家業の手伝い(農作業、店番など) |
| 7 日曜大工やガーデニングなどの手伝い |            |                    |
| 8 その他( )            |            |                    |
| 9 まったくしない           |            |                    |

図 3. 2. 2 1



中学生、高校生に、行っている主な家の手伝いを聞いたところ、中学生、高校生ともに「食事の後かたづけ」が最も多く、それぞれ53.1%、57.5%が回答しています。次いで「そうじ」(中学生:43.7%、高校生:39.2%)、「洗濯」(中学生:32.6%、高校生:31.1%)、「炊事」(中学生:26.2%、高校生:24.7%)、「買物」(中学生:21.0%、高校生:18.8%)と同じ順に続いています。

過年度調査との比較

図 3. 2. 2 2 「食事の後かたづけ」

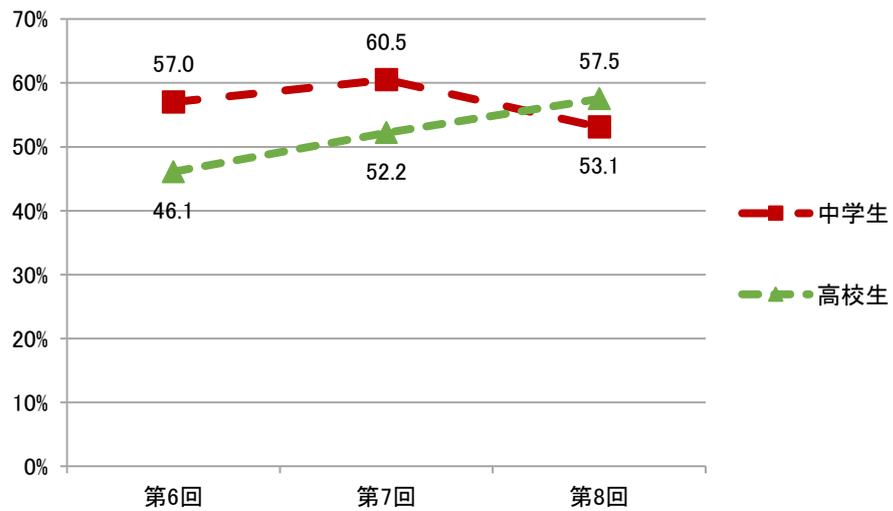


図 3. 2. 2 3 「そうじ」

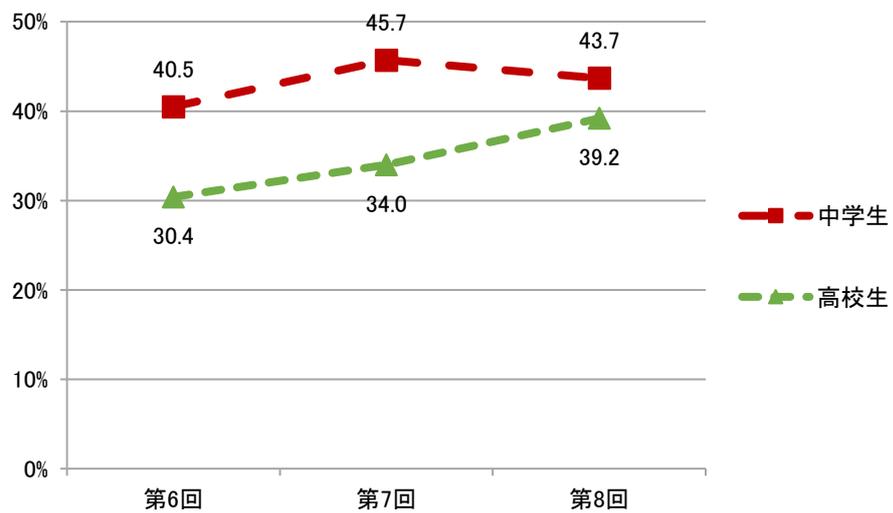
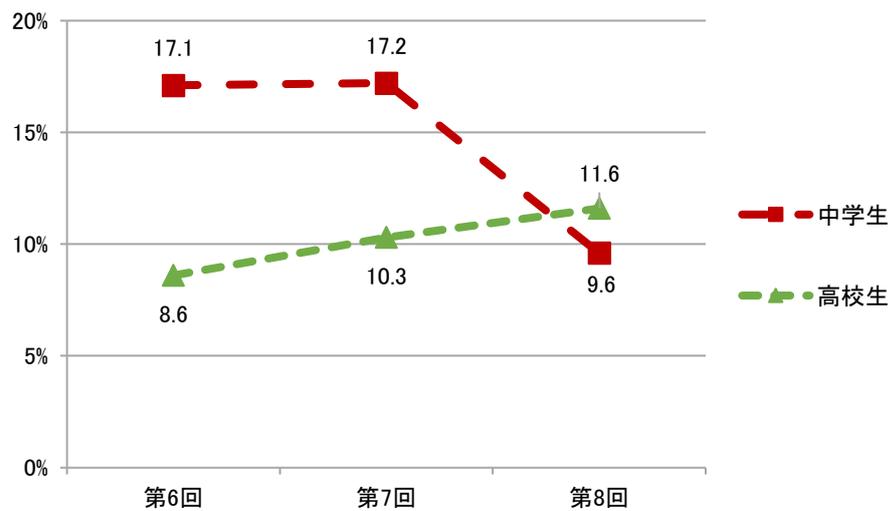


図 3. 2. 2 4 「まったくしない」



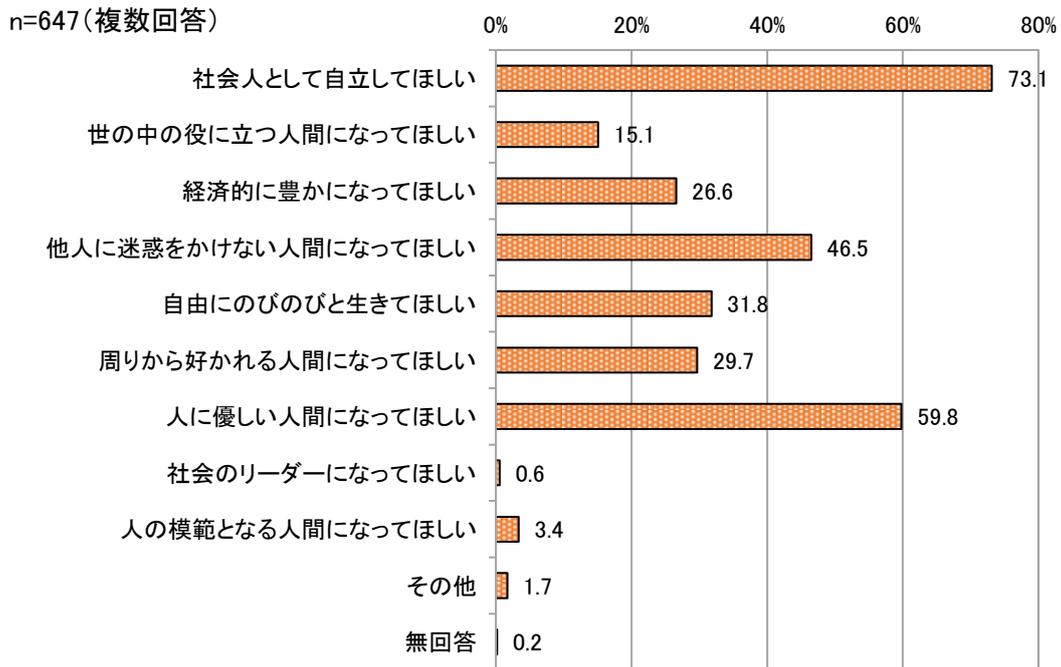
第6回、第7回調査と比較してみると、高校生では「食事の後かたづけ」と「そうじ」の割合が増加傾向にあります。また、「まったくしない」の割合は中学生で減少しています。

(5) 子どもの将来像 (保護者)

お子さんに将来どのような人間になって (生き方を) してほしいですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1 社会人として自立してほしい	2 世の中の役に立つ人間になってほしい
3 経済的に豊かになってほしい	4 他人に迷惑をかけない人間になってほしい
5 自由にのびのびと生きてほしい	6 周りから好かれる人間になってほしい
7 人に優しい人間になってほしい	8 社会のリーダーになってほしい
9 人の規範となる人間になってほしい	
10 その他 ( )	

図 3. 2. 25



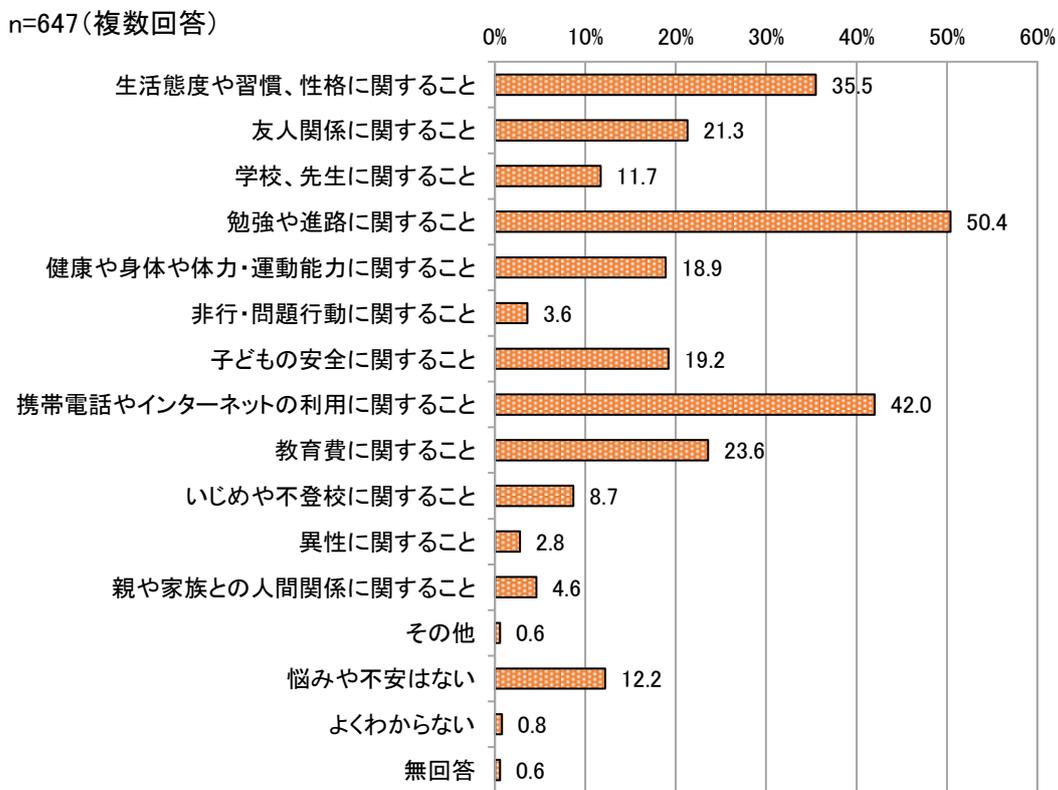
保護者に、子どもの将来像について聞いたところ、「社会人として自立してほしい」が 73.1%で最も多く、次いで「人に優しい人間になってほしい」(59.8%)、「他人に迷惑をかけない人間になってほしい」(46.5%)、「自由にのびのびと生きてほしい」(31.8%)と続いています。

(6) 子どものことでの悩みや不安 (保護者)

お子さんのことで、悩んでいることや不安に思っていることは何ですか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| 1 生活態度や習慣、性格に関する事    | 2 友人関係に関する事            |
| 3 学校、先生に関する事         | 4 勉強や進路に関する事           |
| 5 健康や身体や体力・運動能力に関する事 | 6 非行・問題行動に関する事         |
| 7 子どもの安全に関する事        | 8 携帯電話やインターネットの利用に関する事 |
| 9 教育費に関する事           | 10 いじめや不登校に関する事        |
| 11 異性に関する事           | 12 親や家族との人間関係に関する事     |
| 13 その他 ( )           |                        |
| 14 悩みや不安はない          | 15 よくわからない             |

図 3. 2. 26



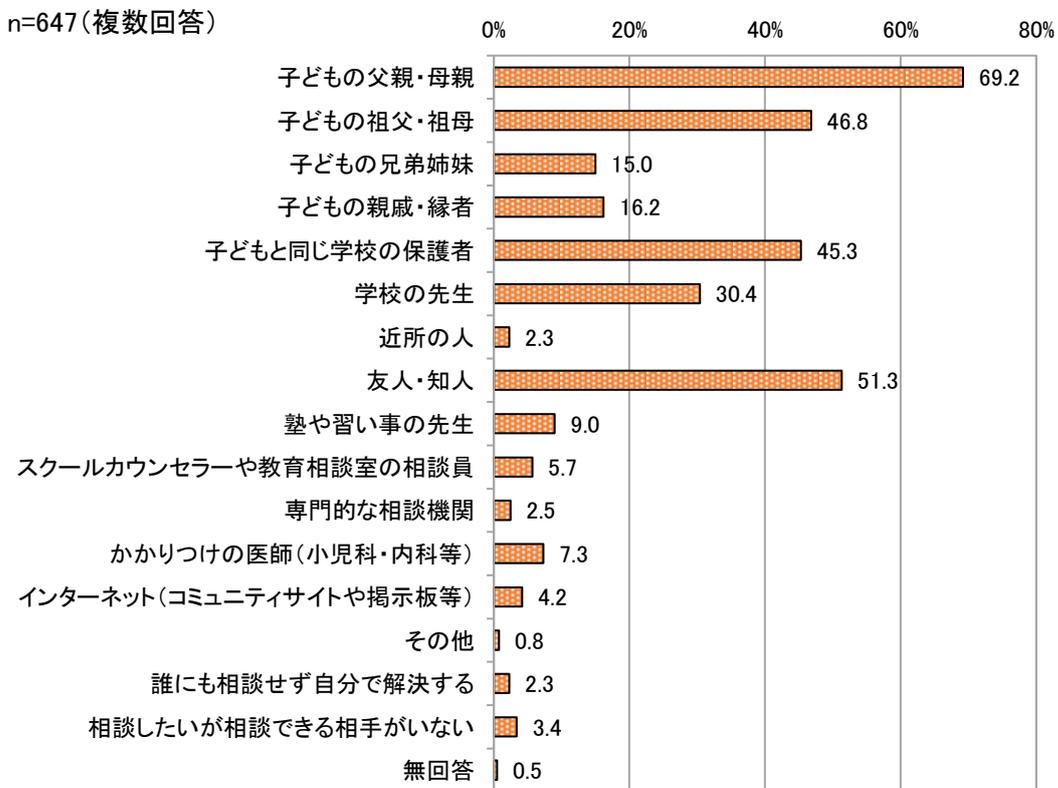
保護者に、子どものことで悩んでいることや不安に思っていることを聞いたところ、「勉強や進路に関する事」が50.4%で最も多く、次いで「携帯電話やインターネットの利用に関する事」(42.0%)、「生活態度や習慣、性格に関する事」(35.5%)、「教育費に関する事」(23.6%)、「友人関係に関する事」(21.3%)と続いています。

(7) 子育てや子どもの教育の相談相手（保護者）

子育てや子どもの教育について困ったときに誰に相談しますか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

- |                            |                     |            |
|----------------------------|---------------------|------------|
| 1 子どもの父親・母親                | 2 子どもの祖父・祖母         | 3 子どもの兄弟姉妹 |
| 4 子どもの親戚・縁者                | 5 子どもと同じ学校の保護者      | 6 学校の先生    |
| 7 近所の人                     | 8 友人・知人             | 9 塾や習い事の先生 |
| 10 スクールカウンセラーや教育相談室の相談員    | 11 専門的な相談機関         |            |
| 12 かかりつけ医師（小児科・内科等）        |                     |            |
| 13 インターネット（コミュニティサイトや掲示板等） |                     |            |
| 14 その他（                    |                     | ）          |
| 15 誰にも相談せず自分で解決する          | 16 相談したいが相談できる相手がない |            |

図 3. 2. 27



保護者に、子育てや子どもの教育の相談相手について聞いたところ、「子どもの父親・母親」が69.2%で最も多く、次いで「友人・知人」(51.3%)、「子どもの祖父・祖母」(46.8%)、「子どもと同じ学校の保護者」(45.3%)、「学校の先生」(30.4%)と続いています。

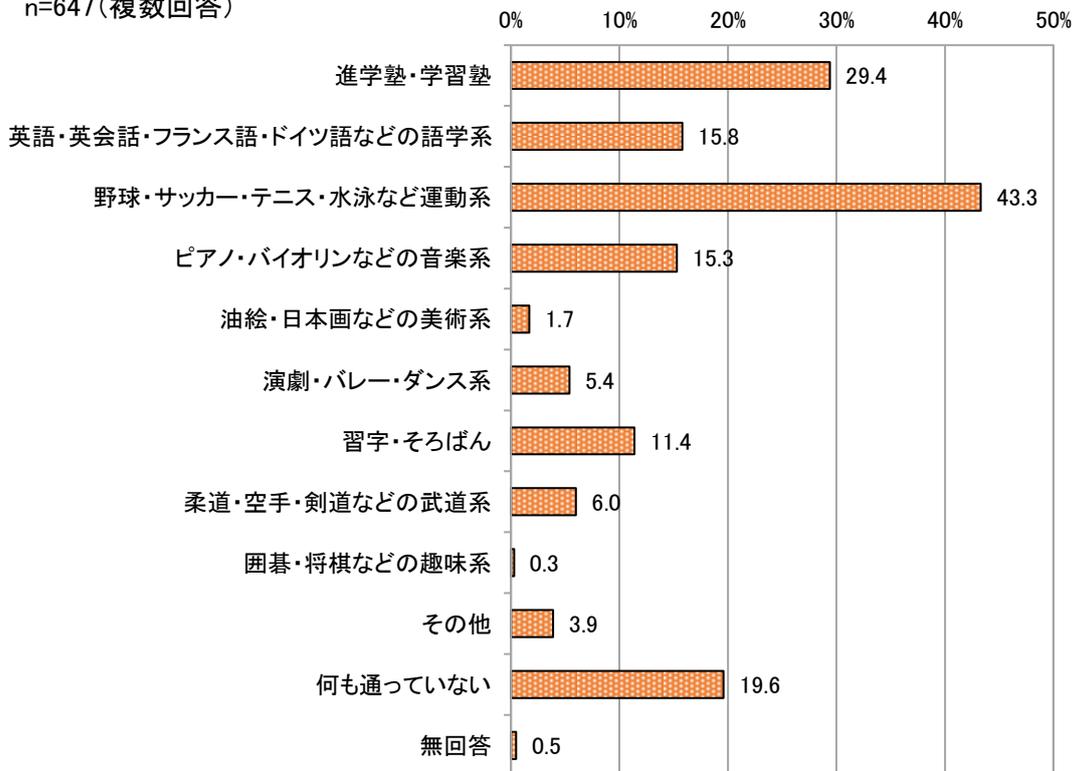
(8) 利用している塾やクラブや習い事（保護者）

お子さんは塾やクラブや習い事に通っていますか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

- |                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 1 進学塾・学習塾              | 2 英語・英会話・フランス語・ドイツ語などの語学系 |
| 3 野球・サッカー・テニス・水泳などの運動系 | 4 ピアノ・バイオリンなどの音楽系         |
| 5 油絵・日本画などの美術系         | 6 演劇・バレエ・ダンス系             |
| 7 習字・そろばん              | 8 柔道・空手・剣道などの武道系          |
| 9 囲碁・将棋などの趣味系          | 10 その他（                   |
| 11 何も通っていない            | ）                         |

図 3. 2. 28

n=647(複数回答)



保護者に、子どもが利用しているクラブや習い事について聞いたところ、「野球・サッカー・テニス・水泳などの運動系」が 43.3%と最も多く、次いで「進学塾・学習塾」(29.4%)、「英語・英会話・フランス語・ドイツ語などの語学系」(15.8%)、「ピアノ・バイオリンなどの音楽系」(15.3%)、「習字・そろばん」(11.4%)と続いています。

「何も通っていない」は、19.6%が回答しています。

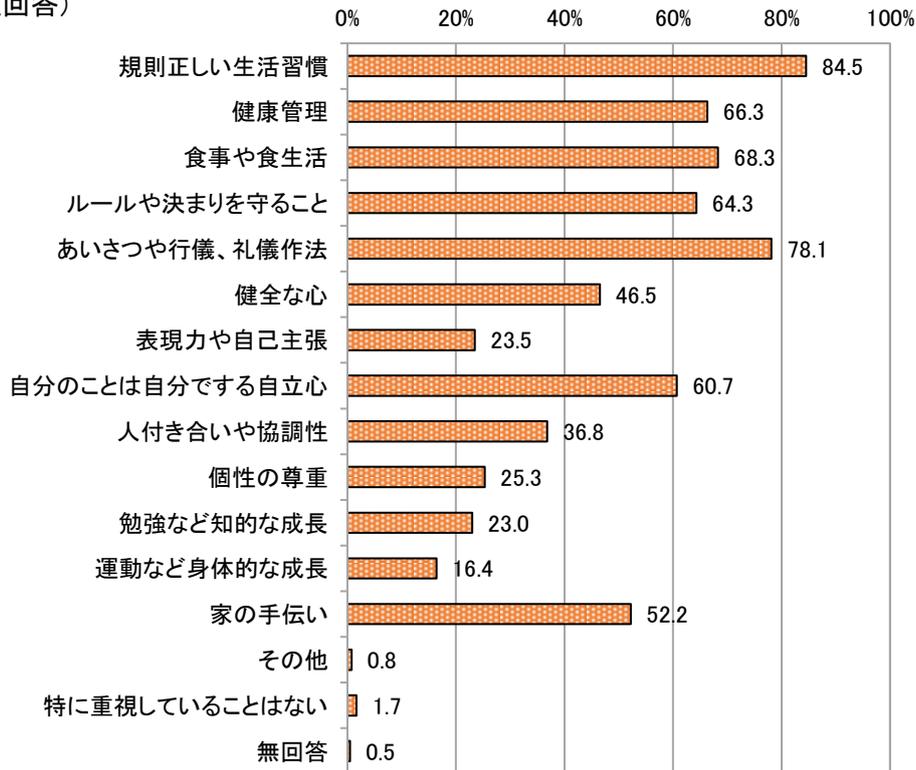
(9) 家庭で身につけるべき重要なこと (保護者)

主に家庭で身につけるべきことで重要なことは何ですか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

- |                |                  |                  |
|----------------|------------------|------------------|
| 1 規則正しい生活習慣    | 2 健康管理           | 3 食事や食生活         |
| 4 ルールや決まりを守ること | 5 あいさつや行儀、礼儀作法   | 6 健全な心           |
| 7 表現力や自己主張     | 8 自分のことは自分でする自立心 | 9 人付き合いや協調性      |
| 10 個性の尊重       | 11 勉強など知的な成長     | 12 運動など身体的な成長    |
| 13 家の手伝い       | 14 その他 ( )       | 15 特に重視していることはない |

図 3. 2. 29

n=647(複数回答)



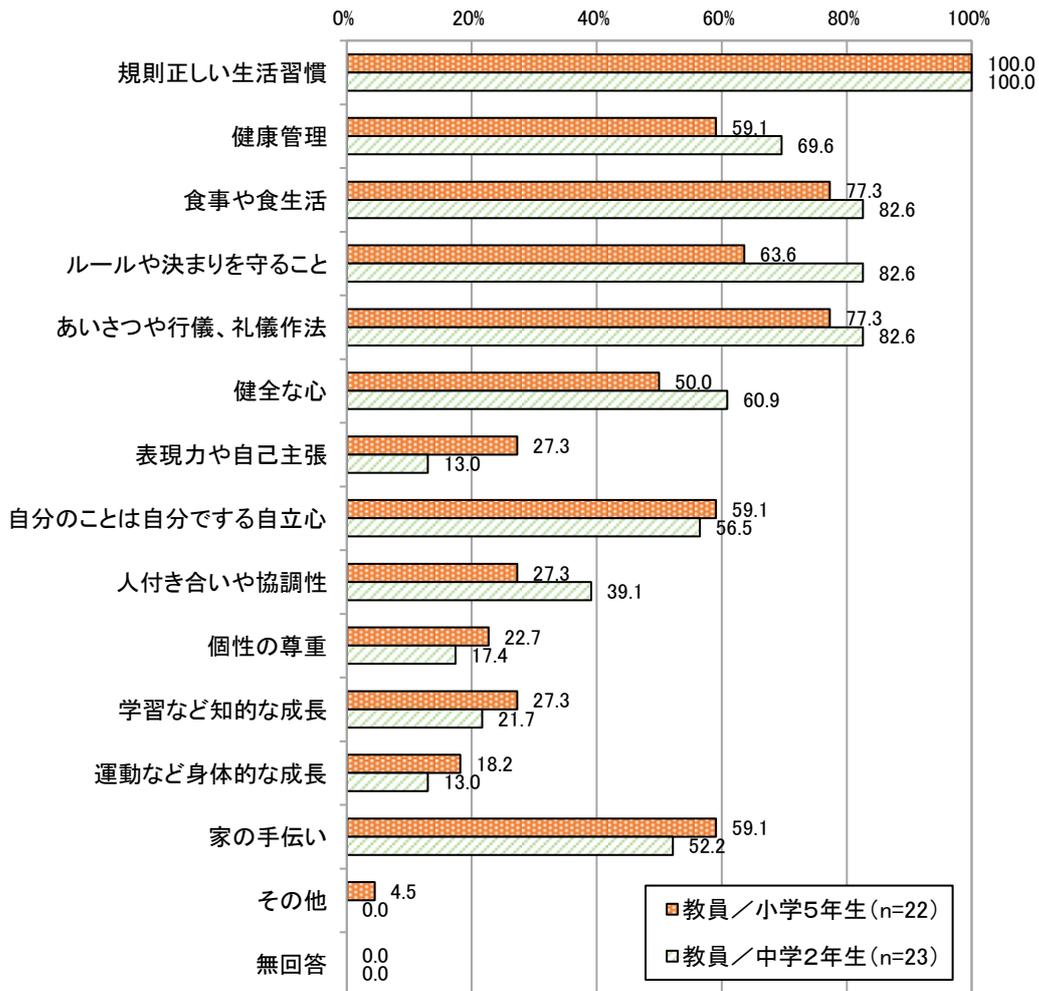
保護者に、子どもが家庭で身につけるべき重要なことについて聞いたところ「規則正しい生活習慣」が84.5%で最も多く、次いで「あいさつや行儀、礼儀作法」(78.1%)、「食事や食生活」(68.3%)、「健康管理」(66.3%)、「ルールや決まりを守ること」(64.3%)、「自分のことは自分でする自立心」(60.7%)と続いています。

■教員の回答との比較（家庭教育により身につけるべきこと）

児童生徒が家庭教育により身につけるべきだと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

- |                |                  |               |
|----------------|------------------|---------------|
| 1 規則正しい生活習慣    | 2 健康管理           | 3 食事や食生活      |
| 4 ルールや決まりを守ること | 5 あいさつや行儀、礼儀作法   | 6 健全な心        |
| 7 表現力や自己主張     | 8 自分のことは自分でする自立心 | 9 人付き合いや協調性   |
| 10 個性の尊重       | 11 学習など知的な成長     | 12 運動など身体的な成長 |
| 13 家の手伝い       | 14 その他（ ）        |               |

図 3. 2. 30



教員に、児童生徒が家庭教育により身につけるべきことを聞いたところ、小学校、中学校の教員ともに「規則正しい生活習慣」がそれぞれ 100.0%と、回答者の全員が挙げています。次いで、小学校の教員では「食事や食生活」、「あいさつや行儀、礼儀作法」（いずれも 77.3%）、「ルールや決まりを守ること」（63.6%）と続いています。

中学校の教員では、「食事や食生活」、「ルールや決まりを守ること」、「あいさつや行儀、礼儀作法」（いずれも 82.6%）、「健康管理」（いずれも 69.6%）と続いています。

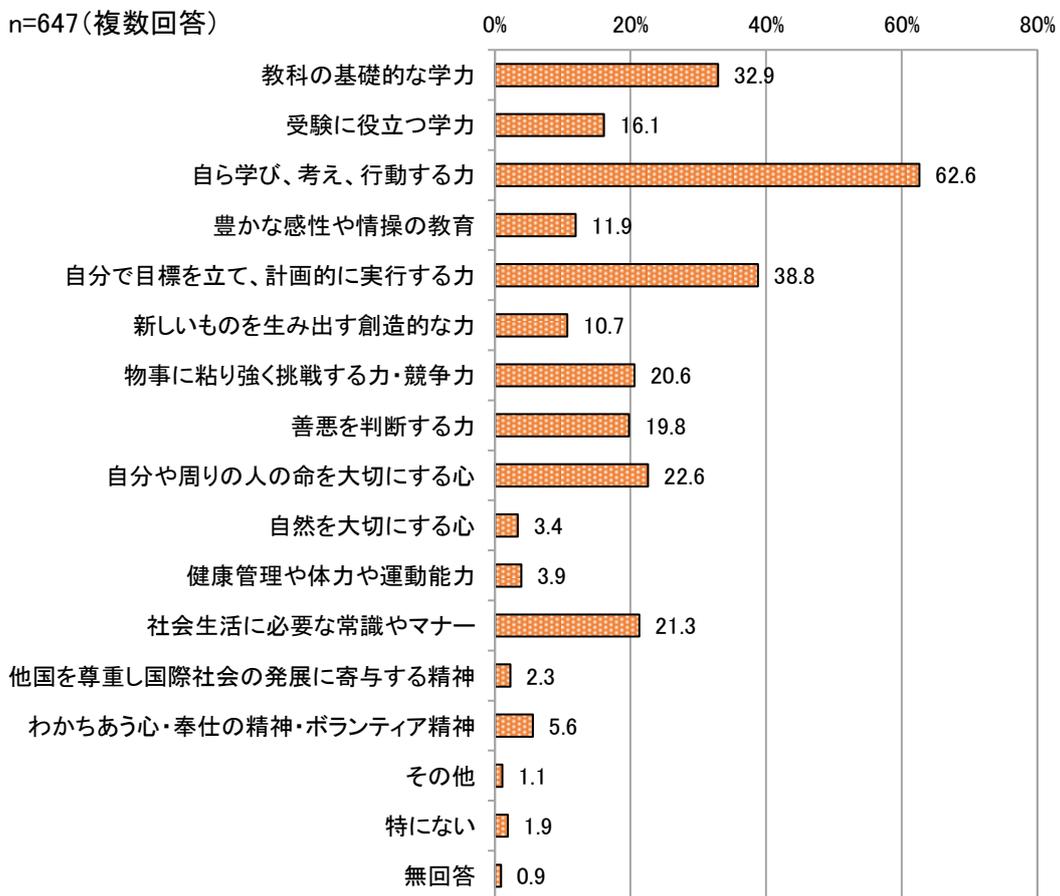
「表現力や自己主張」は小学校の教員では 27.3%に対し、中学校の教員では 13.0%、「人付き合いや協調性」は小学校の教員では 27.3%に対し、中学校の教員では 39.1%と、やや開きが見られます。

(10) 教育事情に関する諸課題（保護者）

最近の教育事情に関する諸課題について、関心をお持ちのものを次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1 教科の基礎的な学力             | 2 受験に役立つ学力               |
| 3 自ら学び、考え、行動する力         | 4 豊かな感性や情操の教育            |
| 5 自分で目標を立て、計画的に実行する力    | 6 新しいものを生み出す創造的な力        |
| 7 物事に粘り強く挑戦する力・競争力      | 8 善悪を判断する力               |
| 9 自分や周りの人の命を大切にする心      | 10 自然を大切にする心             |
| 11 健康管理や体力や運動能力         | 12 社会生活に必要な常識やマナー        |
| 13 他国を尊重し国際社会の発展に寄与する精神 | 14 わかちあう心・奉仕の精神・ボランティア精神 |
| 15 その他（                 | ）                        |
| 16 特にない                 |                          |

図 3. 2. 3 1



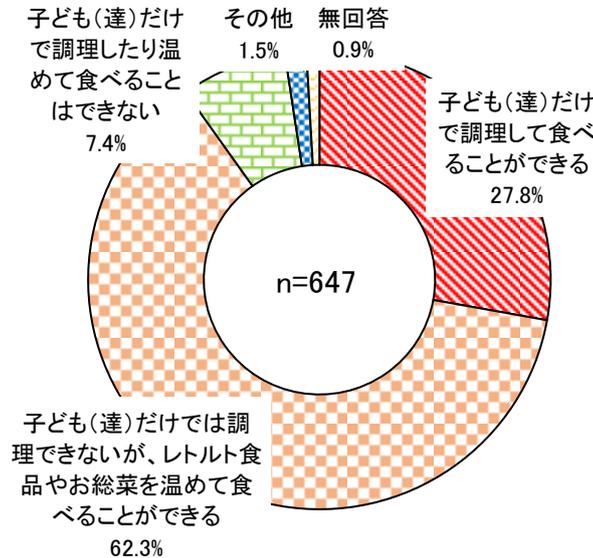
保護者に、教育事情に関する諸課題について関心があることを聞いたところ、「自ら学び、考え、行動する力」が 62.6%と最も多く、次いで「自分で目標を立て、計画的に実行する力」(38.8%)、「教科の基礎的な学力」(32.9%)、「自分や周りの人の命を大切にする心」(22.6%)、「社会生活に必要な常識やマナー」(21.3%)と続いています。

(11) 子ども（達）だけでの食事のしたく（保護者）

お子さんはあなたや同居の大人が不在の時、食事を自分で作ることはできますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 子ども（達）だけで調理して食べることができる
- 2 子ども（達）だけでは調理できないが、レトルト食品やお総菜を温めて食べることができる
- 3 子ども（達）だけで調理したり温めて食べることはできない
- 4 その他

図 3. 2. 3 2



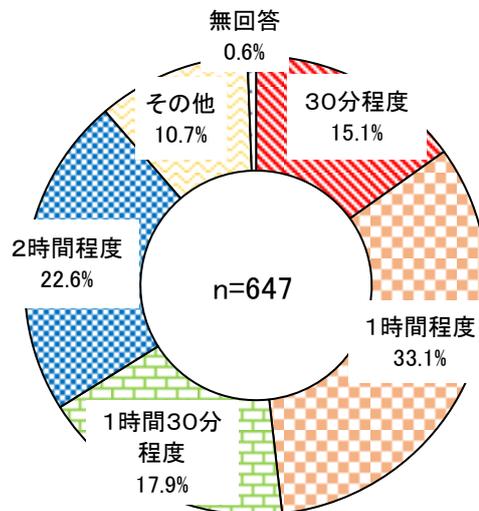
保護者に、子どもだけで食事のしたくができるかを聞いたところ、「子ども（達）だけでは調理できないが、レトルト食品やお総菜を温めて食べることができる」が 62.3%、「子ども（達）だけで調理して食べることができる」が 27.8%と、計 90.1%が子どもだけで食事のしたくができるとしています。

(12) 子どもとの会話時間（保護者）

お子さんはあなたと1日の中でどのくらい会話をしていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 30分程度
- 2 1時間程度
- 3 1時間30分程度
- 4 2時間程度
- 5 その他

図 3. 2. 3 3



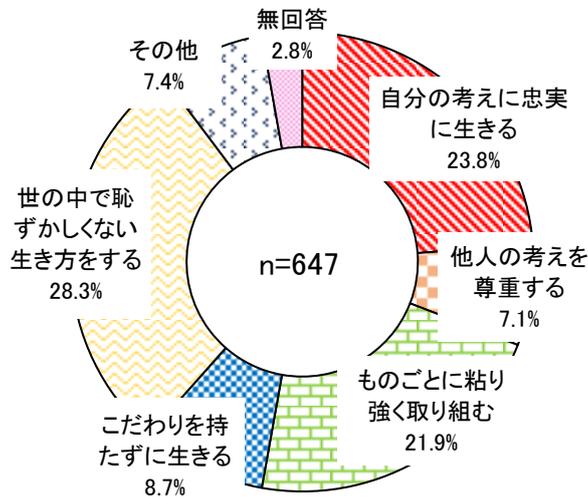
保護者に、1日の子どもとの会話時間を聞いたところ、「1時間程度」が 33.1%と最も多く、次いで「2時間程度」が 22.6%、「1時間30分程度」が 17.9%、「30分程度」が 15.1%となっています。

(13) 生きていく上で最も大切に考えていること（保護者）

次の中からあなたが生きていく上で、最も大切に考えていることを1つ選んでください。

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1 自分の考えに忠実に生きる      | 2 他人の考えを尊重する   |
| 3 ものごとに粘り強く取り組む     | 4 こだわりを持たずに生きる |
| 5 世の中で恥ずかしくない生き方をする | 6 その他（ ）       |

図 3. 2. 3 4



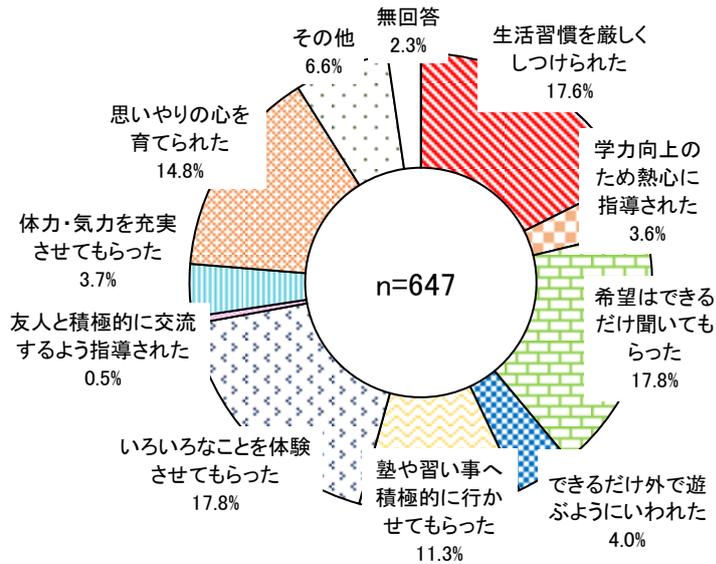
保護者に、生きていく上で最も大切に考えていることを聞いたところ、「世の中で恥ずかしくない生き方をする」が 28.3%で最も多く、次いで「自分の考えに忠実に生きる」(23.8%)、「ものごとに粘り強く取り組む」(21.9%)、「こだわりを持たずに生きる」(8.7%)、「他人の考えを尊重する」(7.1%)と続いています。

(14) 子どもの頃どのように育てられたか（保護者）

あなたは子どもの頃、どのように育てられましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 生活習慣を厳しくしつけられた	2 学力向上のため熱心に指導された
3 希望はできるだけ聞いてもらった	4 できるだけ外で遊ぶようにいわれた
5 塾や習い事へ積極的に行かせてもらった	6 いろいろなことを体験させてもらった
7 友人と積極的に交流するよう指導された	8 体力・気力を充実させてもらった
9 思いやりの心を育てられた	10 その他（ ）

図 3. 2. 3 5



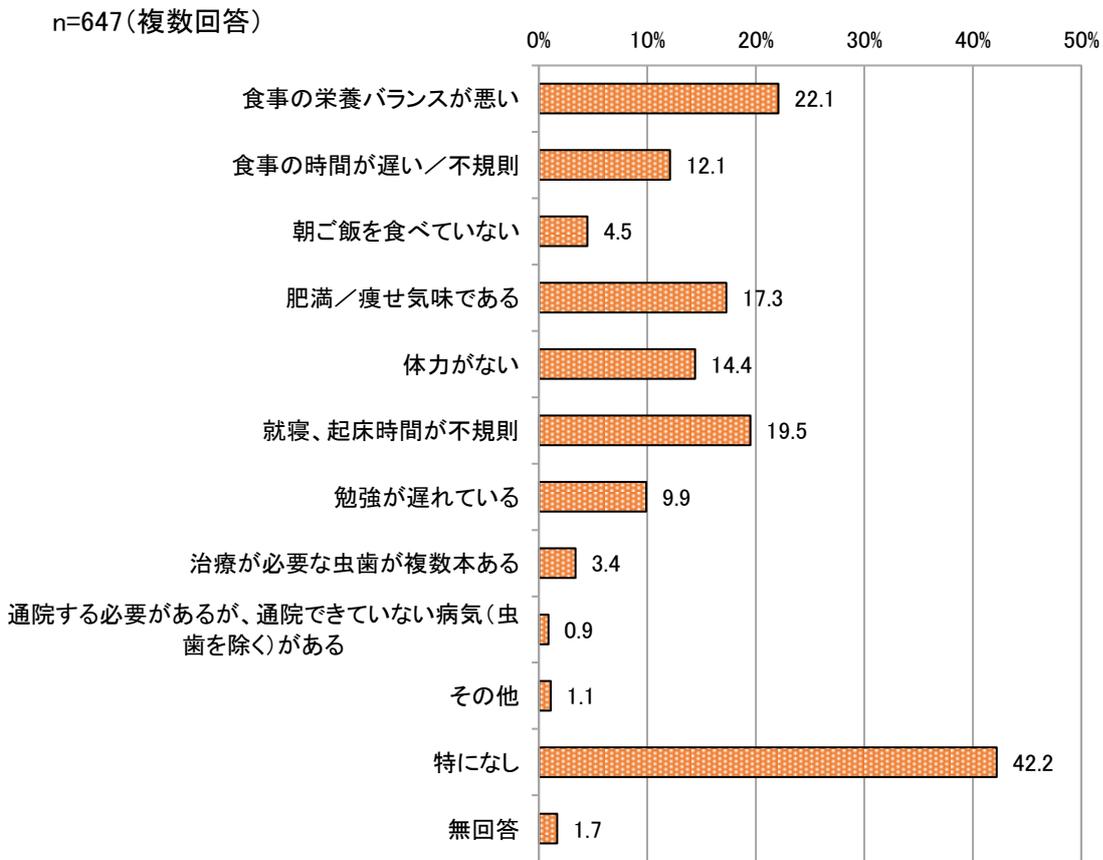
保護者に、子どもの頃にどのように育てられたかを聞いたところ、「希望はできるだけ聞いてもらった」「いろいろなことを体験させてもらった」がいずれも 17.8%で最も多く、次いで「生活習慣を厳しくしつけられた」(17.6%)、「思いやりの心を育てられた」(14.8%)、「塾や習い事へ積極的に行かせてもらった」(11.3%)と続いています。

(15) 子どもの食事や生活の習慣（保護者）

お子さんの食事や生活であてはまることはありますか。あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

1 食事の栄養バランスが悪い	2 食事の時間が遅い／不規則
3 朝ご飯を食べていない	4 肥満／痩せ気味である
5 体力がない	6 就寝、起床時間が不規則
7 勉強が遅れている	8 治療が必要な虫歯が複数本ある
9 通院する必要があるが、通院できていない病気（虫歯を除く）がある	
10 その他（	）
11 特になし	

図 3. 2. 3 6



保護者に、子どもの食事や生活の習慣について聞いたところ、「食事の栄養バランスが悪い」が22.1%と最も多く、次いで「就寝、起床時間が不規則」(19.5%)、「肥満／痩せ気味である」(17.3%)、「体力がない」(14.4%)、「食事の時間が遅い／不規則」(12.1%)と続いています。

各選択肢にいずれも該当しない「特になし」については、42.2%が回答しています。

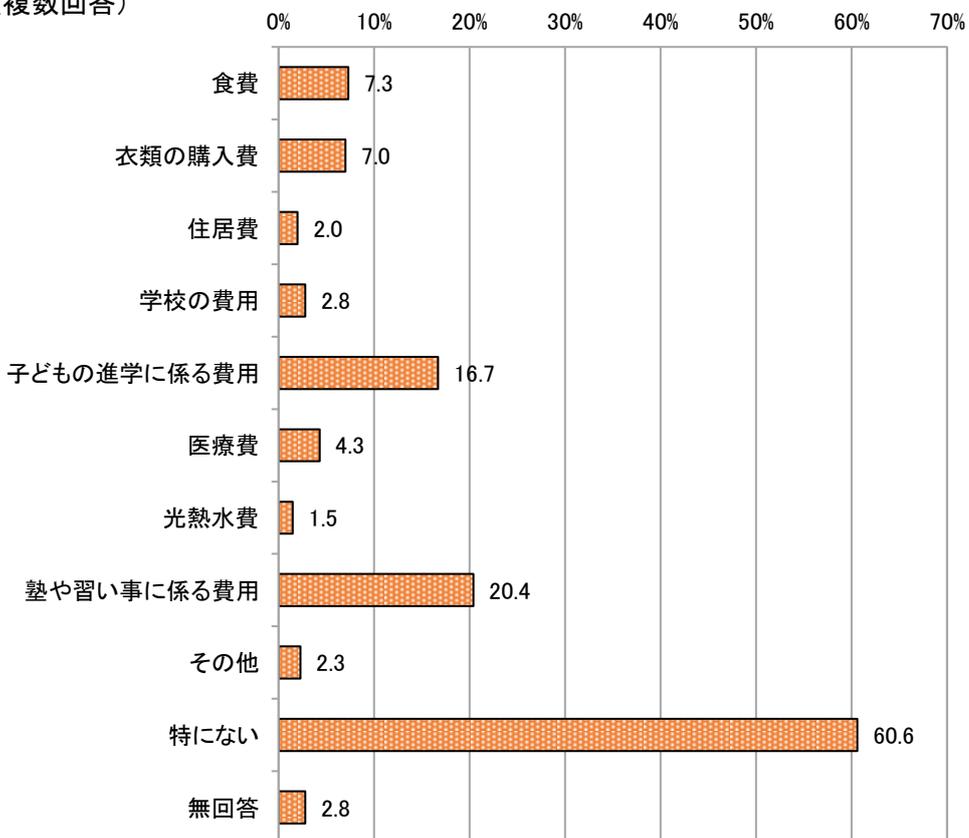
(16) 経済的に困ったことや悩んだこと (保護者)

最近1年間に、経済的に困ったことや悩んだことはありますか。悩みが大きかったものを次の中から4つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 食費 (家族全員が食べられるだけの食料が購入できなかった等)
- 2 衣類の購入費 (必要な衣類を購入できなかった等)
- 3 住居費 (家賃が払えなかった等)
- 4 学校の費用 (学用品、給食費、部活動等に係る費用を払えなかった等)
- 5 子どもの進学に係る費用
- 6 医療費 (お金がかかるので、医者に行くのをやめた、迷った等)
- 7 光熱水費 (支払いができず止められてしまった等)
- 8 塾や習い事に係る費用
- 9 その他 ( )
- 10 特にない

図 3. 2. 3 7

n=647(複数回答)



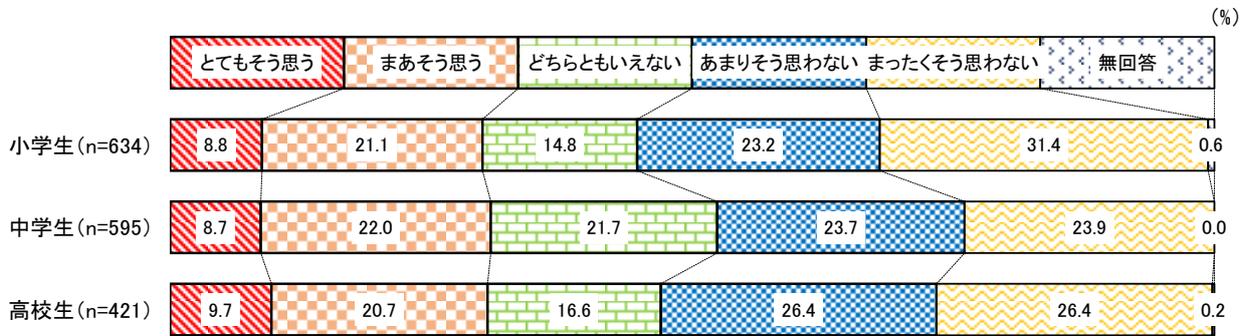
保護者に、最近1年間に経済的に困ったことや悩んだことを聞いたところ、半分以上の60.6%が「特にない」と回答しています。

困ったことや悩んだこととして多く挙げられたものは、「塾や習い事に係る費用」(20.4%)、「子どもの進学に係る費用」(16.7%)となっています。

(17) 新型コロナの影響による家族や親戚との関係の変化（小学生、中学生、高校生）

新型コロナの影響で、家族や親戚との関係に変化がありましたか。次の中から1つを選んでください。  
 1 とてもそう思う            2 まあそう思う            3 どちらともいえない  
 4 あまりそう思わない      5 まったくそう思わない

図 3. 2. 3 8



小学生、中学生、高校生に、新型コロナの影響で家族や親戚との関係に変化があるかを聞いたところ、「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した割合は、小学生が 29.9%、中学生が 30.7%、高校生が 30.4%となっています。

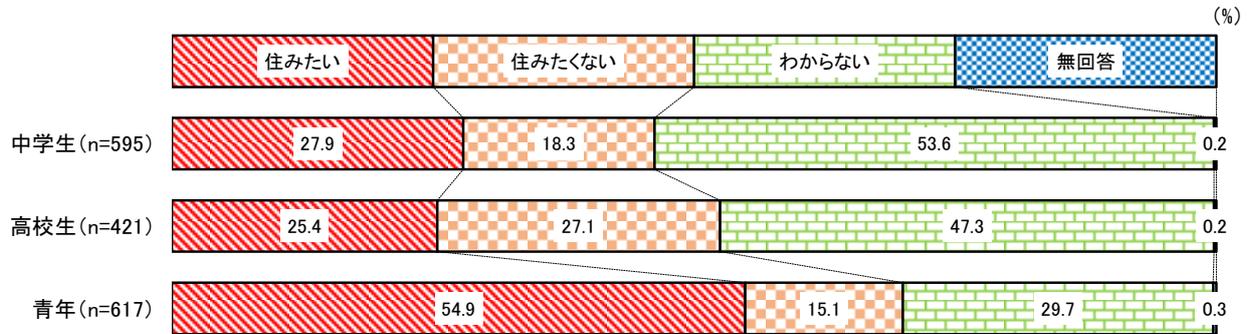
### 3 地域社会

#### (1) 居住意向（中学生、高校生、青年）

あなたは、今住んでいるところに大人になってからも住みたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 住みたい                      2 住みたくない                      3 わからない

図 3. 3. 1

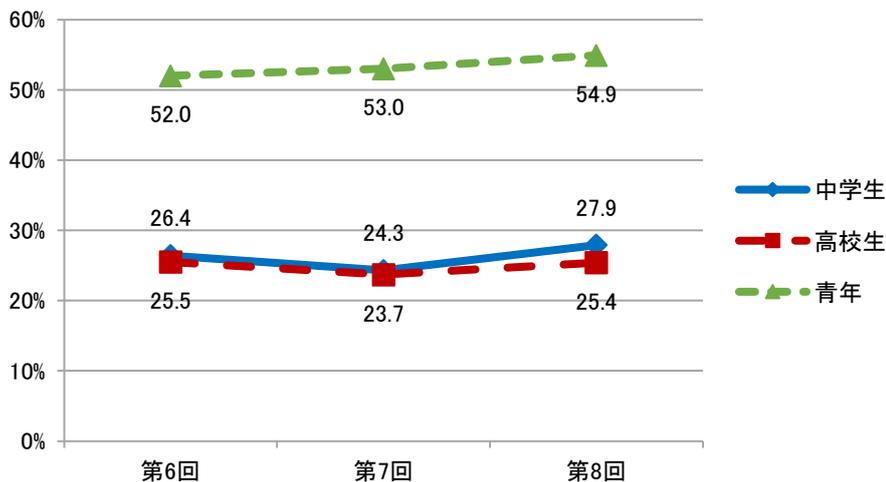


中学生、高校生、青年に、今住んでいるところに大人になってからも住みたいかを聞いたところ、中学生の53.6%、高校生の47.3%が「わからない」と回答しています。

青年では、54.9%が「住みたい」と回答しており、「わからない」の29.7%、「住みたくない」の15.1%を上回っています。

#### 過年度調査との比較

図 3. 3. 2 「住みたい」

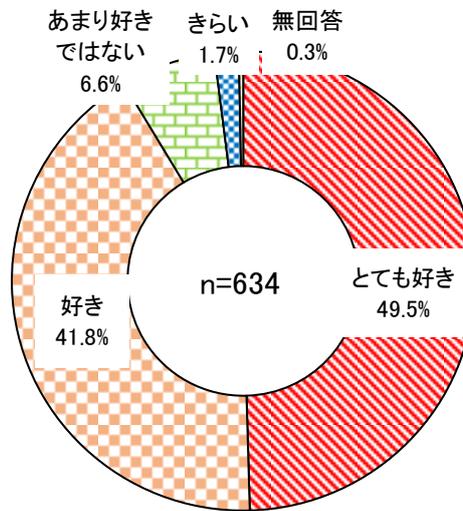


第6回、第7回調査と比較すると、「住みたい」と答えた人の割合は、ほぼ横ばいの推移となっています。

(2) 居住環境 (小学生)

あなたは、いま住んでいるところは好きですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 とても好き      2 好き      3 あまり好きではない      4 きれい

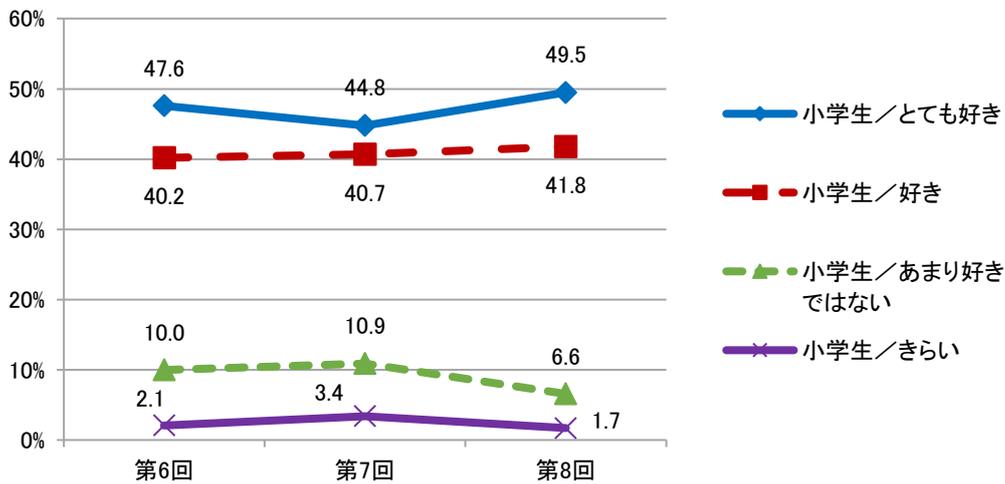
図 3.3.3



小学生に、いま住んでいる地域が好きかを聞いたところ、「とても好き」が49.5%、「好き」が41.8%と、計91.3%の人がいま住んでいる地域を好きと回答しています。

過年度調査との比較

図 3.3.4 「とても好き」「好き」「あまり好きではない」「きれい」



第6回、第7回調査と比較すると、「とても好き」が増加し、「あまり好きではない」が減少しています。

(3) 地域活動

ア. 地域活動への参加（小学生、中学生、高校生、青年、保護者）

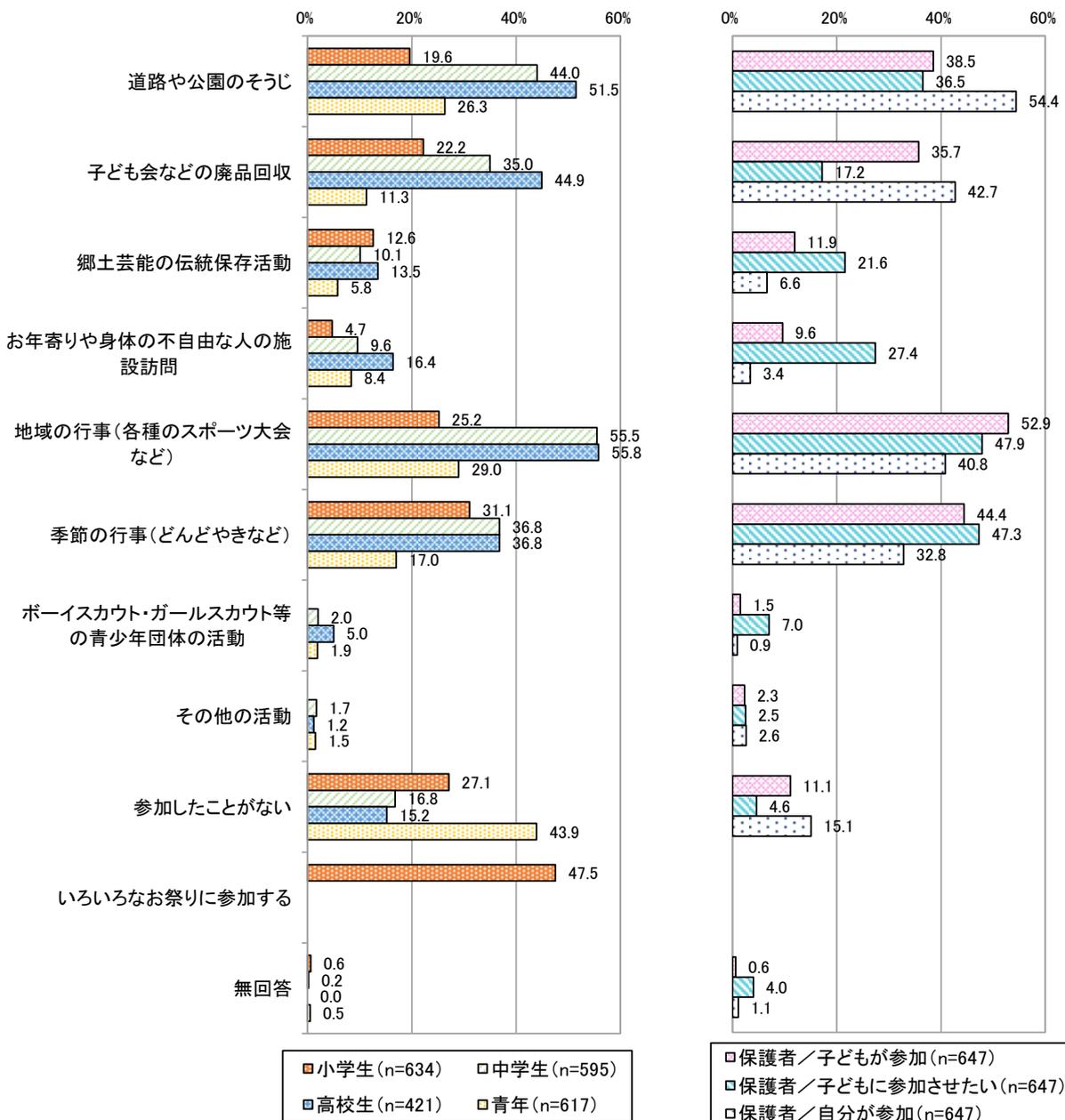
あなたは、次のような地域の活動に参加したことがありますか。参加したことがあるものを全部選んで番号に○をつけてください。

- 1 道路や公園のそうじ
- 2 子ども会などの廃品回収
- 3 郷土芸能の伝統保存活動
- 4 お年寄りや身体の不自由な人の施設訪問
- 5 地域の行事（各種のスポーツ大会など）
- 6 季節の行事（どんどやきなど）
- 7 ボーイスカウト・ガールスカウト等の青少年団体の活動
- 8 その他の活動（ ）
- 9 参加したことがない

※「小学生」では、「ボーイスカウト・ガールスカウト等の青少年団体の活動」と「その他の活動」は聴取していない

※「小学生」にのみ「いろいろなお祭りに参加する」を聴取

図 3. 3. 5



小学生、中学生、高校生、青年に、地域活動への参加について聞いたところ、小学生は「いろいろなお祭りに参加する」が47.5%で最も多く、次いで「季節の行事」(31.1%)、「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(25.2%)と続いています。中学生では「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(55.5%)、「道路や公園のそうじ」(44.0%)、「季節の行事」(36.8%)、「子ども会などの廃品回収」(35.0%)、高校生では「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(55.8%)、「道路や公園のそうじ」(51.5%)、「子ども会などの廃品回収」(44.9%)の順に多くなっています。また、青年では「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(29.0%)、「道路や公園のそうじ」(26.3%)が多いですが、「参加したことがない」と43.9%が回答しており、各種活動への参加率は小学生、中学生、高校生よりも低くなっています。

保護者に、子どもの地域活動について聞いたところ、子どもが参加している割合が高いのは、「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(52.9%)、「季節の行事」(44.4%)、「道路や公園のそうじ」(38.5%)、「子ども会などの廃品回収」(35.7%)となっています。また、子どもに参加させたい地域活動は、「地域の行事(各種のスポーツ大会など)」(47.9%)、「季節の行事」(47.3%)の回答が多くなっています。

過年度調査との比較

図 3. 3. 6 「地域の行事」

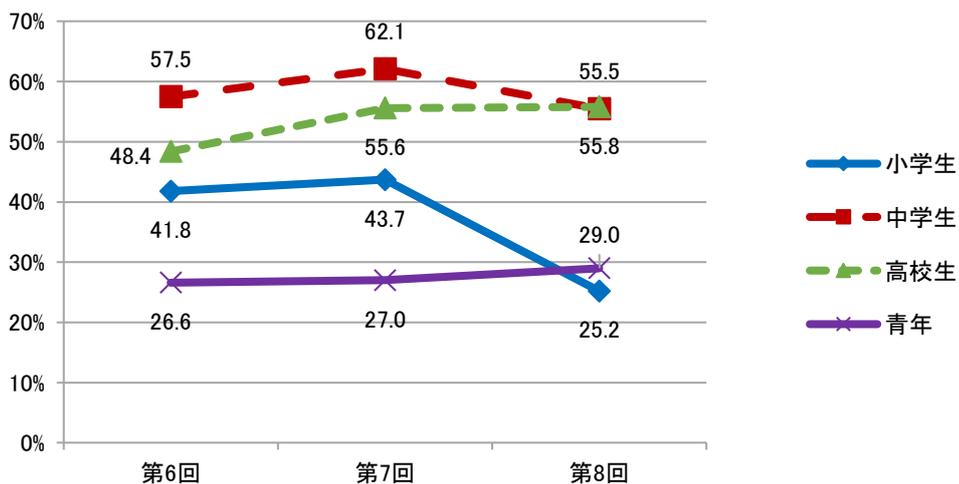


図 3. 3. 7 「郷土芸能の伝統保存活動」

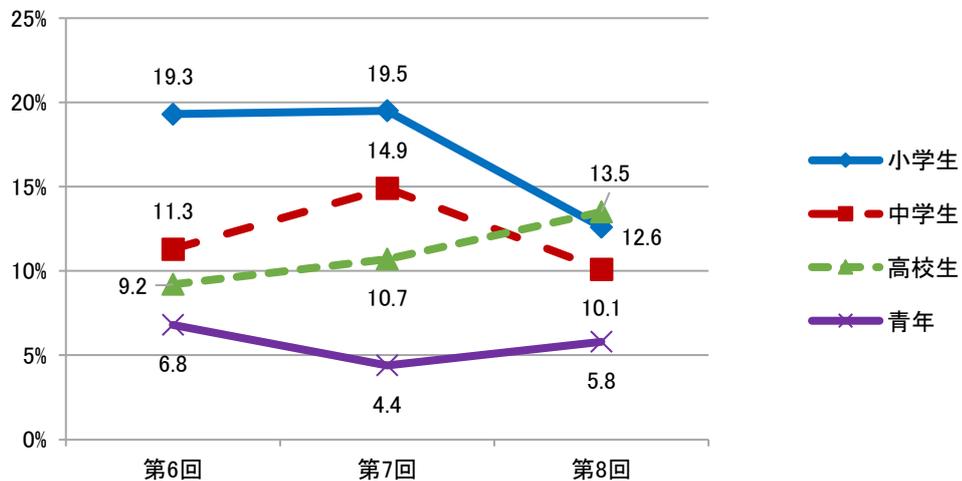
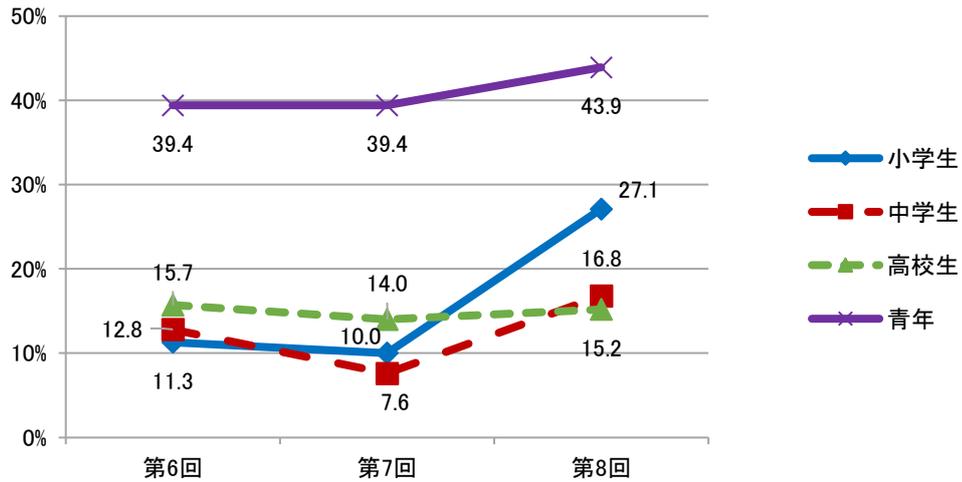


図 3.3.8 「参加したことがない」



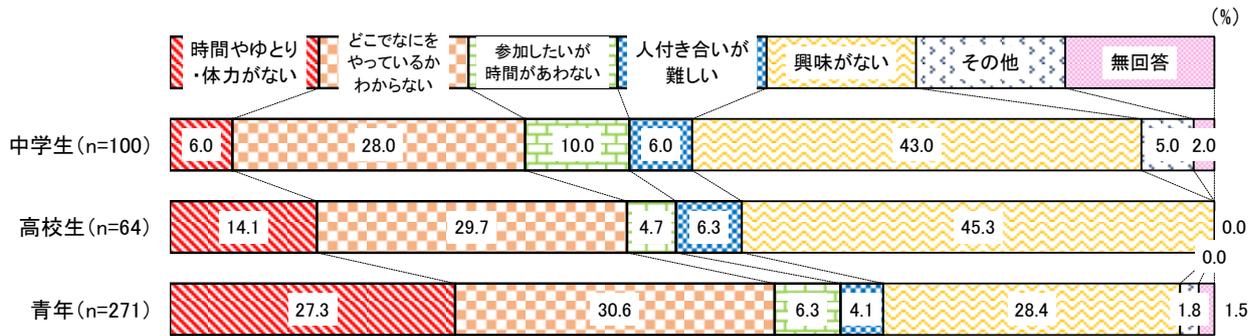
第6回、第7回調査と比較すると、小学生で「地域の行事」の割合が大幅に減少しています。また、「郷土芸能の伝統保存活動」の割合は、小学生と中学生で減少し、高校生と青年で増加しています。また、今回調査では「参加したことがない」の割合は各年代で増加がみられます。

イ. 中学生、高校生、青年の地域活動に参加しない理由

前問で「9 参加したことがない」と答えた人のみ、地域の活動に参加しない理由は何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 時間やゆとり・体力がない                      2 どこでなにをやっているかわからない  
 3 参加したいが時間があわない                4 人付き合いが難しい  
 5 興味がない  
 6 その他 ( )

図 3. 3. 9



地域活動に参加したことがない中学生、高校生、青年に、地域活動に参加しない理由について聞いたところ、中学生の43.0%、高校生の45.3%が「興味がない」と回答しています。次いで、「どこでなにをやっているかわからない」が中学生で28.0%、高校生で29.7%と多くなっています。青年では、「どこでなにをやっているかわからない」が30.6%で最も多く、次いで「興味がない」が28.4%となっています。

過年度調査との比較

図 3. 3. 10 「時間やゆとり・体力がない」

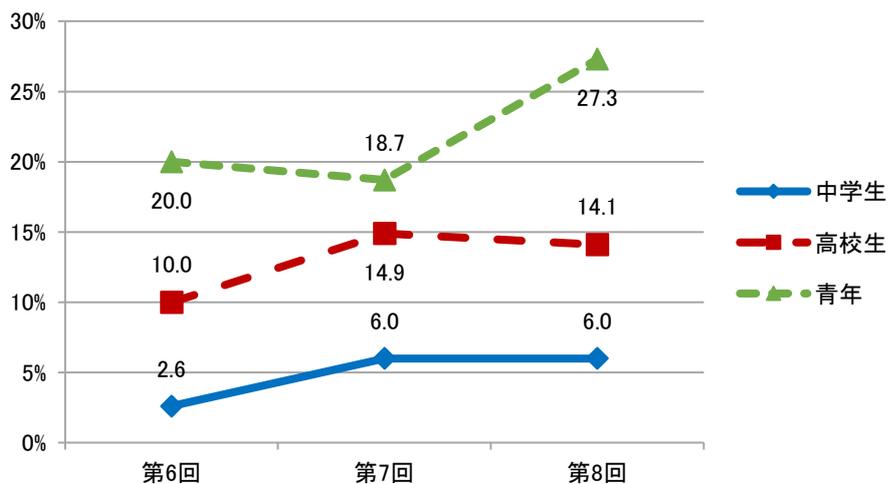


図 3.3.11 「どこでなにをやっているかわからない」

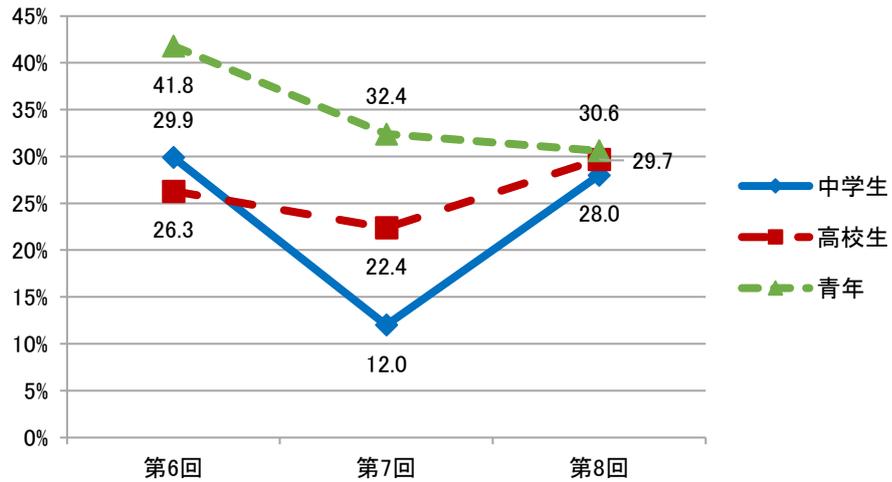
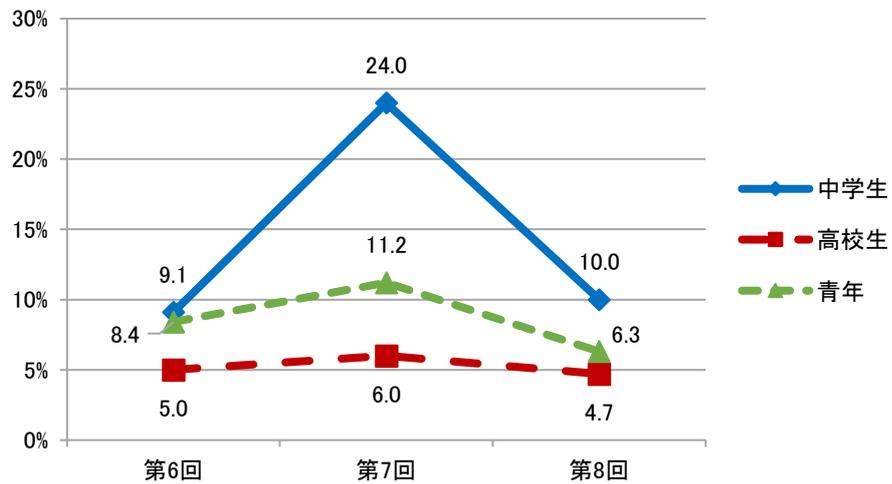


図 3.3.12 「参加したいが時間があわない」



第6回、第7回調査と比較すると、中学生と高校生で「どこでなにをやっているかわからない」、青年で「時間やゆとり・体力がない」が増加している一方で、各年代で「参加したいが時間があわない」が減少しています。

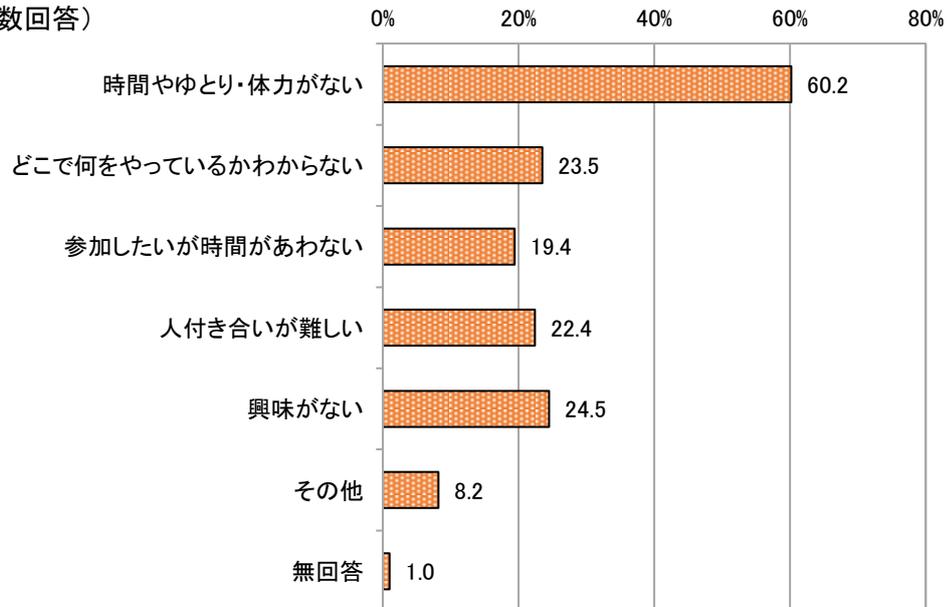
## ウ. 地域活動に参加しない理由（保護者）

前問で「9 参加していない」とお答えの方に伺います。あなたが地域の活動に参加していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1 時間やゆとり・体力がない  | 2 どこで何をやっているかわからない |
| 3 参加したいが時間があわない | 4 人付き合いが難しい        |
| 5 興味がない         |                    |
| 6 その他（          | ）                  |

図 3.3.13

n=98(複数回答)



地域活動に参加しない保護者に、理由を聞いたところ、「時間やゆとり・体力がない」が 60.2%で最も多く、次いで「興味がない」(24.5%)、「どこで何をやっているのかかわからない」(23.5%)、「人付き合いが難しい」(22.4%)と続いています。

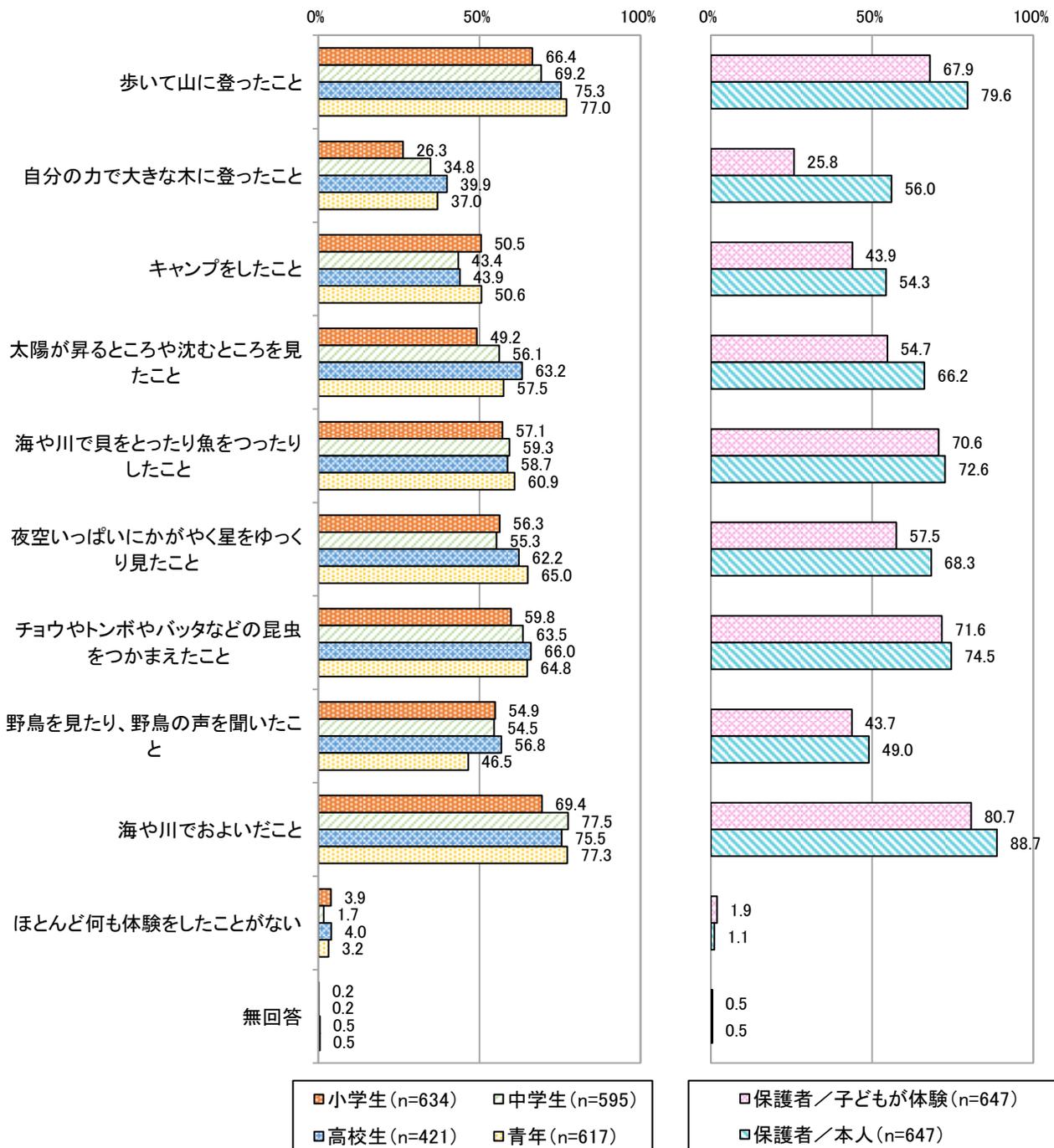


(5) 今までに体験したこと（小学生、中学生、高校生、青年、保護者）

あなたは今までに次のような体験をしたことがありますか。あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

- 1 歩いて山にのぼったこと
- 2 自分の力で大きな木にのぼったこと
- 3 キャンプをしたこと
- 4 太陽が昇るところや沈むところを見たこと
- 5 海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと
- 6 夜空いっぱいにかがやく星をゆっくり見たこと
- 7 チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと
- 8 野鳥を見たり、野鳥の声を聞いたこと
- 9 海や川でおよいだこと
- 10 ほとんど何も体験をしたことがない

図 3. 3. 16



小学生、中学生、高校生、青年、保護者に、今までに体験したことを聞いたところ、小学生、中学生、高校生ともに、「海や川でおよいだこと」（小学生：69.4%、中学生：77.5%、高校生：75.5%）、「歩いて山にのぼったこと」（小学生：66.4%、中学生：69.2%、高校生：75.3%）、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」（小学生：59.8%、中学生：63.5%、高校生：66.0%）の順に多くなっています。

青年では、「海や川でおよいだこと」（77.3%）、「歩いて山にのぼったこと」（77.0%）、「夜空いっぱいにかがやく星をゆっくり見たこと」（65.0%）となっています。

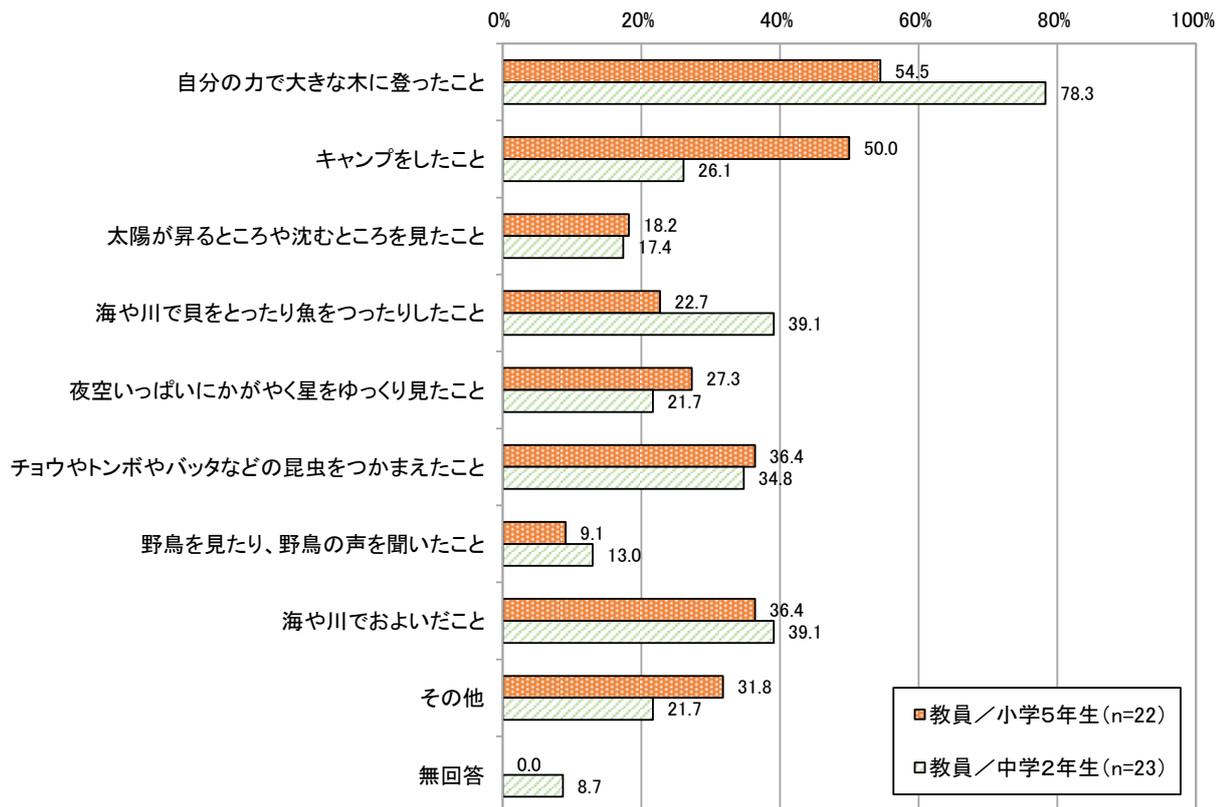
保護者では、保護者本人の体験では、「海や川でおよいだこと」（88.7%）、「歩いて山にのぼったこと」（79.6%）、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」（74.5%）、子どもの体験でも、「海や川でおよいだこと」（80.7%）、「歩いて山にのぼったこと」（79.6%）、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」（74.5%）となっています。

■教員の回答との比較（児童生徒の自己肯定感を高めるために必要な経験）

児童生徒の自己肯定感を高めるには、どのような体験が必要と考えますか。あてはまるものすべてに番号に○をつけてください。

1 自分の力で大きな木に登ったこと                      2 キャンプをしたこと  
 3 太陽が昇るところや沈むところを見たこと          4 海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと  
 5 夜空いっぱいにかがやく星をゆっくり見たこと  
 6 チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと      7 野鳥を見たり、野鳥の声を聞いたこと  
 8 海や川でおよいだこと                                      9 その他（                                      ）

図 3. 3. 1 7



教員に、児童生徒の自己肯定感を高めるために必要な経験を聞いたところ、小学校、中学校の教員ともに「自分の力で大きな木に登ったこと」が最も多く、それぞれ 54.5%、78.3%となっています。次いで小学校の教員は「キャンプをしたこと」(50.0%)、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」、「海や川でおよいだこと」(いずれも 36.4%)、中学校の教員は「海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと」、「海や川でおよいだこと」(いずれも 39.1%)、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」(34.8%)が多くなっています。

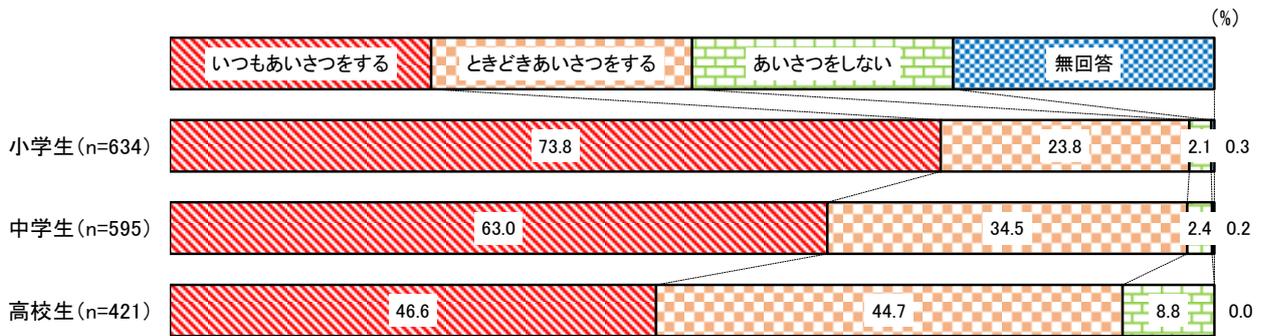
(6) 近所の人にあったときのあいさつ (小学生、中学生、高校生)

あなたは、知り合いの近所の人にあったら、あいさつをしますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 いつもあいさつをする      2 ときどきあいさつをする      3 あいさつをしない

※「小学生」では、はい・ときどき・いいえの選択肢で聴取

図 3.3.18

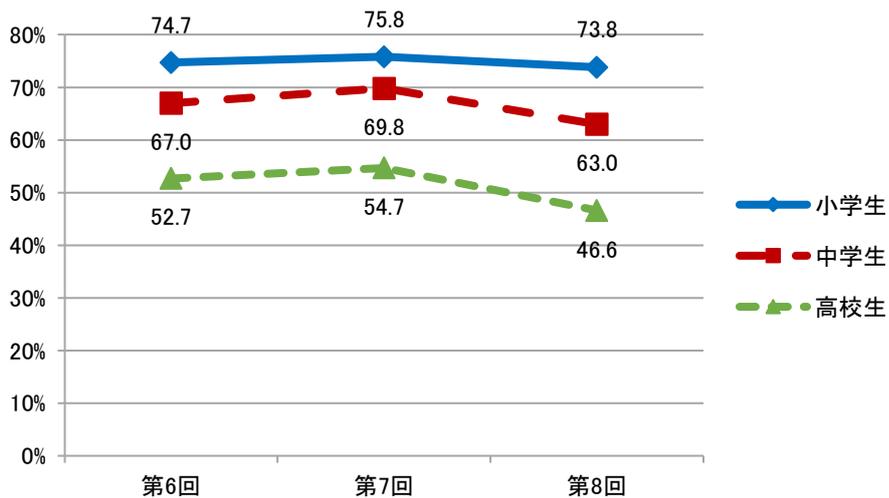


小学生、中学生、高校生に、近所の人にあいさつをするかを聞いたところ、小学生、中学生、高校生ともに「いつもあいさつをする」「ときどきあいさつをする」を合計した割合が、90%を超えています。

「いつもあいさつをする」との回答は、小学生では73.8%、中学生では63.0%、高校生では46.6%と、学年が上がるにつれ割合は減っています。

過年度調査との比較

図 3.3.19 「いつもあいさつをする」



第6回、第7回調査と比較すると、「いつもあいさつをする」と回答した割合は、各年代で減少しています。

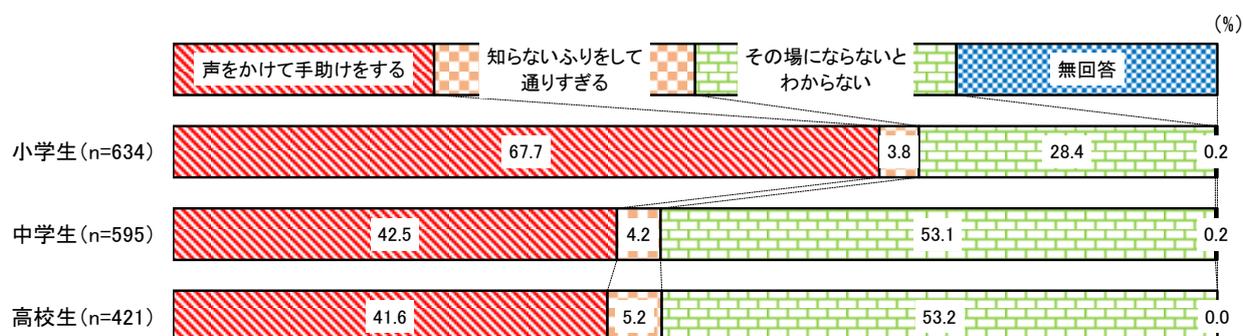
(7) 身体の不自由な人が困っているのを見かけた時 (小学生、中学生、高校生)

あなたは、身体の不自由な人が困っている場面に出会ったら、どうしますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 声をかけて手助けをする                                      2 知らないふりをして通りすぎる

3 その場にならないとわからない

図 3.3.20

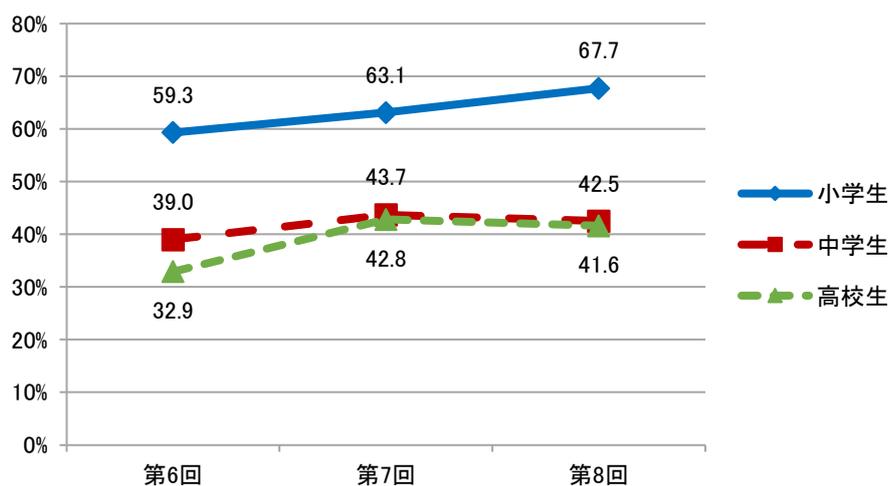


小学生、中学生、高校生に、身体の不自由な人が困っているのを見かけた時にどうするかを聞いたところ、小学生では「声をかけて手助けをする」が67.7%と、「その場にならないとわからない」(28.4%)を上回っています。

一方、中学生と高校生では、「その場にならないとわからない」(中学生：53.1%、高校生：53.2%)が、「声をかけて手助けをする」(中学生：42.5%、高校生：41.6%)を上回っています。

過年度調査との比較

図 3.3.21 「声をかけて手助けする」



第6回、第7回調査と比較してみると、「声をかけて手助けする」と回答した割合は、小学生で増加傾向にあります。

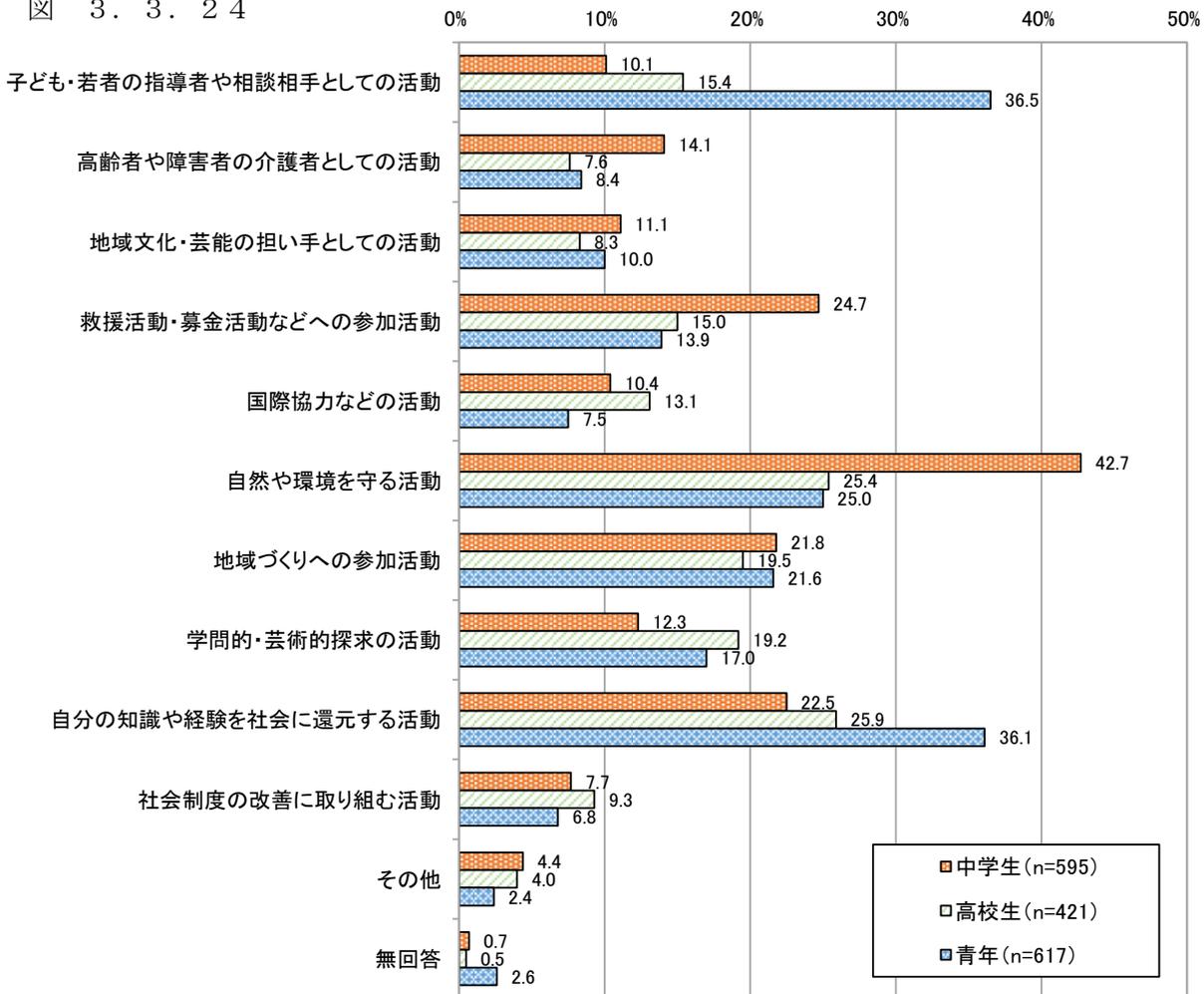


(9) 社会貢献活動（中学生、高校生、青年）

あなたは、今後、どのような活動を通して社会に貢献していきたいと思いますか。次の中から3つ以内で選んでください。

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1 子ども・若者の指導者や相談相手としての活動 | 2 高齢者や障害者の介護者としての活動 |
| 3 地域文化・芸能の担い手としての活動     | 4 救援活動・募金活動などへの参加活動 |
| 5 国際協力などの活動             | 6 自然や環境を守る活動        |
| 7 地域づくりへの参加活動           | 8 学問的・芸術的探求の活動      |
| 9 自分の知識や経験を社会に還元する活動    | 10 社会制度の改善に取り組む活動   |
| 11 その他（                 | ）                   |

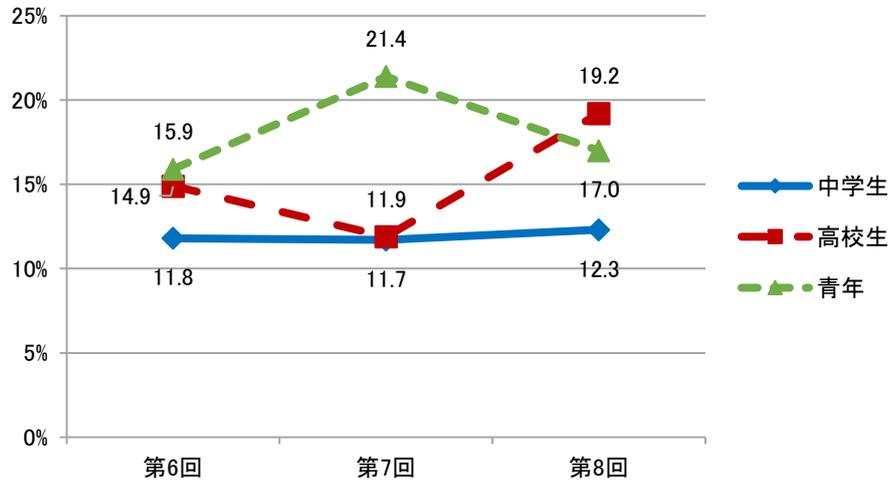
図 3.3.24



中学生、高校生、青年に、社会貢献活動について聞いたところ、中学生では「自然や環境を守る活動」が 42.7%で最も多く、次いで「救援活動・募金活動などへの参加活動」(24.7%)、「自分の知識や経験を社会に還元する活動」(22.5%)、高校生では「自分の知識や経験を社会に還元する活動」が 25.9%で最も多く、次いで「自然や環境を守る活動」(25.4%)、「地域づくりへの参加活動」(19.5%)、青年では「子ども・若者の指導者や相談相手としての活動」が 36.5%で最も多く、次いで「自分の知識や経験を社会に還元する活動」(36.1%)、「自然や環境を守る活動」(25.0%)が多くなっています。

過年度調査との比較

図 3.3.25 「学問的・芸術的探求の活動」



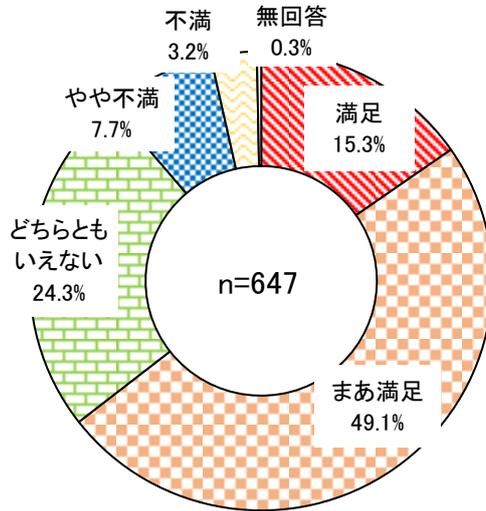
第6回、第7回調査と比較すると、高校生の「学問的・芸術的探求の活動」が大幅に増加しています。

(10) 子育ての観点からの居住地への満足度（保護者）

子育てという観点から、今住んでいる地域にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |        |        |             |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足   | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満   |             |

図 3.3.26



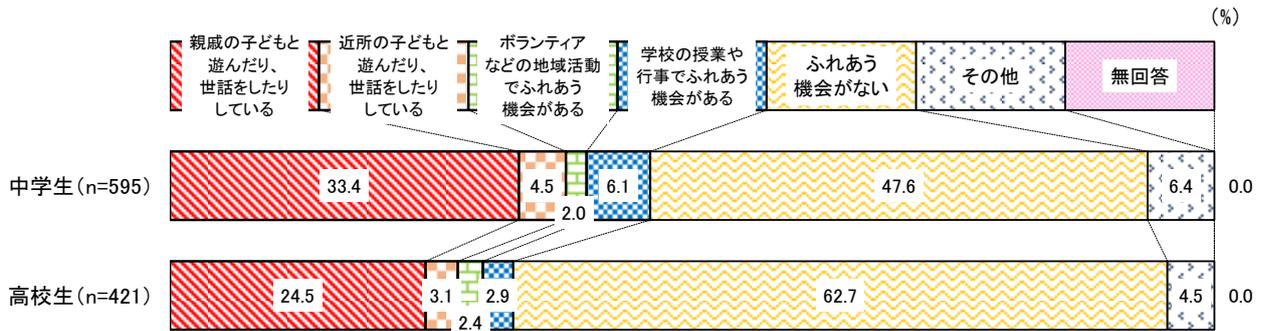
保護者に、子育ての観点から今住んでいる地域への満足度を聞いたところ、「満足」が15.3%、「まあ満足」が49.1%と、満足している人の割合は計64.4%となっています。一方、不満に思っている人は、「やや不満」(7.7%)と、「不満」(3.2%)を合わせると、計10.9%となっています。

(11) 小さな子ども（乳幼児）とふれあう機会（中学生、高校生）

あなたは、小さな子ども（乳幼児）とふれあう機会がありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 親戚の子どもと遊んだり、世話をしたりしている
- 2 近所の子どもと遊んだり、世話をしたりしている
- 3 ボランティアなどの地域活動でふれあう機会がある
- 4 学校の授業や行事でふれあう機会がある
- 5 ふれあう機会がない
- 6 その他

図 3. 3. 27



中学生、高校生に、小さな子ども（乳幼児）とふれあう機会があるか聞いたところ、「ふれあう機会がない」がそれぞれ 47.6%、62.7%と、ふれあう機会がある合計（中学生：46.0%、高校生：32.9%）を上回っています。

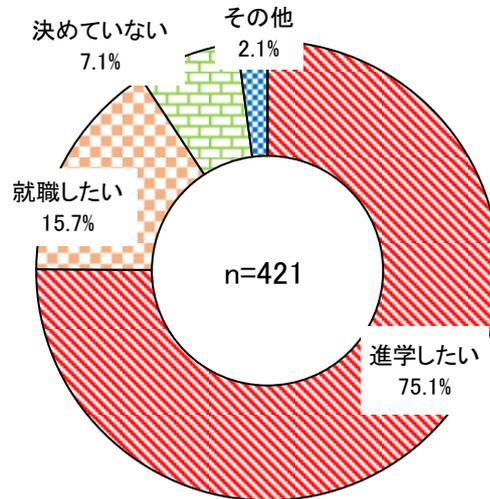
(12) 高校卒業後の進路

ア. 高校卒業後の進路についての考え（高校生）

あなたは、高校卒業後の進路をどのように考えていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 進学したい      2 就職したい      3 決めていない      4 その他

図 3. 3. 28



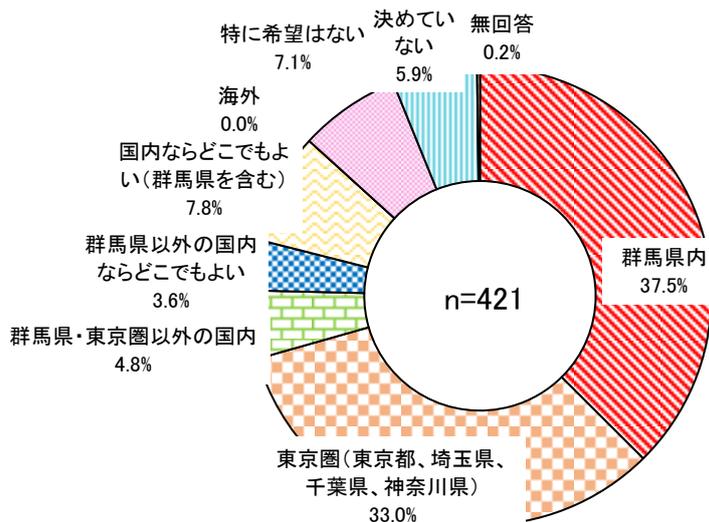
高校生に、高校卒業後の進路について聞いたところ、「進学したい」が 75.1%、「就職したい」が 15.7%、「決めていない」が 7.1%となっています。

イ. 進学や就職などを考えている地域（高校生）

あなたが高校卒業後、進学や就職などを考えている地域はどこですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 群馬県内                                  2 東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）  
 3 群馬県・東京圏以外の国内（道府県名：                                  ）  
 4 群馬県以外の国内ならどこでもよい      5 国内ならどこでもよい（群馬県を含む）  
 6 海外                                  7 特に希望はない                                  8 決めていない

図 3.3.29



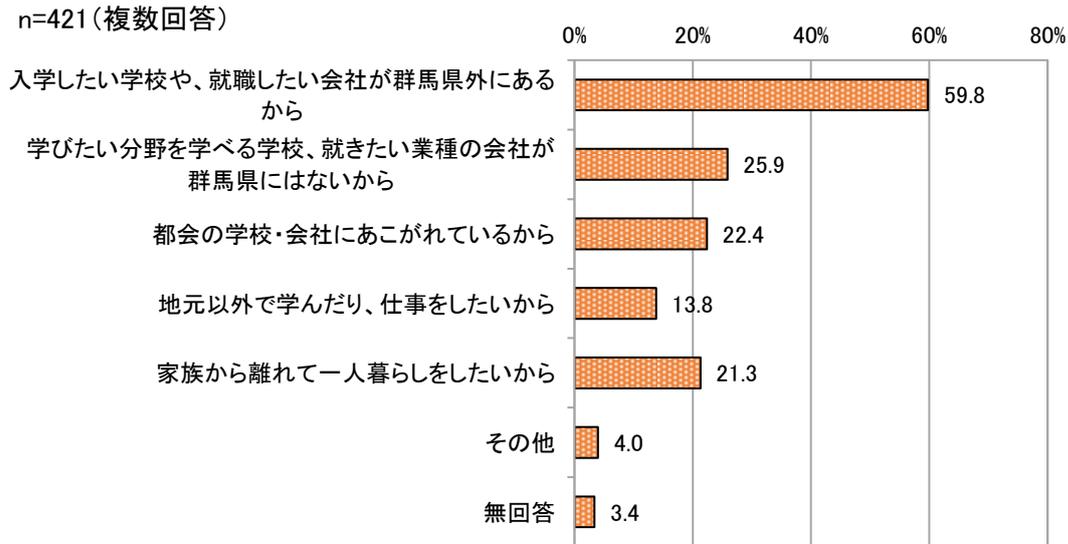
高校生に、進学や就職などを考えている地域について聞いたところ、「群馬県内」が 37.5%と最も多く、次いで「東京圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）」が 33.0%、「国内ならどこでもよい（群馬県を含む）」が 7.8%、「特に希望はない」が 7.1%と続いています。

ウ. 群馬県内以外を考えている理由（高校生）

前問で「東京圏」、「群馬県・東京圏以外の国内」、「群馬県以外の国内ならどこでもよい」、「海外」と回答した方に伺います。その理由は何ですか。次の中から2つ以内で選んでください。

- 1 入学したい学校や、就職したい会社が群馬県外にあるから
- 2 学びたい分野を学べる学校、就きたい業種の会社が群馬県にはないから
- 3 都会の学校・会社にあこがれているから
- 4 地元以外で学んだり、仕事をしたいから
- 5 家族から離れて一人暮らしをしたいから
- 6 その他

図 3. 3. 30



高校生に、進学や就職などについて群馬県内以外を考えている理由を聞いたところ、「入学したい学校や、就職したい会社が群馬県外にあるから」が59.8%と最も多く、次いで「学びたい分野を学べる学校、就きたい業種の会社が群馬県にはないから」が25.9%、「都会の学校・会社にあこがれているから」が22.4%、「家族から離れて一人暮らしをしたいから」が21.3%と続いています。

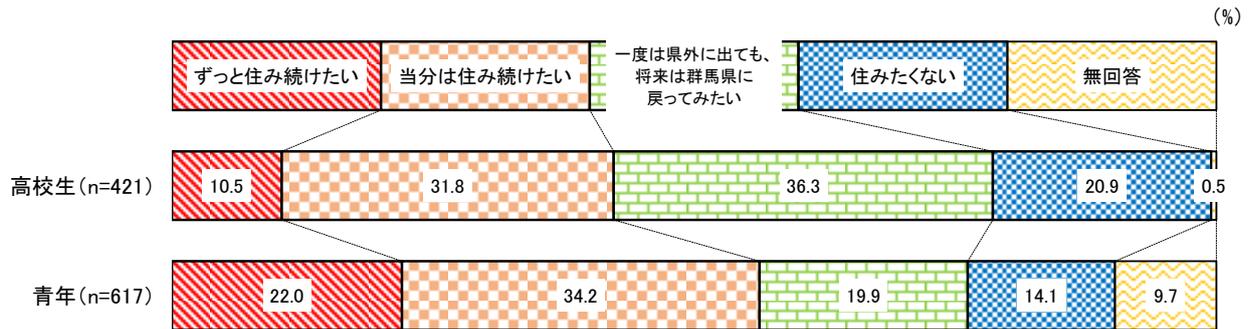
(13) 群馬県への居留意向

ア. 将来の群馬県への居留意向（高校生、青年）

群馬県にお住まいの方のみご回答ください。あなたは将来群馬県に住みたいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 ずっと住みたい            2 当分は住みたい  
 3 一度は県外に出ても、将来は群馬県に戻りたい            4 住みたくない

図 3. 3. 3 1



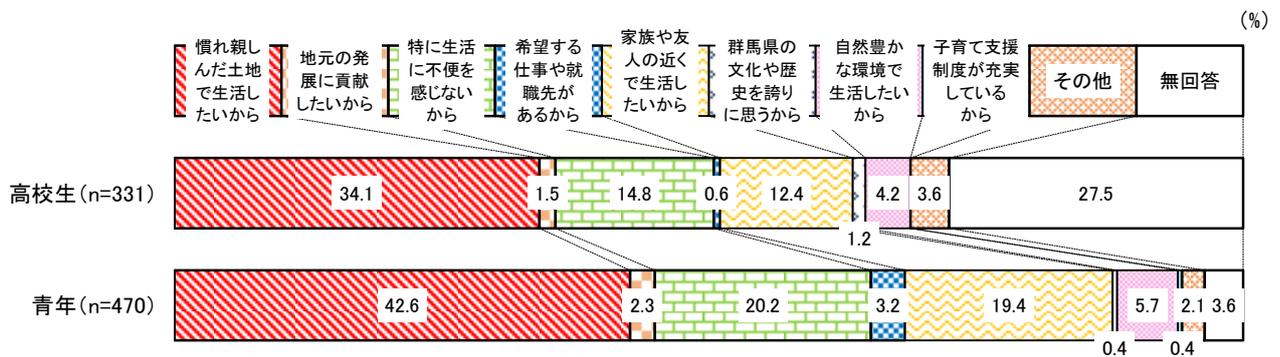
高校生、青年に、将来群馬県に住みたいかを聞いたところ、高校生では「一度は県外に出ても、将来は群馬県に戻りたい」が36.3%、青年では「当分は住みたい」が34.2%と最も多くなっています。

イ. 群馬県に住みたい理由（高校生、青年）

前問で「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」「一度は県外に出ても、将来は群馬県に戻って住みたい」と回答した方に伺います。群馬県に住みたいと思う理由は何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 慣れ親しんだ土地で生活したいから | 2. 地元の発展に貢献したいから     |
| 3. 特に生活に不便を感じないから   | 4. 希望する仕事や就職先があるから   |
| 5. 家族や友人の近くで生活したいから | 6. 群馬県の文化や歴史を誇りに思うから |
| 7. 自然豊かな環境で生活したいから  | 8. 子育て支援制度が充実しているから  |
| 9. その他              |                      |

図 3.3.32



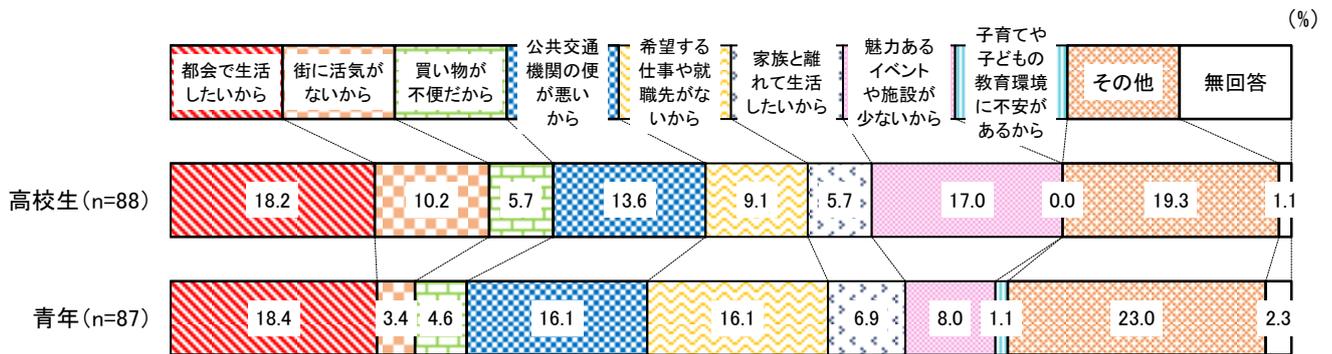
高校生、青年に、将来群馬県に住みたいと思う理由を聞いたところ、高校生、青年ともに「慣れ親しんだ土地で生活したいから」が最も多く、それぞれ 34.1%、42.6%が回答しています。次いで、「特に生活に不便を感じないから」（高校生：14.8%、青年：20.2%）、「家族や友人の近くで生活したいから」（高校生：12.4%、青年：19.4%）と続いています。

ウ. 群馬県に住みたくない理由（高校生、青年）

「住みたくない」と回答した方に伺います。群馬県に住みたくないと思う理由は何ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 都会で生活したいから
2. 街に活気がないから
3. 買い物不便だから
4. 公共交通機関の便が悪いから
5. 希望する仕事や就職先がないから
6. 家族と離れて生活したいから
7. 魅力あるイベントや施設が少ないから
8. 子育てや子どもの教育環境に不安があるから
9. その他

図 3. 3. 33



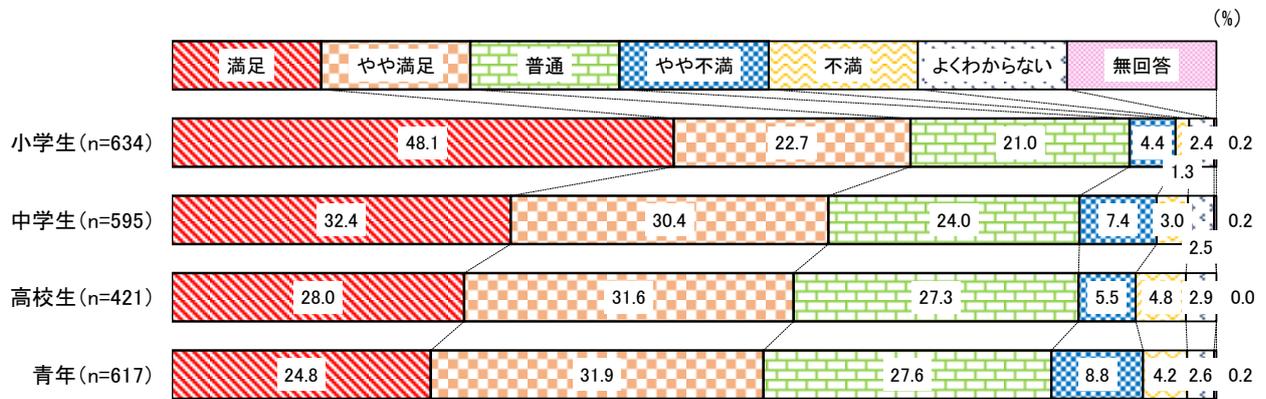
高校生、青年に、将来群馬県に住みたくないと思う理由を聞いたところ、高校生、青年ともに「都会で生活したいから」が最も多く、それぞれ18.2%、18.4%が回答しています。次いで、高校生は「魅力あるイベントや施設が少ないから」(17.0%)、「公共交通機関の便が悪いから」(13.6%)、青年は「公共交通機関の便が悪いから」、「希望する仕事や就職先がないから」(いずれも16.1%)となっています。

## 4 生活全般

### (1) 現在の生活の満足度（小学生、中学生、高校生、青年）

現在の生活に満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 満足 2 やや満足 3 普通 4 やや不満 5 不満 6 よくわからない

図 3. 4. 1

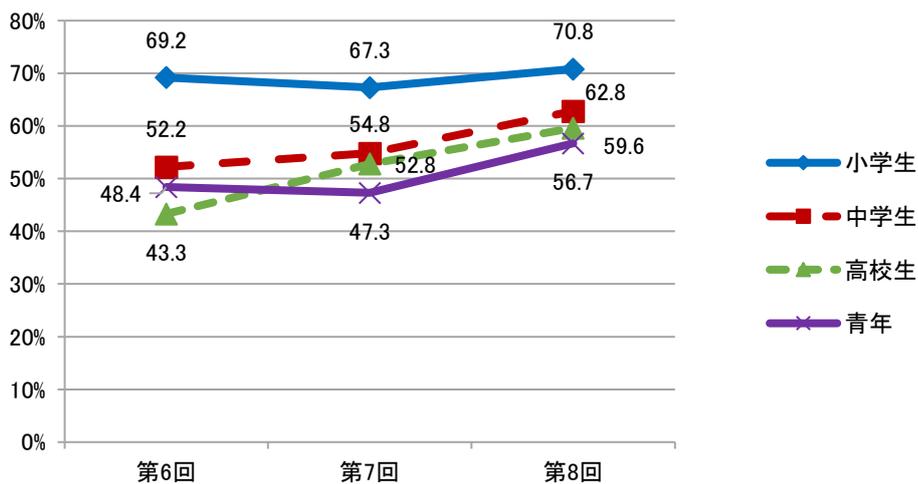


小学生、中学生、高校生、青年に、現在の生活の満足度を聞いたところ、小学生、中学生では「満足」が最も多く、小学生の48.1%、中学生の32.4%が回答しています。高校生、青年は「やや満足」が最も多く、高校生の31.6%、青年の31.9%が回答しています。

全体の傾向としては、「満足」「やや満足」を合わせた割合は、小学生の計70.8%から、学年が上がるにつれて減っていき、中学生では計62.8%、高校生では計59.6%、青年では計56.7%となっています。

#### 過年度調査との比較

図 3. 4. 2 「満足」 + 「やや満足」



第6回、第7回調査と比較すると、「満足」+「やや満足」と回答した人の割合は、各年代で増加傾向にあります。

(2) 悩みや心配ごと

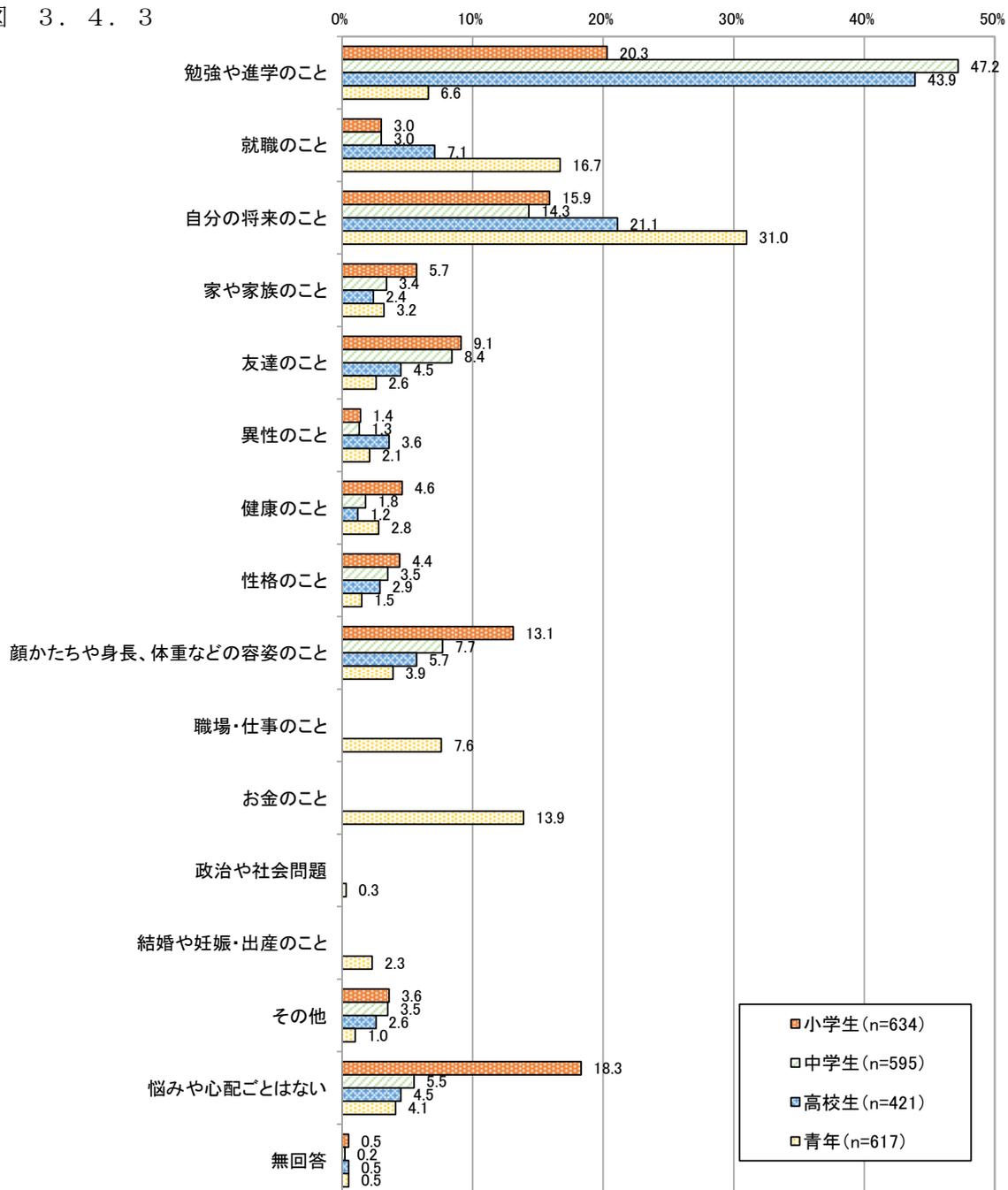
ア. 悩みや心配ごとで最も大きいもの (小学生、中学生、高校生、青年)

あなたの悩みや心配ごとの中で、最も大きいものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 勉強や進学のこと	2 就職のこと
3 自分の将来のこと	4 家や家族のこと
5 友達のこと	6 異性のこと
7 健康のこと	8 性格のこと
9 顔かたちや身長、体重などの容姿のこと	10 職場・仕事のこと
11 お金のこと	12 政治や社会問題
13 結婚や妊娠・出産のこと	14 その他 ( )
15 悩みや心配事はない	

※「職場・仕事のこと」「お金のこと」「政治や社会問題」「結婚や妊娠・出産のこと」については、「青年」のみに聴取

図 3.4.3



小学生、中学生、高校生、青年に、悩みや心配ごとについて聞いたところ、小学生、中学生、高校生は「勉強や進学のこと」が最も多く、それぞれ20.3%、47.2%、43.9%となっています。次いで小学生では「自分の将来のこと」(15.9%)、「顔かたちや身長、体重などの容姿のこと」(13.1%)、中学生では「自分の将来のこと」(14.3%)、「友達のこと」(8.4%)、高校生では「自分の将来のこと」(21.1%)、「就職のこと」(7.1%)が多くなっています。

青年では、「自分の将来のこと」が31.0%で最も多く、次いで「就職のこと」(16.7%)、「お金のこと」(13.9%)となっています。

過年度調査との比較

図 3.4.4 「勉強や進学のこと」

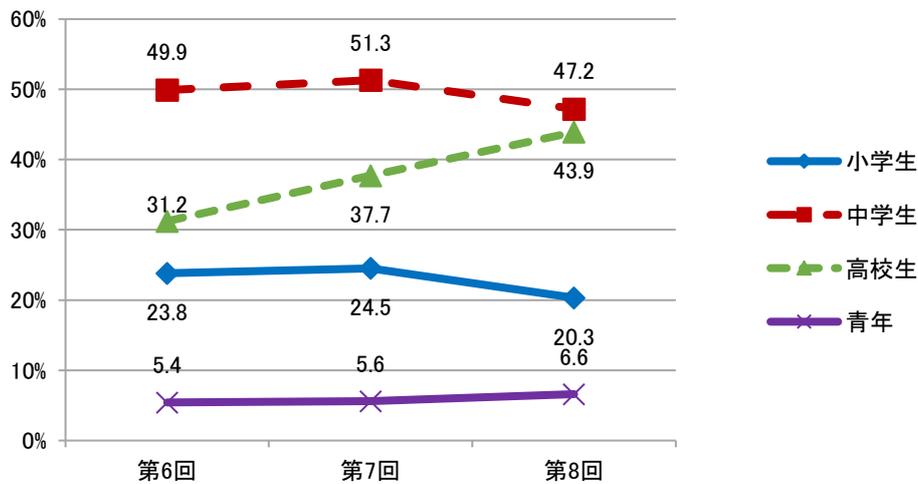
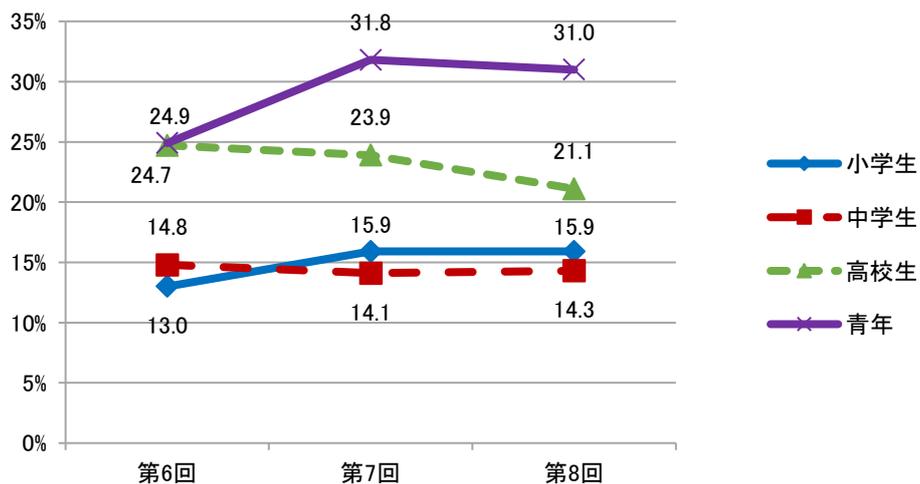


図 3.4.5 「自分の将来のこと」



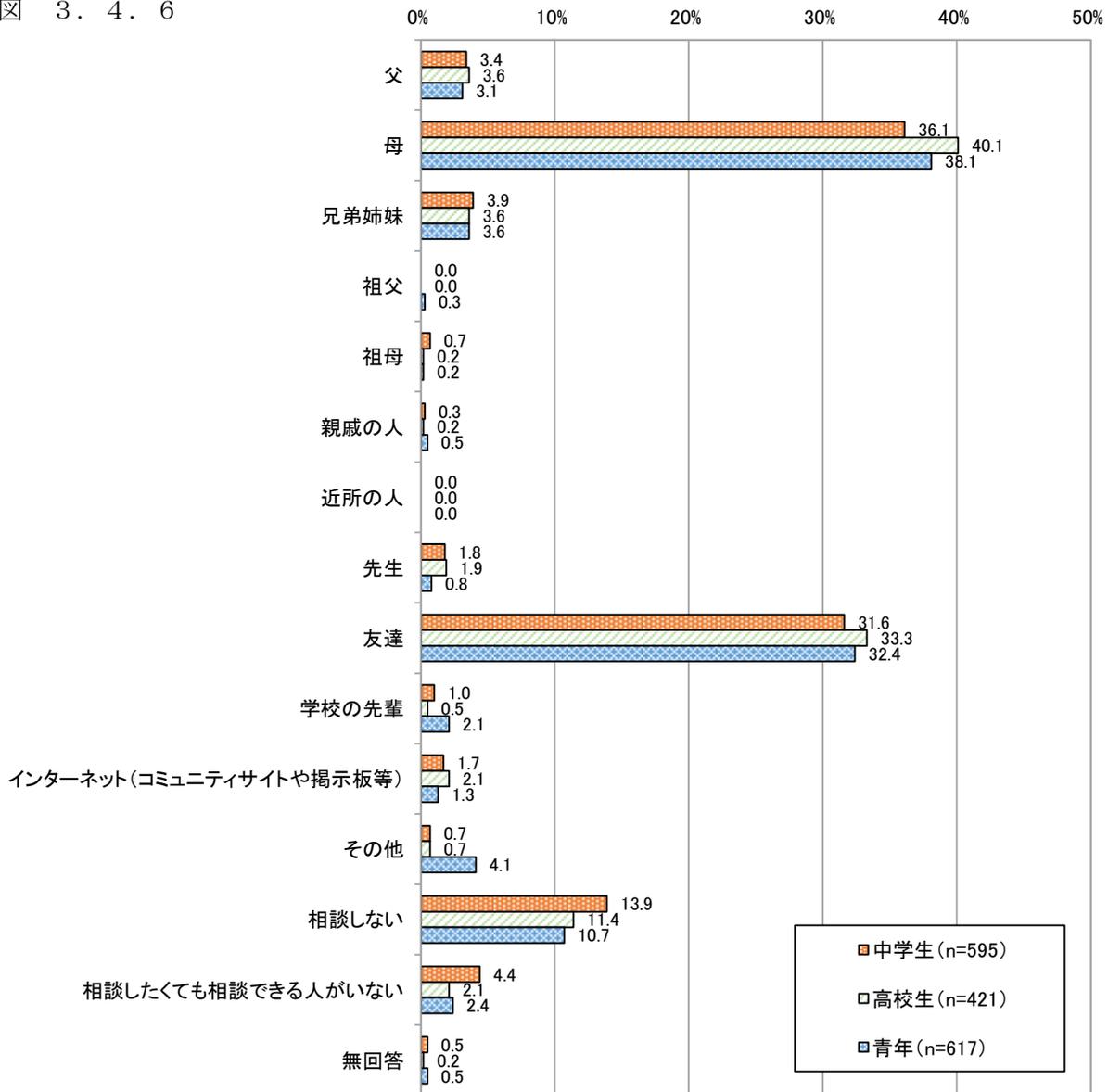
第6回、第7回調査と比較すると、高校生では「勉強や進学のこと」が増加傾向にある一方で、「自分の将来のこと」は減少傾向にあります。

イ. 悩みや心配ごとの相談相手（中学生、高校生、青年）

悩みや心配があったとき、あなたは誰に相談する機会が多いですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 父	2 母	3 兄弟姉妹
4 祖父	5 祖母	6 親戚の人
7 近所の人	8 先生	9 友達
10 学校の先輩	11 インターネット（コミュニティサイトや掲示板等）	
12 その他（		）
13 相談しない	14 相談したくても相談できる人がいない	

図 3. 4. 6



中学生、高校生、青年に、悩みや心配ごとの相談相手を聞いたところ、各年代ともに「母」が最も多く、中学生では 36.1%、高校生では 40.1%、青年では 38.1%が回答しています。次いで、各年代ともに「友達」が多く、中学生では 31.6%、高校生では 33.3%、青年では 32.4%が回答しています。

過年度調査との比較

図 3.4.7 「母」

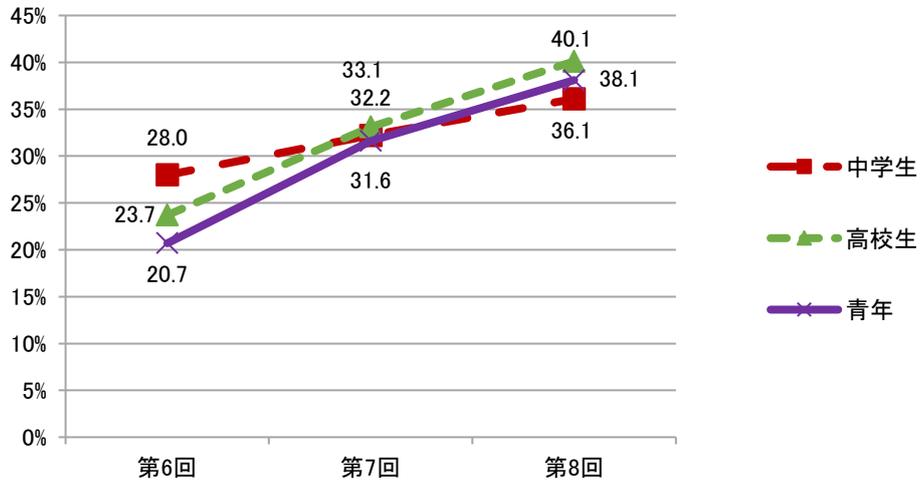
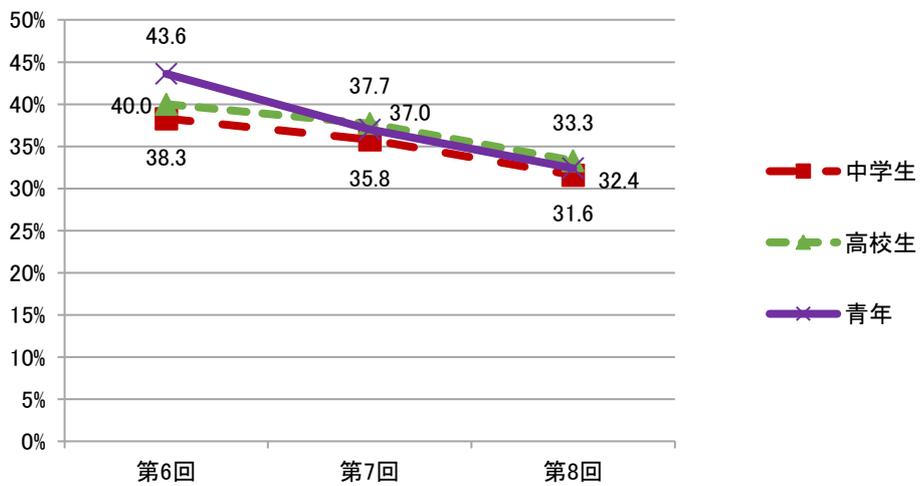


図 3.4.8 「友達」



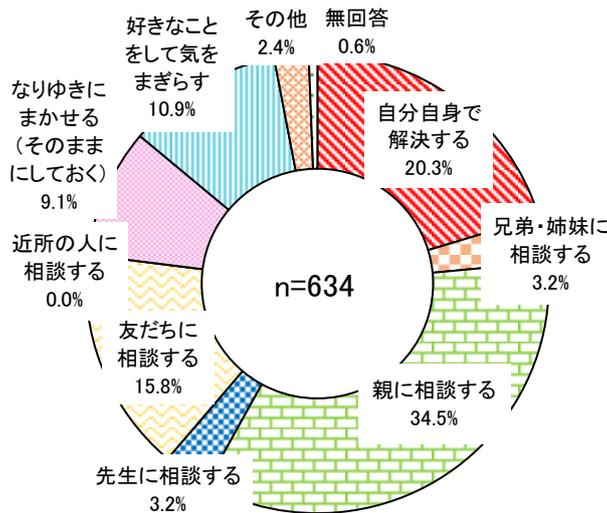
第6回、第7回調査と比較すると、各年代で「母」が増加傾向にあり、「友達」が減少傾向にあります。

ウ. 困ったことや心配ごとへの対処方法（小学生）

あなたは、困ったことや心配ごとがあったとき、どうしますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1 自分自身で解決する            | 2 兄弟・姉妹に相談する     |
| 3 親に相談する               | 4 先生に相談する        |
| 5 友だちに相談する             | 6 近所の人に相談する      |
| 7 なりゆきにまかせる（そのままにしておく） | 8 好きなことをして気をまぎらす |
| 9 その他                  |                  |

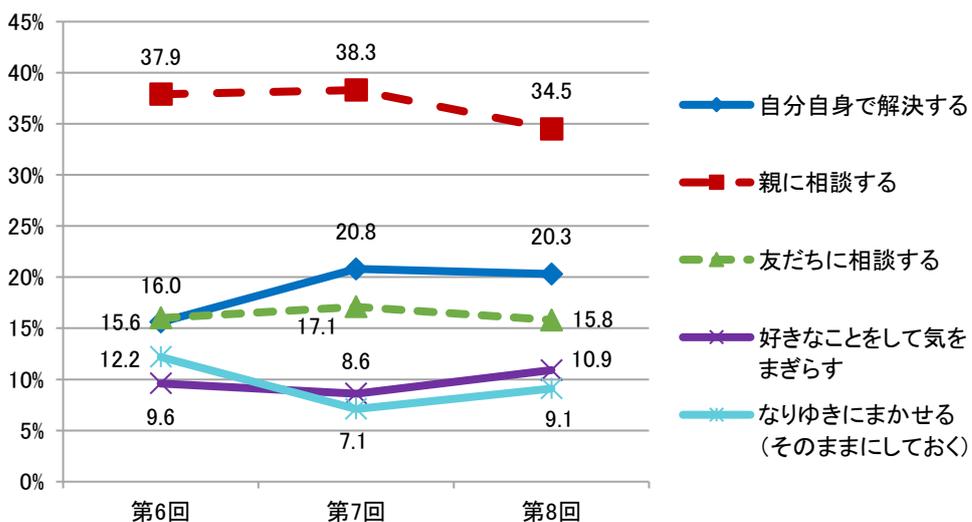
図 3. 4. 9



小学生に、困ったことや心配ごとがあった時の対処方法を聞いたところ、「親に相談する」が 34.5% と最も多く、次いで「自分自身で解決する」(20.3%)、「友だちに相談する」(15.8%)、「好きなことをして気をまぎらす」(10.9%) となっています。

過年度調査との比較

図 3. 4. 10



第6回、第7回調査と比較すると、「親に相談する」がやや減少していますが、ほぼ同様の傾向が示されています。

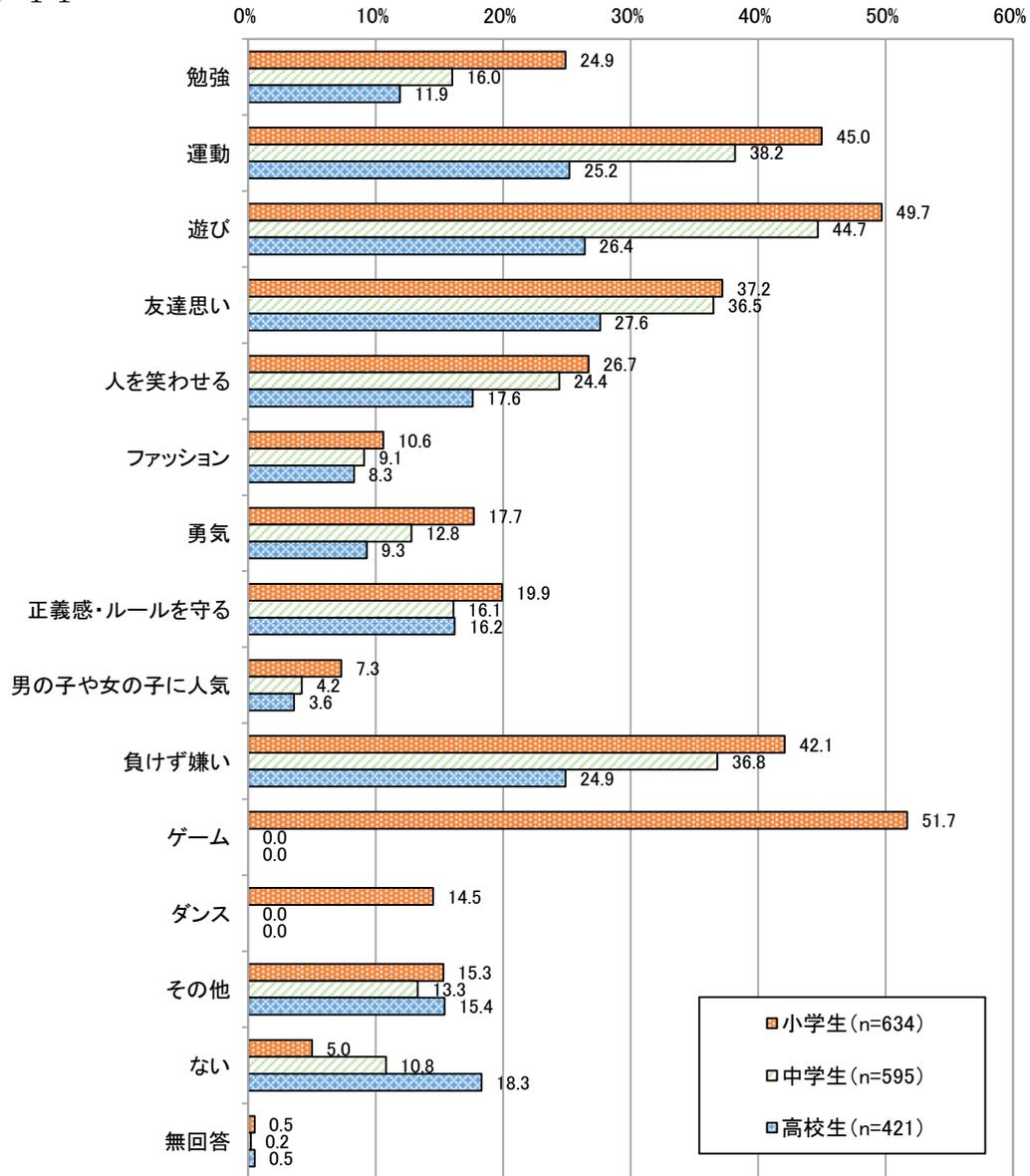
(3) 得意・自信のあるもの(小学生、中学生、高校生)

あなたには、得意なものや自信のあるものがありますか。あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

- |          |              |              |
|----------|--------------|--------------|
| 1 勉強     | 2 運動         | 3 遊び         |
| 4 友達思い   | 5 人を笑わせる     | 6 ファッション     |
| 7 勇気     | 8 正義感・ルールを守る | 9 男の子や女の子に人気 |
| 10 負けず嫌い | 11 ゲーム       | 12 ダンス       |
| 13 その他   | 14 ない        |              |

※「ゲーム」「ダンス」については、「小学生」のみに聴取

図 3.4.11



小学生、中学生、高校生に、得意なものや自信があるものを聞いたところ、小学生では、「ゲーム」が 51.7%と最も多く、次いで「遊び」(49.7%)、「運動」(45.0%)、「負けず嫌い」(42.1%)の回答が多くなっています。中学生では「遊び」(44.7%)、「運動」(38.2%)、「負けず嫌い」(36.8%)、「友達思い」(36.5%)、高校生では「友達思い」(27.6%)、「遊び」(26.4%)、「運動」(25.2%)、「負けず嫌い」(24.9%)が多くなっています。

(4) 規範意識

ア. 規範意識 (小学生)

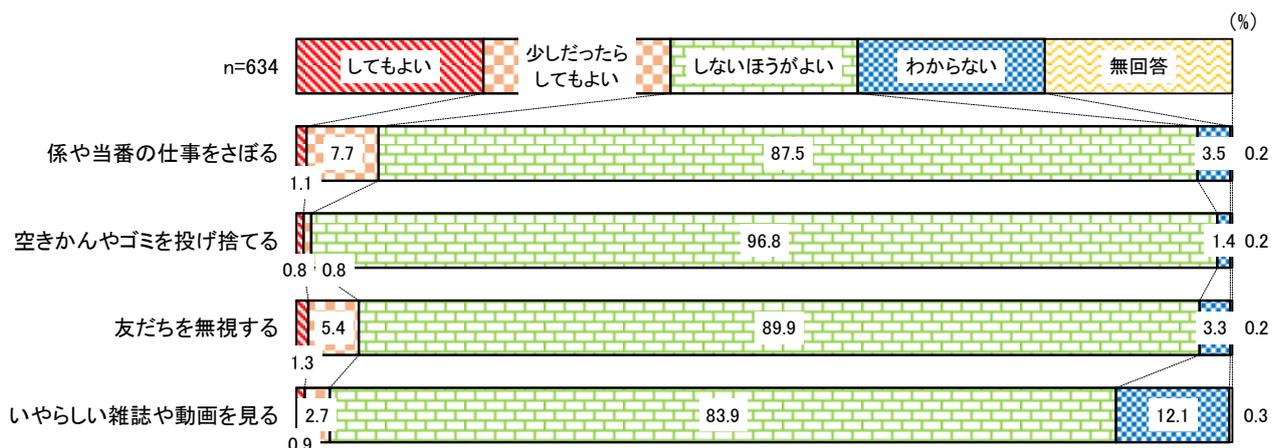
小学生が次のようなことをすることについて、あなたはどのように思いますか。あてはまるものをそれぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

ア 係や当番の仕事をさぼる                      イ 空きかんやゴミを投げ捨てる  
 ウ 友だちを無視する                              エ いやらしい雑誌や動画を見る

<ア～エそれぞれの選択肢>

1 してもよい      2 少しだったらしてもよい      3 しないほうがよい      4 わからない

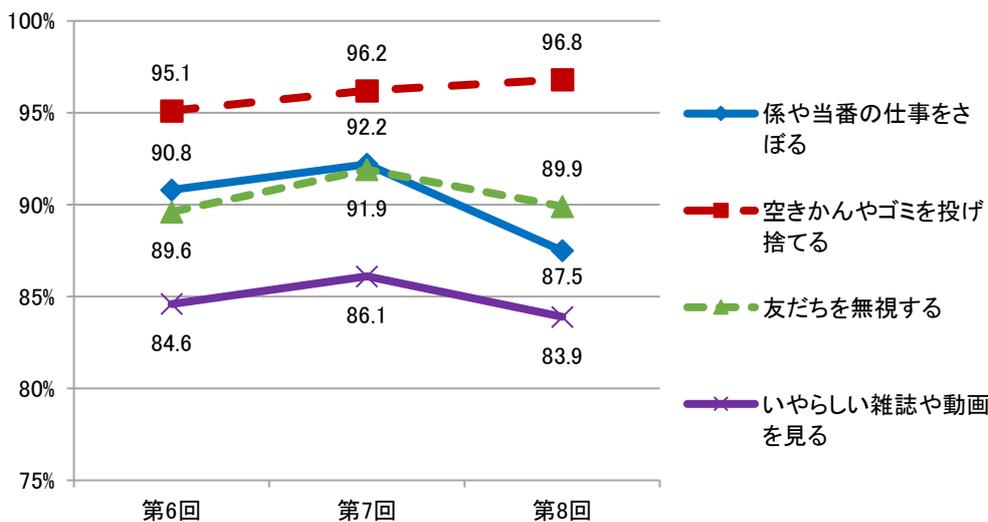
図 3. 4. 1 2



小学生に規範意識について聞いたところ、すべての項目で「しないほうがよい」が多く、9割近くという結果になっています。「いやらしい雑誌や動画を見る」のみ、「わからない」が他の項目よりも多く、12.1%の人が回答しています。

過年度調査との比較

図 3. 4. 1 3 「しないほうがよい」



第6回、第7回調査と比較すると、各項目とも「しないほうがよい」が80%を超えておりほぼ同様の傾向を示していますが、「係や当番の仕事をさぼる」の規範意識が低下しています。

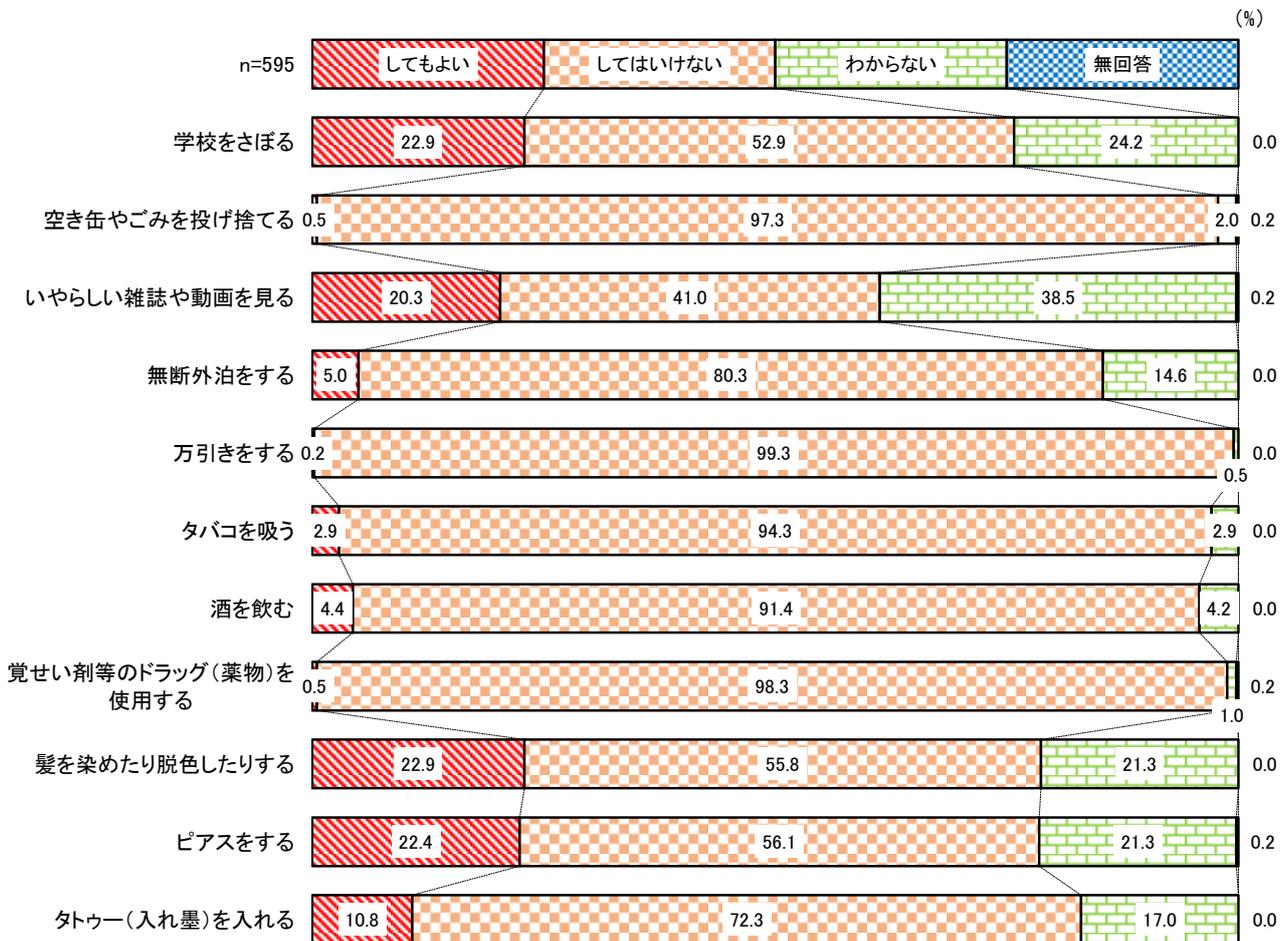
イ. 規範意識 (中学生)

中学生・高校生が次のようなことをすることについて、あなたはどのように思いますか。次のそれぞれについて、1つずつ選んで番号に○をつけてください。

ア 学校をさぼる                      イ 空き缶やごみを投げ捨てる  
 ウ いやらしい雑誌や動画を見る                      エ 無断外泊をする  
 オ 万引きをする                      カ タバコを吸う  
 キ 酒を飲む                      ク 覚せい剤等のドラッグ(薬物)を使用する  
 ケ 髪を染めたり脱色したりする                      コ ピアスをする  
 サ タトゥー(入れ墨)を入れる

<ア~サそれぞれの選択肢>  
 1 してもよい                      2 してはいけない                      3 わからない

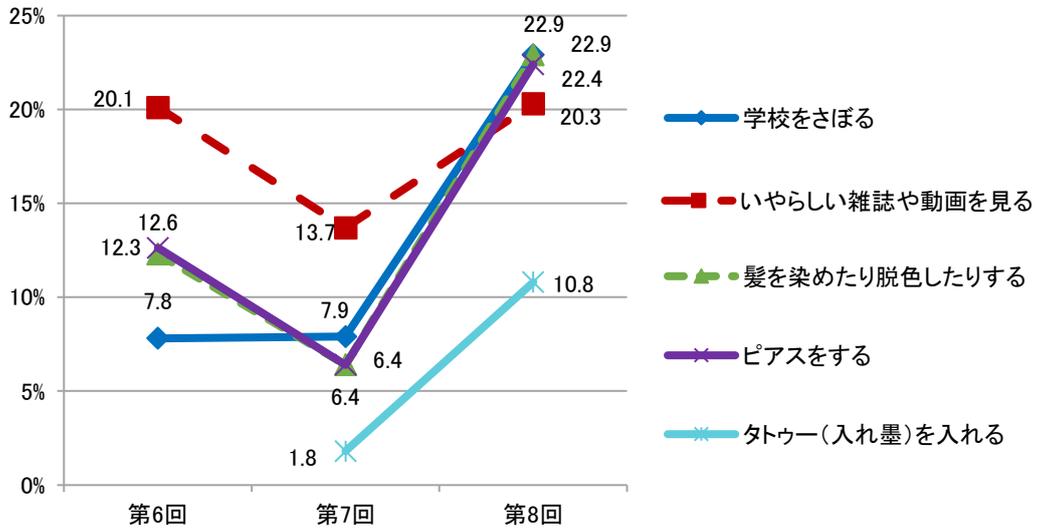
図 3.4.14



中学生に規範意識について聞いたところ、すべての項目で「してはいけない」が多くなっています。項目別には、「いやらしい雑誌や動画を見る」が「してはいけない」と回答した割合が最も低く、「してもよい」が20.3%、「わからない」が38.5%となっています。次に「してはいけない」の割合が低いのは「髪を染めたり脱色する」(55.8%)、「ピアスをする」(56.1%)で、「してもよい」が22.9%、22.4%、「わからない」がそれぞれ21.3%となっています。

過年度調査との比較

図 3.4.15 「してもよい」



第6回、第7回調査と比較すると、「いやらしい雑誌や動画を見る」「髪を染めたり脱色する」「ピアスをする」の割合は、第7回調査で一度減少しましたが、今回調査で大幅に増加しています。また、「学校をさぼる」「タトゥー(入れ墨)を入れる」も今回調査で大幅に増加しています。

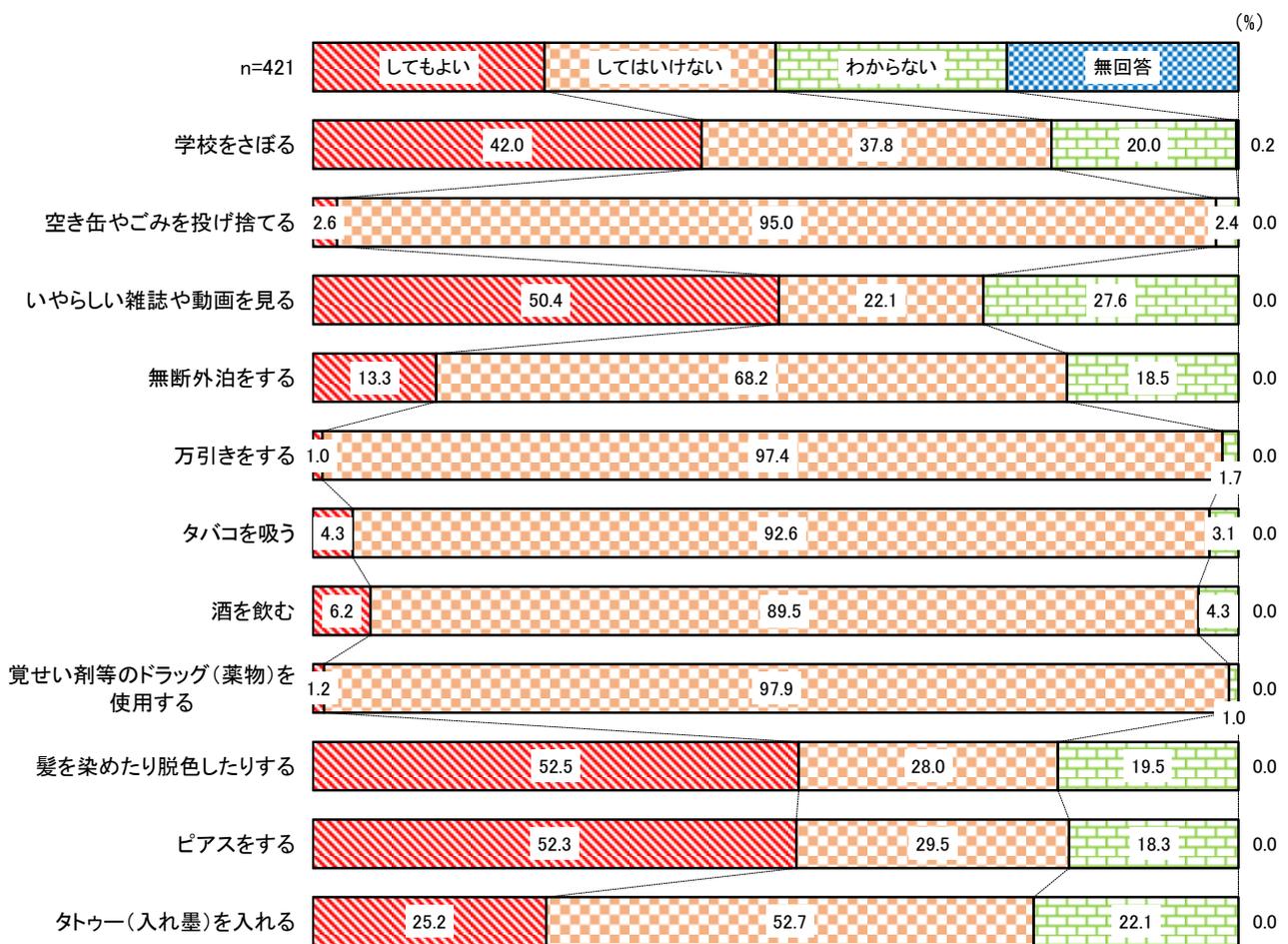
ウ. 規範意識 (高校生)

中学生・高校生が次のようなことをすることについて、あなたはどのように思いますか。次のそれぞれについて、1つずつ選んで番号に○をつけてください。

ア 学校をさぼる                      イ 空き缶やごみを投げ捨てる  
 ウ いやらしい雑誌や動画を見る                      エ 無断外泊をする  
 オ 万引きをする                      カ タバコを吸う  
 キ 酒を飲む                      ク 覚せい剤等のドラッグ (薬物) を使用する  
 ケ 髪を染めたり脱色したりする                      コ ピアスをする  
 サ タトゥー (入れ墨) を入れる

<ア~サそれぞれの選択肢>  
 1 してもよい                      2 してはいけない                      3 わからない

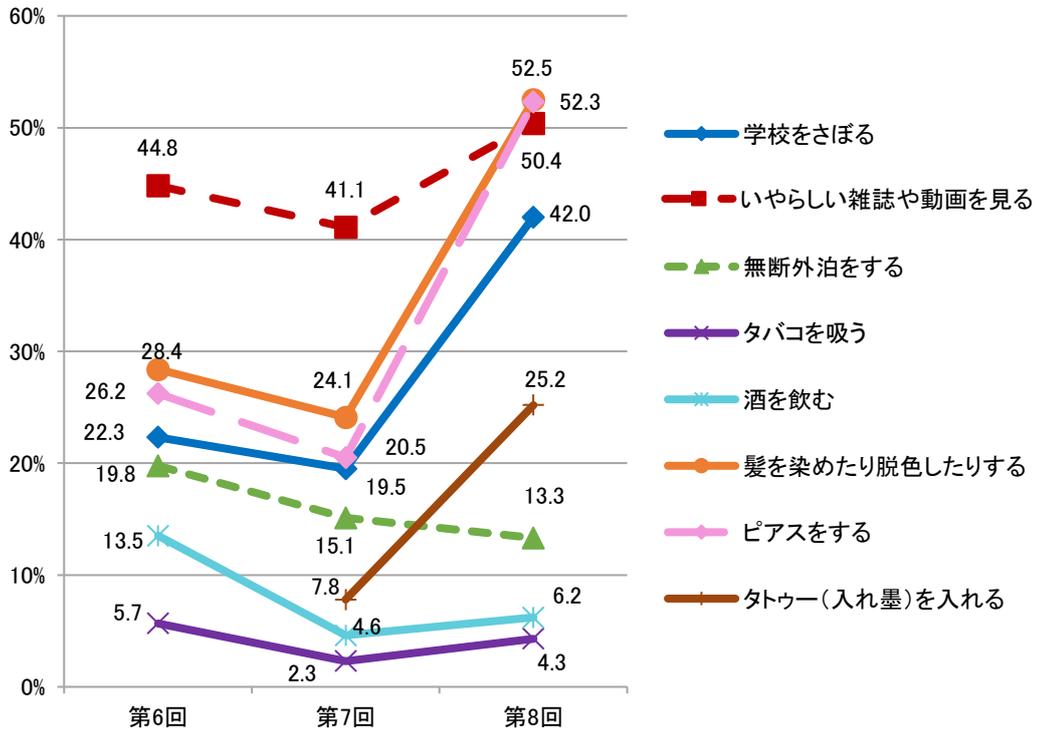
図 3. 4. 16



高校生に規範意識について聞いたところ、ほとんどの項目で「してはいけない」が多くなっています。項目別には、「いやらしい雑誌や動画を見る」が最も「してはいけない」と回答した割合が低く、「してもよい」が50.4%、「わからない」が27.6%となっています。次に「してはいけない」の割合が低いのは「髪を染めたり脱色する」(28.0%)、「ピアスをする」(29.5%)で、それぞれ「してもよい」が52.5%、52.3%、「わからない」が19.5%、18.3%となっています。

過年度調査との比較

図 3.4.17 「してもよい」



第6回、第7回調査と比較すると、「学校をさぼる」「いやらしい雑誌や動画を見る」「髪を染めたり脱色する」「ピアスをする」の割合は、第7回調査で一度減少しましたが、今回調査で大幅に増加しています。また、「タトゥー（入れ墨）を入れる」も今回調査で大幅に増加しています。一方で、「無断外泊をする」は減少傾向にあります。

エ. 規範意識（保護者）

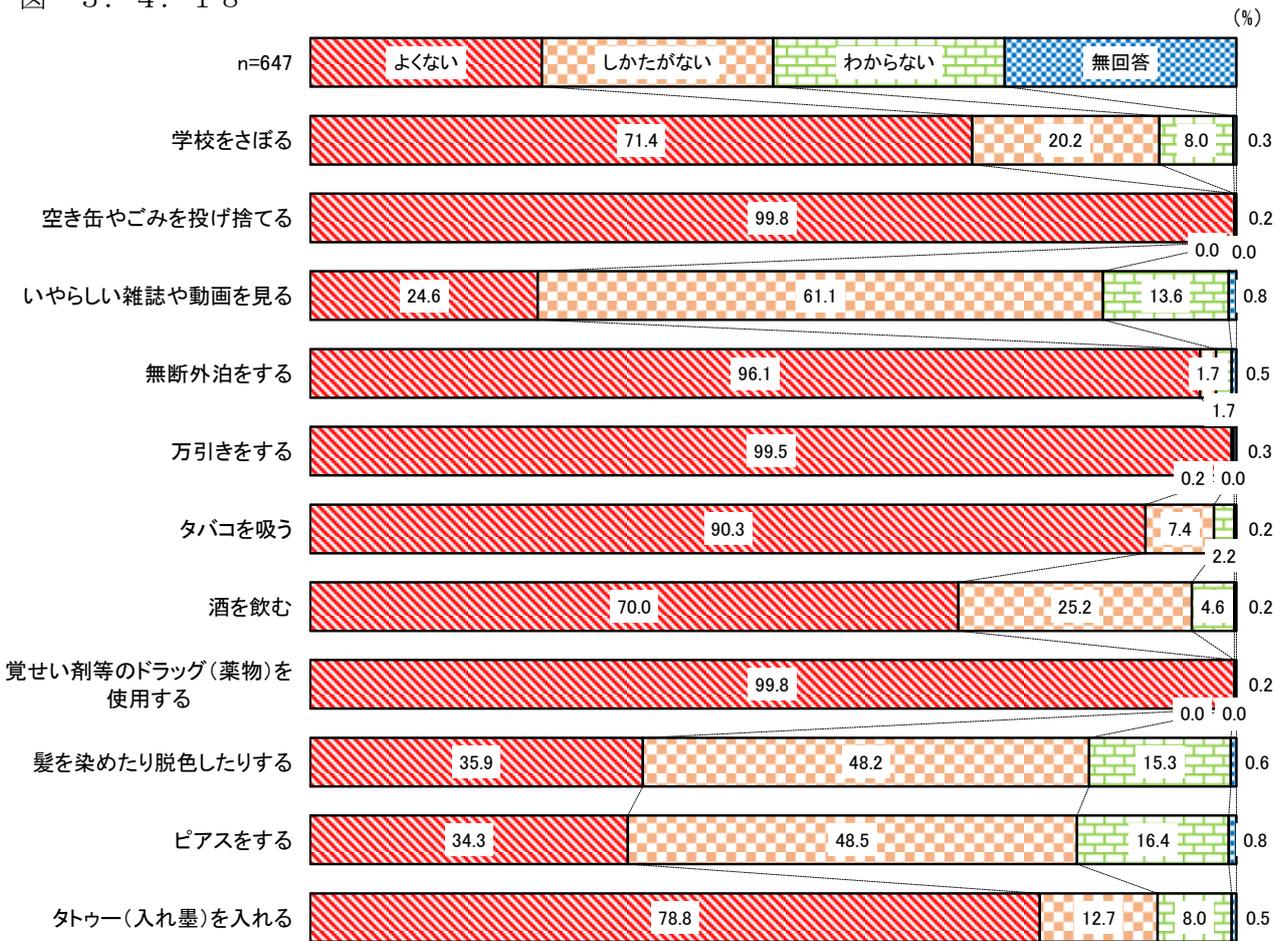
お子さんが次のようなことをすることについて、あなたはどのように思いますか。将来も見据えて、各項目で1つずつ選んで番号に○をつけてください。

- ア 学校をさぼること      イ 空き缶やゴミを投げ捨てること      ウ いやらしい雑誌や動画を見ること
- エ 無断外泊をすること      オ 万引きなどの窃盗をすること      カ タバコを吸うこと
- キ 酒を飲むこと      ク 覚醒剤等の薬物を使用すること      ケ 髪を染めたり脱色したりすること
- コ ピアスをする      サ タトゥー（入れ墨）を入れること

<ア～サそれぞれの選択肢>

- 1 よくない
- 2 しかたがない
- 3 わからない

図 3. 4. 18



保護者に子どもに対する規範意識について聞いたところ、ほとんどの項目で「よくない」が多くなっています。項目別には、「いやらしい雑誌や動画を見る」が最も「よくない」と回答した割合が低く、「しかたがない」が61.1%、「わからない」が13.6%となっています。次に「よくない」の割合が低いのは「ピアスをする」(34.3%)、「髪を染めたり脱色する」(35.9%)で、それぞれ「しかたがない」が48.5%、48.2%、「わからない」が16.4%、15.3%となっています。

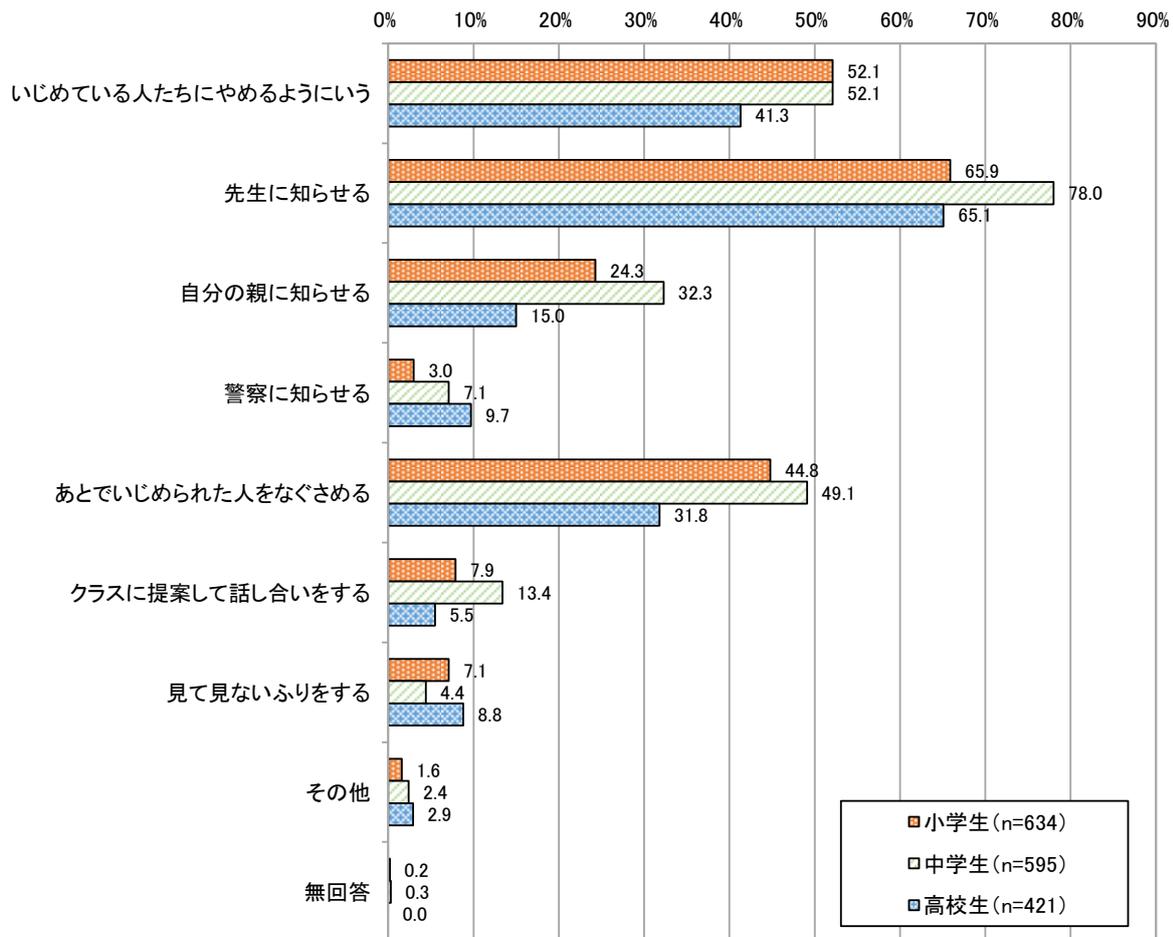
(5) いじめについて

ア. 誰かがいじめられた時の理想の対応（小学生、中学生、高校生）

誰かがいじめられているのを見たら、どうするのがよいと思いますか。1～8の中から、あなたがよいと思うことを全部選んで番号に○をつけてください。

1 いじめている人たちにやめるようにいう	2 先生に知らせる
3 自分の親に知らせる	4 警察に知らせる
5 あとでいじめられた人をなぐさめる	6 クラスに提案して話し合いをする
7 見て見ないふりをする	8 その他（ ）

図 3. 4. 19



小学生、中学生、高校生に、誰かがいじめられているのを見たらどうするのがよいと思うかを聞いたところ、小学生、中学生、高校生ともに、「先生に知らせる」が最も多く、それぞれ 65.9%、78.0%、65.1%となっています。次いで、「いじめている人たちにやめるようにいう」（小学生：52.1%、中学生：52.1%、高校生：41.3%）、「あとでいじめられた人をなぐさめる」（小学生：44.8%、中学生：49.1%、高校生：31.8%）となっています。

過年度調査との比較

図 3.4.20 「あとでいじめられた人をなぐさめる」

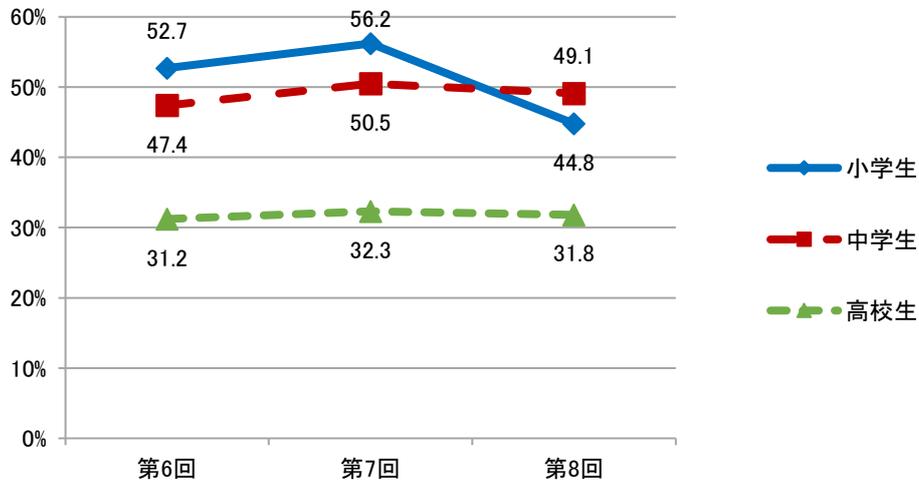
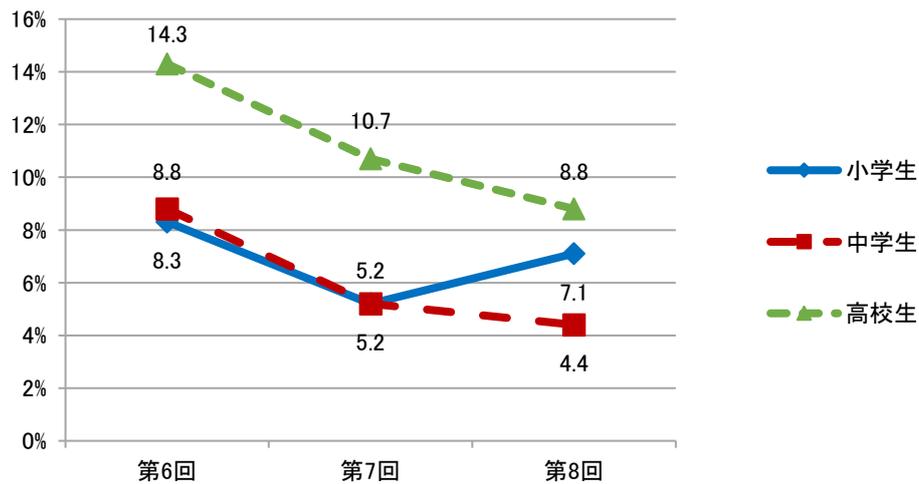


図 3.4.21 「見て見ないふりをする」



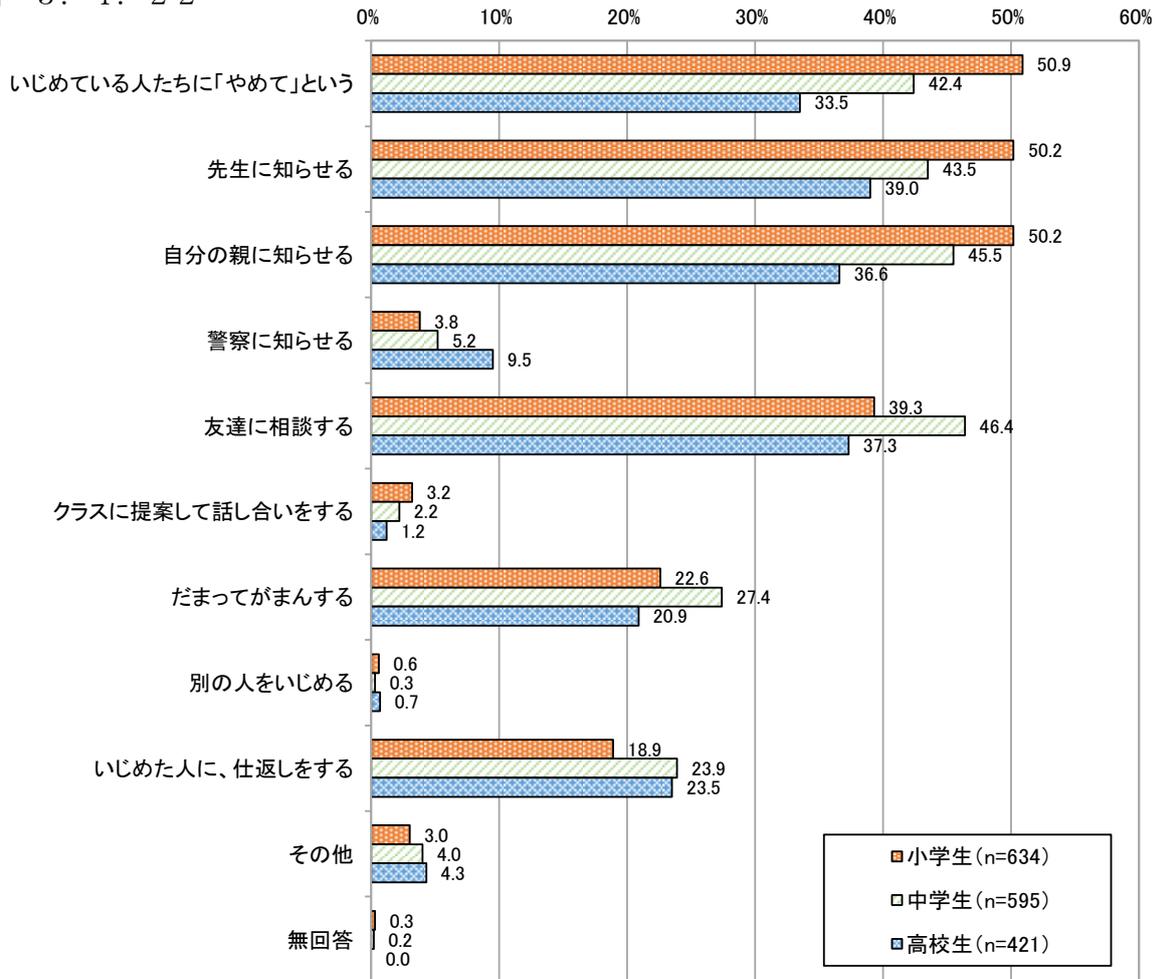
第6回、第7回調査と比較すると、小学生において「あとでいじめられた人をなぐさめる」が減少し、「見て見ないふりをする」が増加しています。また、「見て見ないふりをする」は中学生、高校生では減少傾向にあります。

イ. 自分がいじめられた時の実際の対応（小学生、中学生、高校生）

自分がいじめられたら、どうしますか。1～10の中から、あなたがしそうなことを全部選んで番号に○をつけてください。

1 いじめている人たちに「やめて」という	2 先生に知らせる
3 自分の親に知らせる	4 警察に知らせる
5 友達に相談する	6 クラスに提案して話し合いをする
7 だまってがまんする	8 別の人をいじめる
9 いじめた人に、仕返しをする	10 その他（ ）

図 3.4.22



小学生、中学生、高校生に、自分がいじめられた時の実際の対応を聞いたところ、小学生では「いじめている人たちへ『やめて』という」が50.9%と最も多く、次いで「先生に知らせる」、「自分の親に知らせる」（それぞれ50.2%）と続いています。

中学生では「友達に相談する」が46.4%と最も多く、次いで「自分の親に知らせる」（45.5%）、「先生に知らせる」（43.5%）、高校生では「先生に知らせる」が39.0%と最も多く、次いで「友達に相談する」（37.3%）、「自分の親に知らせる」（36.6%）と続いています。

過年度調査との比較

図 3.4.23 「いじめている人たちに『やめて』という」

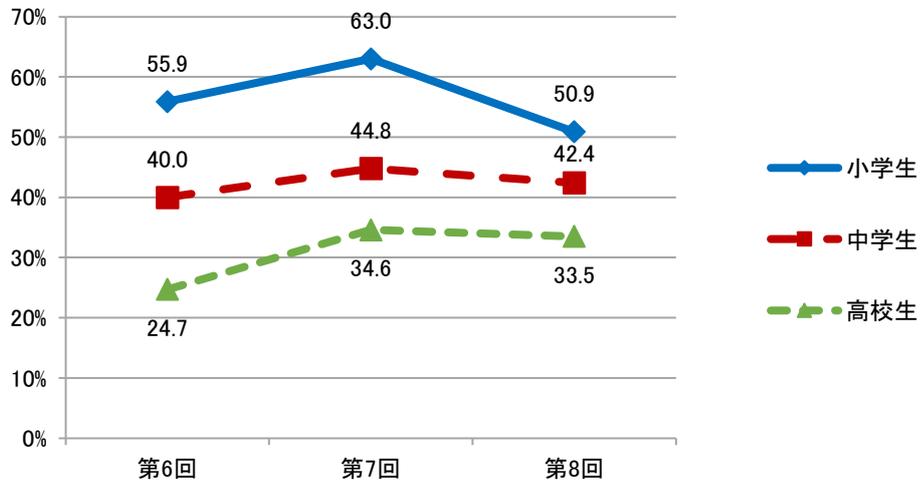
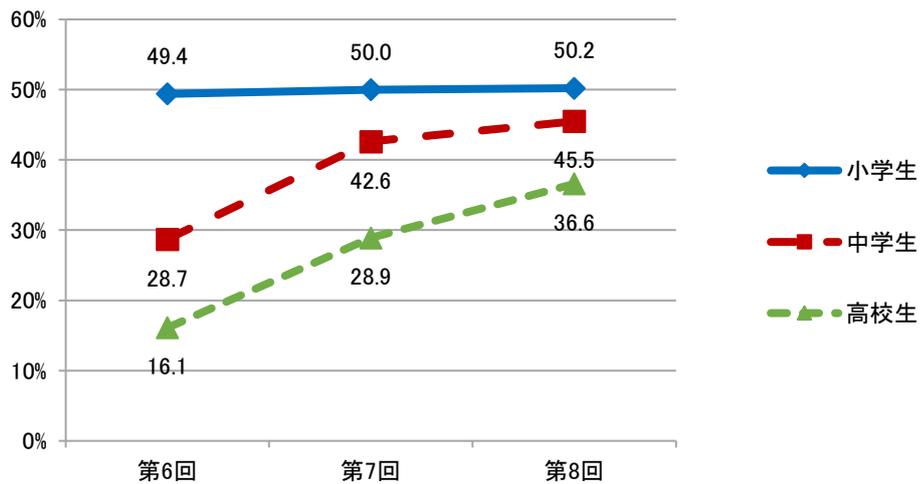


図 3.4.24 「自分の親に知らせる」



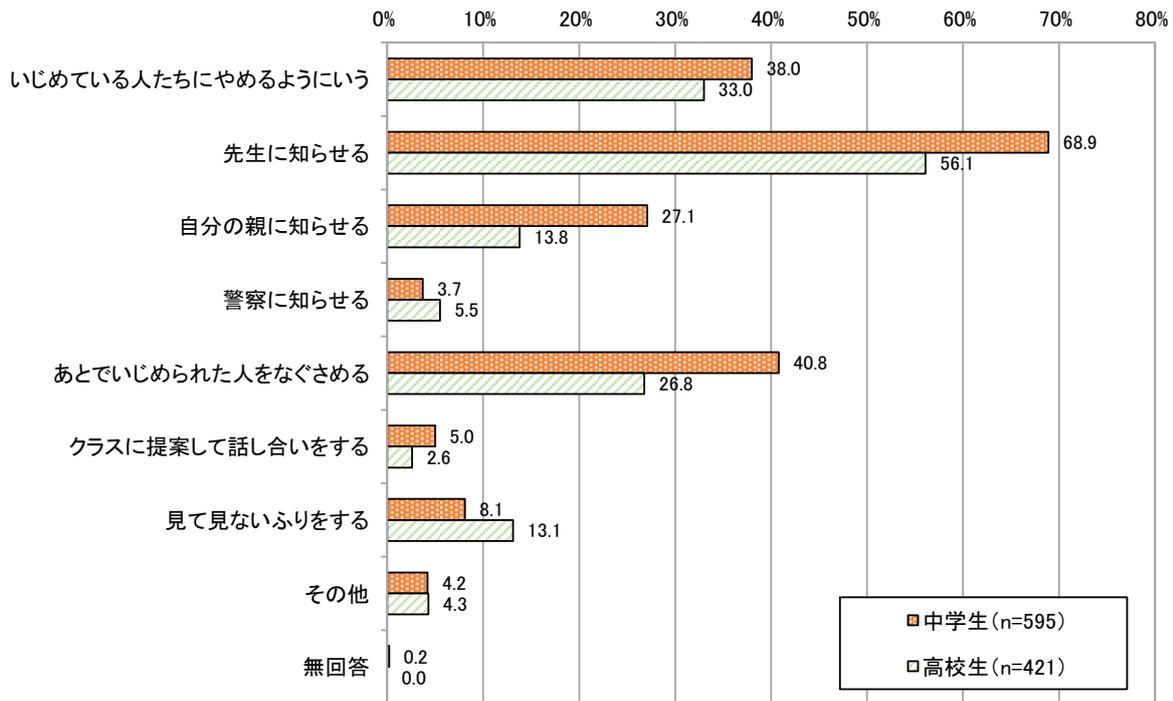
第6回、第7回調査と比較すると、小学生では「いじめている人たちに『やめて』という」が減少しています。中学生、高校生では、「自分の親に知らせる」が増加傾向にあります。

ウ. 誰かがいじめられた時の実際の対応（中学生、高校生）

実際に誰かがいじめられているのを見たらどうしますか。1～8の中から、あなたがすると思うことを全部選んで番号に○をつけてください。

1 いじめている人たちにやめるようにいう	2 先生に知らせる
3 自分の親に知らせる	4 警察に知らせる
5 あとでいじめられた人をなぐさめる	6 クラスに提案して話し合いをする
7 見て見ないふりをする	8 その他（ ）

図 3. 4. 2 5



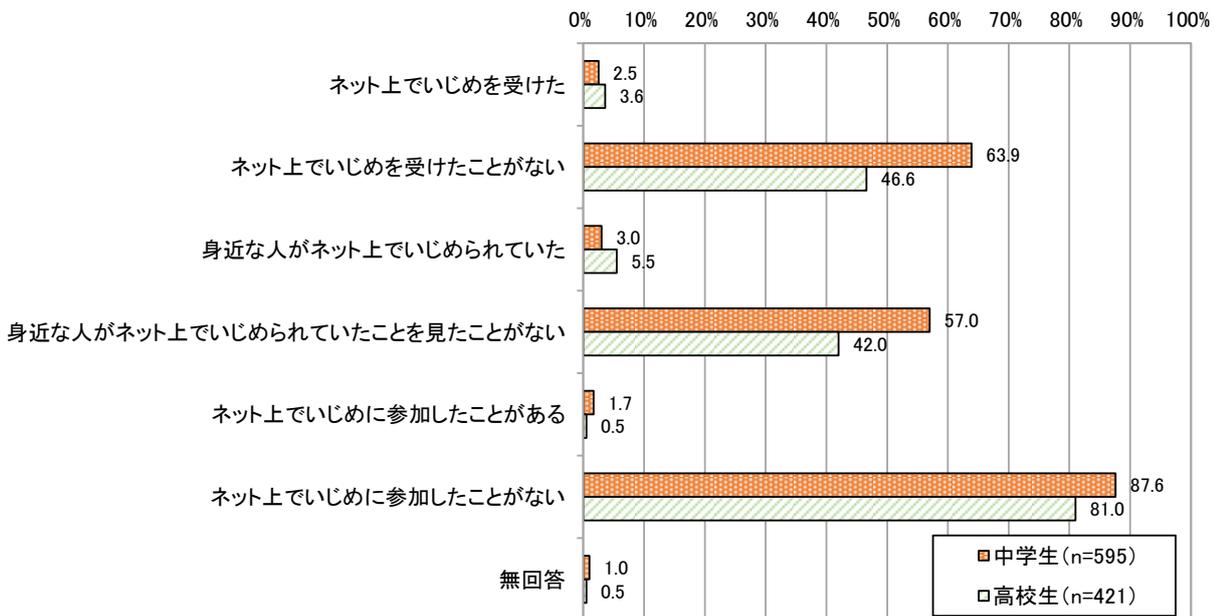
中学生、高校生に、誰かがいじめられた時に実際にすると思われる対応を聞いたところ、中学生、高校生ともに「先生に知らせる」が最も多く、それぞれ 68.9%、56.1%となっています。次いで、中学生では「あとでいじめられた人をなぐさめる」(40.8%)、「いじめている人たちにやめるようにいう」(38.0%)、高校生では「いじめている人たちにやめるようにいう」(33.0%)、「あとでいじめられた人をなぐさめる」(26.8%)と続いています。

エ. インターネット上におけるいじめについて（中学生、高校生）

ネット上におけるいじめを自分が受けたり他人が受けていたことを知ったことがありますか。また、逆にネット上におけるいじめに参加したことがありますか。1～6の中から、あなたが経験したことを全部選んで番号に○をつけてください。

- 1 ネット上でいじめを受けた
- 2 ネット上でいじめを受けたことがない
- 3 身近な人がネット上でいじめられていた
- 4 身近な人がネット上でいじめられていたことを見たことがない
- 5 ネット上でいじめに参加したことがある
- 6 ネット上でいじめに参加したことがない

図 3. 4. 2 6



中学生、高校生に、インターネット上でいじめを受けた経験や、身近な人がいじめられていたことを見た経験について聞いたところ、「ネット上でいじめを受けた」は中学生で2.5%、高校生で3.6%が回答しています。

また、「身近な人がネット上でいじめられていた」は中学生の3.0%、高校生の5.5%、「ネット上でいじめに参加したことがある」は中学生の1.7%、高校生の0.5%となっています。

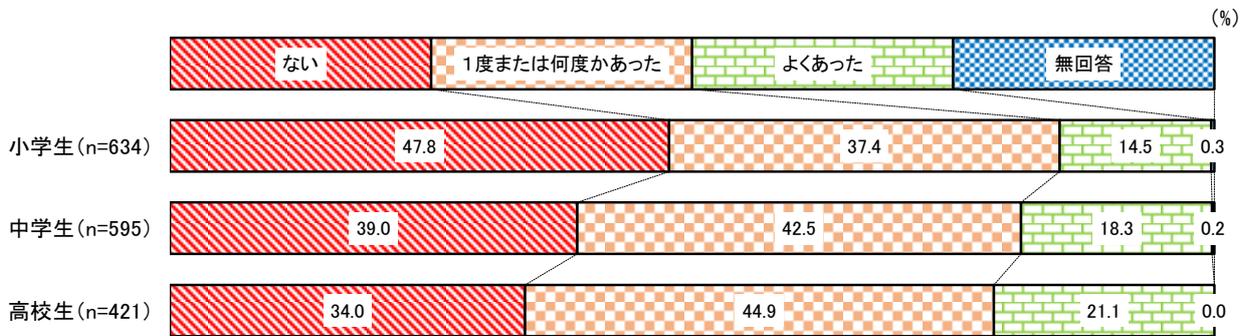
(6) 不登校気分とその理由

ア. 学校に行きたくなかったこと (小学生、中学生、高校生)

今の学年になって、病気やけがなどの理由がないのに学校に行きたくなかったことがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 ない                      2 1度または何度かあった                      3 よくあった

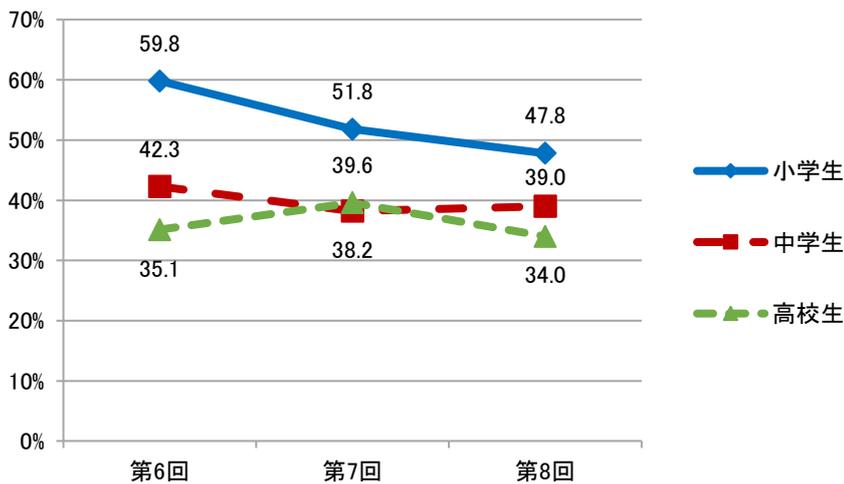
図 3. 4. 27



小学生、中学生、高校生に、学校に行きたくなかったことがあったかを聞いたところ、「1度または何度かあった」と「よくあった」を合計した割合は、小学生で計 51.9%、中学生で計 60.8%、高校生で計 66.0%となっています。

過年度調査との比較

図 3. 4. 28 「ない」



第6回、第7回調査と比較すると、「ない」と回答した人の割合は、小学生、高校生では減少傾向が見られ、中学生ではほぼ横ばいで推移しています。

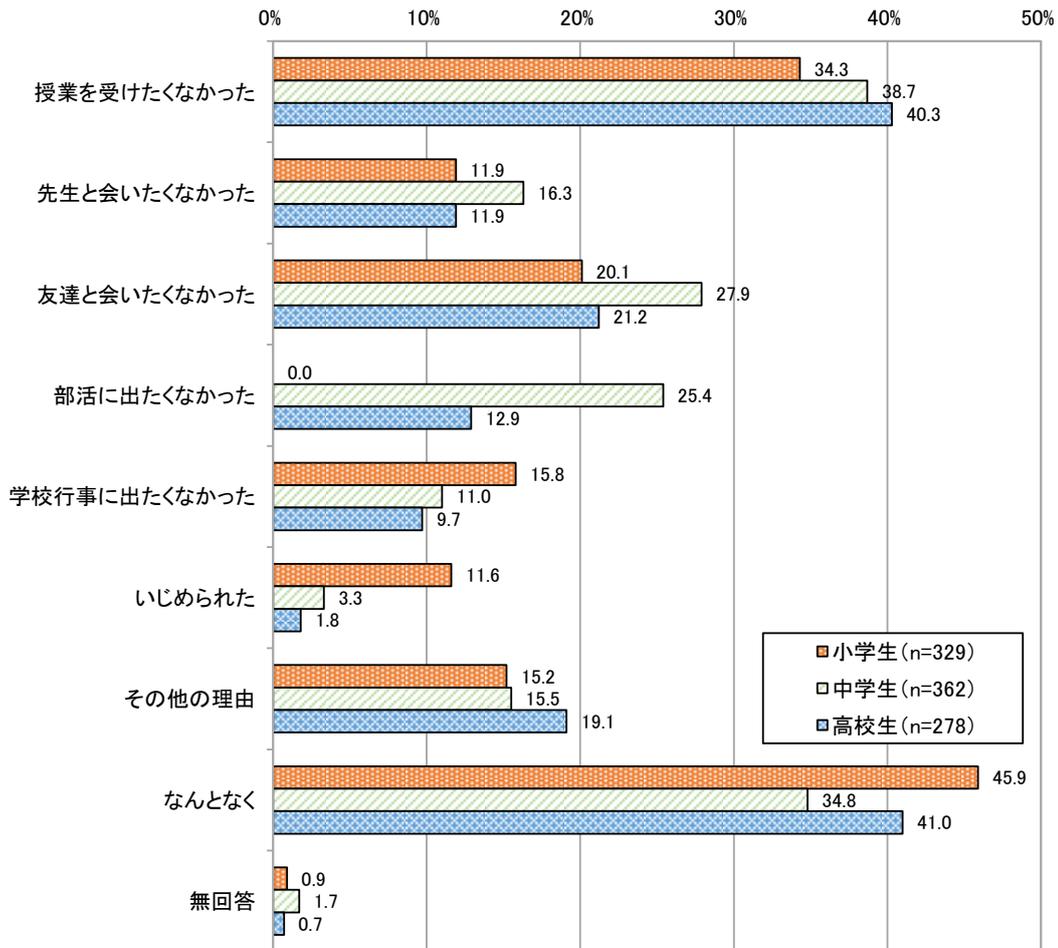
イ. 学校に行きたくなかった理由（小学生、中学生、高校生）

前問で、2、3のいずれかに○をつけた人にお聞きします。それは、どのような理由からですか。次の1～8の中から、あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

- 1 授業を受けたくなかった                      2 先生と会いたくなかった
- 3 友達と会いたくなかった                    4 部活に出たくなかった
- 5 学校行事に出たくなかった                6 いじめられた
- 7 その他の理由（                                ） 8 なんとなく

※「部活に出たくなかった」は「中学生」「高校生」のみに聴取

図 3. 4. 2 9



小学生、中学生、高校生に、学校に行きたくなかった理由について聞いたところ、小学生は「なんとなく」(45.9%)、「授業を受けたくなかった」(34.3%)、「友達と会いたくなかった」(20.1%)の順に多くなっています。中学生では、「授業を受けたくなかった」(38.7%)、「なんとなく」(34.8%)、「友達と会いたくなかった」(27.9%)、高校生では、「なんとなく」(41.0%)、「授業を受けたくなかった」(40.3%)、「友達と会いたくなかった」(21.2%)の順に多くなっています。

過年度調査との比較

図 3.4.30 「いじめられた」

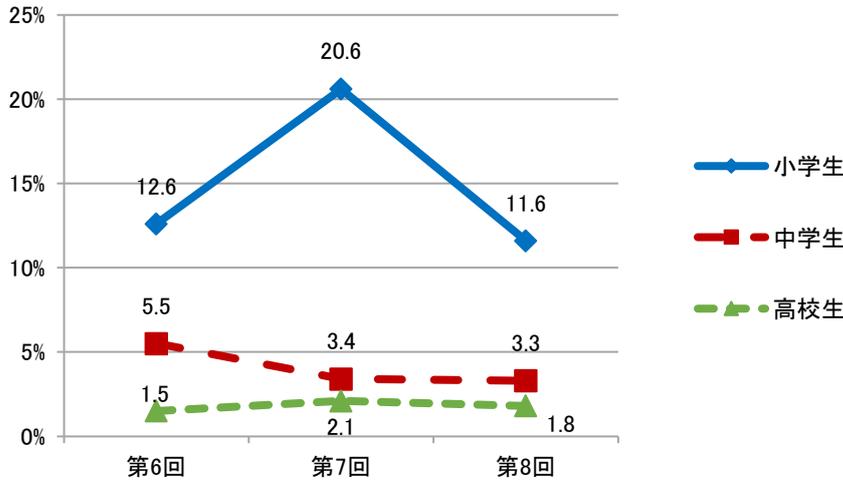
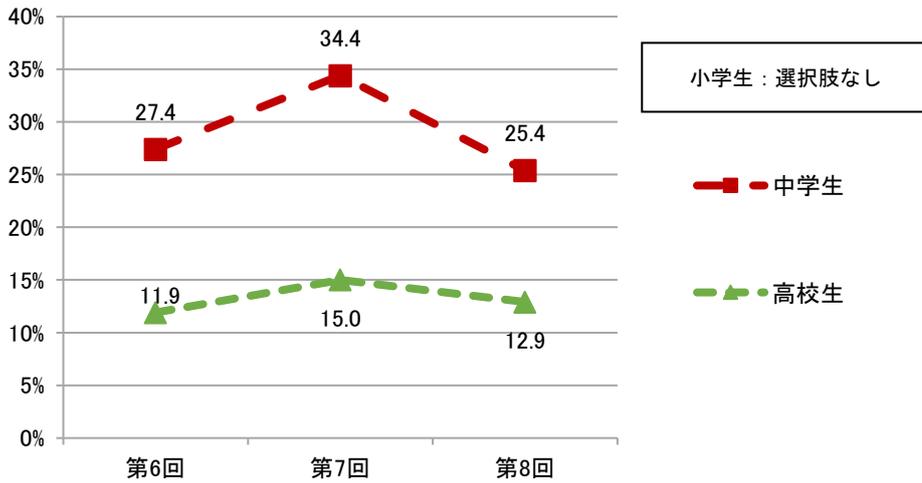


図 3.4.31 「部活に出たくなかった」



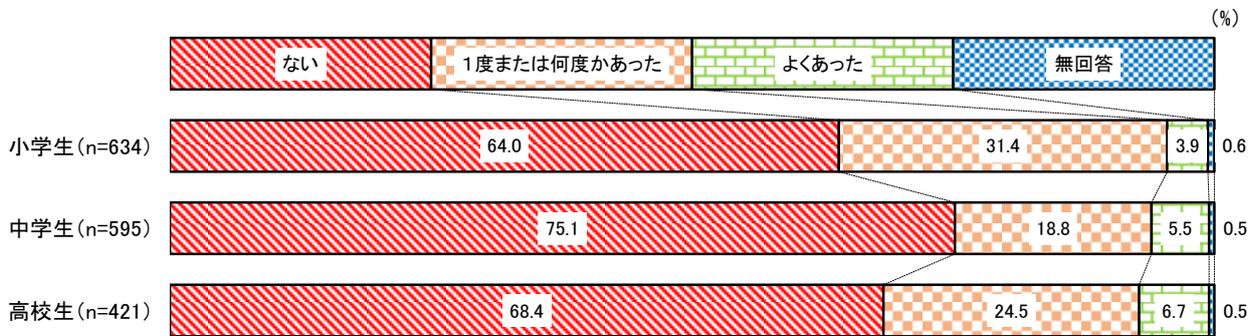
第6回、第7回調査と比較してみると、小学生では、「いじめられた」が第7回調査で増加していましたが、今回調査では減少し、第6回調査の水準まで戻っています。中学生では、「部活に出たくなかった」が第7回調査で増加していましたが、今回調査では減少し、第6回調査の水準まで戻っています。

ウ. 学校を休んだこと（小学生、中学生、高校生）

今の学年になって、病気やけがなどの理由以外で、学校に行きたくないという理由で学校を休んだことがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 ない                      2 1度または何度かあった                      3 よくあった

図 3. 4. 3 2



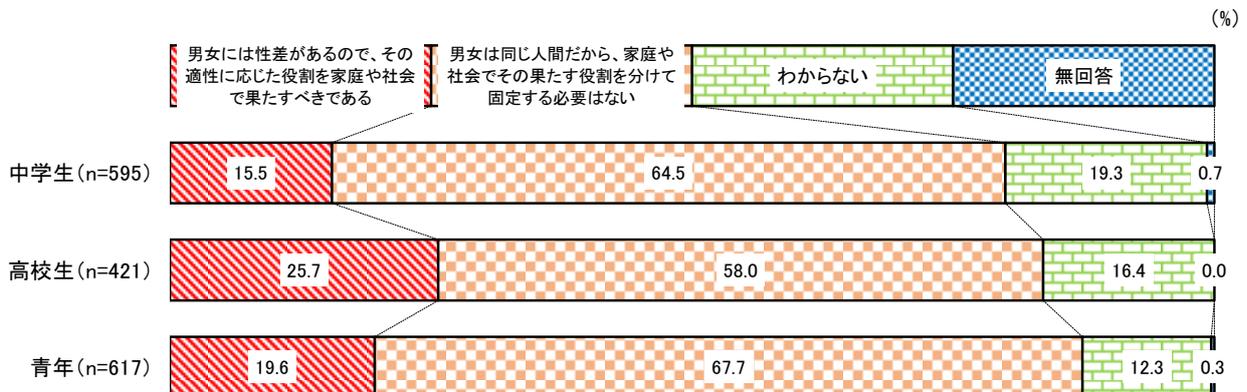
小学生、中学生、高校生に、病気やけがなどの理由以外で学校を休んだことがあるかを聞いたところ、各年代で「ない」が最も多く、それぞれ 64.0%、75.1%、68.4%となっています。「1度または何度かあった」「よくあった」の合計では、小学生で計 35.3%、中学生で計 24.3%、高校生で計 31.2%となっています。

(7) 男女が家庭や社会で果たす役割についての考え（中学生、高校生、青年）

あなたは、男女が家庭や社会で果たす役割についてどう考えていますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1 男女には性差があるので、その適性に応じた役割を家庭や社会で果たすべきである  
 2 男女は同じ人間だから、家庭や社会でその果たす役割を分けて固定する必要はない  
 3 わからない

図 3. 4. 3 3



中学生、高校生、青年に、男女が家庭で果たす役割について聞いたところ、各年代とも「男女は同じ人間だから、家庭や社会でその果たす役割を分けて固定する必要はない」が最も多く、それぞれ 64.5%、58.0%、67.7%となっています。

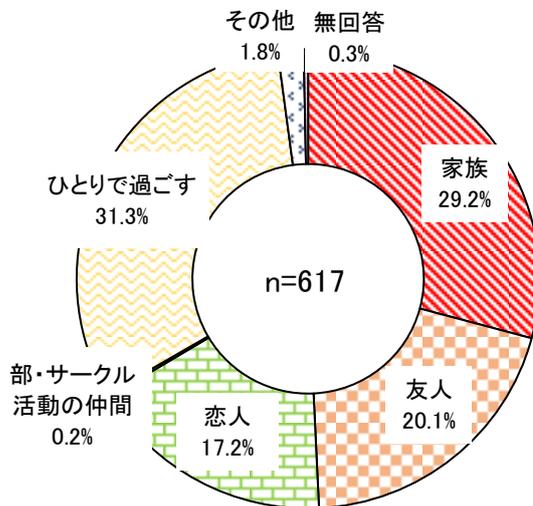
(8) 休日の過ごし方

ア. 休日と一緒に過ごす人(青年)

休日は誰と過ごすことが多いですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 家族	2 友人	3 恋人
4 部・サークル活動の仲間	5 ひとりで過ごす	6 その他( )

図 3.4.34



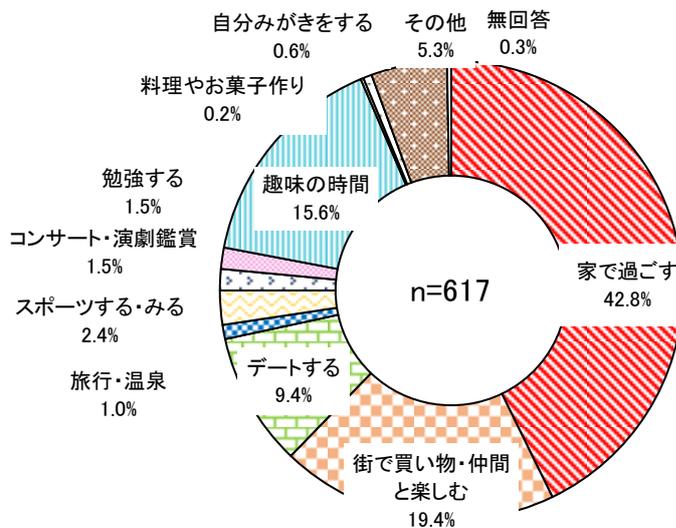
青年に、休日と一緒に過ごす人を聞いたところ、「ひとりで過ごす」が最も多く、31.3%が回答しています。次いで「家族」(29.2%)、「友人」(20.1%)、「恋人」(17.2%)と続いています。

イ. 休日を過ごす方法(青年)

休日をどのように過ごすことが多いですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 家で過ごす	2 街で買い物・仲間と楽しむ	3 デートする
4 旅行・温泉	5 スポーツする・みる	6 コンサート・演劇鑑賞
7 勉強する	8 趣味の時間	9 料理やお菓子作り
10 自分みがきをする	11 その他( )	

図 3.4.35



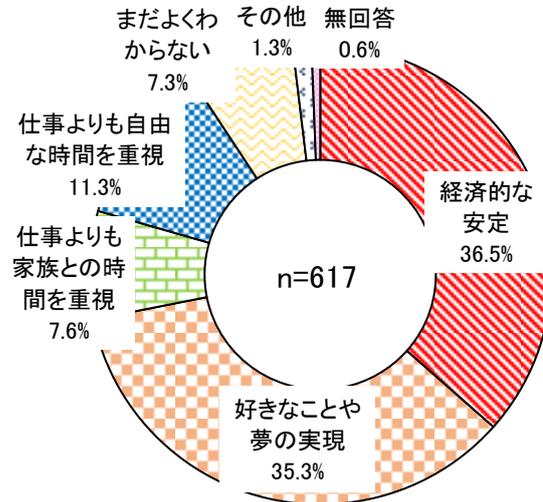
青年に、休日の過ごし方を聞いたところ、「家で過ごす」が42.8%と最も多く、次いで「街で買い物・仲間と楽しむ」(19.4%)、「趣味の時間」(15.6%)、「デートする」(9.4%)と続いています。

(9) 希望する暮らし方 (青年)

これからどんな暮らし方をしたいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 経済的な安定         | 2 好きなことや夢の実現    |
| 3 仕事よりも家族との時間を重視 | 4 仕事よりも自由な時間を重視 |
| 5 まだよくわからない      | 6 その他 ( )       |

図 3.4.36



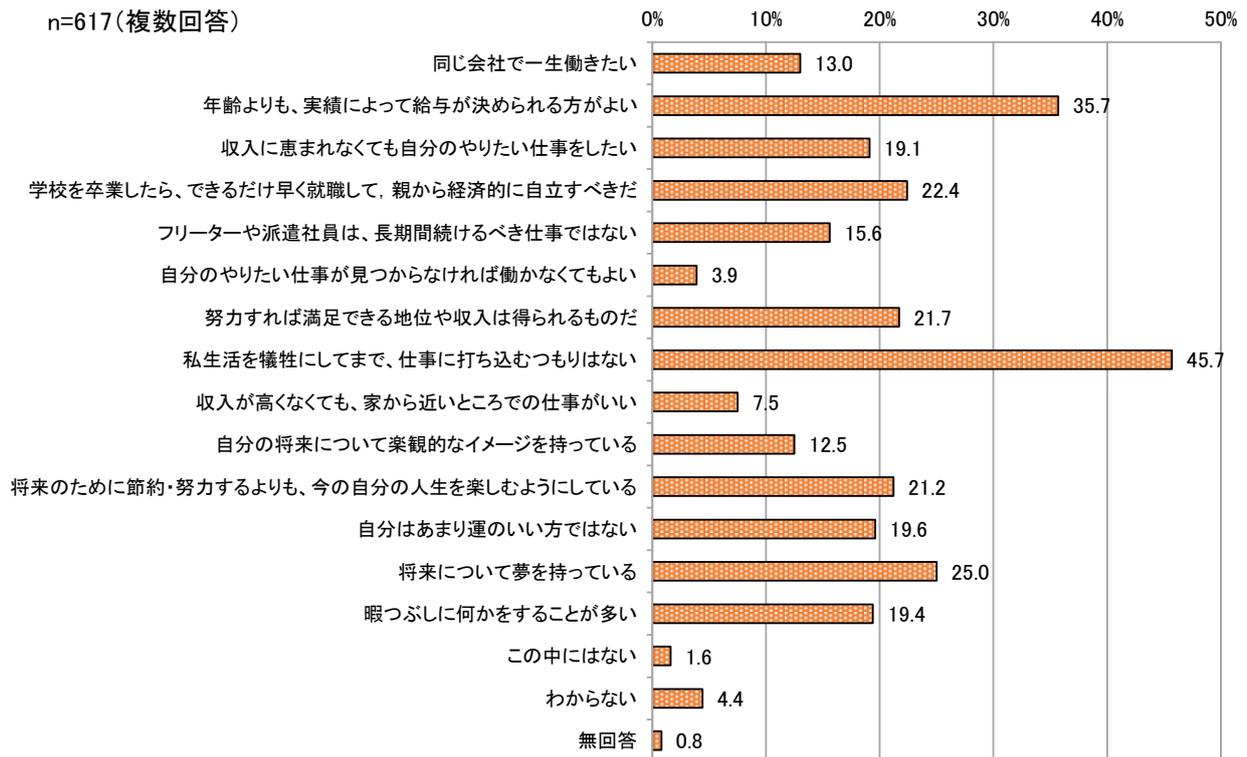
青年に、希望する暮らし方を聞いたところ、「経済的な安定」が 36.5%と最も多く、次いで「好きなことや夢の実現」(35.3%)、「仕事よりも自由な時間を重視」(11.3%)、「仕事よりも家族との時間を重視」(7.6%)「まだよくわからない」(7.3%)と続いています。

(10) 考え方や生き方（青年）

あなたの考え方や生き方にあてはまるものは何ですか。次の中からあてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

- 1 同じ会社で一生働きたい
- 2 年齢よりも、実績によって給与が決められる方がよい
- 3 収入に恵まれなくても自分のやりたい仕事をした
- 4 学校を卒業したら、できるだけ早く就職して、親から経済的に自立すべきだ
- 5 フリーターや派遣社員は、長期間続けるべき仕事ではない
- 6 自分のやりたい仕事が見つからなければ働かなくてもよい
- 7 努力すれば満足できる地位や収入は得られるものだ
- 8 私生活を犠牲にしてまで、仕事に打ち込むつもりはない
- 9 収入が高なくても、家から近いところでの仕事がいい
- 10 自分の将来について楽観的なイメージを持っている
- 11 将来のために節約・努力するよりも、今の自分の人生を楽しむようにしている
- 12 自分はあまり運のいい方ではない
- 13 将来について夢を持っている
- 14 暇つぶしに何かをすることが多い
- 15 この中にはない
- 16 わからない

図 3. 4. 37



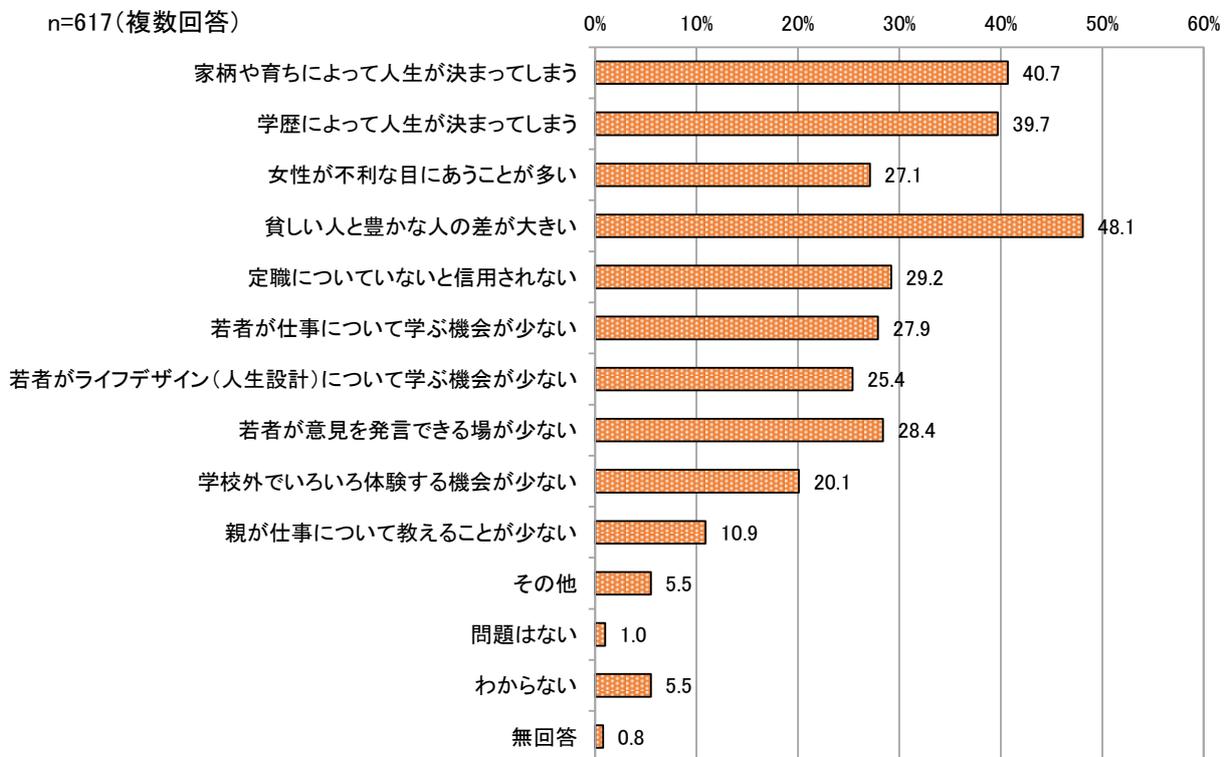
青年に、考え方や生き方を聞いたところ、「私生活を犠牲にしてまで、仕事に打ち込むつもりはない」が45.7%で最も多く、次いで、「年齢よりも、実績によって給与が決められる方がよい」(35.7%)、「将来について夢を持っている」(25.0%)、「学校を卒業したら、できるだけ早く就職して、親から経済的に自立すべきだ」(22.4%)、「努力すれば満足できる地位や収入は得られるものだ」(21.7%)、「将来のために節約・努力するよりも、今の自分の人生を楽しむようにしている」(21.2%)と続いています。

(11) 日本の社会の問題点（青年）

現在の日本の社会で問題だと思うものは何ですか。次の中からあてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

- |                                |                      |
|--------------------------------|----------------------|
| 1 家柄や育ちによって人生が決まってしまう          | 2 学歴によって人生が決まってしまう   |
| 3 女性が不利な目にあうことが多い              | 4 貧しい人と豊かな人の差が大きい    |
| 5 定職についていないと信用されない             | 6 若者が仕事について学ぶ機会が少ない  |
| 7 若者がライフデザイン（人生設計）について学ぶ機会が少ない |                      |
| 8 若者が意見を発言できる場が少ない             | 9 学校外でいろいろ体験する機会が少ない |
| 10 親が仕事について教えることが少ない           |                      |
| 11 その他（                        | ）                    |
| 12 問題はない                       | 13 わからない             |

図 3. 4. 3 8



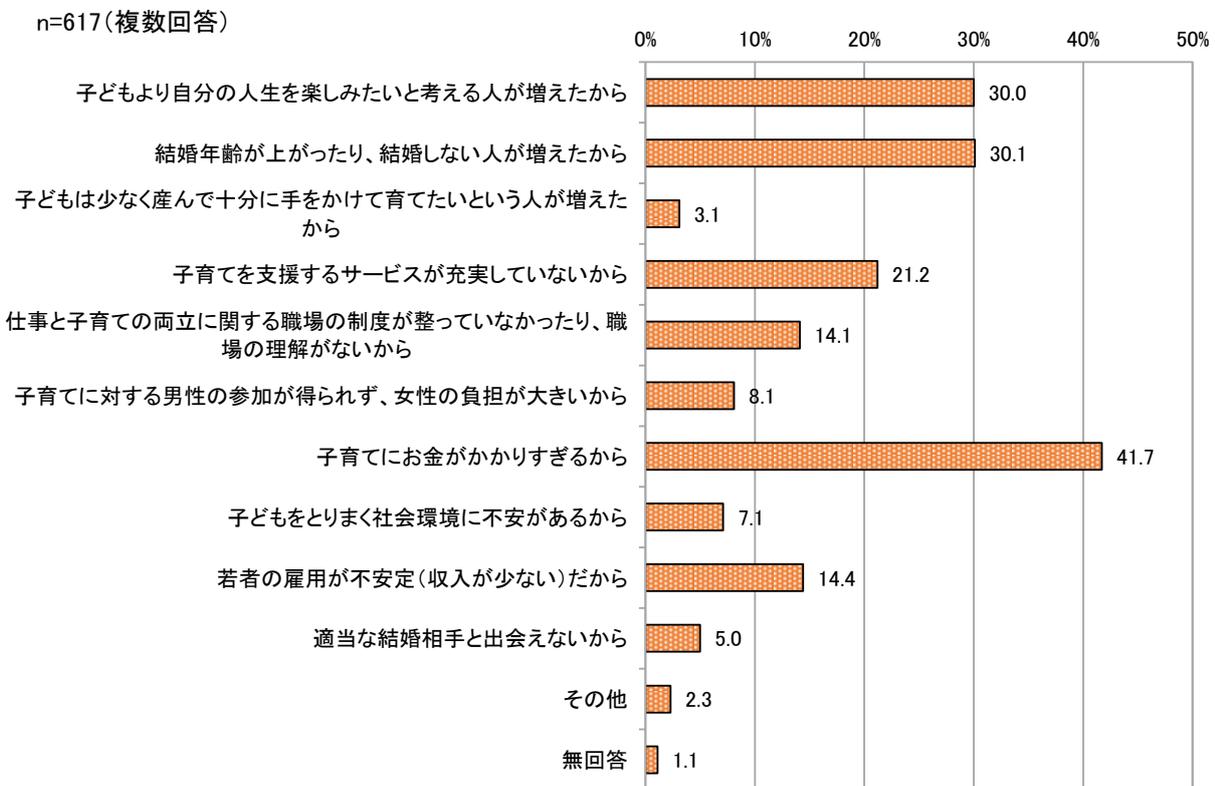
青年に、日本の社会の問題点を聞いたところ、「貧しい人と豊かな人の差が大きい」が 48.1%で最も多く、次いで、「家柄や育ちによって人生が決まってしまう」(40.7%)、「学歴によって人生が決まってしまう」(39.7%)、「定職についていないと信用されない」(29.2%)、「若者が意見を発言できる場が少ない」(28.4%)、「若者が仕事について学ぶ機会が少ない」(27.9%)、「女性が不利な目にあうことが多い」(27.1%)と続いています。

(12) 出生率低下の要因 (青年)

現在、日本は出生率が低下し、子どもの数が少なくなっていく「少子化」が進んでいます。出生率低下の要因はどのようなことだと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 子どもより自分の人生を楽しみたいと考える人が増えたから
- 2 結婚年齢が上がったり、結婚しない人が増えたから
- 3 子どもは少なく産んで十分に手をかけて育てたいという人が増えたから
- 4 子育てを支援するサービスが充実していないから
- 5 仕事と子育ての両立に関する職場の制度が整っていなかったり、職場の理解がないから
- 6 子育てに対する男性の参加が得られず、女性の負担が大きいから
- 7 子育てにお金がかかりすぎるから
- 8 子どもをとりまく社会環境に不安があるから
- 9 若者の雇用が不安定 (収入が少ない) だから
- 10 適当な結婚相手と出会えないから
- 11 その他 ( )

図 3. 4. 3 9



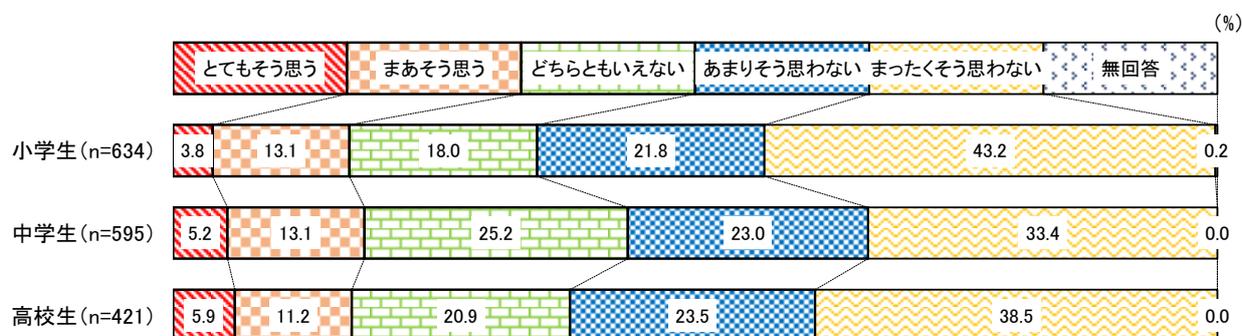
青年に、出生率低下の要因を聞いたところ、「子育てにお金がかかりすぎるから」が 41.7%と最も多く、次いで「結婚年齢が上がったり、結婚しない人が増えたから」(30.1%)、「子どもより自分の人生を楽しみたいと考える人が増えたから」(30.0%)、「子育てを支援するサービスが充実していないから」(21.2%)と続いています。

(13) 新型コロナの影響による将来の夢や目標の変化（小学生、中学生、高校生）

新型コロナの影響で、将来の夢や目標に変化がありましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 とてもそう思う      2 まあそう思う      3 どちらとも言えない  
 4 あまりそう思わない      5 まったくそう思わない

図 3.4.40



小学生、中学生、高校生に、新型コロナの影響で将来の夢や目標に変化があるかを聞いたところ、「とてもそう思う」、「まあそう思う」と回答した割合は、小学生が16.9%、中学生が18.3%、高校生が17.1%となっています。



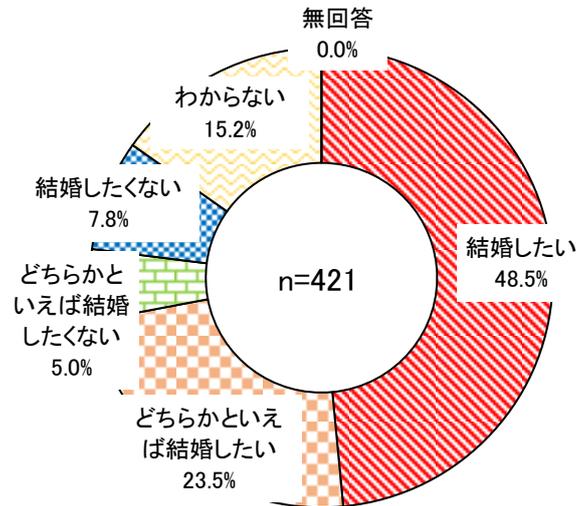
(15) 結婚について

ア. 結婚願望（高校生）

あなたは将来結婚したいと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1 結婚したい           | 2 どちらかといえば結婚したい |
| 3 どちらかといえば結婚したくない | 4 結婚したくない       |
| 5 わからない           |                 |

図 3. 4. 4 2



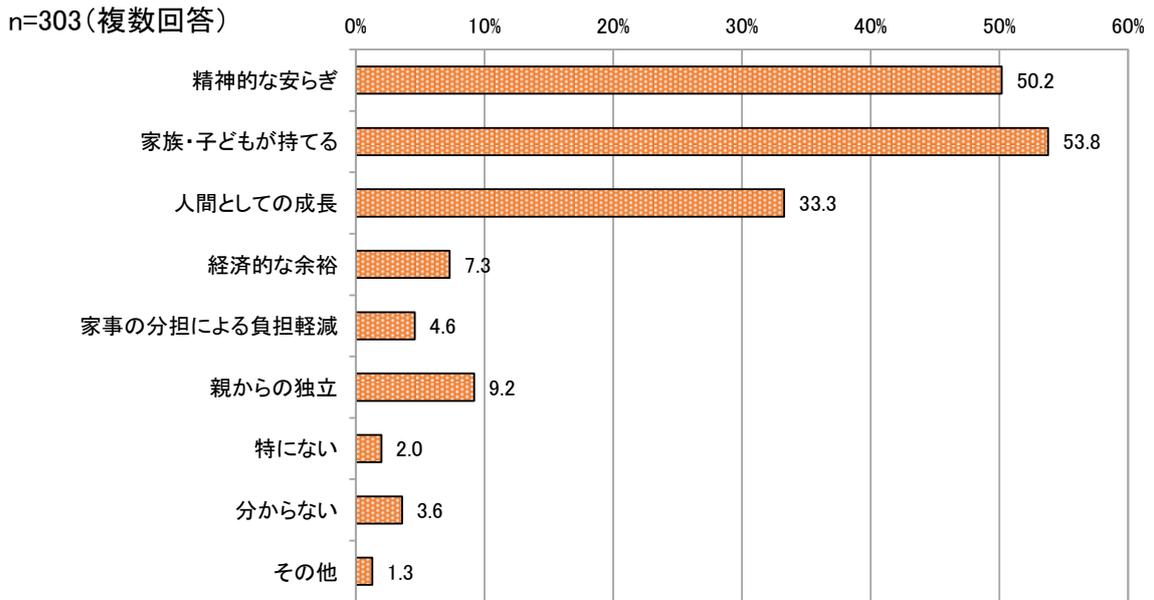
高校生に、将来結婚したいと思うかを聞いたところ、「結婚したい」が48.5%、「どちらかといえば結婚したい」が23.5%で、合わせると72.0%となっています。

イ. 結婚により得られるもの（高校生）

前問で「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」と回答した方に伺います。あなたは、結婚により得られるものは何だと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。

1 精神的な安らぎ	2 家族・子どもが持てる	3 人間としての成長
4 経済的な余裕	5 家事の分担による負担軽減	6 親からの独立
7 特にない	8 分からない	9 その他

図 3. 4. 4 3



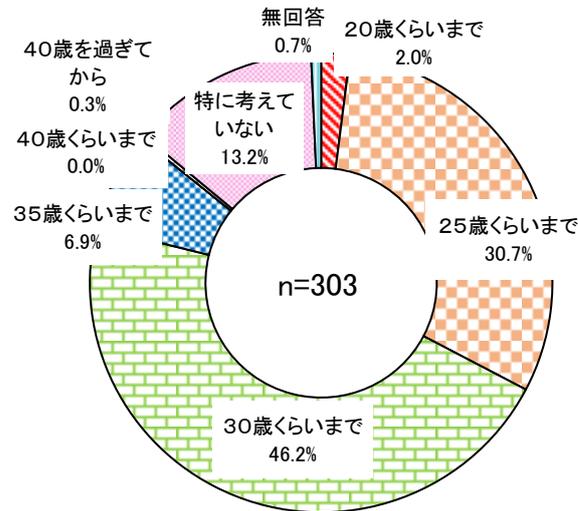
高校生に、結婚により得られるものについて聞いたところ、「家族・子どもが持てる」が 53.8%と最も多く、次いで「精神的な安らぎ」(50.2%)、「人間としての成長」(33.3%)、「親からの独立」(9.2%)と続いています。

ウ. 結婚年齢（高校生）

「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」と回答した方に伺います。あなたは何歳くらいまでに結婚したいと考えていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1	20歳くらいまで	2	25歳くらいまで	3	30歳くらいまで
4	35歳くらいまで	5	40歳くらいまで	6	40歳を過ぎてから
7	特に考えていない				

図 3.4.44



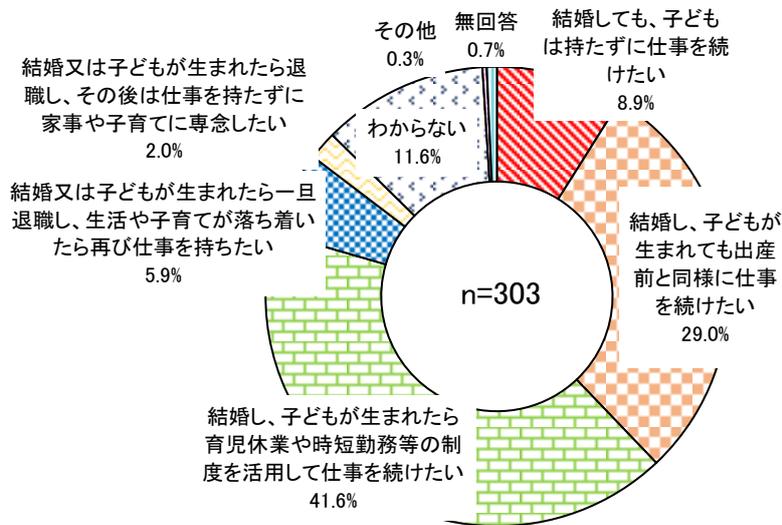
高校生に、何歳くらいまでに結婚したいかを聞いたところ、「30歳くらいまで」が46.2%と最も多く、次いで「25歳くらいまで」(30.7%)、「特に考えていない」(13.2%)と続いています。

エ. 自分自身の仕事と結婚・子育てについての希望（高校生）

「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」と回答した方に伺います。あなたは、自分自身の仕事と結婚・子育てについてどのような希望を持っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続けたい
- 2 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続けたい
- 3 結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続けたい
- 4 結婚又は子どもが生まれたら一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事をもちたい
- 5 結婚又は子どもが生まれたら退職し、その後は仕事を持たずに家事や子育てに専念したい
- 6 わからない
- 7 その他

図 3. 4. 45



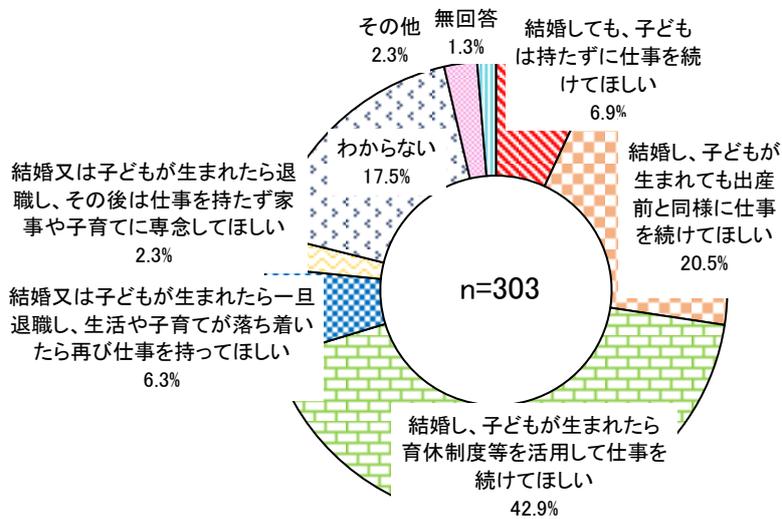
高校生に、自分自身の仕事と結婚・子育てについての希望について聞いたところ、「結婚し、子どもが生まれたら育児休業や時短勤務等の制度を活用して仕事を続けたい」が41.6%と最も多く、次いで「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続けたい」(29.0%)、「わからない」(11.6%)となっています。

オ. 将来のパートナーの仕事と結婚・子育てについての希望（高校生）

「結婚したい」「どちらかといえば結婚したい」と回答した方に伺います。あなたは、将来のパートナー（夫や妻など）の仕事と結婚・子育てについてどのような希望がありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 結婚しても、子どもは持たずに仕事を続けてほしい
- 2 結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続けてほしい
- 3 結婚し、子どもが生まれてから育休制度等を活用して仕事を続けてほしい
- 4 結婚又は子どもが生まれてから一旦退職し、生活や子育てが落ち着いたら再び仕事を持ってほしい
- 5 結婚又は子どもが生まれてから退職し、その後は仕事を持たず家事や子育てに専念してほしい
- 6 わからない
- 7 その他

図 3. 4. 4 6



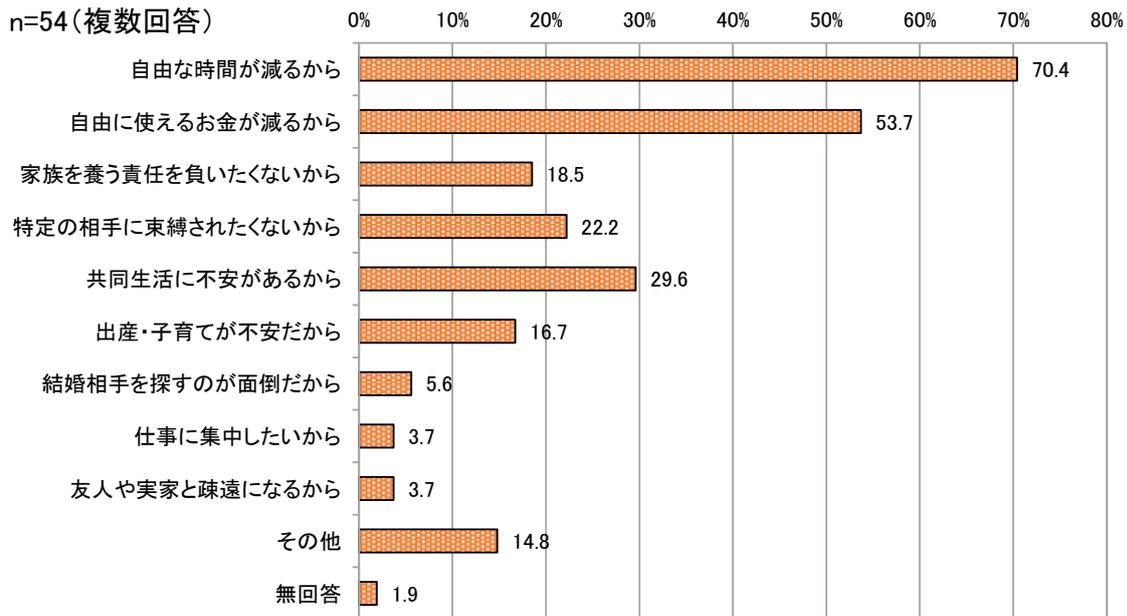
高校生に、将来のパートナーの仕事と結婚・子育てについての希望について聞いたところ、「結婚し、子どもが生まれてから育休制度等を活用して仕事を続けてほしい」が 42.9%と最も多く、次いで「結婚し、子どもが生まれても出産前と同様に仕事を続けてほしい」(20.5%)、「わからない」(17.5%)となっています。

カ. 結婚したくないと思う理由（高校生）

「どちらかといえば結婚したくない」「結婚したくない」と回答した方に伺います。結婚したくないと思う理由は何ですか。次の中から3つ以内で選んでください。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 自由な時間が減るから       | 2 自由に使えるお金が減るから    |
| 3 家族を養う責任を負いたくないから | 4 特定の相手に束縛されたくないから |
| 5 共同生活に不安があるから     | 6 出産・子育てが不安だから     |
| 7 結婚相手を探すのが面倒だから   | 8 仕事に集中したいから       |
| 9 友人や実家と疎遠になるから    | 10 その他             |

図 3. 4. 4 7



高校生に、結婚したくないと思う理由を聞いたところ、「自由な時間が減るから」が 70.4%と最も多く、次いで「自由に使えるお金が減るから」(53.7%)、「共同生活に不安があるから」(29.6%)、「特定の相手に束縛されたくないから」(22.2%)と続いています。

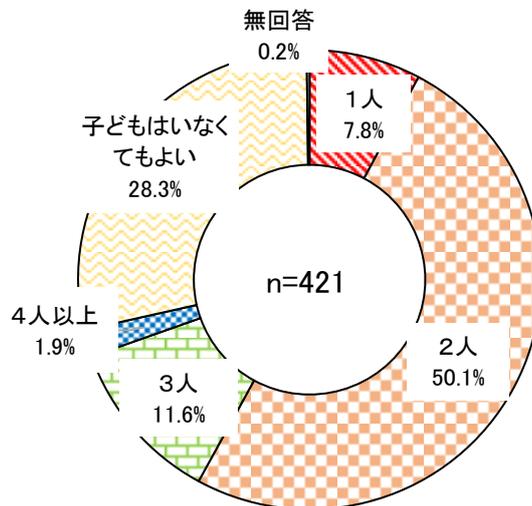
(16) 子どもについて

ア. ほしい子どもの人数（高校生）

あなたは、将来的に何人くらい子どもがほしいと考えていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 1人      2 2人      3 3人      4 4人以上      5 子どもはいなくてもよい

図 3. 4. 48



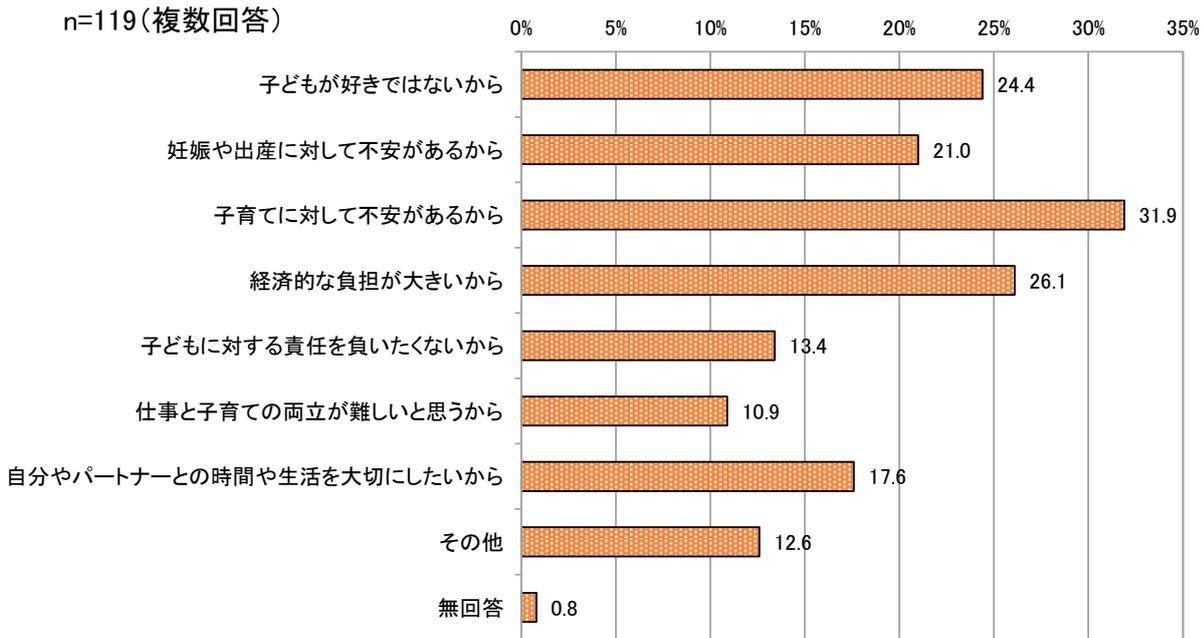
高校生に、将来的に何人子どもがほしいかを聞いたところ、「2人」が 50.1%と最も多くなっています。また、「子どもはいなくてもよい」は 28.3%が回答しています。

イ. 子どもがいなくてもよいと思う理由（高校生）

前問で「子どもはいなくてもよい」と回答した方に伺います。子どもがいなくてもよいと思う理由は何ですか。次の中から2つ以内で選んでください。

1 子どもが好きではないから	2 妊娠や出産に対して不安があるから
3 子育てに対して不安があるから	4 経済的な負担が大きいから
5 子どもに対する責任を負いたくないから	6 仕事と子育ての両立が難しいと思うから
7 自分やパートナーとの時間や生活を大切にしたいから	8 その他

図 3. 4. 4 9



高校生に、子どもがいなくてもよいと思う理由を聞いたところ、「子育てに対して不安があるから」が 31.9%と最も多く、次いで「経済的な負担が大きいから」(26.1%)、「子どもが好きではないから」(24.4%)、「妊娠や出産に対して不安があるから」(21.0%)と続いています。

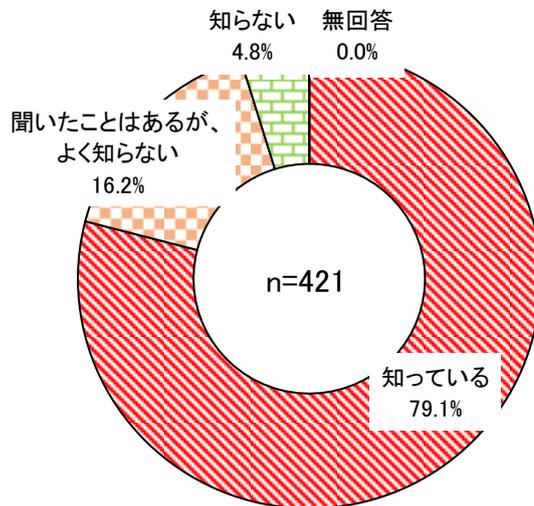
(17) 妊娠と年齢の関係

ア. 妊娠と年齢の関係の認知度（高校生）

あなたは、男女ともに年齢が高くなるほど妊娠の確率が低下することなど、妊娠と年齢の関係について知っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 知っている      2 聞いたことはあるが、よく知らない      3 知らない

図 3. 4. 5 0



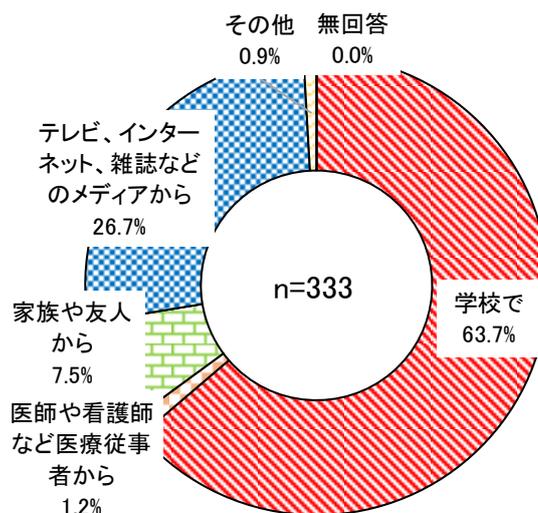
高校生に、妊娠と年齢の関係について知っているかを聞いたところ、「知っている」が79.1%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が16.2%、「知らない」が4.8%となっています。

イ. 妊娠と年齢の関係をどのように知ったか（高校生）

前問で「知っている」と回答した方に伺います。どのようにして知りましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 学校で      2 医師や看護師など医療従事者から      3 家族や友人から  
4 テレビ、インターネット、雑誌などのメディアから      5 その他

図 3. 4. 5 1



高校生に、妊娠と年齢の関係についてどのように知ったかを聞いたところ、「学校で」が63.7%と最も多く、次いで「テレビ、インターネット、雑誌などのメディアから」(26.7%)となっています。

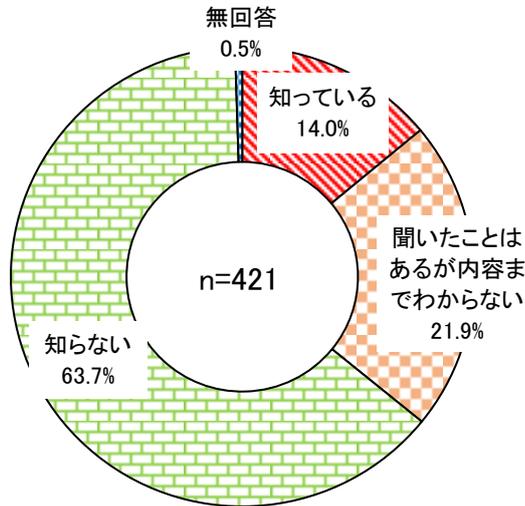
(18) 「ぐんま女性の健康・ぐんま妊娠SOS」について

ア. 「ぐんま女性の健康・ぐんま妊娠SOS」の認知度（高校生）

あなたは、「ぐんま女性の健康・ぐんま妊娠SOS」（予期しない妊娠による悩みや不安を助産師に無料相談できる）を知っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 知っている      2 聞いたことはあるが内容までわからない      3 知らない

図 3. 4. 5 2



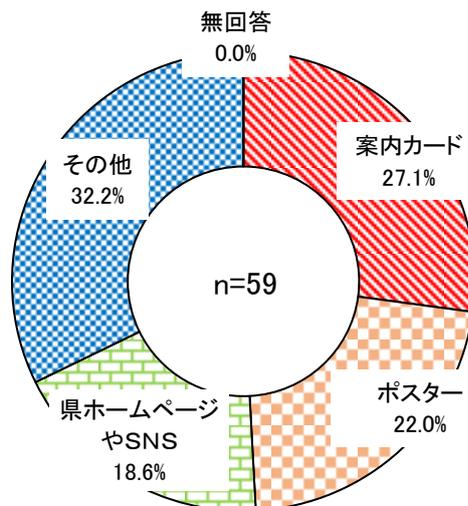
高校生に、「ぐんま女性の健康・ぐんま妊娠SOS」について知っているかを聞いたところ、「知っている」が14.0%、「聞いたことはあるが内容までわからない」が21.9%、「知らない」が63.7%となっています。

イ. 「ぐんま女性の健康・ぐんま妊娠SOS」をどのように知ったか（高校生）

前問で「知っている」と回答した方に伺います。どのようにして知りましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 案内カード      2 ポスター      3 県ホームページやSNS      4 その他

図 3. 4. 5 3



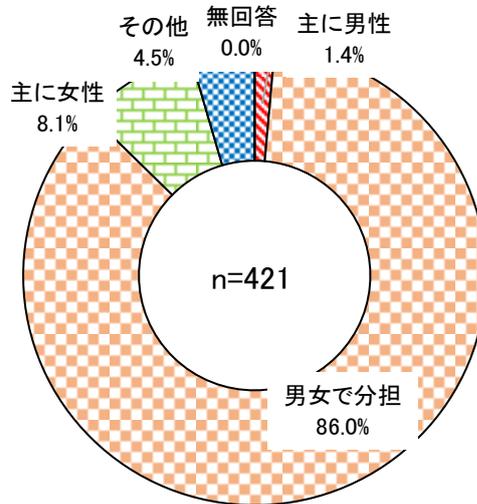
高校生に、「ぐんま女性の健康・ぐんま妊娠SOS」についてどのように知ったかを聞いたところ、「その他」が32.2%と最も多く、次いで「案内カード」(27.1%)、「ポスター」(22.0%)、「県ホームページやSNS」(18.6%)となっています。

(19) 家庭内での家事、育児、看護・介護の分担（高校生）

あなたは、家庭内での家事、育児、看護・介護の分担についてどのように考えますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 主に男性      2 男女で分担      3 主に女性      4 その他

図 3. 4. 5 4



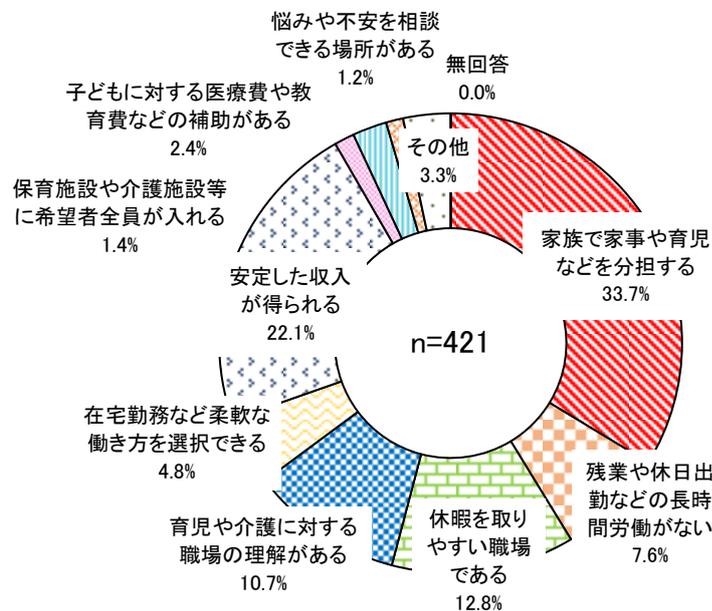
高校生に、家庭内での家事、育児、看護・介護の分担について聞いたところ、「男女で分担」が86.0%と最も多く、「主に女性」が8.1%、「主に男性」が1.4%となっています。

(20) 家庭生活と職業生活を円滑に送るために必要なこと（高校生）

あなたは、将来、家庭生活と職業生活を円滑に送るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 家族で家事や育児などを分担する
- 2 残業や休日出勤などの長時間労働がない
- 3 休暇を取りやすい職場である
- 4 育児や介護に対する職場の理解がある
- 5 在宅勤務など柔軟な働き方を選択できる
- 6 安定した収入が得られる
- 7 保育施設や介護施設等に希望者全員が入れる
- 8 子どもに対する医療費や教育費などの補助がある
- 9 悩みや不安を相談できる場所がある
- 10 その他

図 3. 4. 5 5

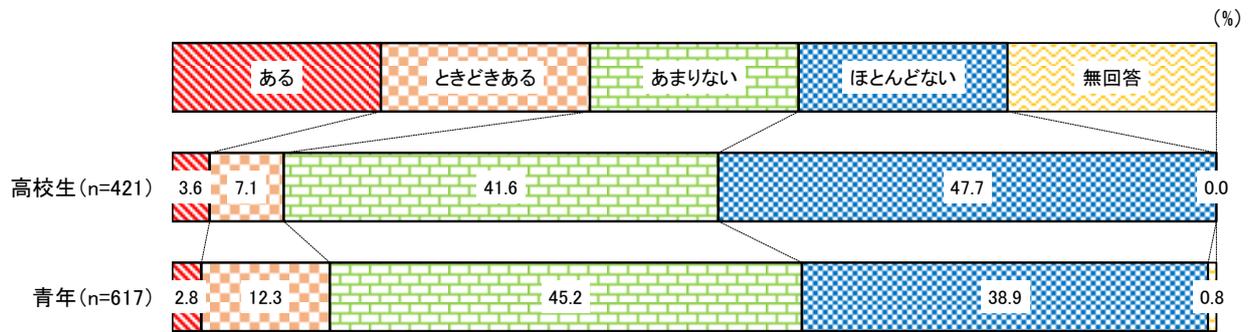


高校生に、将来、家庭生活と職業生活を円滑に送るためにはどのようなことが必要だと思うかを聞いたところ、「家族で家事や育児などを分担する」が 33.7%と最も多く、次いで「安定した収入が得られる」(22.1%)、「休暇を取りやすい職場である」(12.8%)、「育児や介護に対する職場の理解がある」(10.7%)と続いています。

(21) 行政に対する自身の意見の反映（高校生、青年）

行政に対して、自身の意見が反映されている実感がありますか。  
 1 ある      2 ときどきある      3 あまりない      4 ほとんどない

図 3. 4. 5 6



高校生、青年に、行政に対して自身の意見が反映されている実感があるかを聞いたところ、「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた割合は、高校生が89.3%、青年が84.1%と「ある」と「ときどきある」を合わせた割合（高校生：10.7%、青年15.1%）を上回っています。

## 5 就労意識

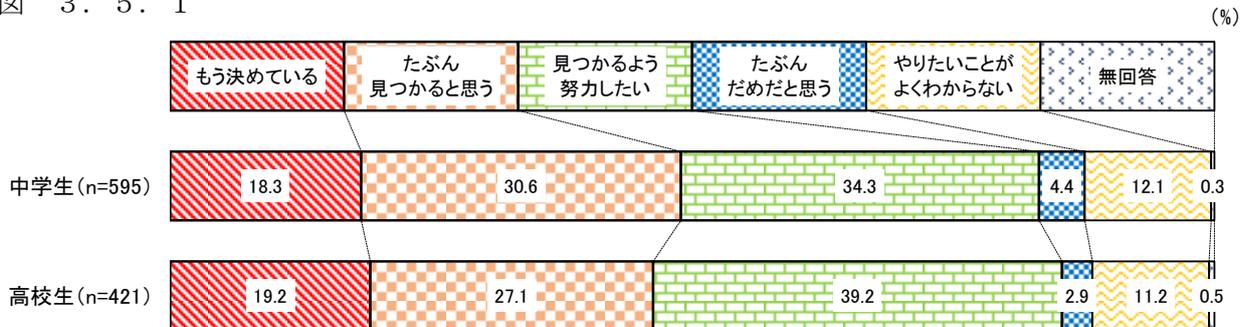
### (1) 中学生、高校生の就労意識

#### ア. 自分にふさわしい仕事 (中学生、高校生)

将来、自分にふさわしい仕事が見つかると思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 もう決めている                      2 たぶん見つかると思う                      3 見つかるよう努力したい  
4 たぶんだめだと思う                      5 やりたいことがよくわからない

図 3. 5. 1



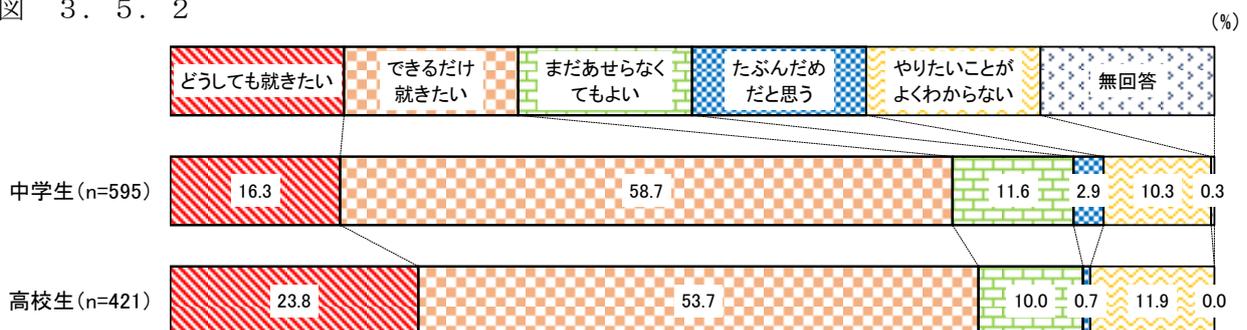
中学生、高校生に、自分にふさわしい仕事が見つかると思うか聞いたところ、中学生、高校生ともに、「見つかるよう努力したい」が最も多く、それぞれ 34.3%、39.2%となっています。次いで、中学生、高校生ともに、「たぶん見つかると思う」(中学生：30.6%、高校生：27.1%)、「もう決めている」(中学生：18.3%、高校生：19.2%)、「やりたいことがよくわからない」(中学生：12.1%、高校生：11.2%)と続いています。

#### イ. 夢を実現させる仕事 (中学生、高校生)

将来、自分の夢を実現させる仕事に就きたいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 どうしても就きたい                      2 できるだけ就きたい                      3 まだあせらなくてもよい  
4 たぶんだめだと思う                      5 やりたいことがよくわからない

図 3. 5. 2



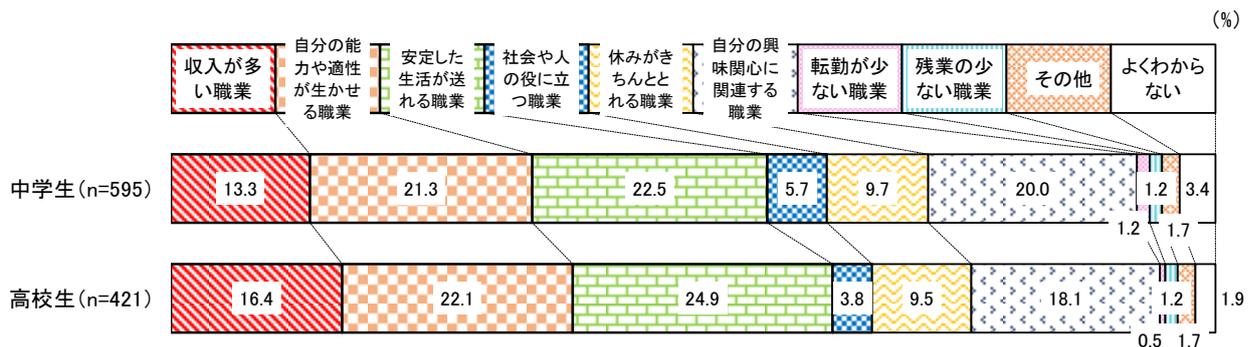
中学生、高校生に、夢を実現させる仕事に就きたいかを聞いたところ、中学生、高校生ともに「できるだけ就きたい」が最も多く、それぞれ 58.7%、53.7%となっています。次いで、中学生では「どうしても就きたい」(16.3%)、「まだあせらなくてもよい」(11.6%)、「やりたいことがよくわからない」(10.3%)、高校生では「どうしても就きたい」(23.8%)、「やりたいことがよくわからない」(11.9%)、「まだあせらなくてもよい」(高校生：10.0%)と続いています。

ウ. 将来就きたい職業（中学生、高校生）

あなたは、将来どんな職業につきたいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1 収入が多い職業	2 自分の能力や適性が生かせる職業
3 安定した生活が送れる職業	4 社会や人の役に立つ職業
5 休みがきちんととれる職業	6 自分の興味関心に関連する職業
7 転勤が少ない（または在宅勤務ができる）職業	8 残業の少ない職業
9 その他	
10 よくわからない	

図 3. 5. 3



中学生、高校生に、将来就きたい職業を聞いたところ、中学生、高校生ともに、「安定した生活が送れる職業」がそれぞれ 22.5%、24.9%と最も多く、次いで「自分の能力や適性が生かせる職業」（中学生：21.3%、高校生：22.1%）、「自分の興味関心に関連する職業」（中学生：20.0%、高校生：18.1%）と続いています。

過年度調査との比較

図 3. 5. 4 「自分の能力や適性が生かせる職業」

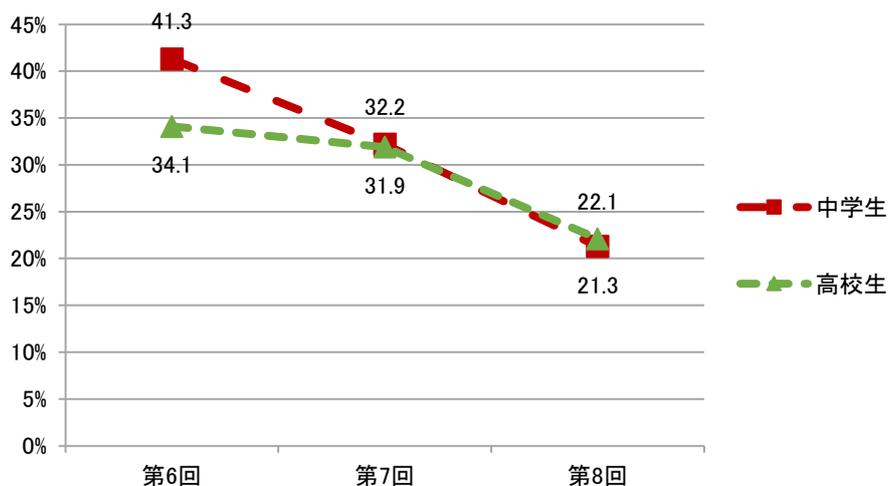


図 3. 5. 5 「安定した生活を送れる職業」

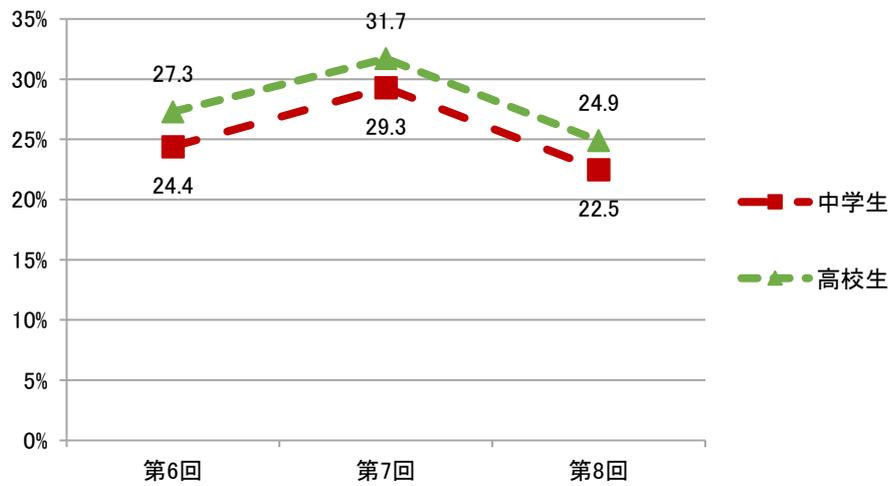
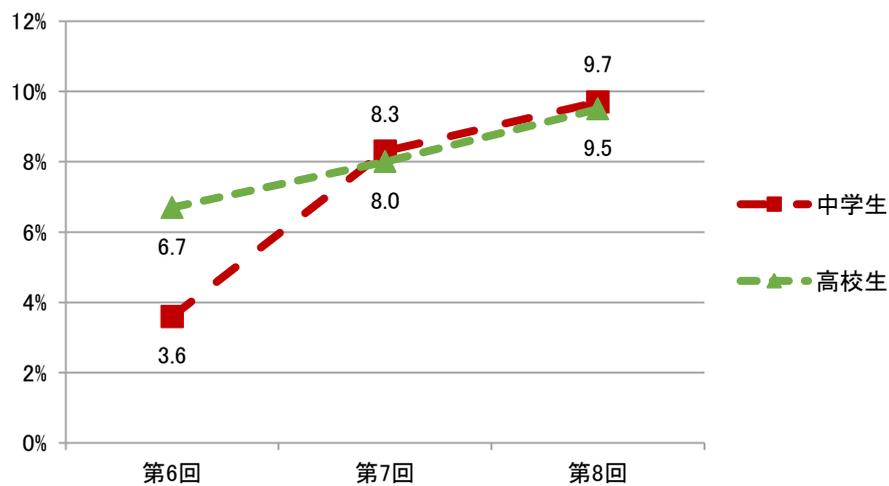


図 3. 5. 6 「休みがきちんととれる職業」



第6回、第7回調査と比較すると、「自分の能力や適性が生かせる職業」の割合は中学生、高校生ともに減少傾向にあります。また、「安定した生活を送れる職業」は第7回調査で増加していましたが、今回調査では第6回調査以下まで減少しています。一方、「休みがきちんととれる職業」は、中学生、高校生ともに増加傾向にあります。

エ. 仕事をしなくても生活が出来るとした場合（中学生、高校生）

仕事をしなくても生活できるとしたらどうしますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 仕事はかならずしたい                      2 なるべく仕事をしたい  
 3 好きな仕事でなければしたくない        4 しなくてもよいなら仕事はしたくない  
 5 そのときにならないとわからない



中学生、高校生に、仕事をしなくても生活ができる場合にどうするかを聞いたところ、中学生、高校生ともに、「好きな仕事でなければしたくない」がそれぞれ 32.4%、33.5%と最も多く、次いで中学生では「なるべく仕事をしたい」(27.7%)、「しなくてもよいなら仕事はしたくない」(16.8%)、高校生では「しなくてもよいなら仕事はしたくない」(23.5%)、「なるべく仕事をしたい」(20.9%)と続いています。

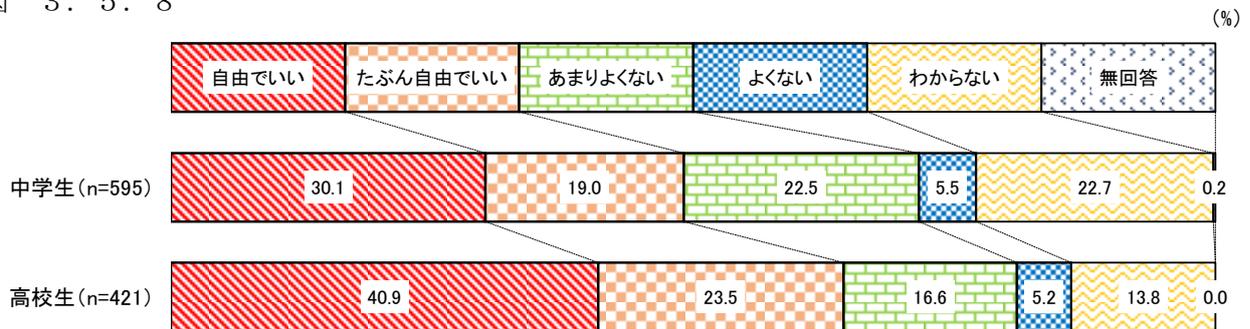
オ. 定職に就かないこと（中学生、高校生）

定職に就かないことをどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 自由でいい                      2 たぶん自由でいい                      3 あまりよくない

4 よくない                              5 わからない

図 3. 5. 8



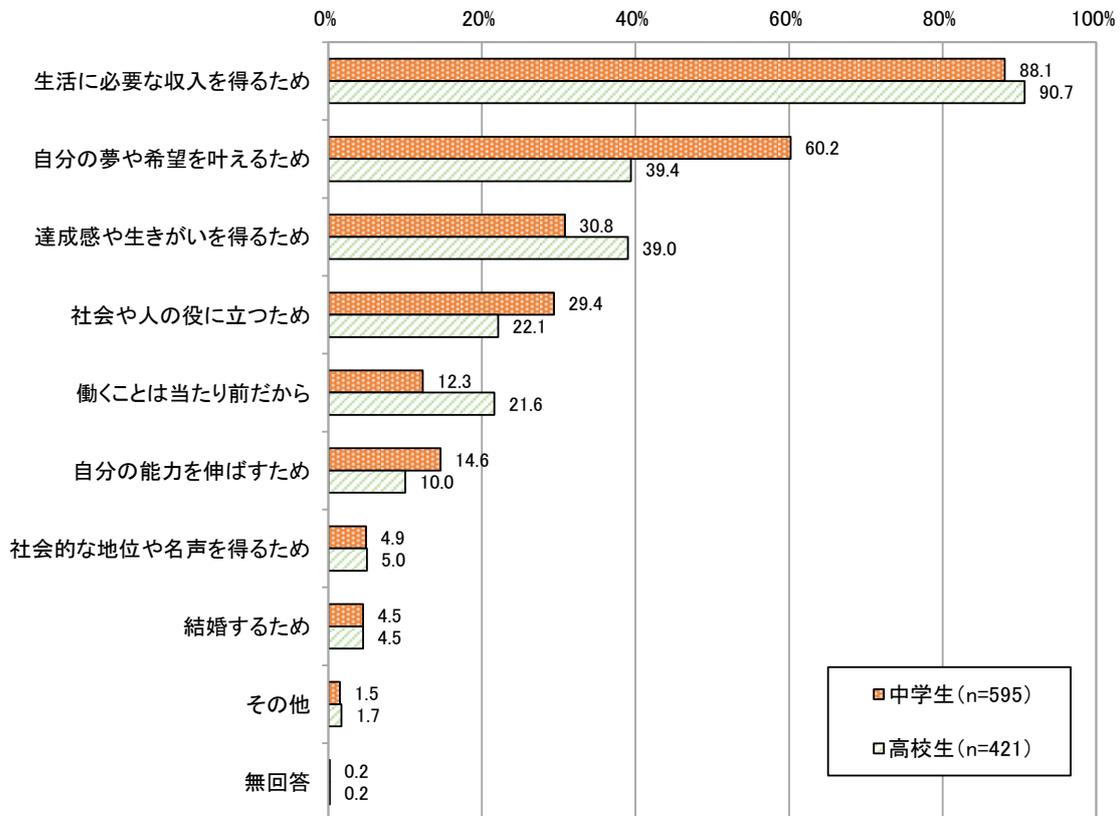
中学生、高校生に、定職に就かないことについて聞いたところ、中学生、高校生ともに「自由でいい」がそれぞれ 30.1%、40.9%と最も多く、次いで中学生は「わからない」(22.7%)、「あまりよくない」(22.5%)、高校生は「たぶん自由でいい」(23.5%)、「あまりよくない」(16.6%)となっています。

カ. 働く理由（中学生、高校生）

あなたは、何のために働くと考えますか。次の中から3つ以内で選んでください。

- 1 生活に必要な収入を得るため
- 2 自分の夢や希望を叶えるため
- 3 達成感や生きがいを得るため
- 4 社会や人の役に立つため
- 5 働くことは当たり前だから
- 6 自分の能力を伸ばすため
- 7 社会的な地位や名声を得るため
- 8 結婚するため
- 9 その他（ ）

図 3. 5. 9



中学生、高校生に、何のために働くのかについて聞いたところ、中学生、高校生ともに「生活に必要な収入を得るため」がそれぞれ88.1%、90.7%と最も多く、次いで「自分の夢や希望を叶えるため」（中学生：60.2%、高校生：39.4%）、「達成感や生きがいを得るため」（中学生：30.8%、高校生：39.0%）、「社会や人の役に立つため」（中学生：29.4%、高校生：22.1%）と続いています。

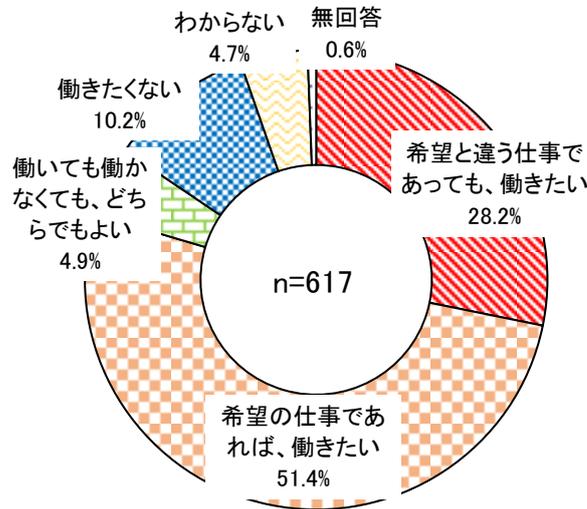
(2) 青年の就労意識

ア. 就労意向 (青年)

あなたは、就労についてどう考えていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 希望と違う仕事であっても、働きたい	2 希望の仕事であれば、働きたい
3 働いても働かなくても、どちらでもよい	4 働きたくない
	5 わからない

図 3. 5. 10



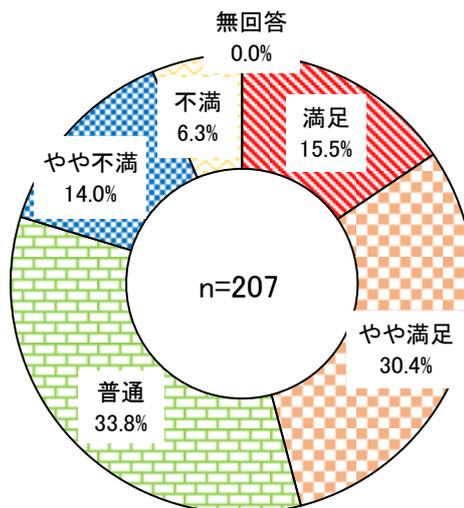
青年に、就労意向を聞いたところ、「希望の仕事があれば、働きたい」が51.4%と、「希望と違う仕事であっても、働きたい」の28.2%を上回っています。

イ. 現在の職場の満足度 (青年)

現在の職場に満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
------	--------	------	--------	------

図 3. 5. 11



就労している青年に、現在の職場への満足度を聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は計45.9%と、「やや不満」「不満」を合わせた計20.3%を上回っています。

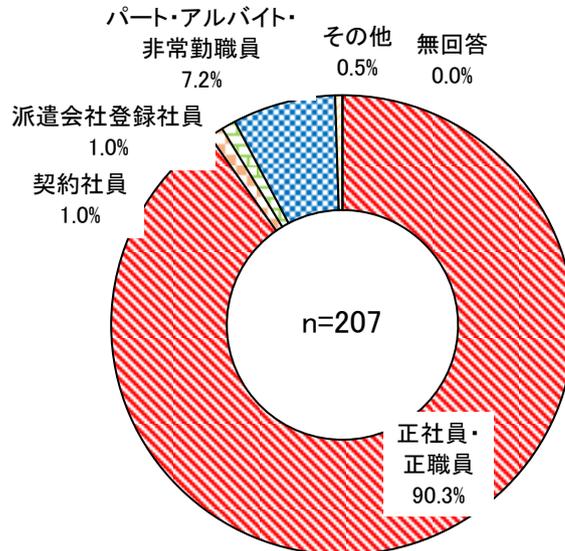


エ. 初めて就いた職業の働き方（青年）

初めて就いた職業の働き方について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 正社員・正職員	2 契約社員
3 派遣会社登録社員	4 パート・アルバイト・非常勤職員
5 その他 ( )	

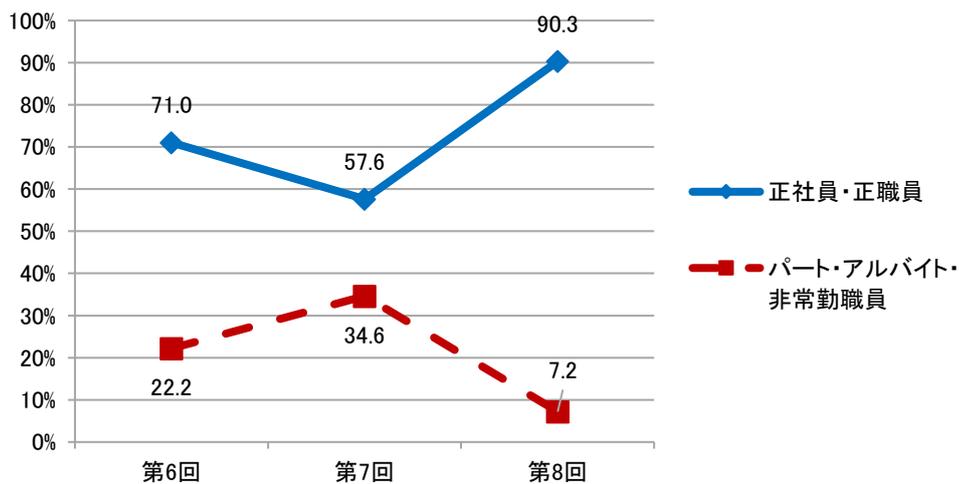
図 3. 5. 1 3



就労している青年に、初めて就いた職業の働き方を聞いたところ、「正社員・正職員」が 90.3%で、「パート・アルバイト・非常勤職員」の 7.2%を上回っています。「契約社員」、「派遣会社登録社員」、「パート・アルバイト・非常勤職員」、を合わせた非正規雇用の割合は、約 1 割となっています。

過年度調査との比較

図 3. 5. 1 4 「正社員・正職員」、「パート・アルバイト・非常勤職員」



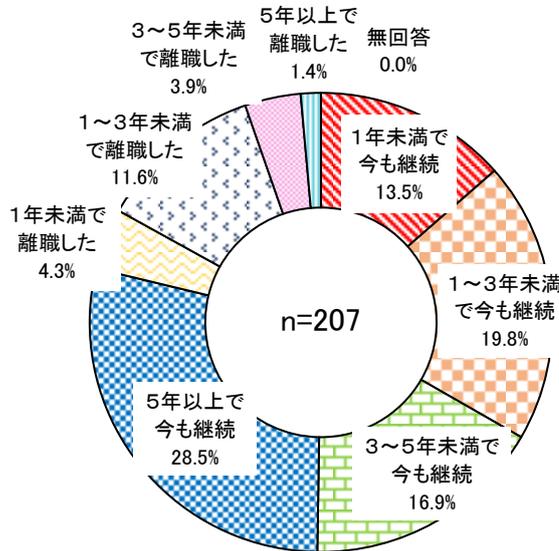
第 6 回、第 7 回調査結果と比較すると、「正社員・正職員」は大幅に増加し、「パート・アルバイト・非常勤職員」は減少しています。

オ. 初めて就いた職業の継続期間（青年）

初めて就いた職業の継続期間について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 1年未満で今も継続	2 1～3年未満で今も継続	3 3～5年未満で今も継続
4 5年以上で今も継続	5 1年未満で離職した	6 1～3年未満で離職した
7 3～5年未満で離職した	8 5年以上で離職した	

図 3.5.15



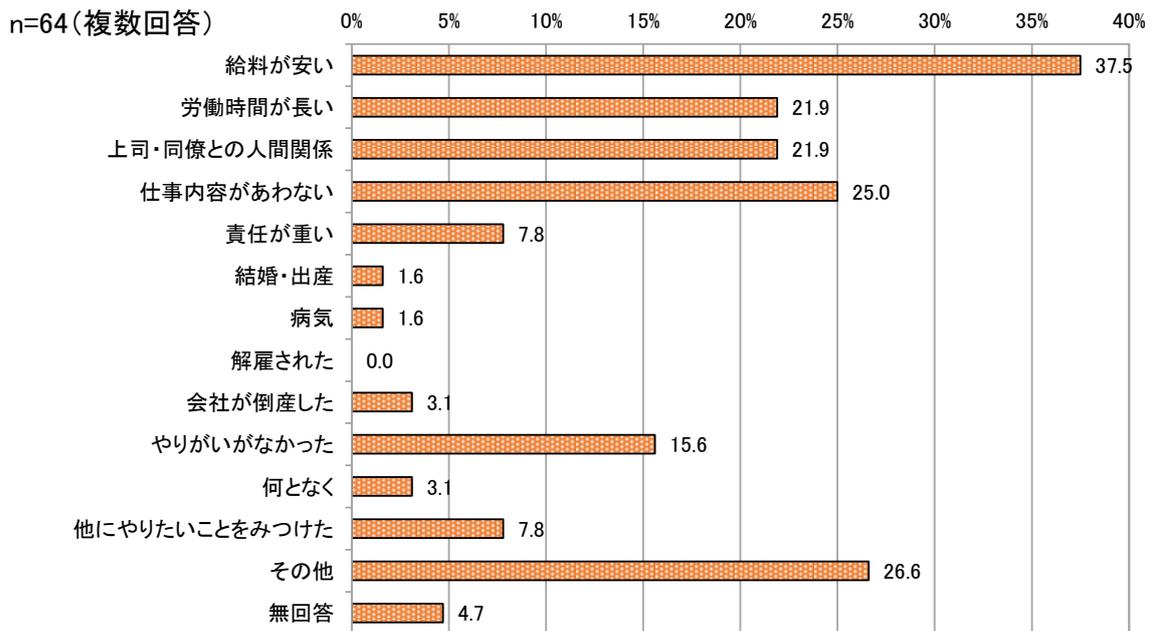
就労している青年に、初めて就いた職業の継続期間を聞いたところ、「5年以上で今も継続」が28.5%と最も多く、次いで「1～3年未満で今も継続」(19.8%)、「3～5年未満で今も継続」(16.9%)、「1年未満で今も継続」(13.5%)、「1～3年未満で離職した」(11.6%)と続いています。

カ. 離職した理由（青年）

前問で「5～8の離職した」と回答した方にお伺いします。初めて就いた職業を離職した理由を次の中から全部選んで番号に○をつけてください。

- |              |           |                  |
|--------------|-----------|------------------|
| 1 給料が安い      | 2 労働時間が長い | 3 上司・同僚との人間関係    |
| 4 仕事内容があわない  | 5 責任が重い   | 6 結婚・出産          |
| 7 病気         | 8 解雇された   | 9 会社が倒産した        |
| 10 やりがいがなかった | 11 何となく   | 12 他にやりたいことをみつけた |
| 13 その他（      |           | ）                |

図 3. 5. 16



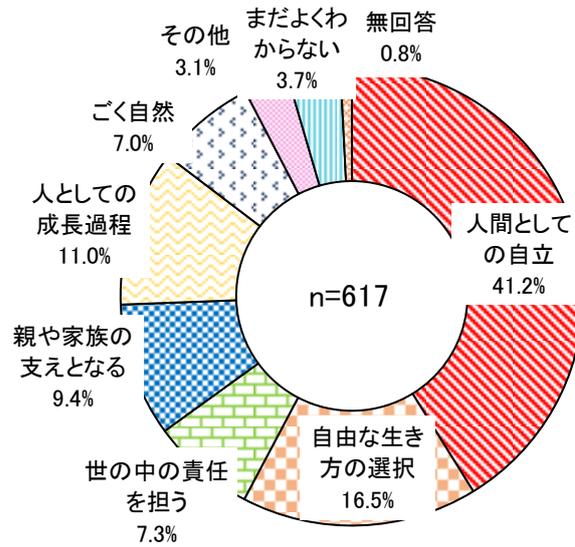
青年に、離職した理由を聞いたところ、「その他」以外では、「給料が安い」が37.5%で最も多く、次いで「仕事内容があわない」(25.0%)、「労働時間が長い」「上司・同僚との人間関係」(いずれも21.9%)と続いています。

キ. 社会に出て仕事をするものの意味（青年）

社会に出て仕事をするものは、あなたにとってどのような意味をもちますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 人間としての自立	2 自由な生き方の選択	3 世の中の責任を担う
4 親や家族の支えとなる	5 人としての成長過程	6 ごく自然
7 その他（		）
8 まだよくわからない		

図 3. 5. 17



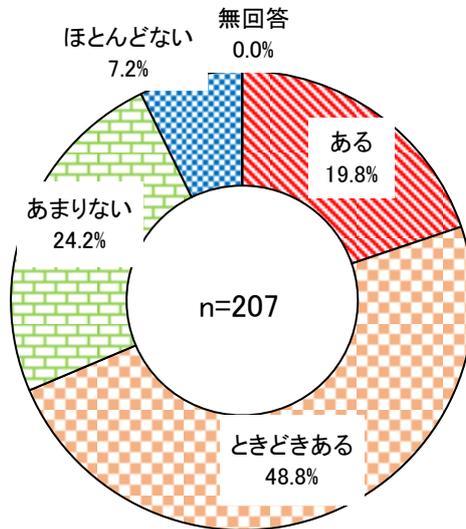
青年に、社会に出て仕事をするものの意味を聞いたところ、「人間としての自立」が 41.2%と最も多く、次いで「自由な生き方の選択」(16.5%)、「人としての成長過程」(11.0%)、「親や家族の支えとなる」(9.4%)、「世の中の責任を担う」(7.3%)と続いています。

ク. 職場に対する自身の意見の反映（青年）

職場に対して、自身の意見が反映されている実感がありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 ある      2 ときどきある      3 あまりない      4 ほとんどない

図 3. 5. 18



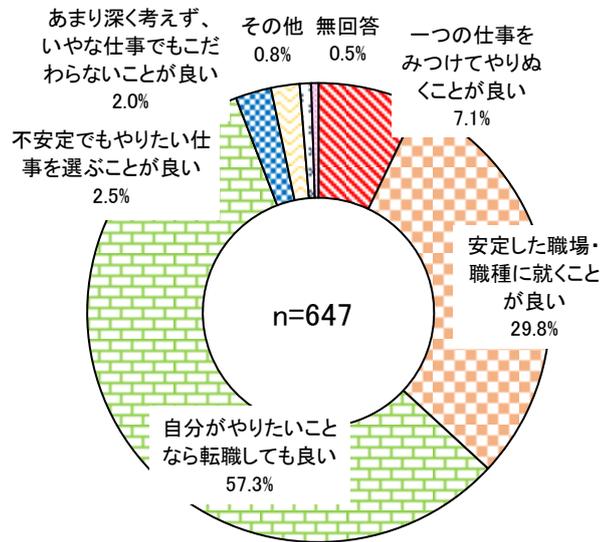
青年に、職場に対して自身の意見が反映されている実感があるかを聞いたところ、「ある」と「ときどきある」を合わせた割合は 68.6%となっており、「あまりない」と「ほとんどない」を合わせた割合（31.4%）を上回っています。

(3) 子どもの就労に対する考え方 (保護者)

お子さんの就労についてどう考えていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 一つの仕事をみつけてやりぬくことが良い      2 安定した職場・職種に就くことが良い  
 3 自分がやりたいことなら転職しても良い      4 不安定でもやりたい仕事を選ぶことが良い  
 5 あまり深く考えず、いやな仕事でもこだわらないことが良い  
 6 その他 ( )

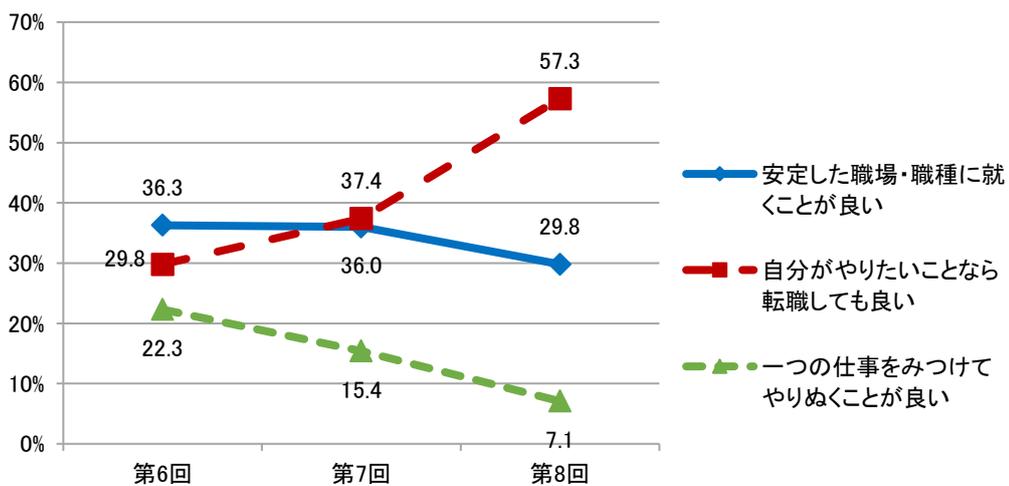
図 3. 5. 19



保護者に、子どもの就労に対する考え方を聞いたところ、「自分がやりたいことなら転職しても良い」が 57.3%と、「安定した職場・職種に就くことが良い」の 29.8%を上回っています。

過年度調査との比較

図 3. 5. 20 「安定した職場」「やりたいことなら転職しても良い」「一つの仕事をみつけてやり抜く」



第6回、第7回調査結果と比較すると、「自分がやりたいことなら転職しても良い」は増加傾向にあり、第7回調査結果から大幅に増加しています。一方、「安定した職場・職種に就くことが良い」、「一つの仕事をみつけてやりぬくことが良い」は減少傾向にあります。

## 6 インターネット

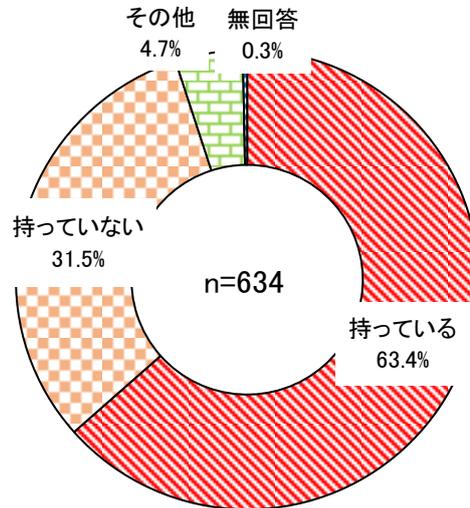
### (1) スマートフォン等の所持状況 (小学生、保護者)

[小学生]

インターネットのできるスマートフォンをはじめとした端末機器を自分用に持っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 持っている                      2 持っていない                      3 その他 (                      )

図 3. 6. 1



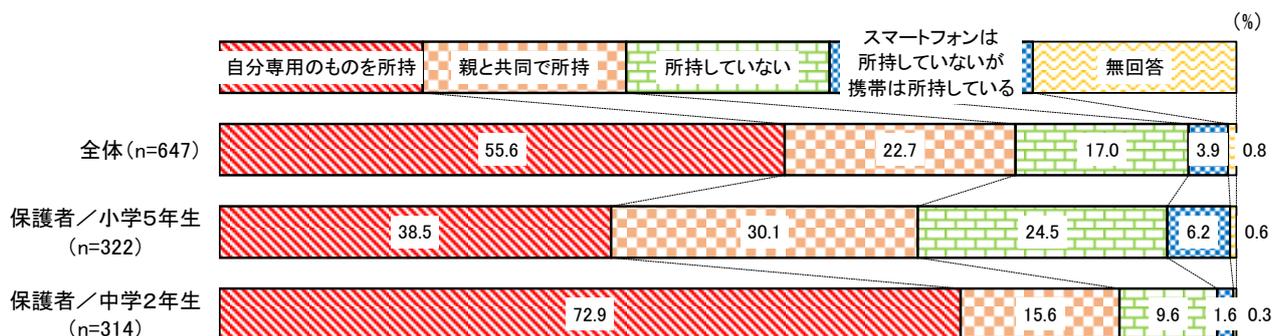
小学生に、スマートフォン等のインターネットができる端末を自分用に持っているか聞いたところ、「持っている」は 63.4%となっています。下に示す、保護者の回答状況も考慮すると、「持っている」には、「親と共同で所持」の回答も含まれていると考えられます。

[保護者]

お子さんはスマートフォンを所持していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 自分専用のものを所持                      2 親と共同で所持  
3 所持していない                      4 スマートフォンは所持していないが携帯は所持している

図 3. 6. 2



保護者に、子どもがスマートフォンを所持しているか聞いたところ、小学生の保護者では「自分専用のものを所持」が 38.5%、「親と共同で所持」が 30.1%、「所持していない」が 24.5%、「スマートフォンは所持していないが携帯は所持している」が 6.2%と回答しています。中学生の保護者では、「自分専用のものを所持」が 72.9%、「親と共同で所持」が 15.6%、「所持していない」は 9.6%、「スマートフォンは所持していないが携帯は所持している」が 1.6%となっています。



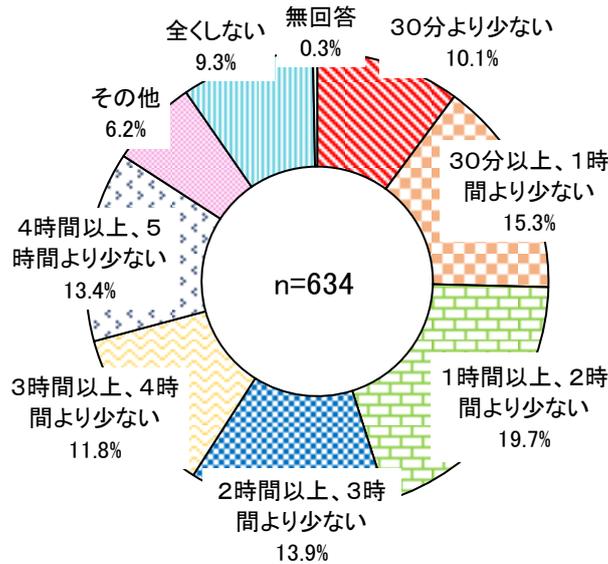
(3) スマートフォンの利用時間 (小学生、中学生、高校生)

スマートフォン(タブレット含む)を1日あたりどのくらい使用しますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 30分より少ない	2 30分以上、1時間より少ない
3 1時間以上、2時間より少ない	4 2時間以上、3時間より少ない
5 3時間以上、4時間より少ない	6 4時間以上、5時間より少ない
7 その他(                   時間以上)	8 全くしない

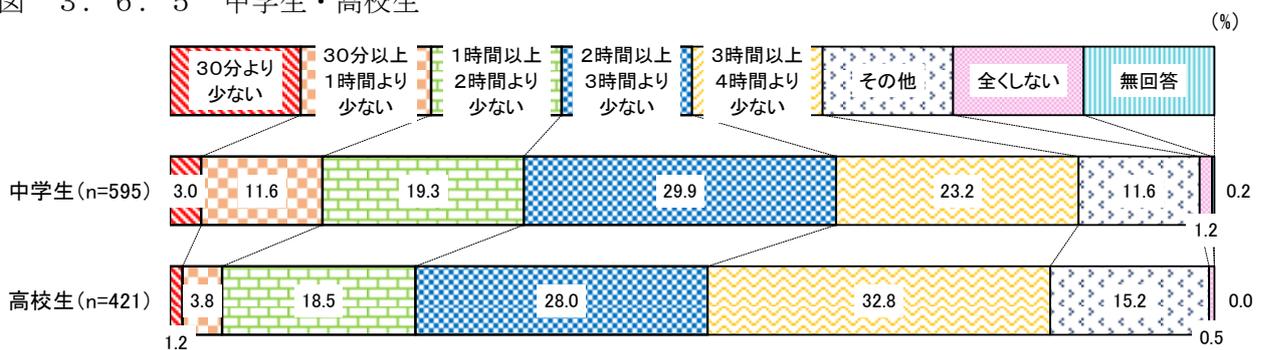
※「4時間以上、5時間より少ない」は、「小学生」のみに聴取

図 3.6.4 小学生



小学生に、スマートフォンの利用時間を聞いたところ、「1時間以上、2時間より少ない」が19.7%、「30分以上、1時間より少ない」が15.3%、「2時間以上、3時間より少ない」が13.9%となっています。

図 3.6.5 中学生・高校生



中学生、高校生に、スマートフォンの利用時間を聞いたところ、中学生では「2時間以上、3時間より少ない」が29.9%、「3時間以上、4時間より少ない」が23.2%、「1時間以上、2時間より少ない」が19.3%となっています。高校生では「3時間以上、4時間より少ない」が32.8%、「2時間以上、3時間より少ない」が28.0%、「1時間以上、2時間より少ない」が18.5%となっています。中学生よりも高校生の方が利用時間は長く、高校生では計60.8%が2時間以上利用していると回答しています。

過年度調査との比較

図 3. 6. 6 スマートフォンの利用時間 (小学生)

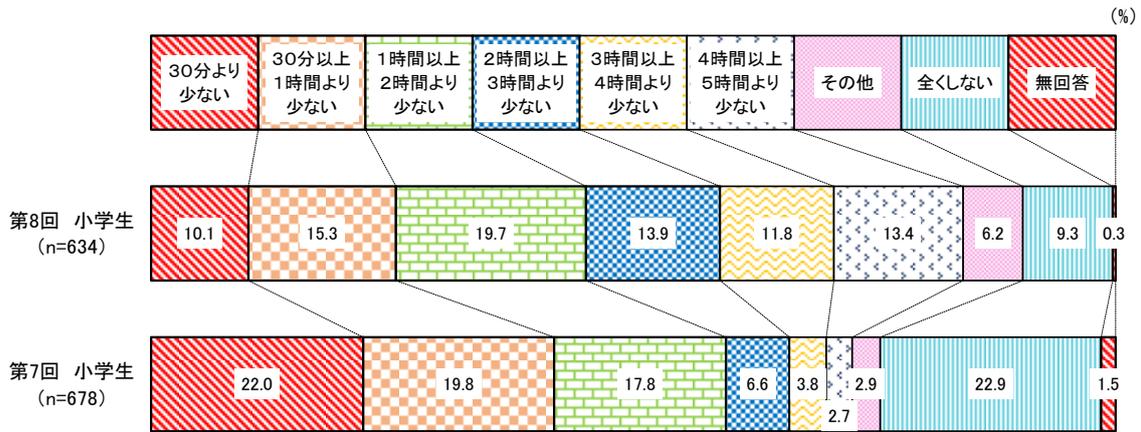
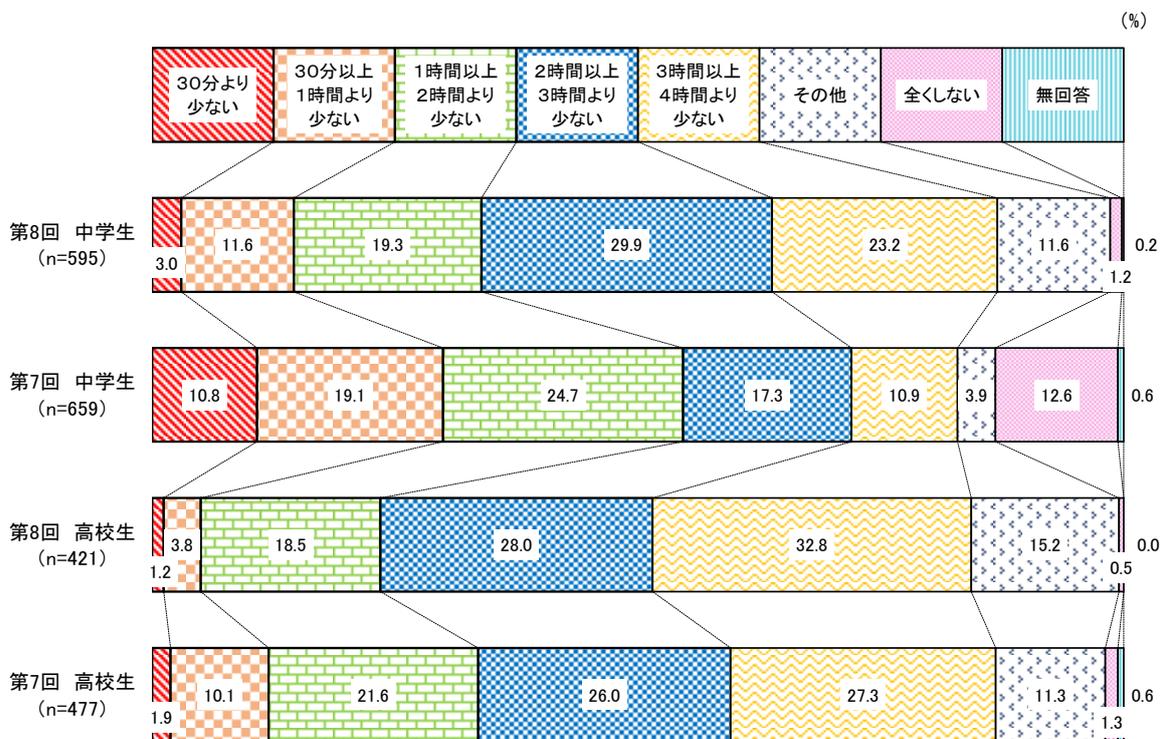


図 3. 6. 7 スマートフォンの利用時間 (中学生・高校生)



第7回調査結果と比較すると、

小学生は、「全くしない」や「30分より少ない」の割合が10ポイント以上減少し、「2時間以上、3時間より少ない」、「3時間以上、4時間より少ない」、「4時間以上、5時間より少ない」が大きく増加しています。

中学生も小学生と同様に、「全くしない」の割合が10ポイント以上減少しています。一方で、「2時間以上、3時間より少ない」、「3時間以上、4時間より少ない」の割合が10ポイント以上増加しています。

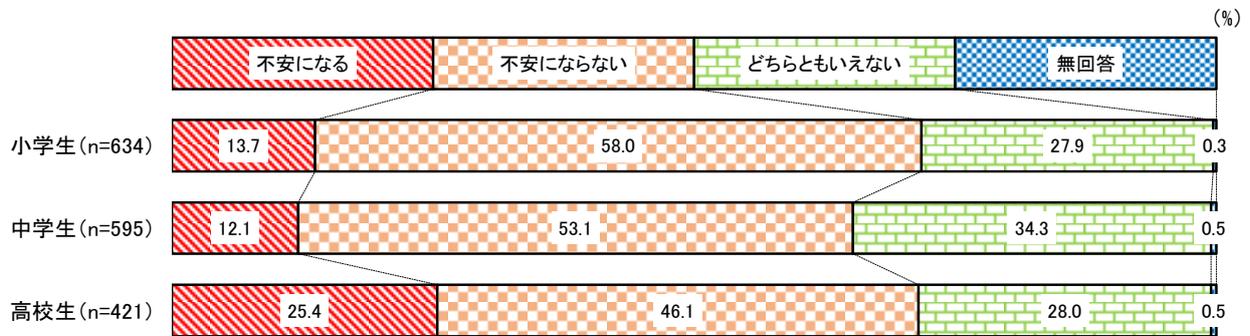
高校生は、「30分以上、1時間より少ない」の割合が5ポイント以上減少している一方で、「3時間以上、4時間より少ない」が約5ポイント増加しています。

(4) インターネットを使用しないことによる不安（小学生、中学生、高校生）

インターネット（スマートフォン、タブレット含む）を使用しないと不安になりますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 不安になる                      2 不安にならない                      3 どちらともいえない

図 3. 6. 8



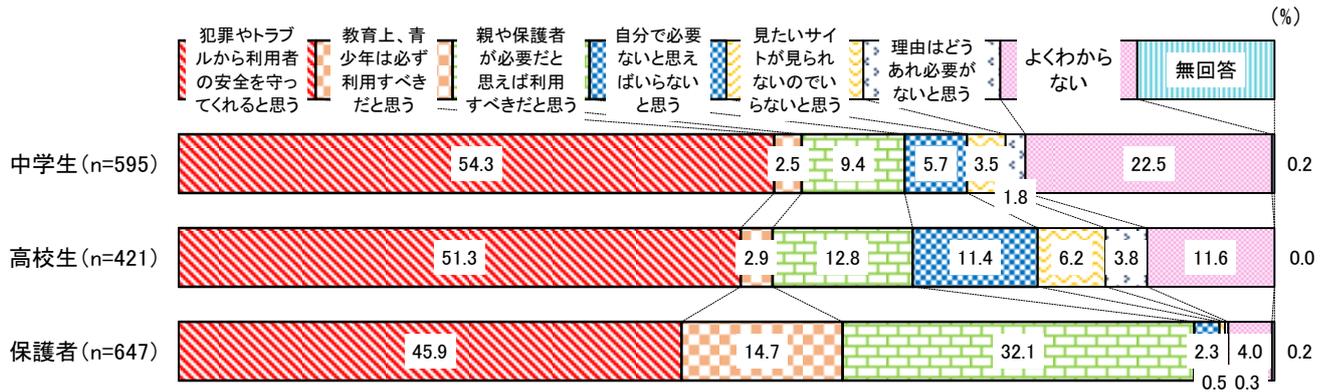
小学生、中学生、高校生に、インターネットを利用しないと不安になるかを聞いたところ、小学生の13.7%、中学生の12.1%、高校生の25.4%が「不安になる」と回答しています。「どちらともいえない」は小学生で27.9%、中学生で34.3%、高校生で28.0%が回答しています。

(5) フィルタリング利用に対するイメージ (中学生、高校生、保護者)

フィルタリングの利用に対してどのようなイメージをお持ちですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 犯罪やトラブルから利用者の安全を守ってくれると思う
- 2 教育上、青少年は必ず利用すべきだと思う
- 3 親や保護者が必要だと思えば利用すべきだと思う
- 4 自分で必要ないと思えばいいと思う
- 5 見たいサイトが見られないのでいいと思う
- 6 理由はどうあれ必要がないと思う
- 7 よくわからない

図 3.6.9



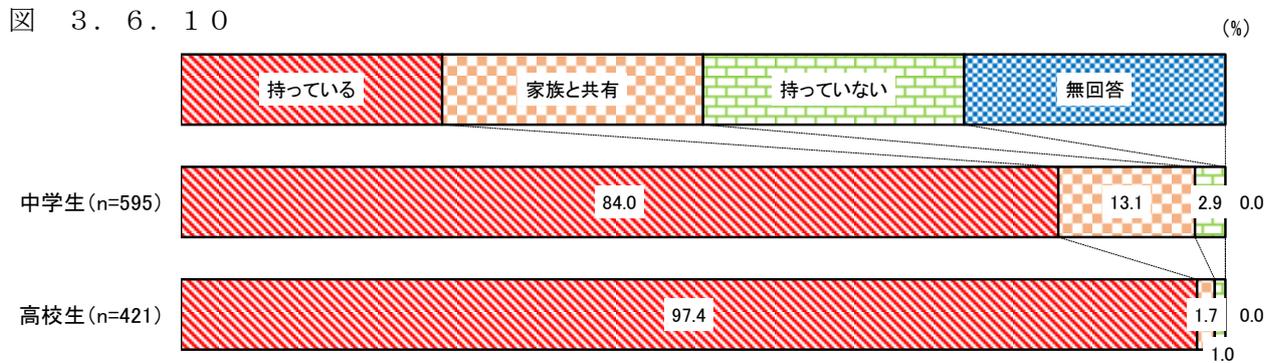
中学生、高校生、保護者に、フィルタリングの利用についてのイメージを聞いたところ、中学生、高校生、保護者ともに「犯罪やトラブルから利用者の安全を守ってくれると思う」が最も多く、それぞれ54.3%、51.3%、45.9%となっています。

「教育上、青少年は必ず利用すべきだと思う」は、中学生で2.5%、高校生で2.9%にとどまっていますが、保護者は14.7%が回答しています。また、「親や保護者が必要だと思えば利用すべきだと思う」は中学生で9.4%、高校生で12.8%、保護者で32.1%が回答しており、「教育上、青少年は必ず利用すべきだと思う」と同様に、中学生、高校生と保護者で差が大きくなっています。

(6) フィルタリングの設定状況

ア. スマートフォン等の所持状況 (中学生、高校生)

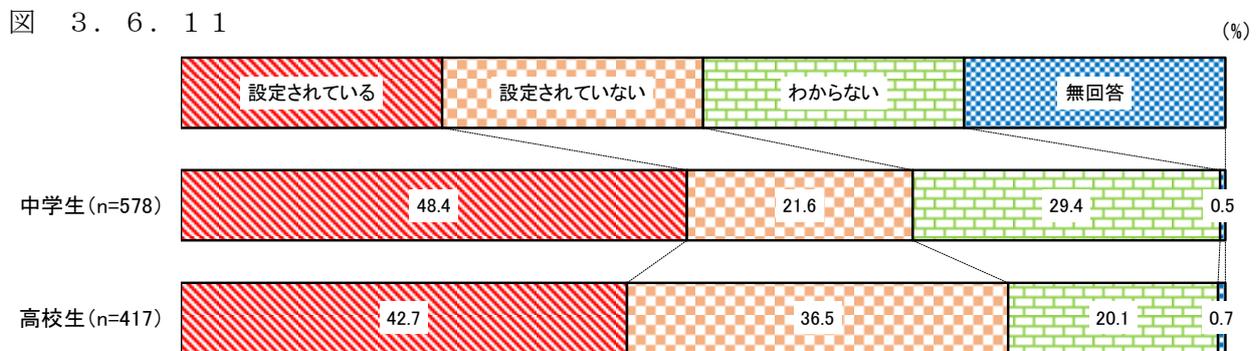
あなたはスマートフォンやタブレットなど、インターネットが使える機器を持っていますか (学校支給の端末を除く。)。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 持っている      2 家族と共有      3 持っていない



中学生、高校生に、スマートフォン等のインターネットが使える機器を持っているか聞いたところ、「持っている」はそれぞれ 84.0%、97.4%となっています。

イ. フィルタリングの設定状況 (中学生、高校生)

前問で「持っている」「家族と共有」と回答した方に伺います。ご自身が使えるスマートフォン (タブレット・携帯電話含む) にフィルタリングが設定されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 設定されている      2 設定されていない      3 わからない



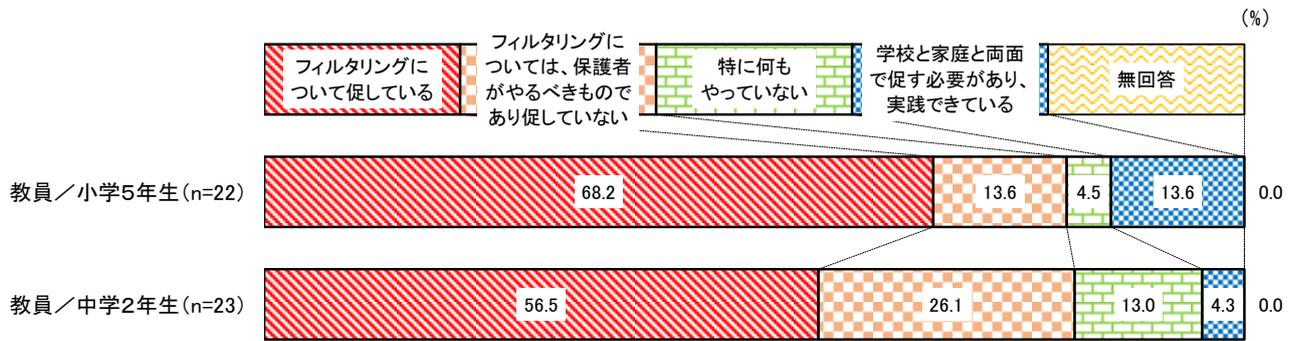
中学生、高校生に、スマートフォンにフィルタリングが設定されているかを聞いたところ、中学生の 48.4%、高校生の 42.7%が「設定されている」と回答しています。また、中学生では「わからない」が 29.4%と多くなっています。

■教員の回答との比較（フィルタリング利用への対応）

児童生徒にフィルタリングの利用について、促していますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 フィルタリングについて促している
- 2 フィルタリングについては、保護者がやるべきものであり促していない
- 3 特に何もやっていない
- 4 学校と家庭と両面で促す必要があり、実践できている

図 3. 6. 1 2



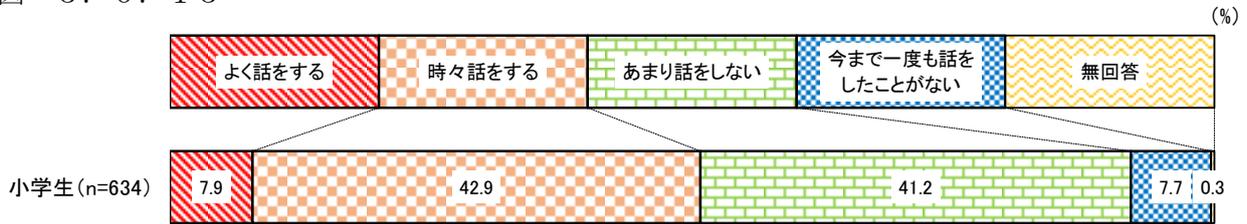
小学校、中学校の教員に、児童生徒にフィルタリングの利用を促しているかを聞いたところ、小学校の教員の 68.2%、中学校の教員の 56.5%が「フィルタリングについて促している」と回答しています。

(7) インターネットについて家族と話をする (小学生、中学生、高校生、保護者)

[小学生]

インターネットの使い方について家族と話をすることがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 よく話をする 2 時々話をする 3 あまり話をしない 4 今まで一度も話をしたことがない

図 3. 6. 13

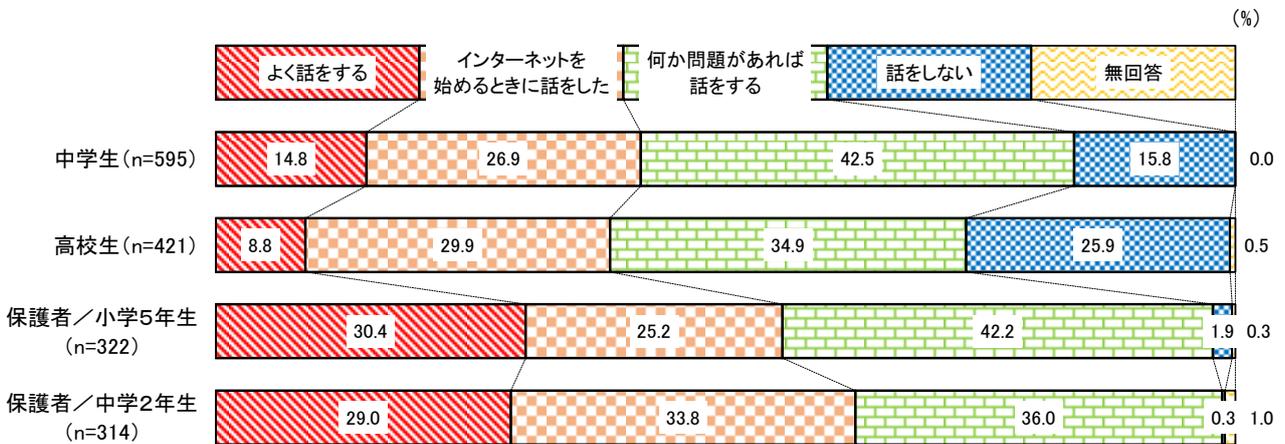


小学生に、インターネットの使い方について家族と話をするか聞いたところ、「よく話をする」が7.9%、「時々話をする」が42.9%、「あまり話をしない」が41.2%となっています。

[中学生、高校生、保護者]

インターネットの使い方について家族と話をすることがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 よく話をする 2 インターネットを始めるときに話をした  
 3 何か問題があれば話をする 4 話をしない  
 ※「保護者」については、「お子さんと話をすることがあるか」について聴取

図 3. 6. 14



中学生、高校生、保護者に、インターネットの使い方について家族と話をするか聞いたところ、「よく話をする」は、小学5年生の保護者では30.4%、中学2年生の保護者では29.0%であるのに対し、中学生、高校生ではそれぞれ14.8%、8.8%にとどまっています。

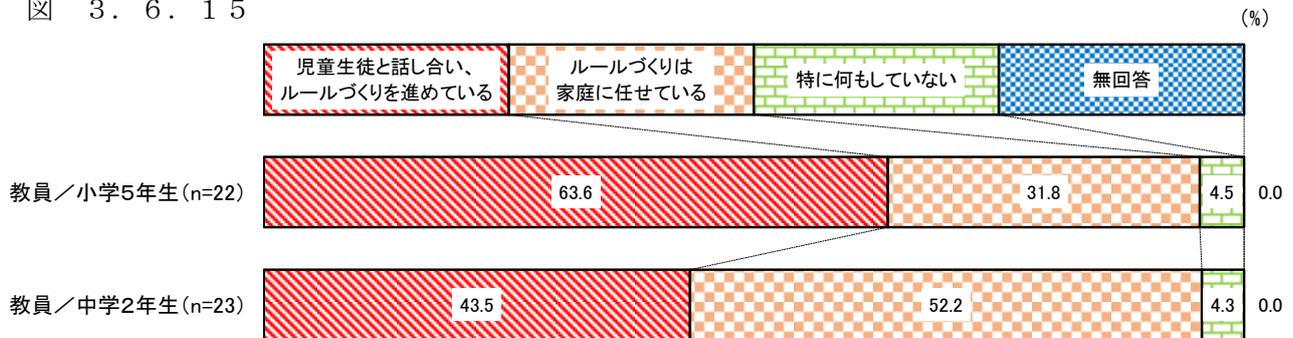
一方、「話をしない」は、小学5年生の保護者では1.9%、中学2年生の保護者では0.3%にとどまっていますが、中学生、高校生ではそれぞれ15.8%、25.9%が回答しています。

■教員の回答との比較（スマートフォン（携帯電話・タブレット含む）利用のルールづくり）

スマートフォン（携帯電話・タブレット含む）について、ルールづくりを進めていますか。あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

- 1 児童生徒と話し合い、ルールづくりを進めている
- 2 ルールづくりは家庭に任せている
- 3 特に何もしていない

図 3. 6. 15



教員に、スマートフォン利用のルールづくりを進めているかを聞いたところ、小学校の教員では、「児童生徒と話し合い、ルールづくりを進めている」が 63.6%、「ルールづくりは家庭に任せている」が 31.8% となっています。中学校の教員では、「児童生徒と話し合い、ルールづくりを進めている」が 43.5%、「ルールづくりは家庭に任せている」が 52.2% となっています。

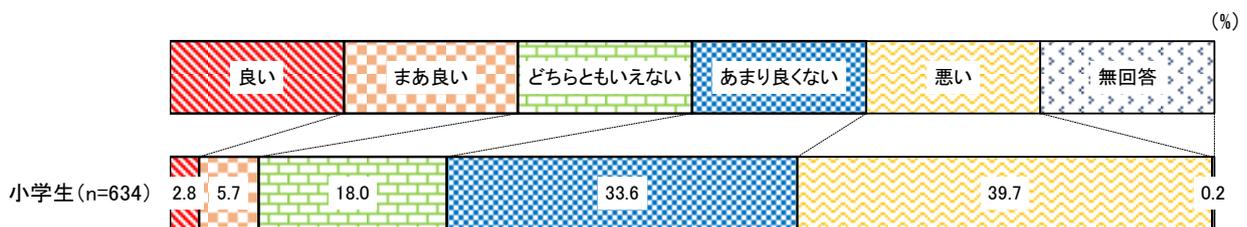
(8) メールをしたり会ったりする（小学生、中学生、高校生、青年、保護者）

[小学生]

インターネットで知り合った人とメールをしたり会ったりすることについてどう思いますか。次の中から 1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 良い
- 2 まあ良い
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり良くない
- 5 悪い

図 3. 6. 16



小学生に、インターネットで知り合った人とメールをしたり会ったりすることについて聞いたところ、「悪い」が 39.7%と最も多く、次いで「あまり良くない」が 33.6%、「どちらともいえない」が 18.0% となっています。「あまり良くない」と「悪い」を合わせて、計 73.3%が、インターネットで知り合った人とメールをしたり会うことに対し、マイナスイメージを持っていることがわかります。

[中学生、高校生、青年、保護者]

インターネットで知り合った人とメールをしたり会ったりすることについてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

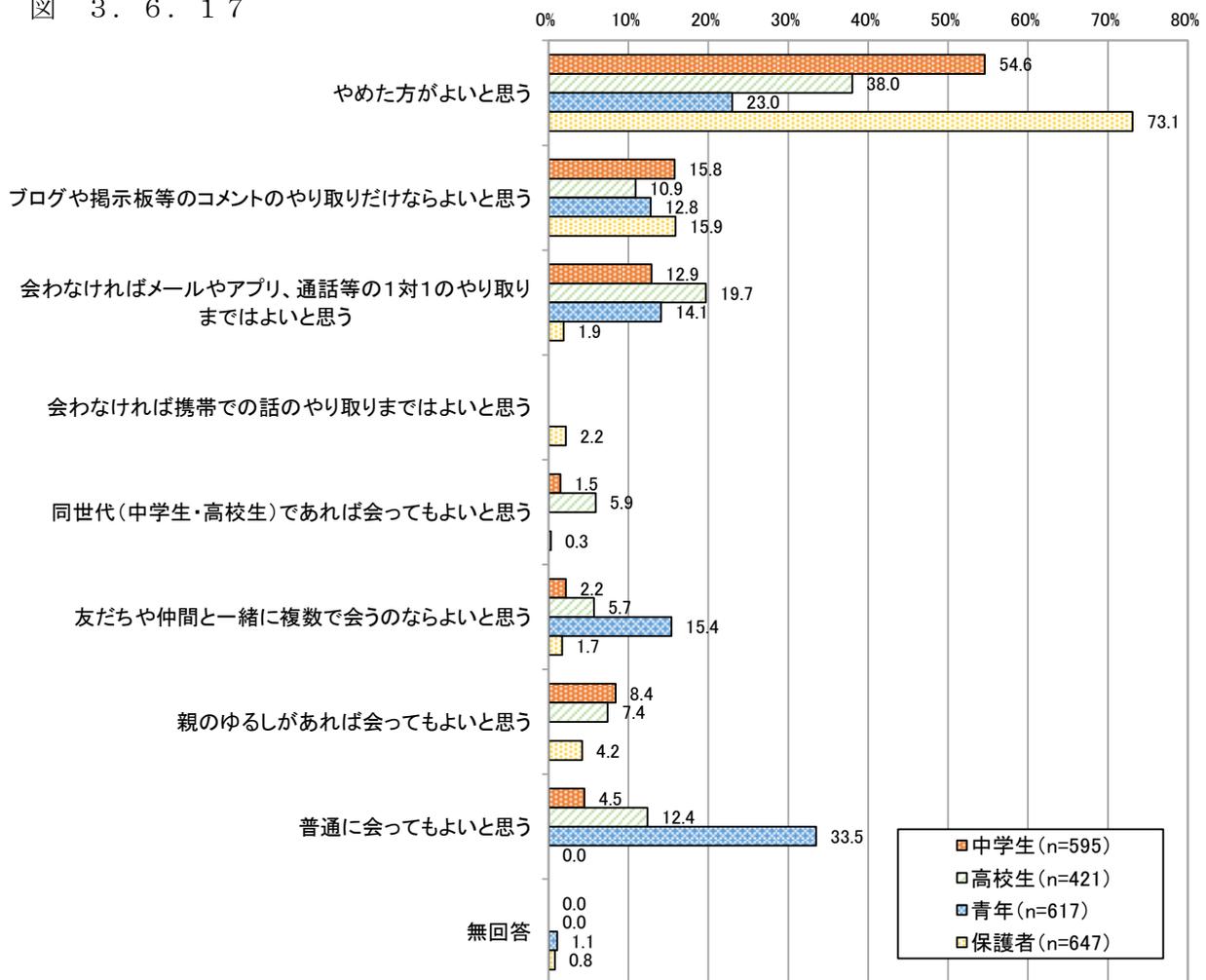
- 1 やめた方がよいと思う                      2 ブログや掲示板等のコメントのやり取りだけならよいと思う
- 3 会わなければメールやアプリ、通話等の1対1のやり取りまではよいと思う
- 4 会わなければ携帯での話のやり取りまではよいと思う
- 5 同世代(中学生・高校生)であれば会ってもよいと思う
- 6 友だちや仲間と一緒に複数で会うのならよいと思う
- 7 親のゆるしがあれば会ってもよいと思う                      8 普通に会ってもよいと思う

※「保護者」については、「お子さん」の行動をどう思うかを聴取

※「会わなければ携帯での話のやり取りまではよいと思う」は、「保護者」にのみ聴取

※「同世代(中学生・高校生)であれば会ってもよいと思う」「親のゆるしがあれば会ってもよいと思う」は、「青年」では聴取していない

図 3.6.17



中学生、高校生、青年、保護者に、インターネットで知り合った人とメールをしたり会ったりすることについて聞いたところ、中学生、高校生、保護者では「やめたほうがよいと思う」が54.6%、38.0%、73.1%と最も多くなっています。青年は「友達や仲間と一緒に複数で会うのならよいと思う」が15.4%、「普通に会ってもよいと思う」が33.5%と、計48.9%が会ってもよいと回答しています。

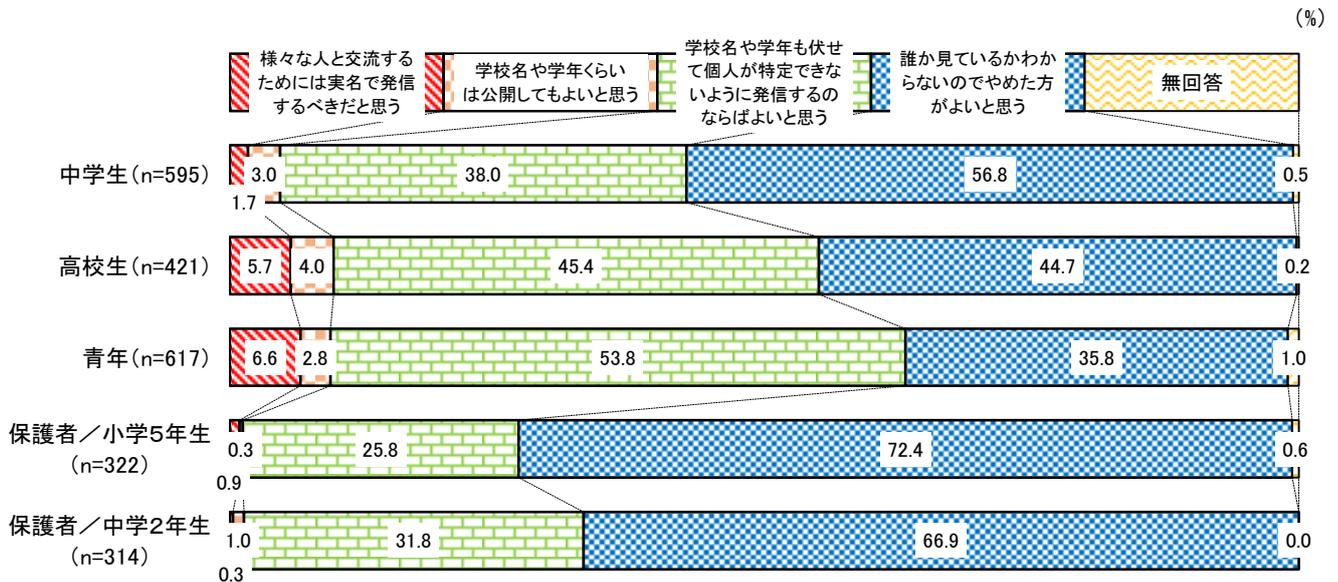
(9) ブログや SNS 等で自分に関する情報を発信する (中学生、高校生、青年、保護者)

インターネット上に自分に関する情報を発信することについてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 さまざまな人と交流するためには実名で発信するべきだと思う
- 2 学校名や学年くらいは公開してもよいと思う  
(「青年」については、「学校名や学年、会社名や職場くらいは公開してもよいと思う」)
- 3 学校名や学年も伏せて個人が特定できないように発信するのならばよいと思う  
(「青年」については、「学校名や学年、会社名も伏せて個人が特定できないように発信するのならばよいと思う」)
- 4 誰が見ているかわからないのでやめた方がよいと思う

※「保護者」については、「お子さんが自分に関する情報を発信すること」について聴取

図 3.6.18



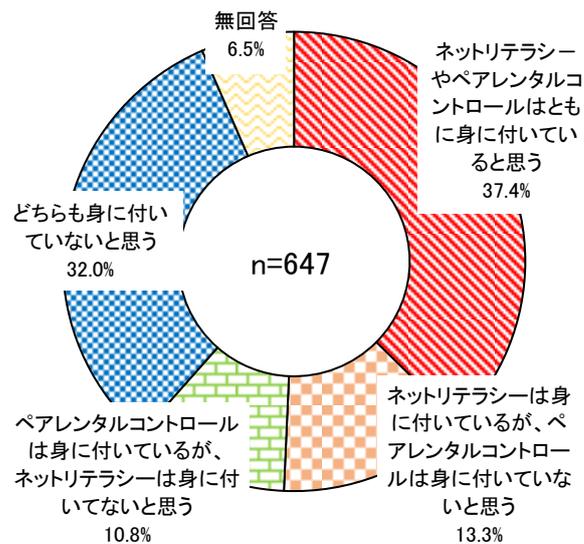
中学生、高校生、青年、保護者に、ブログや SNS 等で自分に関する情報を発信することについて聞いたところ、「誰が見ているかわからないのでやめた方がよいと思う」は、小学5年生の保護者で 72.4%、中学2年生の保護者で 66.9%が回答しているのに対し、中学生では 56.8%、高校生では 44.7%、青年では 35.8%にとどまっています。「学校名や学年も伏せて個人が特定できないように発信するのならばよいと思う」は、中学生では 38.0%、高校生では 45.4%、青年では 53.8%と、年代が上がるにつれ増加しています。

## (10) ネットリテラシーやペアレンタルコントロールの状況（保護者）

自分の子どもを含め児童生徒に関してインターネットを正しく活用すること（ネットリテラシー）や子どもによるパソコンや携帯電話などの情報通信機器の利用を、親が監視して制限すること（ペアレンタルコントロール）が身に付いてきているか、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 ネットリテラシーやペアレンタルコントロールはともに身に付いていると思う
- 2 ネットリテラシーは身に付いているが、ペアレンタルコントロールは身に付いていないと思う
- 3 ペアレンタルコントロールは身に付いているが、ネットリテラシーは身に付いてないと思う
- 4 どちらも身に付いていないと思う

図 3. 6. 19

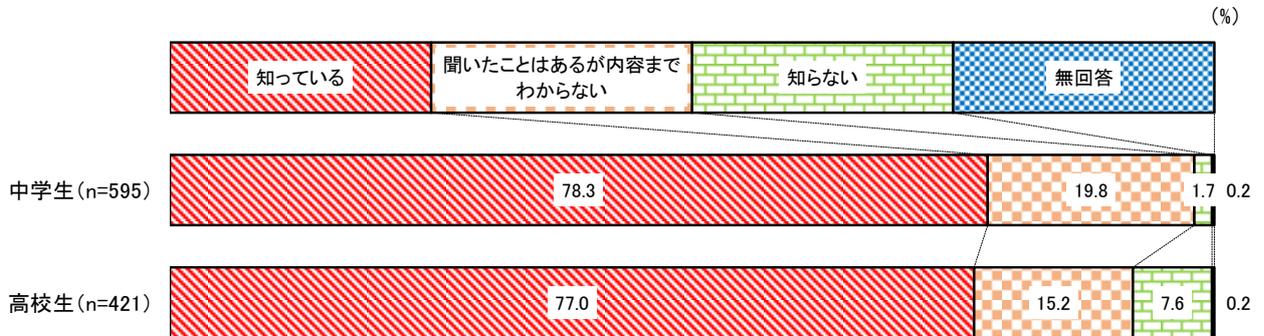


保護者に、子どもに対してネットリテラシーやペアレンタルコントロールが身に付いているかを聞いたところ、「ネットリテラシーやペアレンタルコントロールはともに身に付いていると思う」が37.4%、「ネットリテラシーは身に付いているが、ペアレンタルコントロールは身に付いていないと思う」が13.3%、「ペアレンタルコントロールは身に付いているが、ネットリテラシーは身に付いてないと思う」が10.8%、「どちらも身に付いていないと思う」が32.0%となっています。

(11) 「おぜのかみさま」の認知度（中学生、高校生）

インターネットを安全・安心に利用するためのセーフネット標語「おぜのかみさま」を知っていますか。  
 次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 知っている      2 聞いたことはあるが内容までわからない      3 知らない

図 3. 6. 20



中学生、高校生に、インターネットを安全・安心に利用するためのセーフネット標語「おぜのかみさま」について知っているかを聞いたところ、「知っている」がそれぞれ78.3%、77.0%、「聞いたことはあるが内容までわからない」がそれぞれ19.8%、15.2%、「知らない」がそれぞれ1.7%、7.6%となっています。

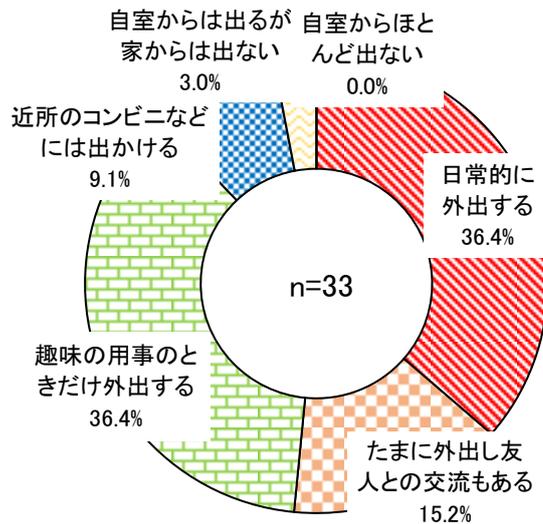
## 7 若者の自立支援

### (1) 普段の過ごし方（相談機関等利用者）

あなた（本人）の普段の過ごし方として最も近いものを、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 日常的に外出する        | 2 たまに外出し友人との交流もある |
| 3 趣味の用事のときだけ外出する  | 4 近所のコンビニなどには出かける |
| 5 自室からは出るが家からは出ない | 6 自室からほとんど出ない     |

図 3. 7. 1



相談機関等利用者には、普段の過ごし方を聞いたところ、「日常的に外出する」、「趣味の用事のときだけ外出する」がともに 36.4%と最も多く、次いで「たまに外出し友人との交流もある」（15.2%）、「近所のコンビニなどには出かける」（9.1%）と続いています。回答者の9割以上が、何らかの理由で外出する機会があると回答しています。

(2) ひきこもり

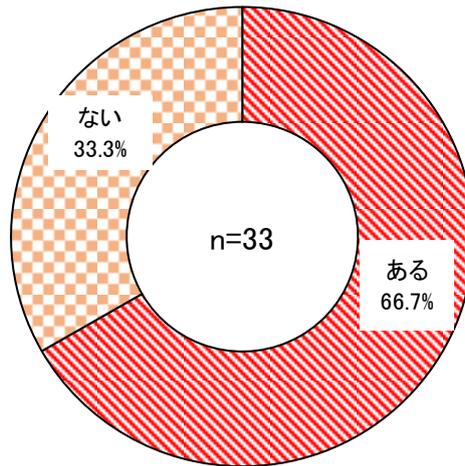
ア. ひきこもりの経験（相談機関等利用者）

あなた（本人）は、以前に家に閉じこもっていたり、前問の「3～6」の状態でしたことがありますか。次のどちらかに○をつけてください。また、「1 ある」場合、それはどの位の期間ですか。おおよその期間を数字で記入してください。

1 ある ……………期間 \_\_\_\_\_ヶ月または \_\_\_\_\_年

2 ない

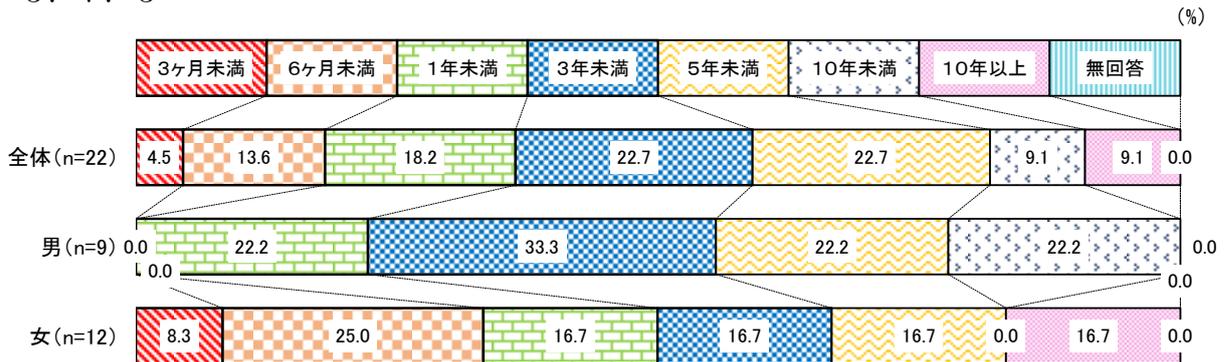
図 3. 7. 2



相談機関等利用者には、引きこもりの経験を聞いたところ、「ある」が66.7%と「ない」(33.3%)を上回っています。

イ. ひきこもりの期間（相談機関等利用者）

図 3. 7. 3



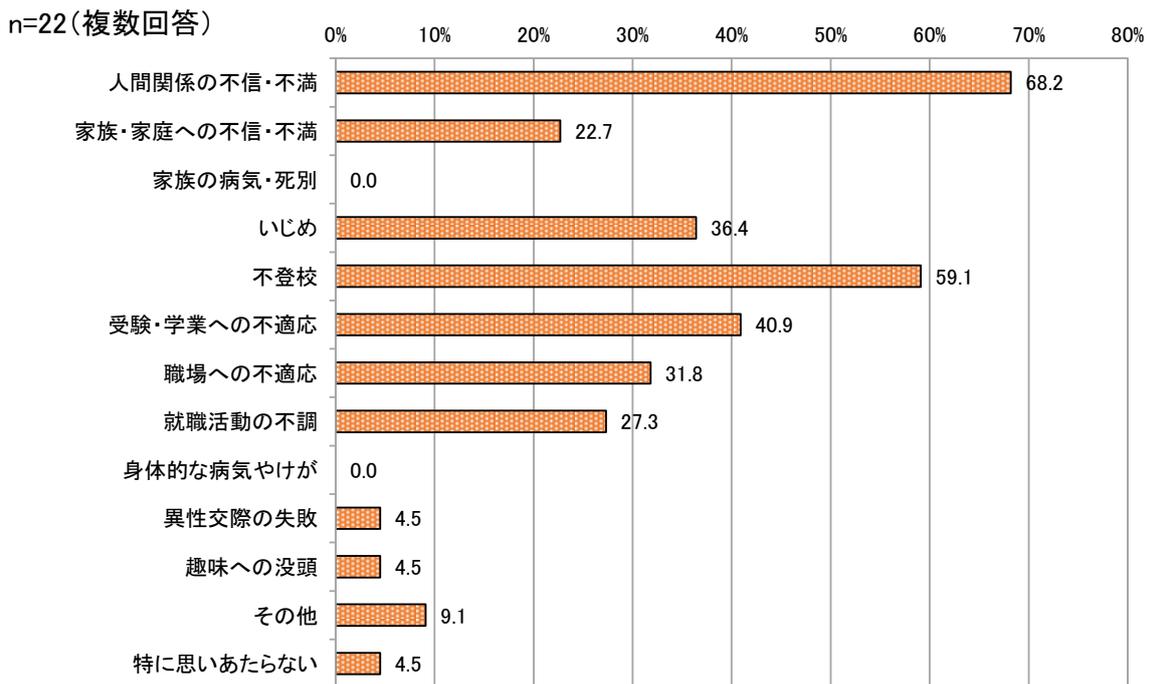
ひきこもりの経験が「ある」と回答した人の、ひきこもりの期間は、「3年未満」、「5年未満」がともに22.7%となっています。回答者のうち計40.9%が3年以上の引きこもり期間があったと回答しています。

ウ. ひきこもりになったきっかけ（相談機関等利用者）

前問で「1 ある」と回答した方にお伺いします。その状態になったきっかけはなんですか。あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

1 人間関係の不信・不満	2 家族・家庭への不信・不満	3 家族の病気・死別
4 いじめ	5 不登校	6 受験・学業への不適応
7 職場への不適応	8 就職活動の不調	9 身体的な病気やけが
10 異性交際の失敗	11 趣味への没頭	12 その他（ ）
13 特に思いあたらない		

図 3. 7. 4



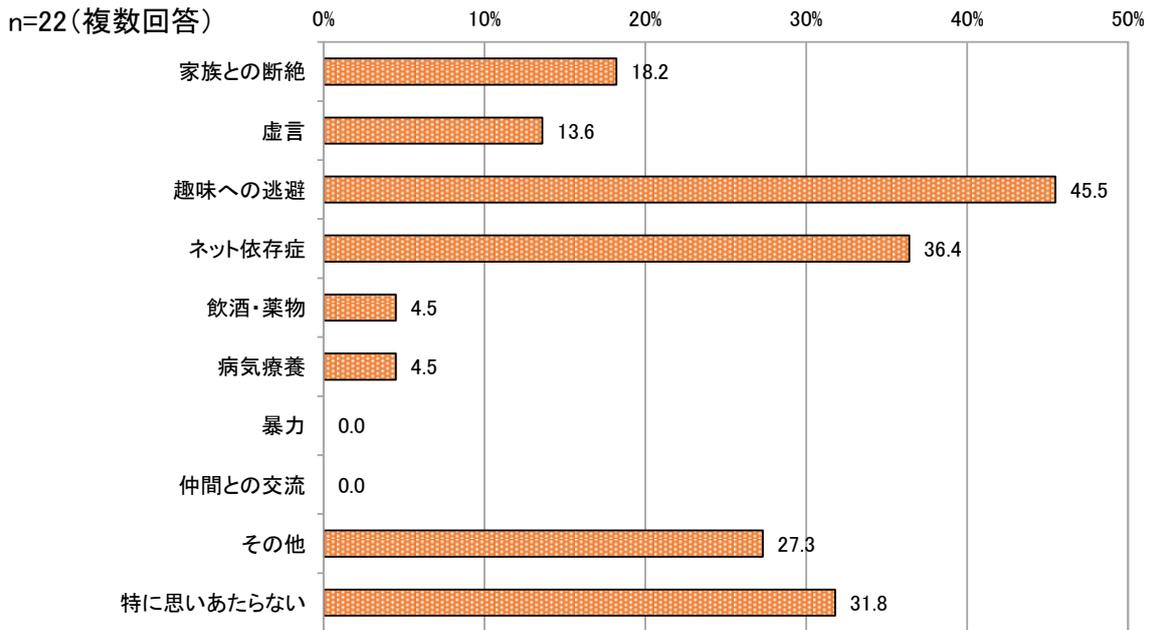
ひきこもりの経験が「ある」と回答した相談機関等利用者には、ひきこもりになったきっかけを聞いたところ、「人間関係の不信・不満」が68.2%と最も多く、次いで「不登校」(59.1%)、「受験・学業への不適応」(40.9%)、「いじめ」(36.4%)、「職場への不適応」(31.8%)、と続いています。

エ. ひきこもりが長く続く理由（相談機関等利用者）

問3で「1 ある」と回答した方にお伺いします。その状態が長く続く理由は何だと思えますか。あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

- |              |          |          |
|--------------|----------|----------|
| 1 家族との断絶     | 2 虚言     | 3 趣味への逃避 |
| 4 ネット依存症     | 5 飲酒・薬物  | 6 病気療養   |
| 7 暴力         | 8 仲間との交流 |          |
| 9 その他（       |          | ）        |
| 10 特に思いあたらない |          |          |

図 3. 7. 5



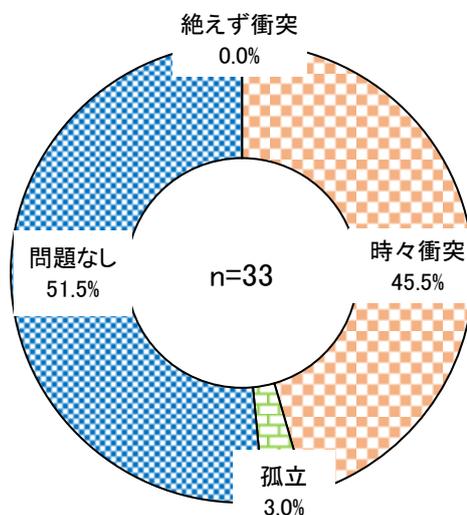
ひきこもりの経験がある相談機関等利用者には、ひきこもりが長く続く理由について聞いたところ、「趣味への逃避」が45.5%と最も多く、次いで「ネット依存症」(36.4%)、「家族との断絶」(18.2%)と続いています。また、31.8%が「特に思いあたらない」としています。

## (3) 家族との関係（相談機関等利用者）

家族との関係性について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 絶えず衝突                      2 時々衝突                      3 孤立                      4 問題なし

図 3. 7. 6



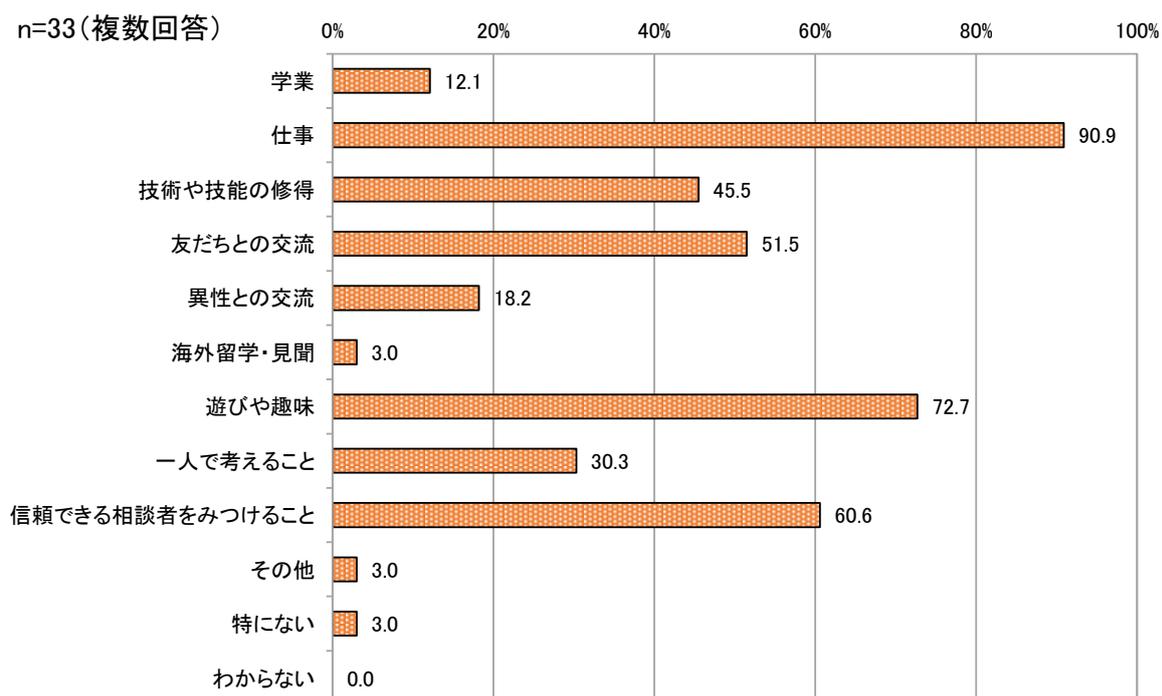
相談機関等利用者には、家族との関係を聞いたところ、「問題なし」が51.5%と最も多く、次いで「時々衝突」(45.5%)、「孤立」(3.0%)となっています。約5割が衝突や孤立など、何らかの問題を抱えていると回答しています。

## (4) 今やりたいこと、将来必要なこと（相談機関等利用者）

あなた（本人）が今やりたいこと、将来の自分にとって必要だと思っていることは何ですか。次の中から、あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

- |           |            |                   |
|-----------|------------|-------------------|
| 1 学業      | 2 仕事       | 3 技術や技能の修得        |
| 4 友だちとの交流 | 5 異性との交流   | 6 海外留学・見聞         |
| 7 遊びや趣味   | 8 一人で考えること | 9 信頼できる相談者を見つけること |
| 10 その他（   |            | ）                 |
| 11 特にない   | 12 わからない   |                   |

図 3. 7. 7

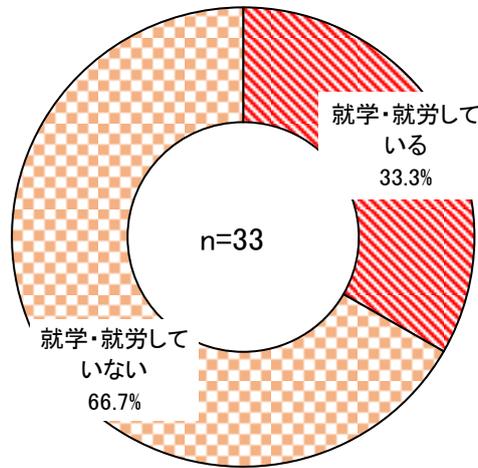


相談機関等利用者には、今やりたいことや将来必要なことを聞いたところ、「仕事」が 90.9%と最も多く、次いで「遊びや趣味」(72.7%)、「信頼できる相談者を見つけること」(60.6%)、「友達との交流」(51.5%)、「技術や技能の修得」(45.5%)と続いています。

(5) 現在の就学・就労状況（相談機関等利用者）

現在の就学・就労状況について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 就学・就労している                      2 就学・就労していない

図 3. 7. 8

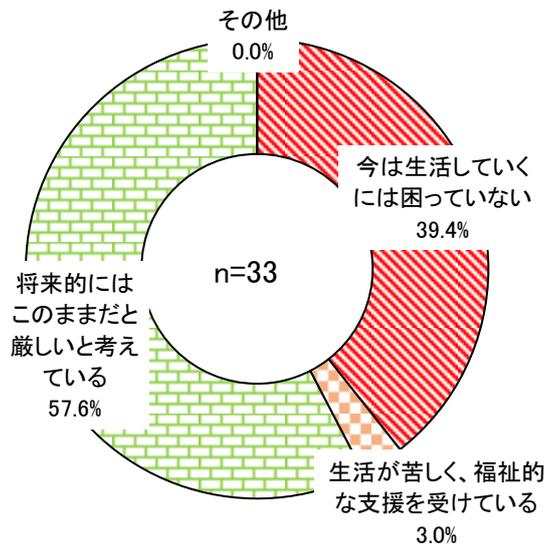


相談機関等利用者には、現在の就学・就労状況を聞いたところ、「就学・就労していない」が66.7%と、「就学・就労している」の33.3%を上回っています。

(6) 家庭の経済状況（相談機関等利用者）

家庭の経済状況について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 今は生活していくには困っていない                      2 生活が苦しく、福祉的な支援を受けている  
 3 将来的にはこのままだと厳しいと考えている                      4 その他（                      ）

図 3. 7. 9



相談機関等利用者には、家庭の経済状況を聞いたところ、「将来的にはこのままだと厳しいと考えている」が57.6%と、「今は生活していくには困っていない」(39.4%)を上回っています。「生活が苦しく、福祉的な支援を受けている」(3.0%)と合わせると、計60.6%の人が経済的に厳しい状況にあると回答しています。

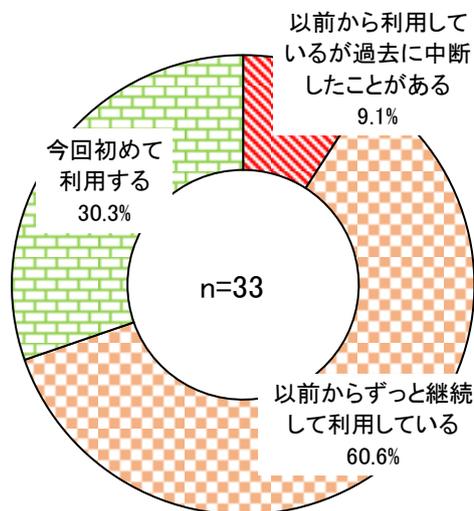
## (7) 相談機関

## ア. 相談機関の利用状況（相談機関等利用者）

相談機関の利用について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 以前から利用しているが過去に中断したことがある  
 2 以前からずっと継続して利用している  
 3 今回初めて利用する

図 3. 7. 10



相談機関等利用者には、相談機関の利用について聞いたところ、「以前からずっと継続して利用している」が60.6%、「今回初めて利用する」(30.3%)、「以前から利用しているが過去に中断したことがある」(9.1%)となっています。

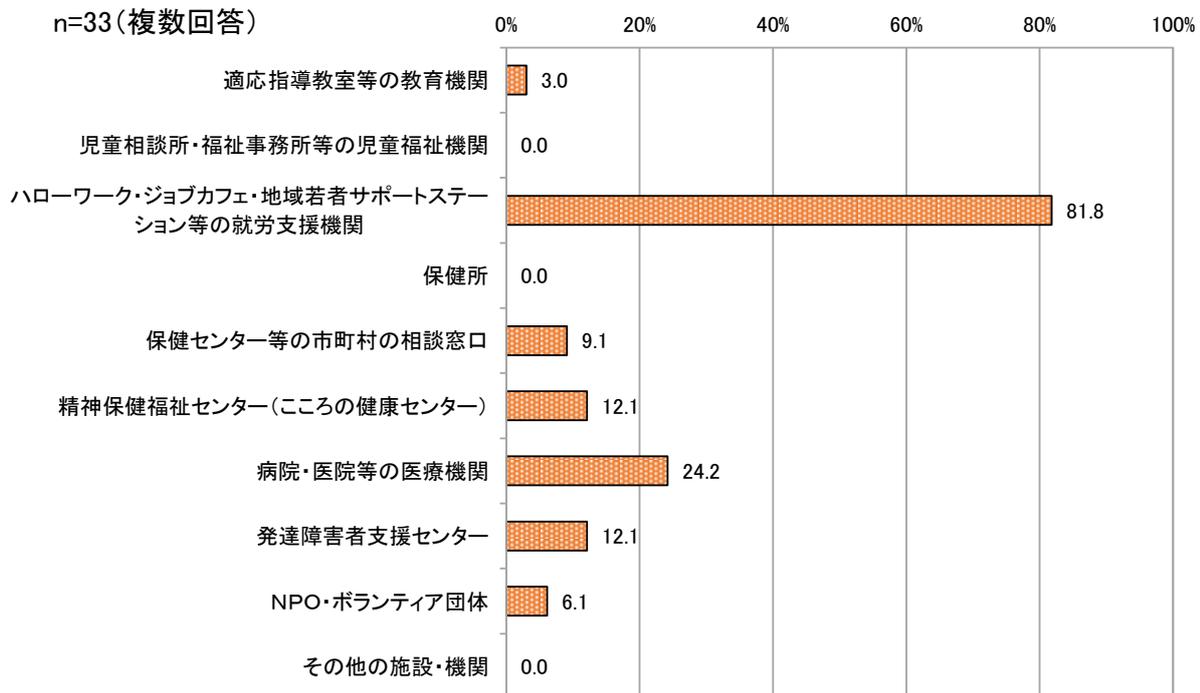


ウ. 今まで利用したことのある相談機関（相談機関等利用者）

現在も含めて、今までに利用したことのある相談支援機関はどれになりますか。あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

1 適応指導教室等の教育機関	2 児童相談所・福祉事務所等の児童福祉機関
3 ハローワーク・ジョブカフェ・地域若者サポートステーション等の就労支援機関	
4 保健所	5 保健センター等の市町村の相談窓口
6 精神保健福祉センター（こころの健康センター）	
7 病院・医院等の医療機関	8 発達障害者支援センター
9 NPO・ボランティア団体	
10 その他の施設・機関（	）

図 3. 7. 1 2



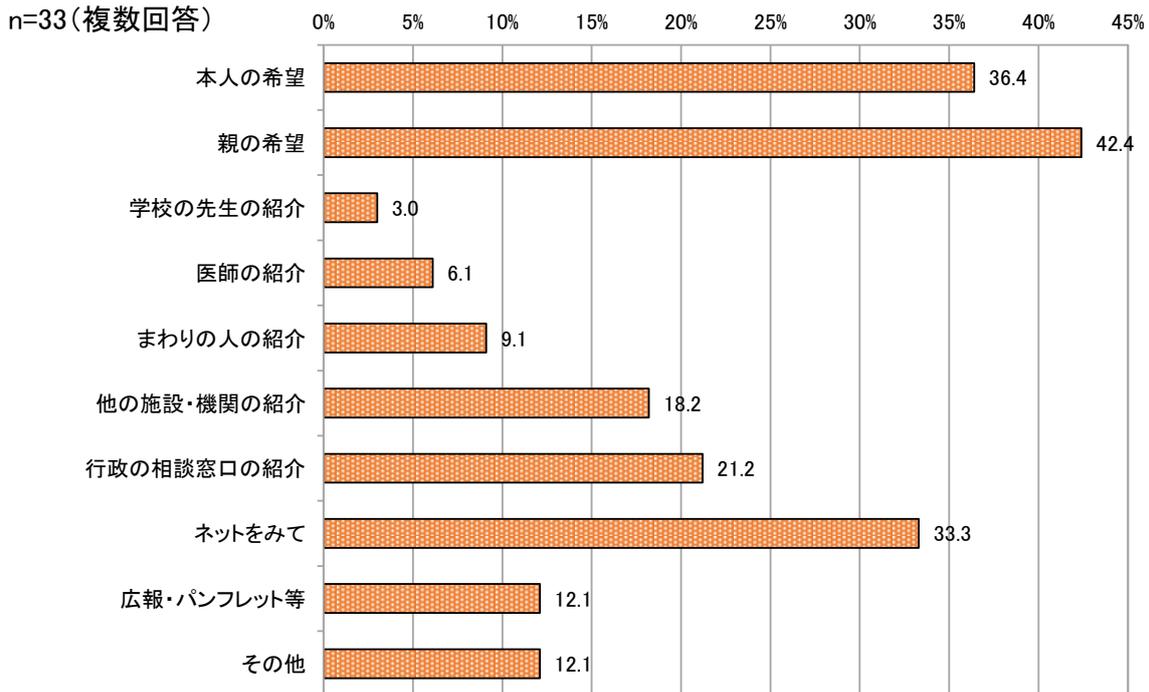
相談機関等利用者には、今まで利用したことのある相談機関を聞いたところ、「ハローワーク・ジョブカフェ・地域若者サポートステーション等の就労支援機関」が 81.8%と、他に比べて多くなっています。次いで「病院・医院等の医療機関」(24.2%)、「精神保健福祉センター（こころの健康センター）」、「発達障害者支援センター」（いずれも 12.1%）と続いています。

エ. 現在の相談機関と関わるようになったきっかけ（相談機関等利用者）

現在の相談機関と関わるようになったきっかけはなんですか。次の中から、あてはまるものを全部選んで番号に○をつけてください。

1 本人の希望	2 親の希望	3 学校の先生の紹介
4 医師の紹介	5 まわりの人の紹介	6 他の施設・機関の紹介
7 行政の相談窓口の紹介	8 ネットをみて	9 広報・パンフレット等
10 その他（		）

図 3. 7. 1 3

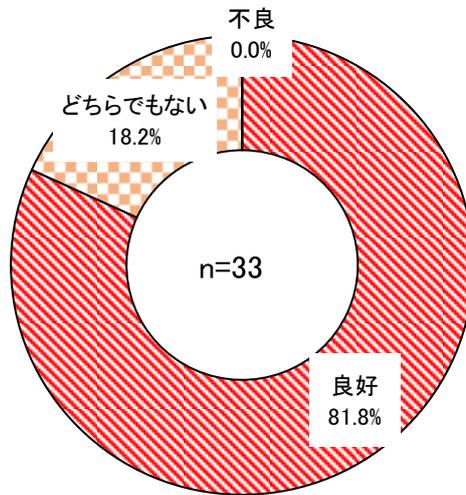


相談機関等利用者には、現在の相談機関と関わるようになったきっかけを聞いたところ、「親の希望」が42.4%と最も多く、次いで「本人の希望」(36.4%)、「ネットをみて」(33.3%)、「行政の相談窓口の紹介」(21.2%)、「他の施設・機関の紹介」(18.2%)と続いています。

オ. 現在の相談機関との関わりの状態（相談機関等利用者）

現在の相談支援機関との関わりの状態を、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。  
 1 良好                      2 どちらでもない                      3 不良

図 3. 7. 14



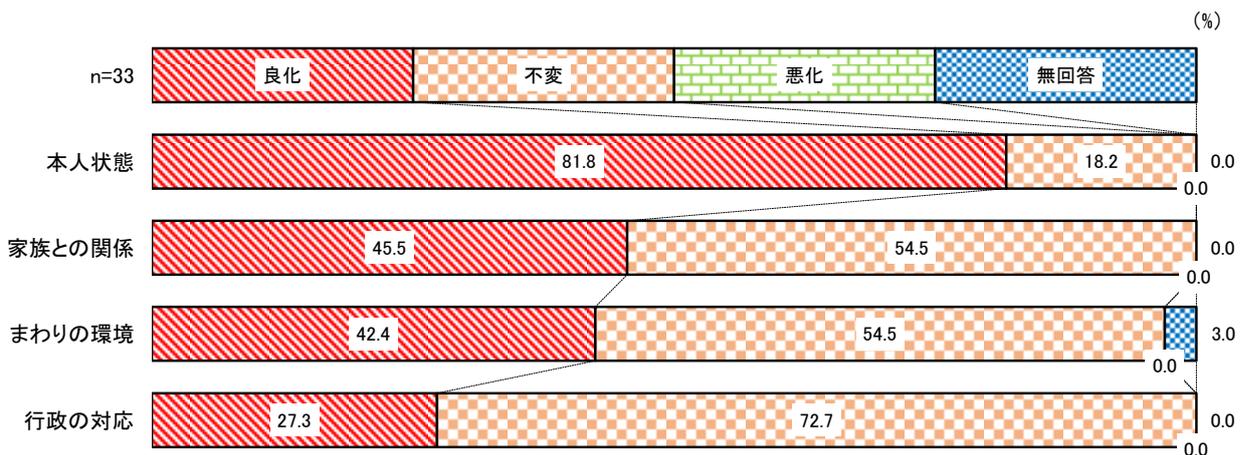
相談機関等利用者には、現在の相談機関との関わりの状態を聞いたところ、「良好」が81.8%、「どちらでもない」(18.2%)となっています。「不良」と回答した人はいませんでした。

カ. 相談機関との関わりによって生じた変化（相談機関等利用者）

相談支援機関との関わりによって、生じた変化を各項目1つずつ選んで番号に○をつけてください。

・ 本人状態	1 良化	2 不変	3 悪化
・ 家族との関係	1 良化	2 不変	3 悪化
・ まわりの環境	1 良化	2 不変	3 悪化
・ 行政の対応	1 良化	2 不変	3 悪化

図 3. 7. 15



相談機関等利用者には、相談機関との関わりによって生じた変化を聞いたところ、本人の状態は、81.8%が「良化」したと回答しています。一方、家族との関係、まわりの環境、行政の対応は、「良化」がそれぞれ45.5%、42.4%、27.3%にとどまっています。

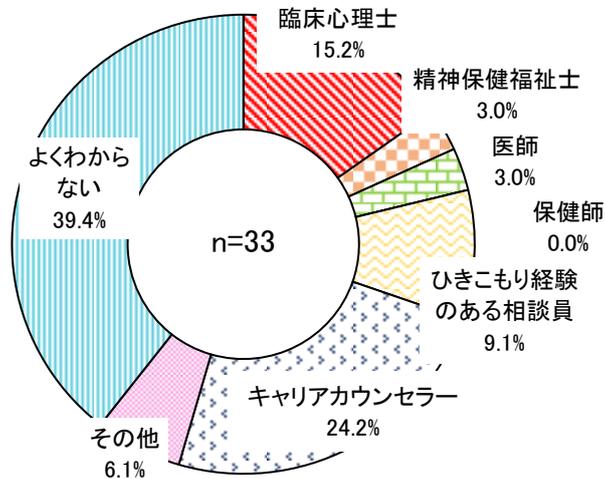


ケ. 一番望ましい相談相手（相談機関等利用者）

一番望ましい相談相手を次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 臨床心理士	2 精神保健福祉士	3 医師
4 保健師	5 ひきこもり経験のある相談員	6 キャリアカウンセラー
7 その他（ ）	8 よくわからない	

図 3. 7. 18



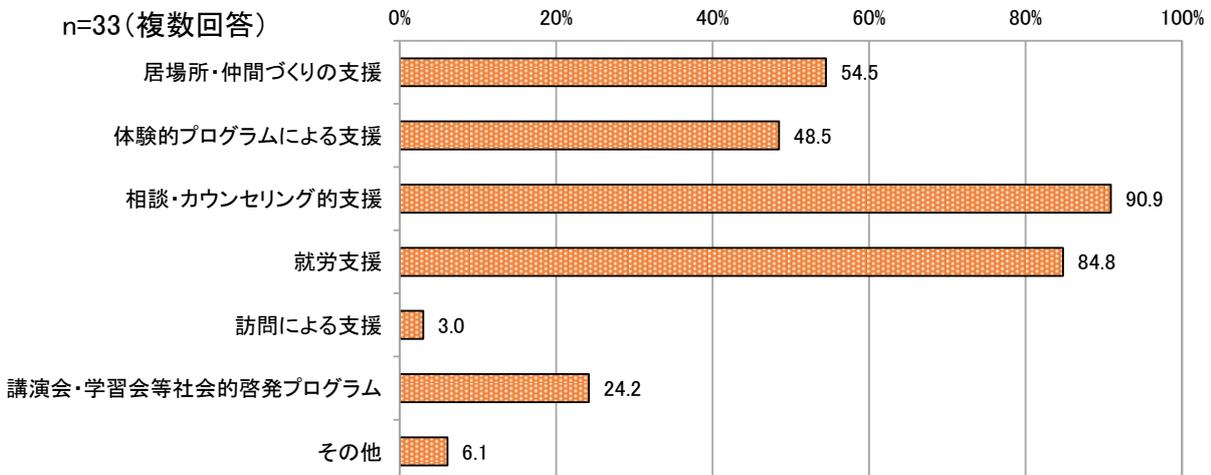
相談機関等利用者には、一番望ましい相談相手を聞いたところ、「キャリアカウンセラー」が 24.2%と最も多く、次いで「臨床心理士」（15.2%）、「ひきこもり経験のある相談員」（9.1%）と続いています。また、「よくわからない」と 39.4%が回答しています。

コ. 相談機関に求める支援（相談機関等利用者）

あなた（本人）が、相談支援機関に求める支援を全部選んで番号に○をつけてください。

1 居場所・仲間づくりの支援	2 体験的プログラムによる支援
3 相談・カウンセリング的支援	4 就労支援
5 訪問による支援	6 講演会・学習会等社会的啓発プログラム
7 その他（ ）	

図 3. 7. 19



相談機関等利用者には、相談機関に求める支援を聞いたところ、「相談・カウンセリング支援」が 90.9%と最も多く、次いで「就労支援」（84.8%）、「居場所・仲間づくりの支援」（54.5%）、「体験的プログラムによる支援」（48.5%）と続いています。

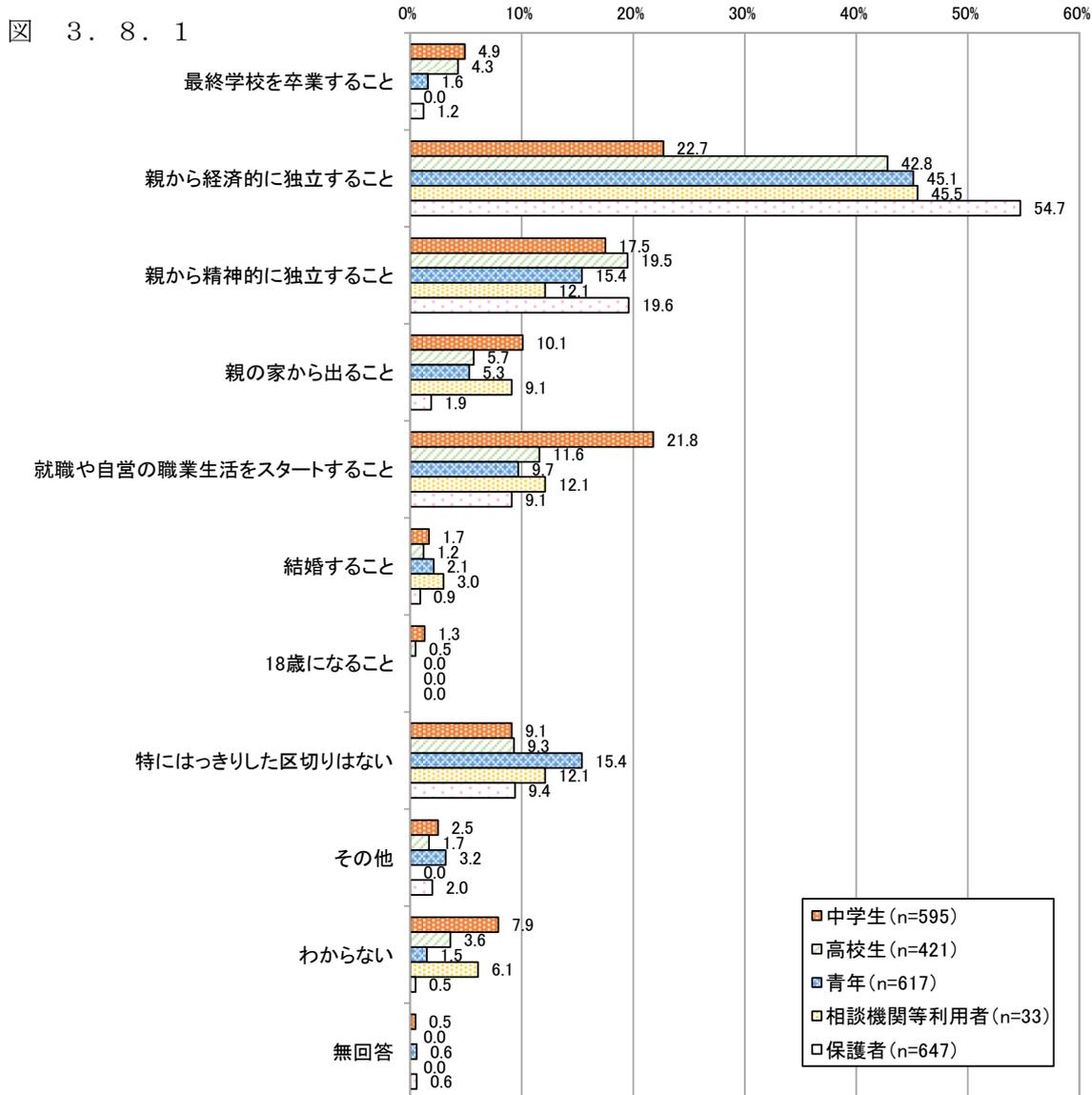


### 8 自立について（中学生、高校生、青年、相談機関等利用者、保護者）

あなたにとって「自立」とはどういう状態だと考えますか。次の中から1つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1 最終学校を卒業すること         | 2 親から経済的に独立すること  |
| 3 親から精神的に独立すること       | 4 親の家から出ること      |
| 5 就職や自営の職業生活をスタートすること | 6 結婚すること         |
| 7 18歳になること            | 8 特にはっきりした区切りはない |
| 9 その他（ ）              | 10 わからない         |

※「保護者」については、「お子さんの自立」について聴取



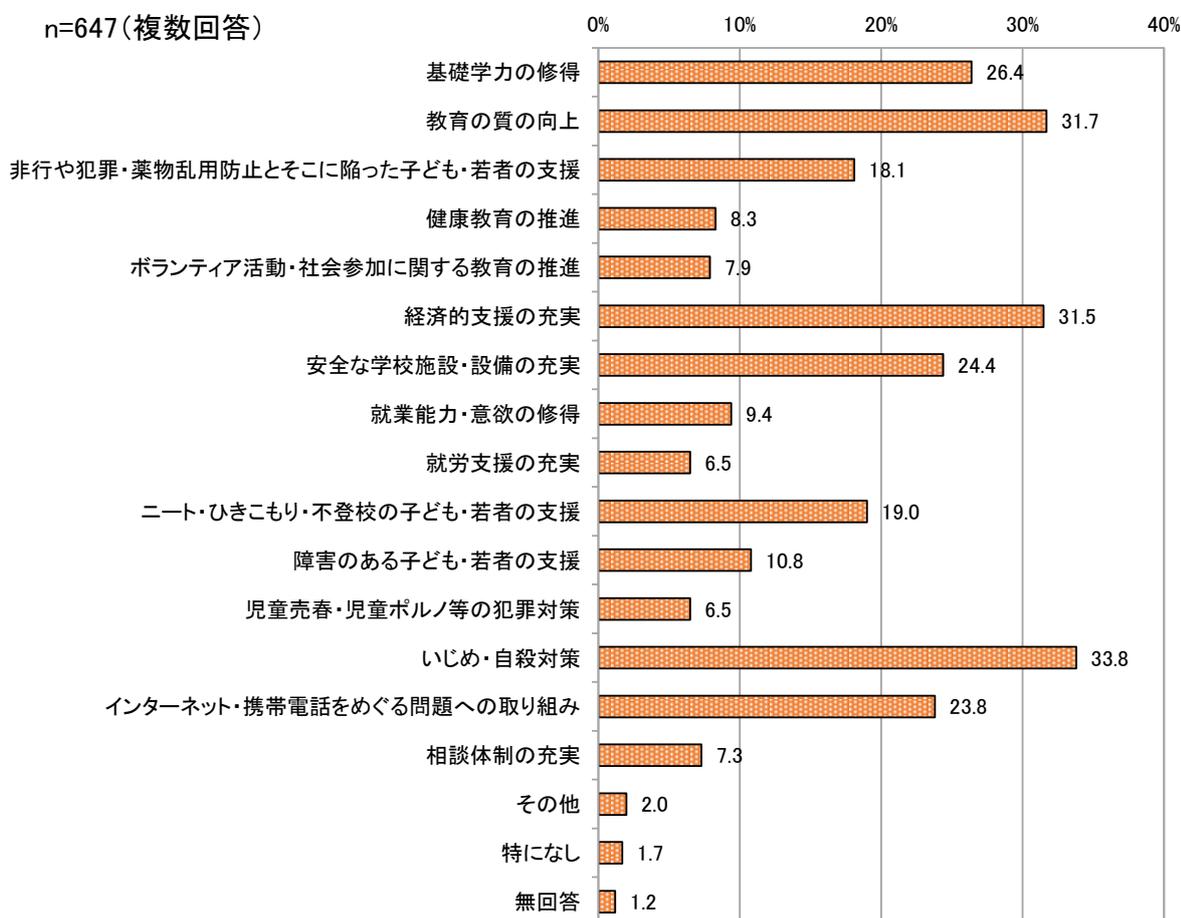
中学生、高校生、青年、相談機関等利用者、保護者に「自立」とはどういう状態かを聞いたところ、各年代で「親から経済的に独立すること」が最も多く、それぞれ22.7%、42.8%、45.1%、45.5%、54.7%となっています。次いで、中学生では「就職や自営の職業生活をスタートすること」(21.8%)、高校生、保護者では「親から精神的に独立すること」(それぞれ19.5%、19.6%)、青年では「親から精神的に独立すること」「特にはっきりした区切りはない」がともに15.4%、相談機関等利用者では「親から精神的に独立すること」「就職や自営の職業生活をスタートすること」「特にはっきりした区切りはない」がともに12.1%となっています。

## 9 行政が取り組むべき課題（保護者）

青少年の健全育成のため行政が取り組むべき課題として重要だと思うものは何ですか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |                                |                             |
|--------------------------------|-----------------------------|
| 1 基礎学力の修得                      | 2 教育の質の向上                   |
| 3 非行や犯罪・薬物乱用防止とそこに陥った子ども・若者の支援 | 4 健康教育の推進                   |
| 5 ボランティア活動・社会参加に関する教育の推進       | 6 経済的支援の充実                  |
| 7 安全な学校施設・設備の充実                | 8 就業能力・意欲の修得                |
| 9 就労支援の充実                      | 10 ニート・ひきこもり・不登校の子ども・若者の支援  |
| 11 障害のある子ども・若者の支援              | 12 児童売春・児童ポルノ等の犯罪対策         |
| 13 いじめ・自殺対策                    | 14 インターネット・携帯電話をめぐる問題への取り組み |
| 15 相談体制の充実                     | 16 その他（ ）                   |
| 17 特になし                        |                             |

図 3.9.1



保護者に、青少年の健全育成のため行政が取り組むべき課題を聞いたところ、「いじめ、自殺対策」が33.8%と最も多く、次いで「教育の質の向上」(31.7%)、「経済的支援の充実」(31.5%)、「基礎学力の修得」(26.4%)、「安全な学校施設・設備の充実」(24.4%)、「インターネット・携帯電話をめぐる問題への取り組み」(23.8%)と続いています。

## 10 教員からみた児童生徒の状況（教員）

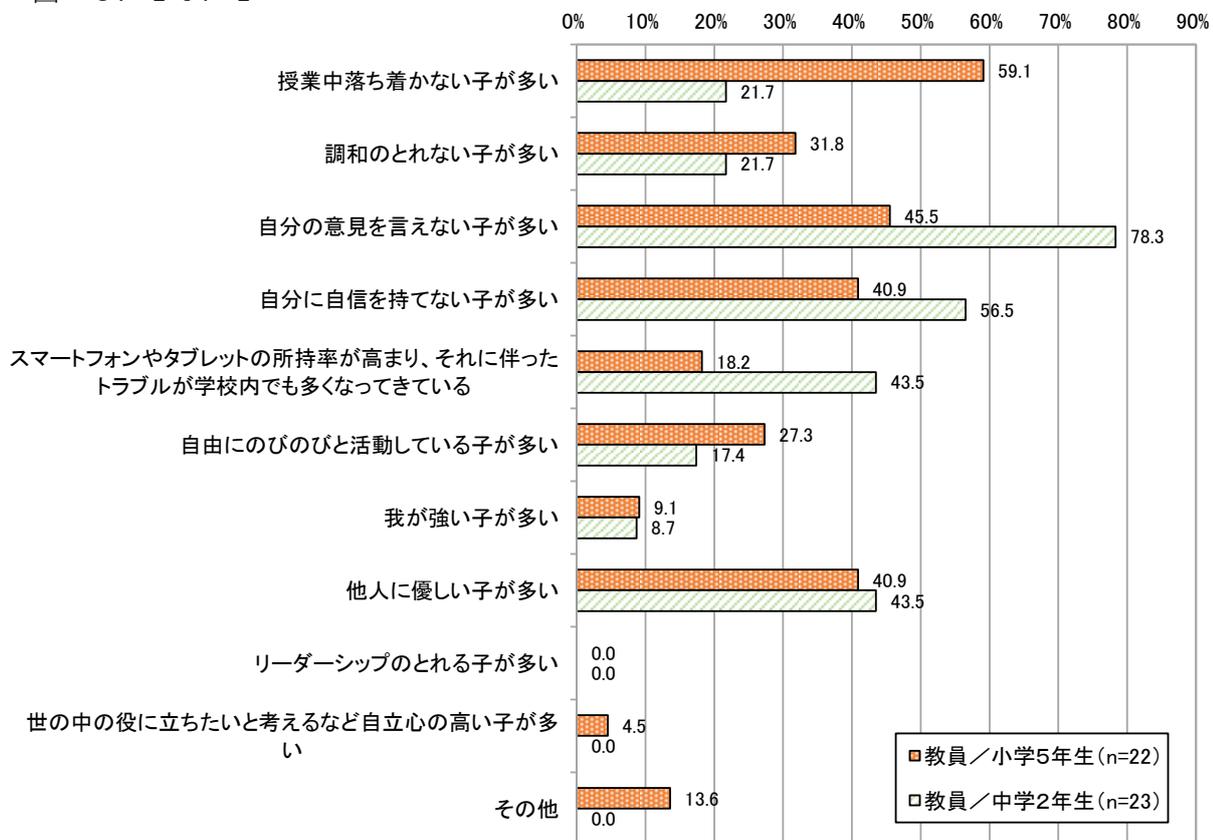
### （1）児童生徒の持つ特徴（教員）

#### ア．児童生徒の持つ特徴（教員）

最近の児童生徒の学校生活における特徴について、次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

- |   |                   |
|---|-------------------|
| 1 授業中落ち着かない子が多い                                   | 2 調和のとれない子が多い     |
| 3 自分の意見を言えない子が多い                                  | 4 自分に自信を持ってない子が多い |
| 5 スマートフォンやタブレットの所持率が高まり、それに伴ったトラブルが学校内でも多くなってきている | 7 我が強い子が多い        |
| 6 自由にのびのびと活動している子が多い                              | 9 リーダーシップのとれる子が多い |
| 8 他人に優しい子が多い                                      |                   |
| 10 世の中の役に立ちたいと考えるなど自立心の高い子が多い                     |                   |
| 11 その他（   | ）                 |

図 3. 10. 1



教員に、最近の児童生徒の特徴を聞いたところ、小学生の教員では、「授業中落ち着かない子が多い」が 59.1%と最も多く、次いで「自分の意見を言えない子が多い」（45.5%）、「自分に自信を持ってない子が多い」、「他人に優しい子が多い」（いずれも 40.9%）と続いています。

中学生の教員では、「自分の意見を言えない子が多い」が 78.3%と最も多く、次いで「自分に自信を持ってない子が多い」（56.5%）、「スマートフォンやタブレットの所持率が高まり、それに伴ったトラブルが学校内でも多くなってきている」、「他人に優しい子が多い」（いずれも 43.5%）と続いています。

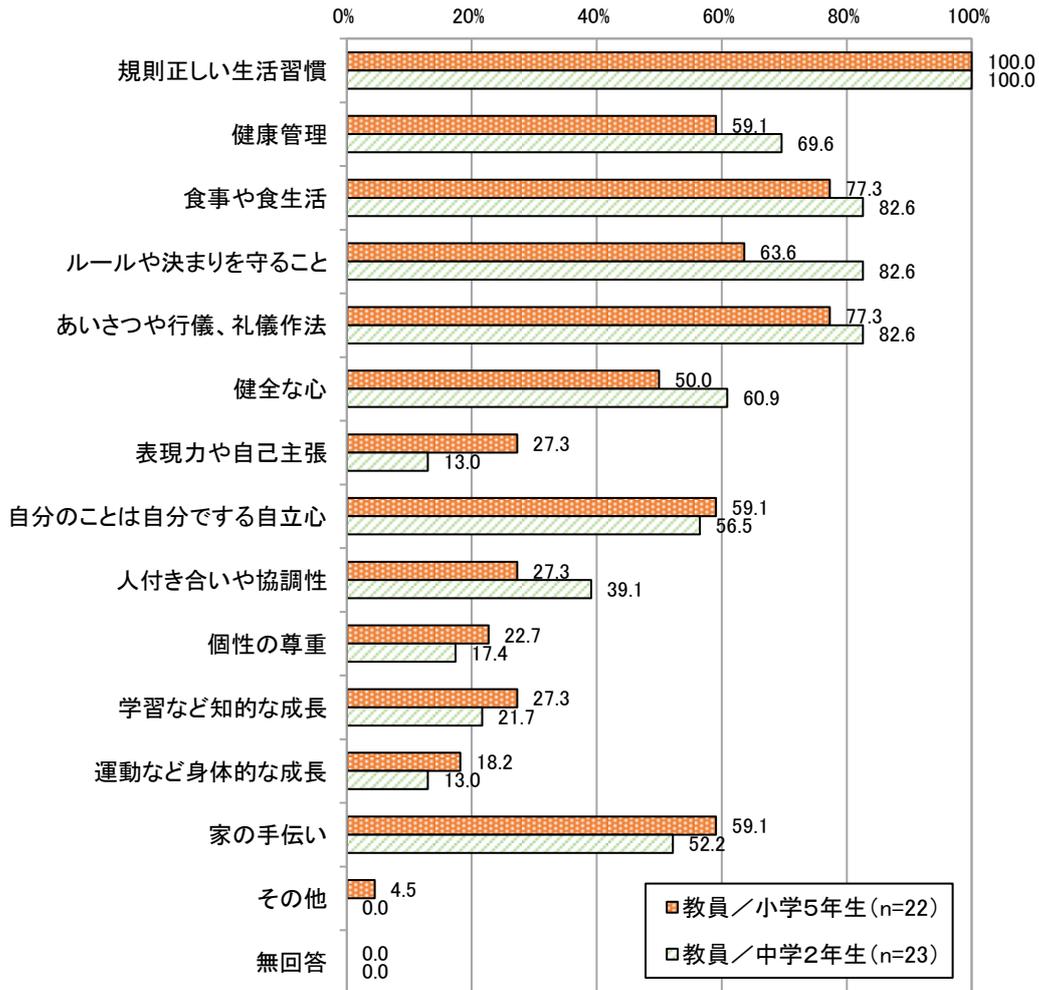


ウ. 家庭教育により身につけるべきこと（教員） ※再掲

児童生徒が家庭教育により身につけるべきだと思うことは何ですか。次の中からあてはまるものは全部番号に○をつけてください。

1 規則正しい生活習慣	2 健康管理	3 食事や食生活
4 ルールや決まりを守ること	5 あいさつや行儀、礼儀作法	6 健全な心
7 表現力や自己主張	8 自分のことは自分でする自立心	9 人付き合いや協調性
10 個性の尊重	11 学習など知的な成長	12 運動など身体的な成長
13 家の手伝い	14 その他（ ）	

図 3. 1 0. 3



教員に、児童生徒が家庭教育により身につけるべきことを聞いたところ、小学校、中学校の教員ともに「規則正しい生活習慣」がそれぞれ 100.0%と、回答者の全員が挙げています。次いで、小学校の教員では「食事や食生活」、「あいさつや行儀、礼儀作法」（いずれも 77.3%）、「ルールや決まりを守ること」（63.6%）と続いています。

中学校の教員では、「食事や食生活」、「ルールや決まりを守ること」、「あいさつや行儀、礼儀作法」（いずれも 82.6%）、「健康管理」（69.6%）と続いています。

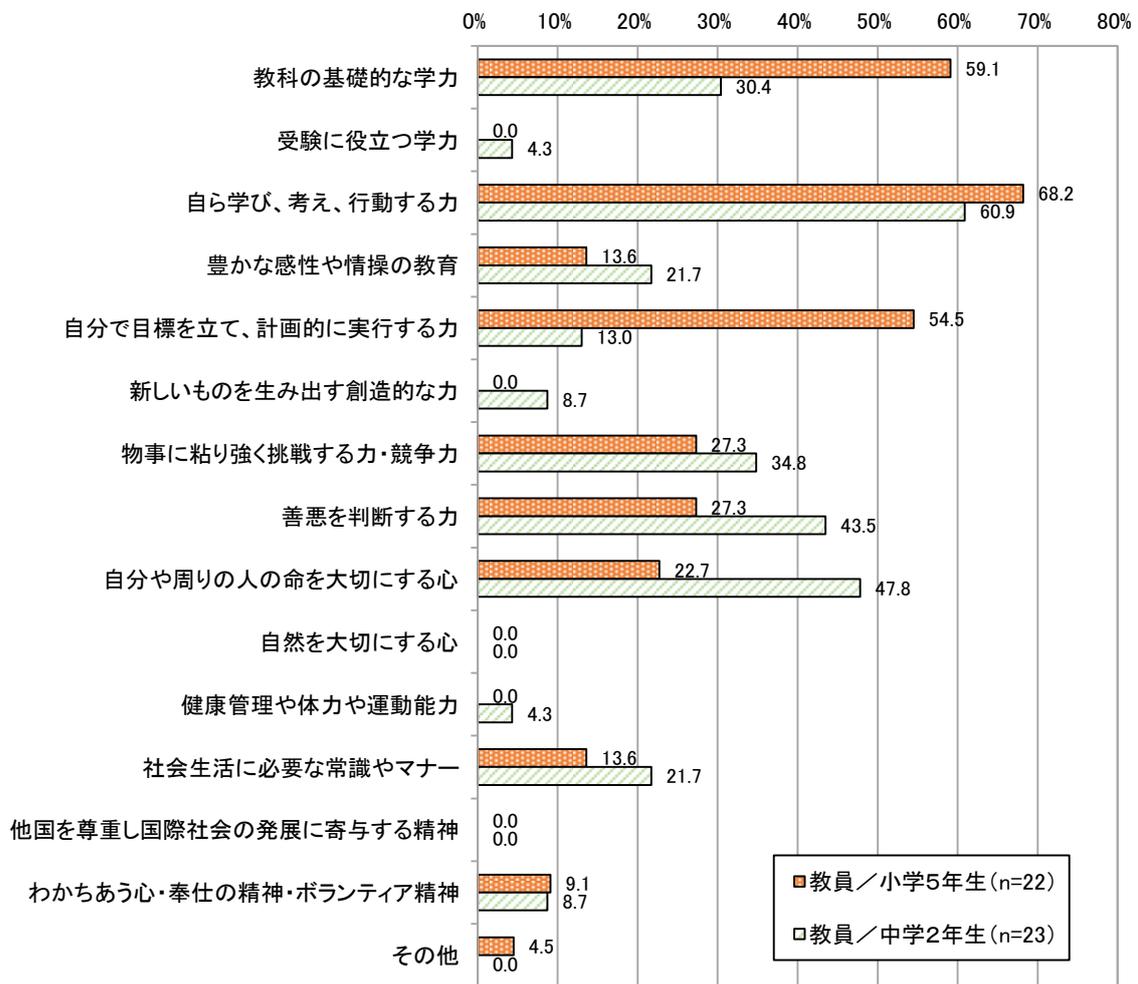
「表現力や自己主張」は小学校の教員では 27.3%に対し、中学校の教員では 13.0%、「人付き合いや協調性」は小学校の教員では 27.3%に対し、中学校の教員では 39.1%と、やや開きが見られます。

エ. 児童生徒に特に必要なもの（教員）

児童生徒と関わる中で、特に重要と思うものを次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1 教科の基礎的な学力	2 受験に役立つ学力
3 自ら学び、考え、行動する力	4 豊かな感性や情操の教育
5 自分で目標を立て、計画的に実行する力	6 新しいものを生み出す創造的な力
7 物事に粘り強く挑戦する力・競争力	8 善悪を判断する力
9 自分や周りの人の命を大切にする心	10 自然を大切にする心
11 健康管理や体力や運動能力	12 社会生活に必要な常識やマナー
13 他国を尊重し国際社会の発展に寄与する精神	14 わかちあう心・奉仕の精神・ボランティア精神
15 その他（	）

図 3. 10. 4



教員に、児童生徒に特に必要なものを聞いたところ、小学校、中学校の教員ともに「自ら学び、考え、行動する力」がそれぞれ 68.2%、60.9%と最も多く、次いで、小学校の教員では「教科の基礎的な学力」（59.1%）、「自分で目標を立て、計画的に実行する力」（54.5%）と続いています。中学校の教員では「自分や周りの人の命を大切にする心」（47.8%）、「善悪を判断する力」（43.5%）と続いています。

(2) 児童生徒の経済状況（教員）

ア. 家庭の経済状況による学力の差（教員）

児童生徒の家庭における経済状況により、学力に差が生じていると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 学力差が生じている                      2 生じていない

図 3. 1 0. 5 (％)



教員に、児童生徒の家庭における経済状況により学力差が生じているかを聞いたところ、小学校の教員の 77.3%、中学校の教員の 82.6%が「学力差が生じている」と回答しています。

イ. 家庭の経済状況の自己肯定感への影響（教員）

児童生徒の家庭における経済状況により、児童生徒の自己肯定感の大きさに影響していると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- 1 自己肯定感の大きさに影響している                      2 影響していない

図 3. 1 0. 6 (％)



教員に、児童生徒の家庭における経済状況が自己肯定感の大きさに影響を及ぼしているかを聞いたところ、小学校の教員の 72.7%、中学校の教員の 69.6%が「自己肯定感の大きさに影響している」と回答しています。



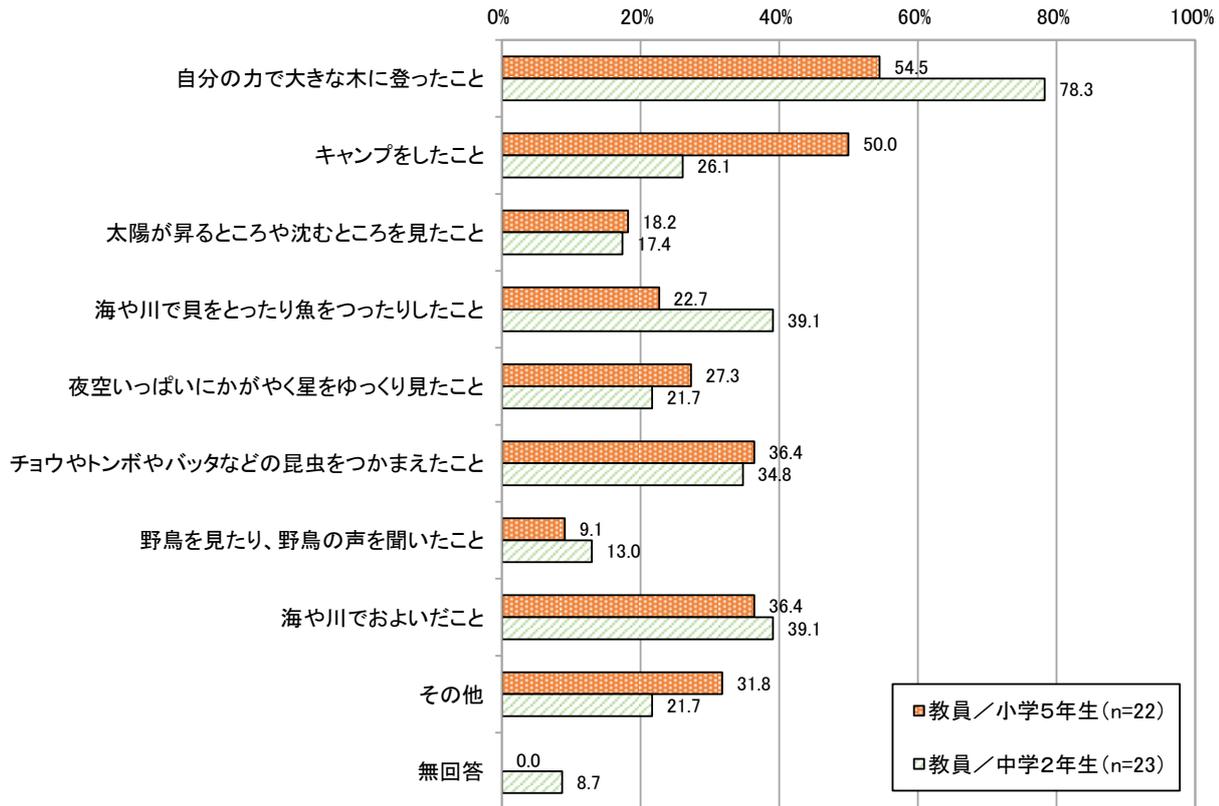


ウ. 児童生徒の自己肯定感を高めるために必要な体験（教員） ※再掲

児童生徒の自己肯定感を高めるには、どのような体験が必要と考えますか。あてはまるものすべてに番号に○をつけてください。

1 自分の力で大きな木に登ったこと                      2 キャンプをしたこと  
 3 太陽が昇るところや沈むところを見たこと          4 海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと  
 5 夜空いっぱいにかがやく星をゆっくり見たこと  
 6 チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと      7 野鳥を見たり、野鳥の声を聞いたこと  
 8 海や川でおよいだこと                                      9 その他（                                      ）

図 3. 10. 11



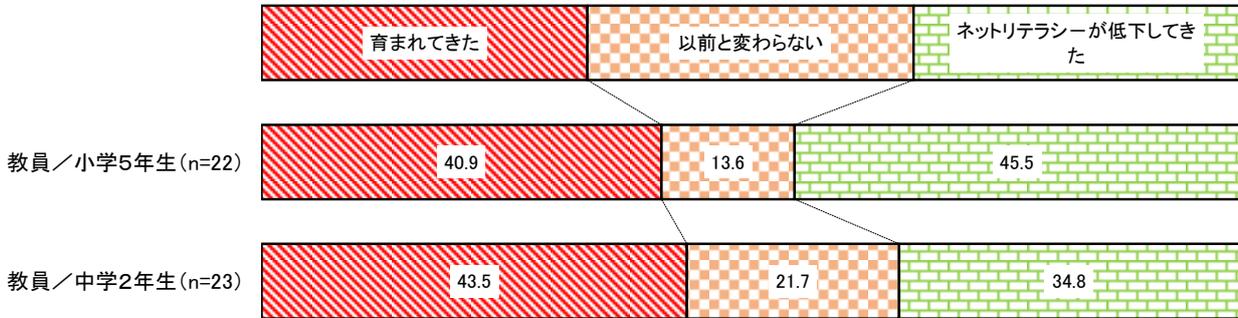
教員に、児童生徒の自己肯定感を高めるために必要な経験を聞いたところ、小学校、中学校の教員ともに「自分の力で大きな木に登ったこと」が最も多く、それぞれ 54.5%、78.3%となっています。次いで小学校の教員は「キャンプをしたこと」(50.0%)、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」、「海や川でおよいだこと」(いずれも 36.4%)、中学校の教員は「海や川で貝をとったり魚をつったりしたこと」、「海や川でおよいだこと」(いずれも 39.1%)、「チョウやトンボやバッタなどの昆虫をつかまえたこと」(34.8%)が多くなっています。

(4) インターネット

ア. ネットリテラシーの動向 (教員)

児童生徒がスマートフォンやパソコンなどでインターネットを使う中で、ネットリテラシーが以前より育まれていると感じますか。あてはまる番号に○をつけてください。  
 1 育まれてきた      2 以前と変わらない      3 ネットリテラシーが低下してきた

図 3. 10. 12 ( % )

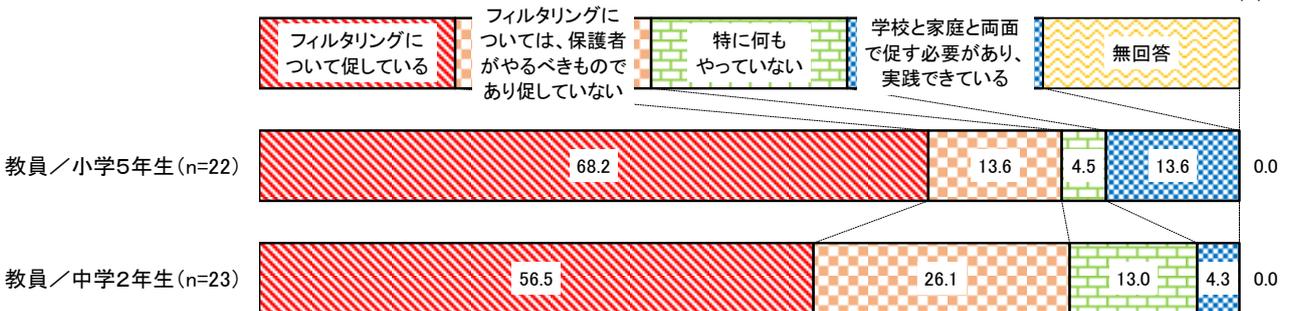


教員に、児童生徒のネットリテラシーが以前よりも育まれてきていると感じるかを聞いたところ、小学校の教員の40.9%、中学校の教員の43.5%が「育まれてきた」と回答している一方、小学校の教員の45.5%、中学校の教員の34.8%が「ネットリテラシーが低下してきた」と回答しています。

イ. フィルタリング利用への対応 (教員) ※再掲

児童生徒にフィルタリングの利用について、促していますか。あてはまる番号に○をつけてください。  
 1 フィルタリングについて促している  
 2 フィルタリングについては、保護者がやるべきものであり促していない  
 3 特に何もやっていない  
 4 学校と家庭と両面で促す必要があり、実践できている

図 3. 10. 13 ( % )



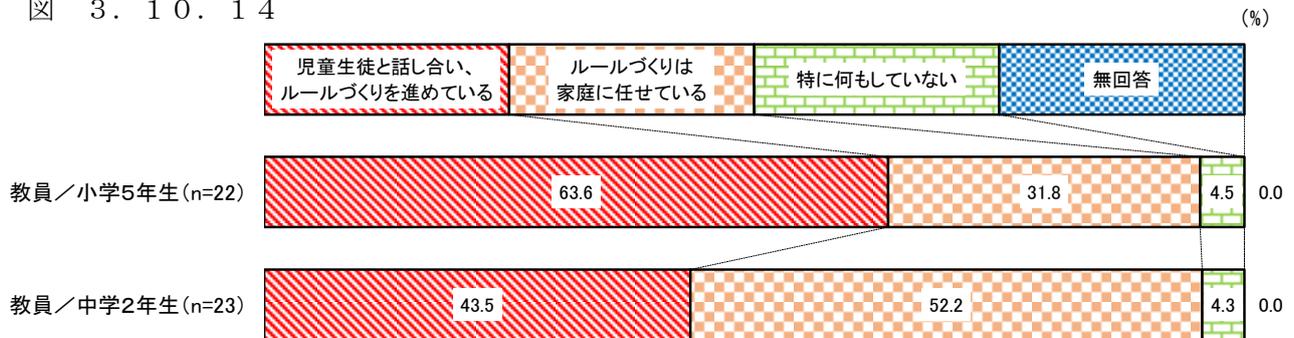
小学校、中学校の教員に、児童生徒にフィルタリングの利用を促しているかを聞いたところ、小学校の教員の68.2%、中学校の教員の56.5%が「フィルタリングについて促している」と回答しています。

ウ. スマートフォン（携帯電話・タブレット含む）利用のルールづくり（教員） ※再掲

スマートフォン（携帯電話・タブレット含む）について、ルールづくりを進めていますか。あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

- 1 児童生徒と話し合い、ルールづくりを進めている
- 2 ルールづくりは家庭に任せている
- 3 特に何もしていない

図 3. 10. 14



教員に、スマートフォン利用のルールづくりを進めているかを聞いたところ、小学校の教員では、「児童生徒と話し合い、ルールづくりを進めている」が 63.6%、「ルールづくりは家庭に任せている」が 31.8% となっています。中学校の教員では、「児童生徒と話し合い、ルールづくりを進めている」が 43.5%、「ルールづくりは家庭に任せている」が 52.2% となっています。

## 1.1 新型コロナに関する質問との関係

本項では、新型コロナの影響による学校や友達との関係に変化があるかについて、「とてもそう思う」「まあそう思う」を『変化があったと思う』、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を『変化があったと思わない』とし、新型コロナの影響による意識の変化についてまとめました。

### (1) 登校意向等への影響

#### 結果のサマリーと傾向

##### 【小学生】

『新型コロナの影響による学校や友達との関係』の変化を感じたグループでは、15.4%が学校に行きたくなかったことが「よくあった」と回答しています。一方で、変化を感じなかったグループの「よくあった」の割合はやや低く、12.5%となっています。

また、友人関係や放課後の過ごし方にも変化がみられ、放課後一番よく遊ぶ人で「ひとり」と回答したのは、変化を感じたグループでは23.9%ですが、変化を感じなかったグループでは13.4%となっています。

##### 【中学生】

変化を感じたグループでは、22.8%が学校に行きたくなかったことが「よくあった」と回答していますが、変化を感じなかったグループでは、「よくあった」と回答したのは13.9%です。

##### 【高校生】

変化を感じたグループでは、19.9%が学校に行きたくなかったことが「よくあった」と回答していますが、変化を感じなかったグループでは、「よくあった」と回答したのは15.2%で、やや低くなっています。

小学生、中学生、高校生いずれも、変化を感じたグループでは、登校意向が低くなる傾向があります。

#### 結果の考察

変化を感じたグループでは、登校意向の低さや、放課後ひとりで遊ぶ傾向が見られました。このことは新型コロナによる学校や友達との関係の変化が影響している可能性があります。

図 3. 1 1. 1 「学校に行きたくなかったことの有無」と「学校や友達との関係の変化」との関係

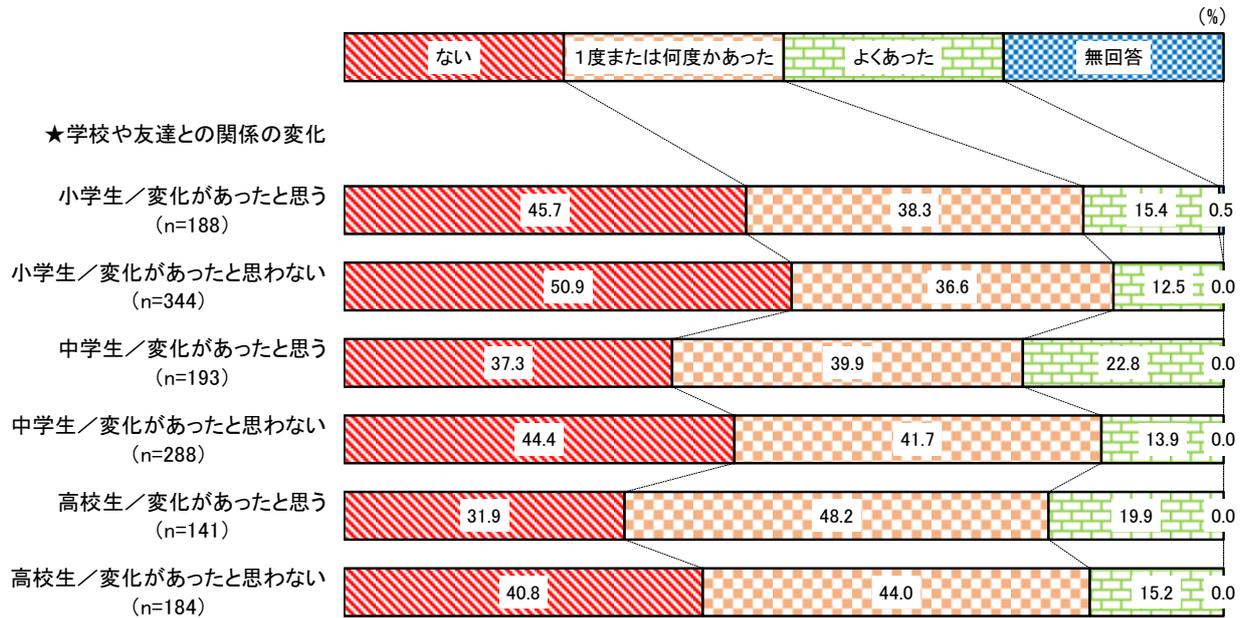
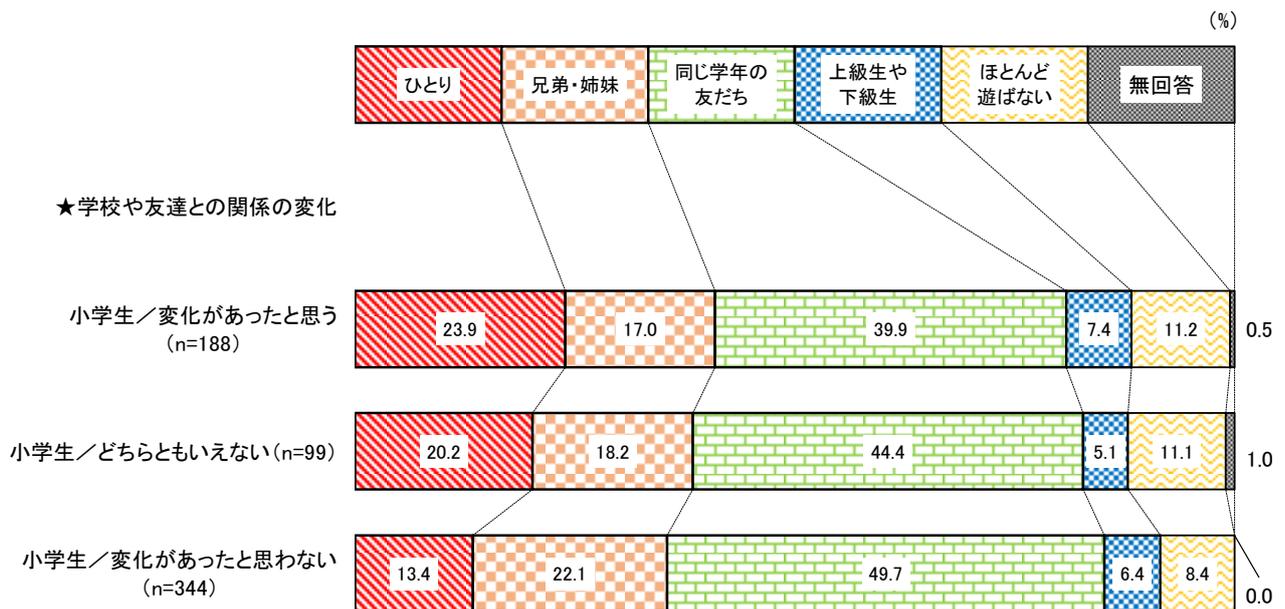


図 3. 1 1. 2 「放課後一番よく遊ぶ人」と「学校や友達との関係の変化」との関係



## (2) 生活の満足度への影響

### 結果のサマリーと傾向

#### 【小学生】

変化を感じたグループでは、74.5%が「満足」と回答、変化を感じなかったグループでも73.5%が「満足」と回答しており、同水準の結果です。

#### 【中学生】

変化を感じたグループでは、56.5%が「満足」と回答しています。変化を感じなかったグループでは、70.1%が「満足」と回答しています。

#### 【高校生】

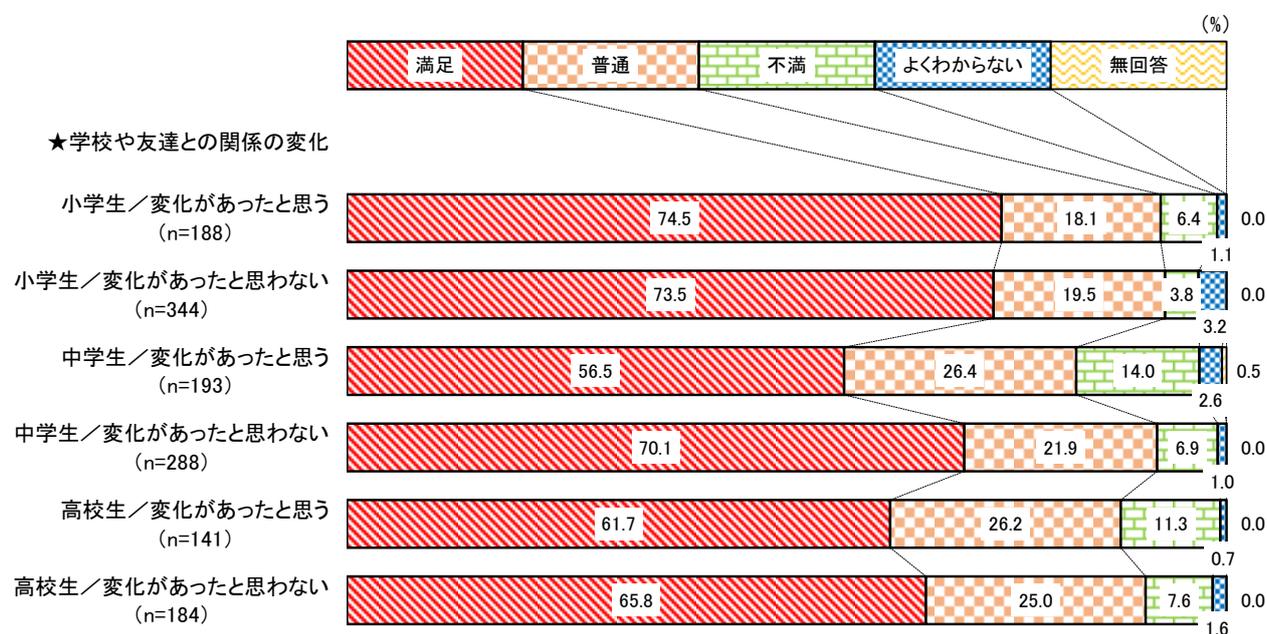
変化を感じたグループでは、61.7%が「満足」と回答しています。変化を感じなかったグループでは、やや高い65.8%が「満足」と回答しています。

変化を感じたグループでは、中学生の生活満足度が比較的低い傾向にあります。

### 結果の考察

変化を感じたグループでは、特に中学生の生活満足度が低下していることが確認されます。このことは、新型コロナによる学校や友達との関係の変化が影響している可能性があります。

図 3. 11. 3 「現在の生活の満足度」と「学校や友達との関係の変化」との関係



### (3) 将来の夢や目標への影響

#### 結果データのサマリーと傾向

##### 【小学生】

学校や友達との関係に変化を感じたグループでは、31.4%が「将来の夢や目標に変化があったと思う」と回答しています。学校や友達との関係に変化を感じなかったグループでは、82.0%が「将来の夢や目標に変化があったと思わない」と回答しています。

##### 【中学生】

学校や友達との関係に変化を感じたグループでは、34.2%が「将来の夢や目標に変化があったと思う」と回答しています。学校や友達との関係に変化を感じなかったグループでは、74.3%が「将来の夢や目標に変化があったと思わない」と回答しています。

##### 【高校生】

学校や友達との関係に変化を感じたグループでは、31.2%が「将来の夢や目標に変化があったと思う」と回答しています。学校や友達との関係に変化を感じなかったグループでは、82.1%が「将来の夢や目標に変化があったと思わない」と回答しています。

学校や友達との関係に変化を感じたグループでは、将来の夢や目標に対する変化がある程度見られますが、学校や友達との関係に変化を感じなかったグループでは、将来の夢や目標に変化が少ないことが見られました。

#### 結果の考察

学校や友達との関係に変化を感じた子の中には、将来の夢や目標に対しても変化を感じている子が一定数いることがうかがえました。

図 3. 1 1. 4 「新型コロナの影響による将来の夢や目標の変化」と「学校や友達との関係の変化」との関係

